

令和6年度

ヨコハマ市民まち普請事業

2次コンテスト



整備提案集

日時：令和7年1月26日(日) 10:15~17:45
会場：横浜市役所1階アトリウム



YouTubeチャンネル「ヨコハマ市民まち普請事業」からライブ配信

視聴は
こちらから



事務局 横浜市都市整備局 地域まちづくり課
横浜市住宅供給公社
認定 NPO 法人 市民セクターよこはま

5. 2次コンテスト提案一覧

発表順	提案グループ名	提案名	ページ
1	師岡熊野神社「いの池」愛護会	いの池を中心とした地域資源循環システムの再生と維持	1
2	あおぞら広場をつくる会	あおぞら広場	21
3	生麦事件参考館リユースプロジェクト	歴史でつなぐ多文化共生・多世代交流のまちづくり	40
4	二つ台みーとみーとPJ	シェアキッチンを備えた多世代交流拠点の整備	55
5	『あつまれ！なみき』ワーキンググループ	あつまれ！なみきの・みんなで・きずくみらい！	70
6	いちょう坂商店街カフェ	集い・学び・楽しむ。カフェで助け合いの輪をつくる。	92
7	「アスレの森」を残す会「あすのこ」	あつまれ「アスレの森」	105
8	パレット境木ベース運営委員会	懐かしい街の記憶を次世代へと繋ぐ拠点	121
9	弘明寺 チームNECTA COLLECT	生き辛い世の中を生きる青少年のための居場所作り	136
10	熊野の森, 子どもの居場所プロジェクト実行委員会	熊野の森, 子どもの居場所プロジェクト	149

ヨコハマ市民まち普請事業

第2次提案書

- 注1) 2号様式はページを増やさず、必ず3ページ以内でまとめてください。
 注2) 2号様式は市民に公開しますので、個人が特定できる情報は記入しないでください。
 注3) 添付資料は計画図(位置図・平面図・完成予想図各A3判1ページ、その他必要に応じて配置図・断面図・立面図等)、想定整備費用内訳書(第3号様式)、協議・説明状況報告書(第4-1～3号様式)、1次コンテスト以降の活動内容(任意様式A4判1ページ)、その他資料(必要に応じてA3判2ページまで)

提案グループ名 (25字以内)	師岡熊野神社「いの池」愛護会
整備場所 (町名又は丁目まで記入)	港北区師岡町
提案名 (25字以内)	いの池を中心とした地域資源循環システムの再生と維持
助成金申請予定額	500万円
整備する施設 (具体的な整備内容*1を工夫した点*2にも触れて記入してください) ※1施設の全体像とともに整備助成金の対象箇所を明記してください ※2住民等が持つ発想、方法などを生かしたアイデアやユニークさ及びデザインへの配慮	<p>流入水がほとんどない「いの池」の抜本的な水質改善のために公道を横断して神社から「いの池」に導水する。あわせて下記の整備をおこなう。</p> <p>1. 神社から池への導水管の設置 新鮮な水を導水して水質改善をはかるために ⇒神社の社殿裏手でくみ上げた地下水が循環している「令和神苑」のオーバーフロー水および社殿屋根の雨水や手水舎のオーバーフロー水を高低差を利用して「いの池」に導水する。道路の横断は占用許可を得て配管を埋設する。</p> <p>2. 池周囲の環境整備 老朽化した石積護岸の安全対策と水辺の魅力創出のために ⇒崩れかけている石積や浮石の一部を修復する。 護岸の点検結果を踏まえ、大幅な費用増が予想されるので今回は危険箇所2か所を簡易的に修復する。 ⇒排水口を水位調整ができるように改良し、水量確保により夏季の水質改善を図る。 ⇒水辺植物と池周囲の植栽を増やす。 尚、一次コンテストで提案した水辺において水辺に親しめるための固定階段の設置は水辺空間作りの詳細デザインの後に設置を検討する。</p> <p>3. 活動掲示板の新設 まちの人に向けて活動報告や行事予定など情報発信するために ⇒掲示物が濡れず飛散しない耐候性のある自立掲示板を新設する。裏面も有効活用できる場所に新設する。</p> <p>4. 太陽光発電の発電容量アップ（新規提案） 水質改善のために池の水を空気にさらすエアレーションと池の水のろ過の稼働時間拡大及び年末年始等の池のライトアップ電源に使用するために ⇒発電能力の大きいパネル、容量の大きい蓄電池を設置する。</p>
施設の活用・活動内容 (具体的な活動内容を工夫した点にも触れて記入してください) ※第1次提案書より	<p>これまでの①かい掘り②清掃活動③子どもたちを含めた地域交流に加え、下記の活動を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 愛護会の活動理念や歴史のとりまとめと発信 2. 目指す活動の方向性・将来像のデザインと共有、それに向けた態勢づくり 3. 池に足を運ぶ機会を増やす(定例活動日の設定) 4. 池と森を護る活動 5. 池に親しむための企画 6. 情報発信（新設する掲示板で活動内容を発信・交流スペース活用、YouTubeチャンネルの開設）

<p>具体的に記入してください</p>	<p>※詳細は添付資料「いの池愛護会の「これまで」と「これから」」参照。 今までの活動を通じて得られた経験を振り返り、次のアクションに活かして行く。また、会員だけではなく地域に住む次世代の人たちと実施した「いの池を護るとはどういうことか？」の意見交換・気づきの場を継続して実施する。 <得られる効果> 1. 池への導水により抜本的な水質の改善と水質の維持をはかれる。 2. 水と土と森の地域資源循環システムを再生し維持することで池に生きる生物や池に集まる生物が多様化し、豊かな自然を再生できる。 3. 子どもたちが自ら活動し大人とかいぼりや掃除の一員として協働作業することは、子どもたちの達成感を醸成し貴重なふるさとの経験になる。 4. 世代を超えて人がつながり、それぞれの世代に応じた役割を果たせる地域コミュニティが生まれる。</p>
<p>提案の背景 (なぜ提案をするのか、地域のニーズや課題、生かしたい地域の魅力等に触れて説明してください) ※第1次提案書から変更した点がある場合はその理由も記入してください</p>	<p><地域の魅力> いの池は1300年の歴史を有する師岡熊野神社の一角にあり、横浜市の史跡に登録され、市民の森に指定されている。歴史と自然に触れられる憩いの場として、地域(まち)のオアシスとして地域の人々から愛されるポテンシャルを秘めた場所である。 <課題> いの池は新幹線工事や宅地化で流入水がなくなり、池の水の自然循環が途絶えてしまった。その結果、特に雨の少ない夏季には池にアオコが発生し、僅かに異臭がするようになってしまった。もはや憩いの場所で無くなりつつあったが、かい堀等で少しずつ改善を図ってきた。 <ニーズ> 誰かが整備してくれるだろうという他人任せだったが、「地元の私たち皆でいの池の自然を再生し美しく護り続ける」という思いが地域の人々の間で芽生えてきた。 ◎いの池の水をきれいにし、まちの憩いの場を取り戻したい。 ◎池を中心とした師岡地域の自然を保全することで、子どもたちが自分のふるさとの愛着と誇りが持てるようにしたい。 ◎池に来ると、世代を超えて顔見知りの誰かがいるような、人と人がつながる地域コミュニティづくりにつなげたい。</p>
<p>整備プロセス (スケジュール、つくるときに連携する仲間の役割や活用する地域資源注4)、費用削減の工夫に触れて説明してください)</p>	<p>専門の工事及び土木工事はいの池にも詳しい地元の業者の協力を得る。周辺の整備などは「いの池」愛護会会員(以下「会員」)が中心に作業をおこなう。 ・整備にはできるだけ子ども達の参加を募り、大人と協働作業を経験してもらおう。 ・石積護岸の浮石の隙間への小石の充填や、簡易的にモルタルで固定する方法による修復は会員のDIYでおこなう。 ・活動掲示板の設置工事はモルタル工事が得意な会員を中心におこなう。 ・太陽光発電設備の製作と設置は電気工作と木工・機械工作の得意な会員を中心におこなう。</p>
<p>維持管理・運営計画及びその実施方法 (維持管理・運営するときに連携する仲間の役割や活用する地域資源注4)に触れて説明してください)</p>	<p>地域の人々や次世代を担う子どもたちのアイデアを取り入れながら、世代間で役割を分担していの池の環境保全活動を続けていく。 <ヒト>友好団体の神輿会(労力提供)及び活動に賛同する協力者・協力団体の参加を得る。更に電気設備、電気工作、竹細工、動画制作等の会員が有する多様なスキルを活用する。 <モノ>活動で使用する作業用具の一部や電気、運搬車両は引き続き地域の協力者の所有する機材を活用する。 <カネ>会員からの会費を基盤とし、会員以外の支援者の応援寄付金を発展的な投資の原資とする。</p>

注4)「地域資源」とは、次のようなものを想定しています。

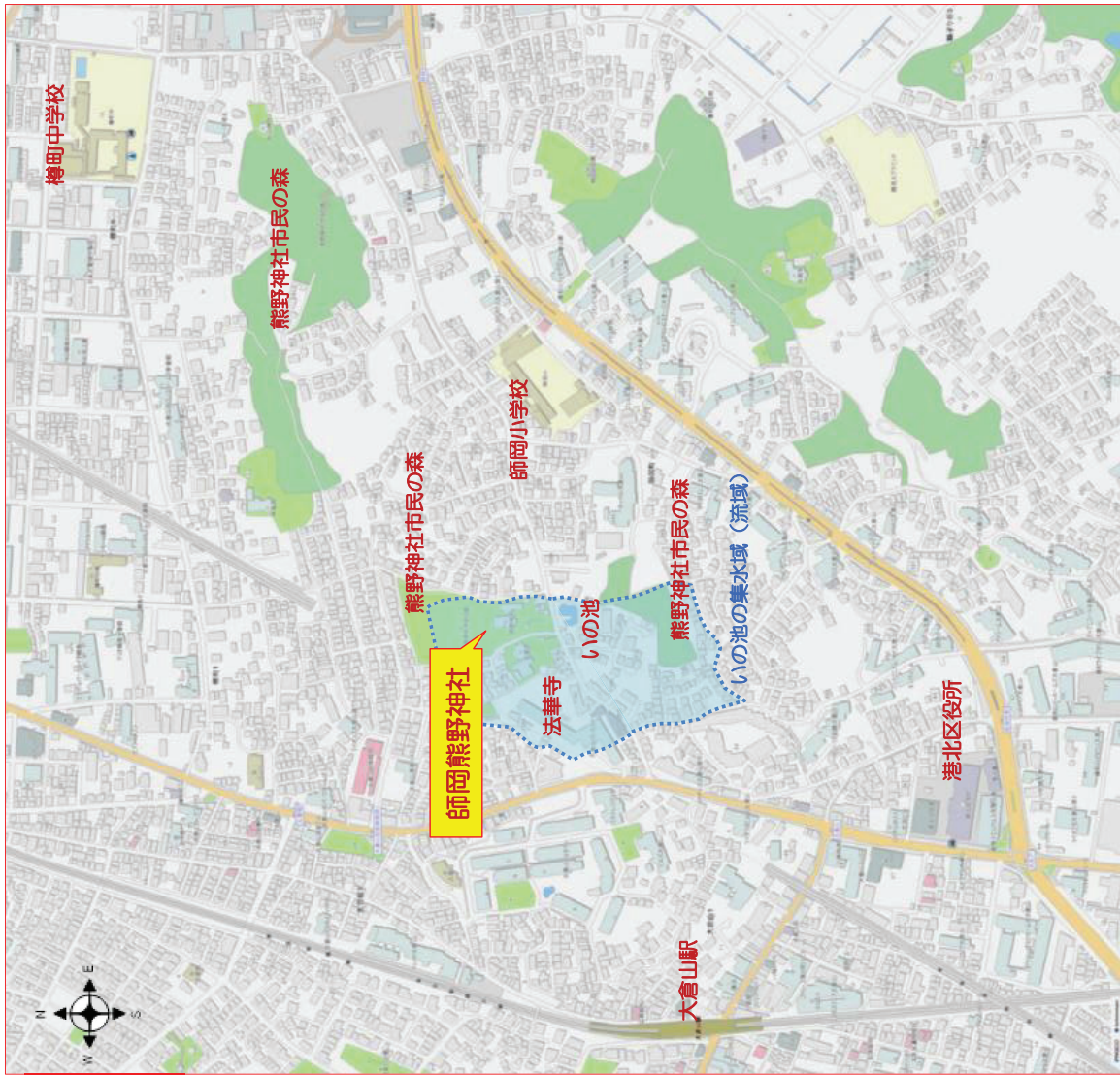
- | | | |
|---------|-------------------------|-----------------------|
| ○「ヒト」の例 | ・地域のPTAから協力を受けられそう。 | ・地域に設計の専門家がいる。 |
| ○「モノ」の例 | ・整備に必要な材料を安く入手できそう。 | ・整備に必要な建設機械を安く借りられそう。 |
| ○「カネ」の例 | ・自治会町内会から資金的な支援を受けられそう。 | ・バザーなどで資金を集められそう。 |

<p>1次コンテスト以降の活動内容 ※詳細については添付資料（任意様式）に記入してください</p>	<p>1. 「いの池を中心とした地域資源循環システム」再生と維持のアクション</p> <ul style="list-style-type: none"> 7、9月：水質改善システムのメンテナンス(ろ過槽清掃・ポンプ交換) 8～11月：神社及び池周辺の清掃、落葉清掃（定期・不定期） 9月：6月のかいぼりで引き上げて乾燥させた泥の搬出(9月) ※ 11月：「子どもと大人の池のそうじ」※ <p>2. 大人と子どもの全世代交流の場づくり（コミュニティの深耕）</p> <ul style="list-style-type: none"> 11月：「いの池を護ることはどういうことか」について次世代を担う若い人々と話し合い、次のアクションの可能性を探った。 11月：師岡小学校2年生の地域連携授業「まちたんけん」で子ども達からの質問に答えながらいの池を護る活動を伝えた。その後、落葉の掃除をおこない愛護活動を体験した。 9～11月：年末年始の池のライトアップ企画と点灯準備 ※ <p>3. 自然環境と人工施設その実態調査と把握</p> <ul style="list-style-type: none"> 8月：活動検討会を開催し、まちづくりコーディネータの委嘱を決定した（水・緑・環境が得意分野）。 整備対象場所を良く知っている協力工事業者を選定した。 8～11月：整備施設の仕様検討と費用の見積を得た。協力工事業者と共に整備内容を精査した。 9、11月：池への導水可能水量を調査、石積護岸の状況を調査した。※ <p>※の詳細は添付資料「1次コンテスト以降の活動内容」を参照。</p>
<p>関係者の合意・調整状況 （地域《地権者、整備場所の近隣住民、地域住民、自治会町内会等》での合意形成や関係機関との調整結果の概要について説明してください）</p>	<p><地域>関係者より合意を得た。是非とも進めて欲しいとの意見であった。</p> <ul style="list-style-type: none"> 近隣住民（法華寺及び6戸） 地権者(師岡熊野神社)宮司(いの池愛護会監事、提案メンバー) 熊野神社市民の森愛護会会長(いの池愛護会監事、提案メンバー) 町内会役員会 <p><横浜市></p> <ul style="list-style-type: none"> 港北土木事務所 申請内容を問い合わせ。既存埋設管調査等を踏まえ、書類を整えたら正式に申請を受付ける意向。 北部公園緑地事務所：利用者の安全に関する相談に載っていただける。
<p>その他提案について特にPRしたい点を記入してください</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◎愛護活動当初は「何をやっているんだ」と訝しげに見られていた「かいぼり」が、「今年はいつですか？」という問い合わせをもらう程に、今やこの町の春と秋の年中行事として当たり前になった。 ◎地元の顔見知りでかい掘し清掃することが、子ども達にも大人達にも地元の自然への思い、ふるさとへの愛着を醸成する機会になっている。 ◎今では大人からも子どもからも、みんなで話し合い・気づき・一緒に行動した経験から、「これをやってみよう」という声が自然に上がり始めた。 ◎これらから「いの池を中心とした地域資源循環システムの再生・維持に向けた活動」が創出され、可動性が高まっている。
<p>目指す地域の将来像 （施設が整備されることにより地域がどのように良くなるのか、地域に及ぼすインパクトについて説明してください）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◎「いの池」を美しく維持・保全し、池に生きる生物や池に集まる生物の多様化、豊かな自然の再生につなげる。 ◎池を中心とした「熊野神社市民の森」全体の自然・資源循環を保全することで、子どもたちが自分のふる里に愛着と誇りを持てるようになる。 ◎活動を通じ、同世代の輪に加え、世代を超えたコミュニティが生まれ、災害時にも助け合えるまちになる。 ◎5年間の活動を通して①水と土と森の循環の輪②世代を超えた担い手の循環の輪③アクションとアイデアの循環の輪ができたことがはっきり認識できるようになった。次世代の活動を担う子供たちと共に次の100年先を見据えた活動を共有していきたい。 <p>※活動の内容は添付資料「いの池を中心とした地域資源循環システムの再生・維持に向けた活動」参照。</p>

記載内容について次の点を確認後、チェックボックスに✓を入れてください。

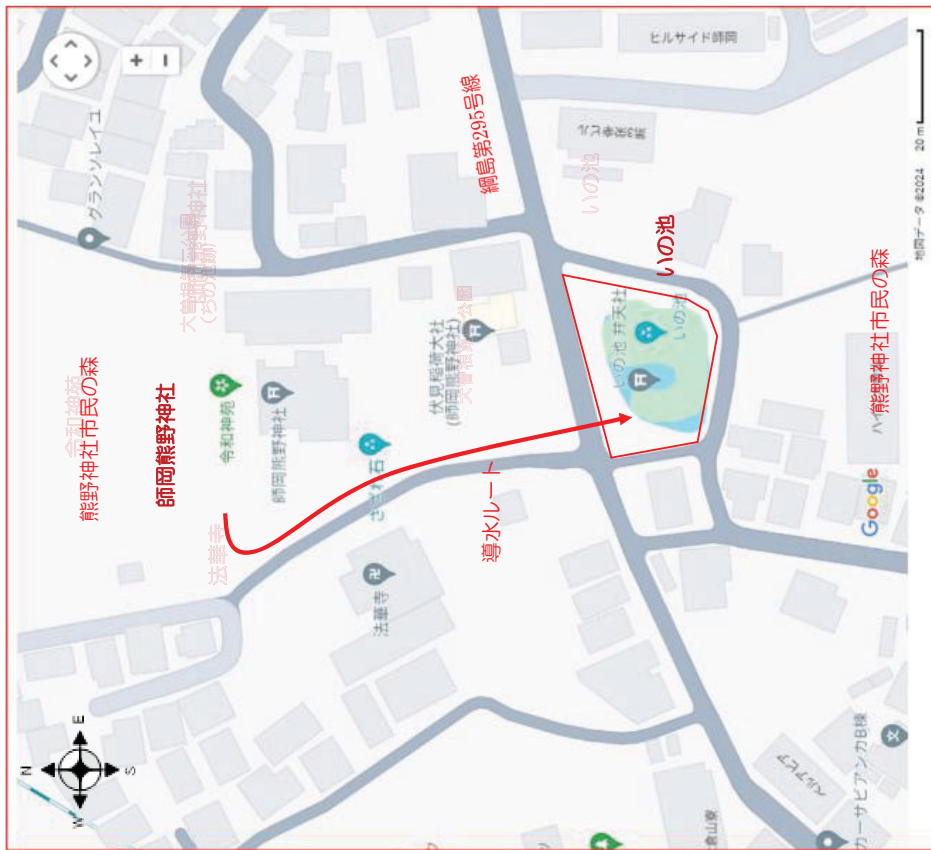
- 記載内容は真実であり、虚偽はありません。
- 記載内容に個人情報はありません。

1.位置図

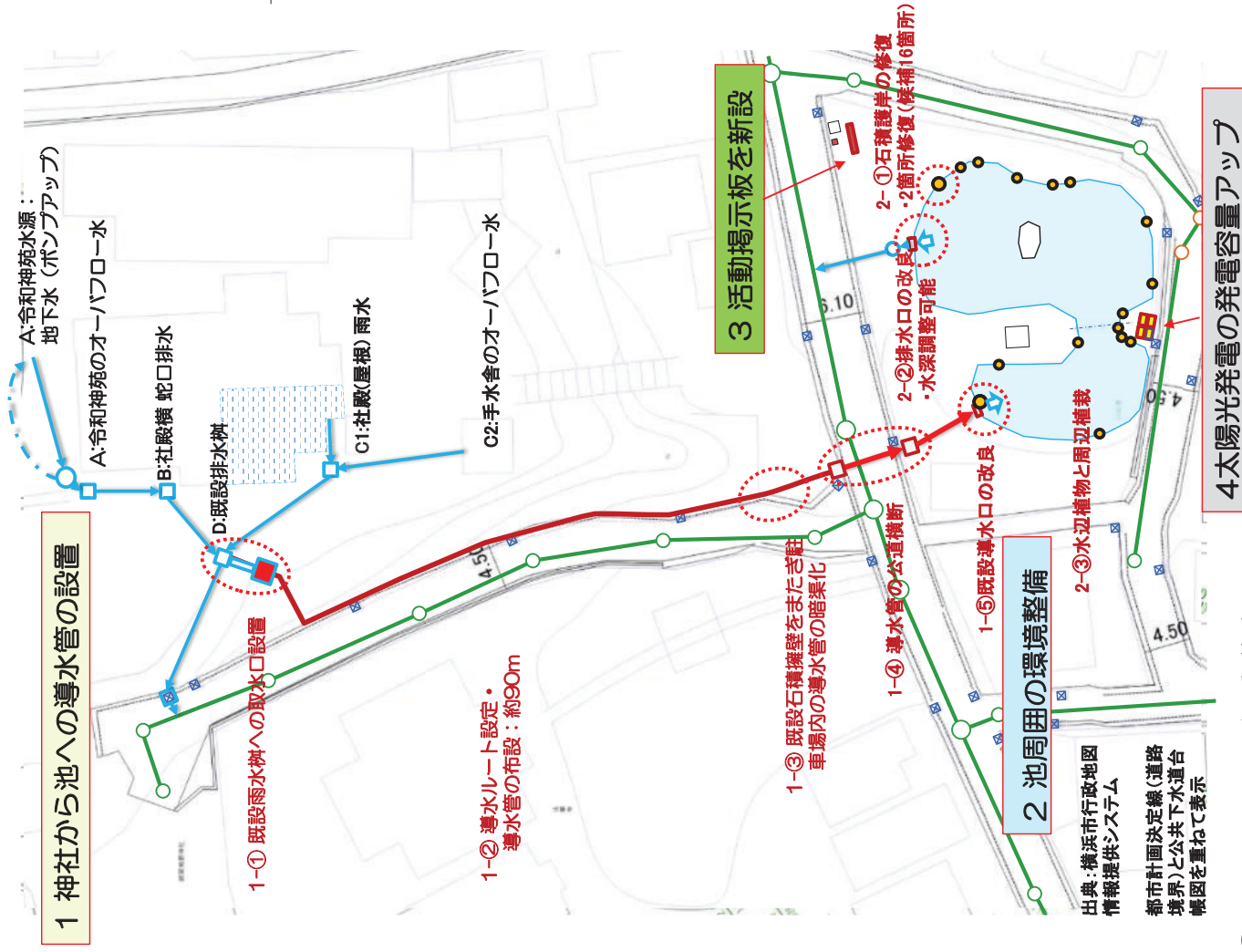


横浜市行政地図情報提供システム(はまびょうマップ)より

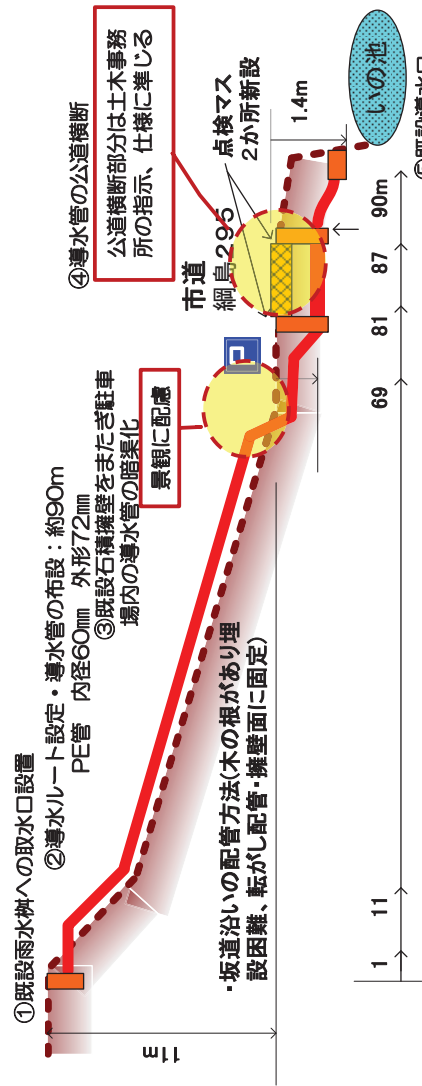
拡大図



2.平面図



● 導水ルート断面案



A 令和神苑 水源



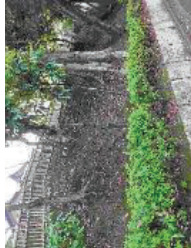
C1 社殿雨水樹



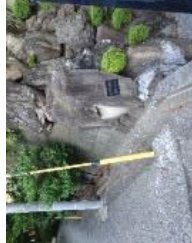
1-①取水口設置予定場所



1-②導水予定ルート



1-③導水予定ルート



1-④公道横断予定場所



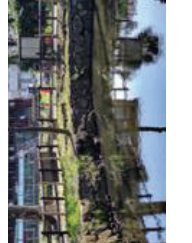
1-④公道横断予定場所



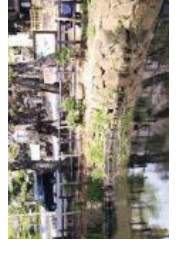
1-⑤既設導水口



2-① 護岸修復予定箇所



2-②排水口の改良箇所



3 現場示板



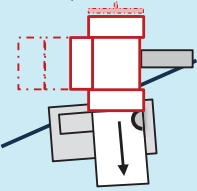
4 太陽光発電設備



3.完成予想図

- 1 神社から池へ導水管の設置
- 2 池周囲の環境整備
- 3 活動掲示板を新設
- 4 太陽光発電の発電容量アップ

既設排水口の改良：水位調整を可能にするためT型継手の設置やキャップの工夫



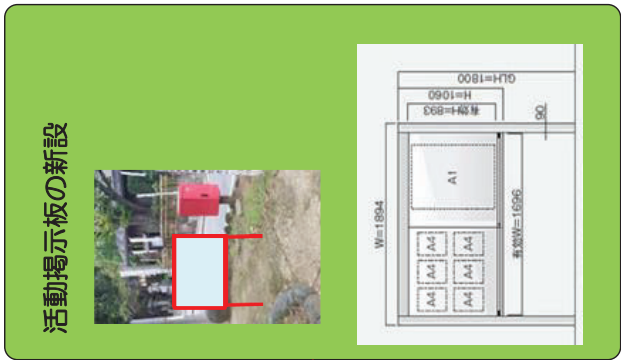
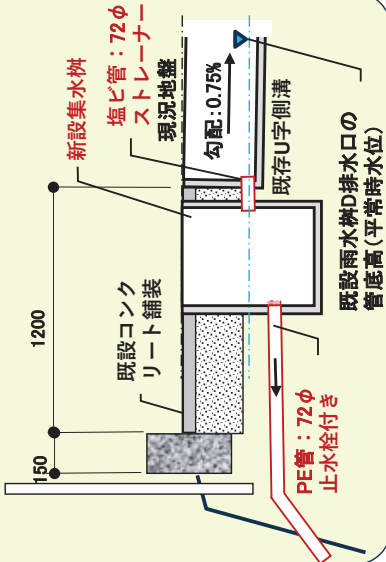
▼ 新設：最大+20cmまで調整可能
 ▲ 現況：満水時水位
 ▲ 現況



新設継手 (T型)

●キャップ加工による水位調節方法(例示)
 現況満水位 +4cm
 +8cm
 +12cm
 キヤップを約1/3削減

取水口設置：既設U字側溝に接続



老朽化した石積護岸の一部修復 (危険箇所)



ヨコハマ市民まち普請事業

想定整備費用内訳書

※ 記入上の注意

- 「主な整備項目」「細目」欄の記入にあたっては、事務局と事前に十分調整してください。
- 「数量」欄については、やむを得ない場合を除き、「一式」と記入しないでください。
- 「地域住民等の参加」欄については、例えば地域が労力を負担する場合は、何人くらいが何日間くらい作業を行うかなど、できるかぎり具体的に記入してください。（見込みも含めて記入してください。）また、小中学校や子供会などが参加する場合は、その旨を明記してください。

主な整備項目	細目	数量	単価	計	地域住民等の参加 (費用又は労力の負担等)
導水工事	配管工事・掘削工事・試掘調査他	一式 90m 1ヶ所		3,850,000円	
監理費	導水工事全般の監督・管理	一式		385,000円	
石垣修復工事	崩落部分の修復工事	一式 2ヶ所		200,000円	本格修復は大幅な費用増加が予想されるので簡易な修復とする
水辺と池周辺の植栽費	苗木の購入	一式		200,000円	会員3人/3日DIYにより植栽する
活動掲示板新設	掲示板本体・設置材料・工事費	一式 1ヶ所		250,000円	会員3人/3日DIYにより本体組立・設置工事
太陽光発電の発電容量アップ	材料費(ソーラーパネル・コントローラ・蓄電池・配線材料・架台材料)	一式 1台		200,000円	会員2人/7日DIYにより組立・設置 エアレーションと池水ろ過の太陽光発電能力、蓄電能力のアップにより稼働時間拡大およびライトアップ企画の電源に使用する。
活動費	用紙事務用品費	一式		30,000円	プリンターインク・コピー紙等
活動費	資料等のコピー又は印刷費	一式		35,000円	図面の拡大コピー等
活動費	写真及び映像記録費	一式		50,000円	いの池愛護会の活動映像の制作
合 計				5,200,000円	

1次コンテスト以降の活動内容

◎かいぼり土の搬出（9月16日）15名参加



春のかいぼり（6月に実施）で池から引き上げ、池岸で乾燥した泥を森と畑に搬出（土嚢約200袋）

◎子どもと大人の池の掃除：大人23名、子ども11名 当日の様子（YouTube）



＜お知らせ＞ 師岡熊野神社「いの池」愛護会

参加者募集!!
子どもと大人の池のそうじ
 みんなで「いの池」をきれいにしよう!
 どなたでも参加できます

日時：11月16日（土）9時～12時
 集合：いの池（予約不要）
 少雨実施：天候不順等で中止の場合は池横に掲示
 汚れても良い服装、手袋持参で参加ください
 子供用・大人用の胴長を買出します

・池のなかのそうじ

池中に入って落ち葉すくい。
 周辺の落ち葉掃除。



「いの池を中心とした地域
 資源循環システム」
 再生と維持のアクション

大人と子どもの
 全世代交流の場づくり



自然環境と人工施設
 その実態調査と把握

◎水のいきものクイズ（大反響）



◎軽食を食べながら、みんなで今日の振り返り



- 子どもたちが池や池の周りでやってみたいこと
- 鬼ごっこ
 - ザリガニ釣り
 - 池中流れるプール
 - 池の島に渡りタクシー
 - 宝探し
 - 池の中でご飯を食べる
 - 生き物探し



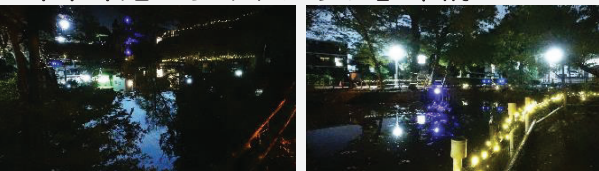
◎池への現状導水可能水量を調査（9月）：4名参加



- ① 令和神苑を循環している地下水のオーバーフロー水は、約1m³/日を確認。
 （節水のために昼間の8時間稼働、最低必要水量に調整している）
- ② 他に手水舎のオーバーフロー水（水道水）と社殿屋根の雨水を利用可能を確認。

・石積護岸のゆるみチェックの結果：
 危険箇所：2カ所、ゆるみ箇所：14カ所

◎「年末年始のライトアップ」準備



◎ドングリ苗ポッドづくり（育てて森に植樹）



いの池を中心とした地域資源循環システムの再生・維持に向けた活動

- 「いの池」をまち普請事業も活用しながら美しく維持・保全し、池に生きる生物や池に集まる生物の多様化、豊かな自然の再生につなげる。
- 池を中心とした「熊野神社市民の森」全体の自然・資源循環を保全することで、子どもたちが自分のふるさとに愛着と誇りを持つように。
- 活動を通じ、同世代の輪に加え、世代を超えたコミュニティが生まれ、笑顔あふれる明るくイキイキとしたまち、災害時にも助け合えるまちに。

世代を超えた担い手の循環

愛着をもった池・ふるさとへの関わり

子どもたち

楽しさ・嬉しさ

次世代・地域の人たち

想いの伝承

発足メンバー

愛護活動への切実なニーズ

水と土「自然」の循環

※赤字は、まち普請事業による整備を想定

市民の森・近隣の畑

森で育った木々からの落ち葉が、かい掘りを通じて森に還り、森の土が豊かになり、水を浸透、蓄える



伐採した竹は、灯籠やコンポストの材料に

掃除した落ち葉を森に返す

かい掘りの土を近隣の畑で利用(仮置き)



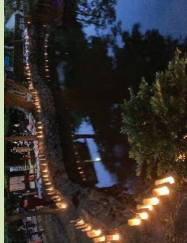
かい掘りの土を森に返す



かい掘りの土を森へ運ぶ



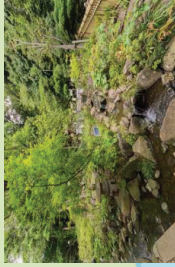
ライトアップ



願いを込めた竹灯籠



かい掘り



師岡熊野神社 令和神苑

森に降った雨は森に蓄えられ、湧き水となり、土と一緒に池に流れ込む

神社から池へ導水
・境内で汲み上げ令和神苑を循環している地下水
・社殿の雨水
・手水舎のオーバーフロー水

掲示板を新設し、活動内容を発信

いの池

太陽光発電により、エアーレーション・水のろ過、池のライトアップ(発電容量アップ)

神社からの導水により、池の水を循環させ、水質を改善



池にすむ生き物(在来種) アマエビ、サリノエ、カサネシ、フナ、カサネシ、池花がけの生き物、トノボ、カワセミ、カマキリ、シロヤギ、アオダイダイ

アクションとアイデアの循環

愛護活動の

アクションの方向性

態勢づくりとアクションの構想
アイデアをアクションにつなぐためのメンバーの専門的な知識の融合と技術・スキルの活用

アイデアの創発・共創

経験の振り返し
かい掘りした経験、泥を肥料として土地に戻した経験、そこで実感した成果を皆で振り返り、次のアイデアに気づく

愛護活動(アクション)での経験

いの池愛護会の「これまで」と「これから」

～アクションとアイデア(創発)の循環により、世代を超えて次のアクションを生み出す～

これまでの活動

- ①かい掘り(1, 2回/年)
池の水を抜き、池底にたまった泥、落葉やごみを引き上げる
- ②清掃活動(不定期)
落ち葉清掃、除草・水源の草刈り、水中の枯枝引き上げなど、池をきれいにする活動
- ③子ども達を含めた地域交流(随時)
 - ・池に棲む生物に触れる体験
 - ・水の生きものクイズ
 - ・池のライトアップ
 - ・いの池歴史勉強会(出前授業)
 - ・竹灯籠づくりと池周辺への設置・点灯

④情報発信 SNSで告知



Instagram:
inoike.aigokai
#いの池愛護会

《気づきの機会》

- 「まち普請事業活動懇談会」(9月)
⇒ “定期的な活動日を設けてはどうか”
- 「子どもと大人の池のそうじ」(11月)
⇒ 子どもたちの声(おにごっこ、宝探し・やりたい!)
- 「いの池を護るとはどういうことか?」意見交換(11月)
⇒ ・集まるきっかけは、かい掘りのような大掛かりなこと
でなくてもよい!
・活動の内容は愛護会のアイデアの押し付けではなく、
集まった人々から自然発生的に生まれてくる! などなど

これからの追加的取組(アイデア含む)

- ①会の活動理念や歴史のまとめと発信
発足メンバー等からの聞き取りにより活動の理念と歴史をまとめ、発信・伝承
- ②目指す活動の方向性・将来像のデザインと共有、
それに向けた態勢づくり(継続的に)
目指したい方向性・将来像を会員間で議論・共有、
実現に向けた態勢をつくる
- ③池に足を運ぶ機会を増やす
清掃活動に定例日(土曜日)を設ける
- ④池と森を守る活動
 - ・地元中学校生物部の参加を得て池の生き物調査
 - ・森のどんぐり苗木ポットを育ててみんなで植樹
 - ・竹を使ったコンポストづくり(地元小学校と)
- ⑤池に親しむための企画
 - ・“地球環境保全身”流しそうめん(子ども会と共催)
※増え過ぎた竹を伐採して使い、使用後は竹炭にして資源を思い尽くす
 - ・お隣子会など別団体の発表の場づくり
 - ・キッチンカーが来る! ・謎解き宝探しなど

⑥情報発信等

- ・掲示板を新設し、活動内容を発信、
交流スペースとして活用
- ・YouTube チャンネルの開設



YouTube

<https://www.youtube.com/channel/UCT6BTXsLgidajA5LQJ4TBHg>

2次コンテスト事前質問集

【提案名グループ名】 師岡熊野神社「いの池」愛護会	
事前質問	回答欄
朝比奈委員	
① イベントや作業を通じて関心が高まっているようすがうかがえます。活動への継続参加や運営の仲間づくりについてどんな工夫を考えていますか。	<p>これまでの活動の経験やそれぞれの世代の思いを共有して、出来ること得意なことを分担して楽しくやっていくための話し合いを重ねていくことが基本と考えています。その上で、かい掘りのような大掛かりな活動だけではなく、人が集まるきっかけをもっと多くして顔が見える関係を築きたいと思っています。</p>
② 活動の収支計画について教えてください。	<p>いの池愛護会は、師岡町に住む人々の地元の歴史に触れながら憩う場所との認識のもと「いの池」を美しく維持・保全し、これを継続させていく目的で令和元年 12 月に設立した自主自立の非営利団体です。その運営は会費及び会員・活動協力者からの作業用具等の提供により、収支面に支障がなく行われてきた5年間の実績があります。(会員は令和2年度期末 28 名に対して令和5年度期末 45 名と 17 名増加)</p> <p>今回整備する施設の維持管理費は、太陽光発電の発電容量アップに係る「鉛蓄電池」・「水中ポンプ」など消耗品費等 9,400 円の支出を見込む必要があります。</p> <p>愛護会の運営は、一口 1,000 円で年間 100 口程度の会費収入で行っています。</p> <p>設立以来 5 年の間、地道に継続実施してきた活動の主な支出は、かいぼりで使用する胴長靴の補充や、かいぼり後の軽食提供材料、</p>

	竹灯籠や池のライトアップ材料、ほうきなど清掃用消耗品の購入で、今回の整備する施設の維持管理費を加算しても剰余金（次期繰越金）の推移から今後も維持できる見込みにあります。
植松委員	
①公道の下を導管を通すことで通水することのだが、より高位置にある場所から傾斜を利用したの通水でつまりなどの心配はないでしょうか。	<p>境内の玉砂利（碎石）や落ち葉が導水管に混入してつまることが想定されますが、下記により「つまり」の心配を排除できると考えています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・坂道沿いは転がし配管で導水管を設置する予定です。景観上許容されると考えられる外径約 75 mm（内径約 60mm）の導水管を選定し、小さな異物が管内に滞留しないようにします。 ・既設の排水マスと導水管の間に新設する約 40 cm角の取水マスの出入り口にストレーナ（ふるい）を設置して異物を除去します。 ・導水を一時止める池のかいぼりの際に取水マスとストレーナを点検し清掃します。
②神社の神泉であり、農地のため池でもあった当該池が流水を呼び込むことで息を吹き返し、掻い堀による環境意識の啓発や汚泥の肥料化、竹細工による近隣の交流の場づくり、太陽電池によるライトアップなどが実現することのだが、それらを継続させていく秘訣を教えてください。	<p>同じ活動を継続することは大切なことと思いますが、活動の成果によってこの池の環境はより良く整えられていき、それによって活動の参加者の思い、そして師岡に住む人々の思いも変化してくるはずで、「私たちの学び・知識とアクションでこの池を護っていく」という地元主導の態勢づくりという考えを活動の根底に据え、地域の人々あるいは会員の思いを世代間の壁を超えて拾い上げて共有し、具体的な活動に移していくことこそが継続には不可欠と考えています。</p>
川原委員	
質問なし	
後藤委員	
質問なし	
杉崎委員	

<p>①整備のときにメンバー以外の地域住民等が参加する作業などを予定しているかを教えてください。</p>	<p>池周囲の環境整備の一つとして、水辺植物と池周囲の植栽を増やす計画があります。</p> <p>池周囲の植栽は会員が行うこととなりますが、水辺植物の植栽は、かいぼり時作業に組入れ、会員外のかいぼりに参加した子どもと大人にも参加を呼びかけてまいります。</p> <p>なお、上記以外にも活動が押しつけではない楽しいものになるように、作業参加者等からアイデアを求めるなどの検討会や行事開催後の懇親会などを実施し会員以外の方で愛護会の活動に興味を持っている方にも輪を広げてまいります。</p>															
<p>②電気代等、整備したものの維持管理にかかる費用はどれくらいですか。</p>	<p>今回整備する施設では下記の維持管理費用が予想されます。</p> <p><1 項 神社から池への導水管の設置> 導水量を増やす場合を想定 汲みあげ地下水の増加に伴うインバータ式600W 水中ポンプの電気料金増分。 100W 8 時間/日稼働とすると 24kWh/月 × @36.4 円 ÷ 900/月 = 10,800 円/年</p> <p><4 項 太陽光発電の発電容量アップ> 池の水のエアレーションとろ過稼働時間拡大に伴う部品の予防修理交換</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>水中ポンプ</td> <td>1 回</td> <td>3,500 円/年</td> </tr> <tr> <td>エアーポンプ</td> <td>1 回</td> <td>1,500 円/年</td> </tr> <tr> <td>長寿命鉛蓄電池</td> <td>1 回</td> <td>20,000 円/5 年</td> </tr> <tr> <td>ホース</td> <td>1 回</td> <td>2,000 円/5 年</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: right;">小計</td> <td>9,400 円/年</td> </tr> </table> <p>1 項と 4 項の合計 ¥20,200 円/年</p>	水中ポンプ	1 回	3,500 円/年	エアーポンプ	1 回	1,500 円/年	長寿命鉛蓄電池	1 回	20,000 円/5 年	ホース	1 回	2,000 円/5 年	小計		9,400 円/年
水中ポンプ	1 回	3,500 円/年														
エアーポンプ	1 回	1,500 円/年														
長寿命鉛蓄電池	1 回	20,000 円/5 年														
ホース	1 回	2,000 円/5 年														
小計		9,400 円/年														
<p>鳥海委員</p>																
<p>① 水温や環境の変化によって今の生態系が変わることはありませんか？専門家や有識者の伴走はありますか？</p>	<p>今回の導水による池の水質改善の目的の一つに、雨が降らずに池の水量が減る夏のアオコ発生の抑制があります。</p> <p>導水量は今後検討する予定ですが、現状の予定導水量は一日あたり 1~3 m³ (令和神苑の汲みあげ地下水と手水舎のオーバーフロー</p>															

	<p>水道水（神社行事時期で変化）です。別に降雨時には社殿の一部の雨水が加わります。今回の新たな導水量は現状の池の総水量約 230 m³に対しては僅かで、今の生態系が変わる（悪化する）ことはないと考えています。</p> <p>いの池の水質改善方策については、愛護会発足当初より熊野神社市民の森を管理されているみどり環境局北部公園緑地事務所に相談しながら進めてきました。多様な生物が棲む池の環境を再生するため、かいぼりによる池底に溜まった堆積泥を減らす取組とともに以下の助言をいただいています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水を循環させる ・池底に光を入れる（周辺樹木の選定） ・生物の個体数の適正管理 <p>今回の導水計画への助言は</p> <ul style="list-style-type: none"> ・池に川のように大量の水を流さないこと、流すと池内の有機物（沈んだ落葉等）を分解するバクテリアがいなくなってしまうとのことです。
<p>② 綺麗になった池に親しむ活動とは具体的にどのようなことをイメージされていますか？</p>	<p>池をきれいにする活動は継続的に行う必要があると考えています。それによって会員だけでなく地域の人々が顔を合わせ、自然発生的に「これをやっといこう」という活動の萌芽が生まれてくることが期待できます。そうやって自分達で自分達のやることを見つけ、それを実践していくことが子どもにとって懐かしい経験・思い出になり、地域の人の声でもあるいの池が日常生活の一部になることと考えます。</p>
<p>③ ざりがにや昆虫、野草、水生植物等は団体が管理するイメージですか？市民の物ですか？「採ってはいけません。」「入ってはいけません。」等、周知して管理を考えている「禁止事項」があれば教えてください。</p>	<p>「いの池」は昭和 30 年代まで師岡の地を潤す貴重な農業用水の水源として、谷戸地形の水と土の利点を最大限に活かす地域の共有地（コモンズ）として護られてきました。周辺の宅地化が進んだ現在は熊野神社市民の森の一部として、土地所有者（代々の土地所有者</p>

	<p>と師岡熊野神社)の協力により市民のいこいの場として利用させていただいています。「いの池愛護会」は熊野神社及び氏子総代会の信任を得て、池をきれいに維持保全する活動の中心的な役割を担い、現代的にコモンズを蘇らせる活動を行っています。</p> <p>「ざりがにや昆虫、野草、水生植物等は団体が管理するイメージですか？」</p> <p>⇒いの池愛護会が日常的にそれらを直接管理しているわけではなく、いの池と周辺の自然な環境を再生し生態系を維持保全するための活動を行っています。</p> <p>「市民の物ですか？」</p> <p>⇒特定の者の所有物ということではなく、地域のコモンズとして皆で生態系を護っているという認識です。</p> <p>「周知して管理を考えている「禁止事項」があれば教えてください」</p> <p>⇒市民の森の利用マナーの掲示板が池の周囲3か所あり、以下の記述があります。</p> <p>「生き物を持ち込まない、持ち帰らない」</p> <p>⇒いの池愛護会では活動参加者に次の内容を周知しています。</p> <p>生態系のバランスをこわさないよう、外来生物法で指定されている「アカミミガメ」「アメリカザリガニ」を</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(最期まで飼えないなら)持ち帰らない ・飼うなら最期まで大切に飼う ・池や川に逃がさない <p>また、池に来る鴨などへの積極的なエサやりは近隣のお宅への糞害のクレームもありご遠慮いただいています。</p>
<p>④ 大がかりな工事は業者が行うことになるかと思えます。その他の整備に携わる項目に、「会員2人/7日・会員</p>	<p>① 水辺と池周辺の植栽</p> <p>② 掲示板の組立設置</p> <p>③ 太陽光発電の組立・設置</p>

<p>3人/3日」等、人数が書かれています が、述べ8名の会員は同じ方が重複 して担当されていますか？その場 合、地域住民や他のメンバーはどの ような形で整備に関わりますか？</p>	<p>④石積護岸の修復 について、電気工事、土木・機械工作、設備 工事を得意とする会員が主に行うことにな り、重複しての担当となります。(会員や行事 参加者の中には特技・技術・経験などを有す る方々がいます。今回予定している方々も作 業検討会や作業後の懇親会、作業合間の雑談 で自分だったらこうする、こうしたいとの意 見から担当してもらうこととしており、押し 付けではなく話し合いの結果によるもので す。)</p> <p>検討会・懇親会等の場でそれぞれの方々の できること、やりたいことの意見を求めるな どにより、技能等に応じ作業に参加する人の 輪を広げてまいります。</p> <p>現時点では、水辺の植栽や石積護岸の小石 充填など整備内容から適切なものを選定し、 子ども達の参加を募り、大人と協働作業を経 験してもらうことを考えています。</p> <p>また、各整備事業の工事進捗状況や実施日 等については、かいぼり・清掃活動時や、SNS 等で、会員はもちろん、地元の方々にも適時 発信し、関心を高めてまいります。</p>
<p>肥後委員</p>	
<p>① 愛護会の活動理念や歴史の取りまと めと発信とは、具体的にどんなこと をする予定ですか？</p>	<p>かつては「いの池」を含む水路が農業用水 として管理・利用されていましたが、時代と ともに水源として利用されることもなくな り、土地の経済的な利用を目的に埋めよう という議論も行われました。愛護会は、そう した中で何とか保全・維持を自分たち地元の手 でやっていこうという有志4人により令和元 年に設立されました。その思いは設立趣意書 にまとめられています。</p> <p>まずは、有志4人を始め会の発足初期から 参加しているメンバーと次世代のメンバー</p>

	<p>が、共に活動する中で、その想いや経緯、これまでの進め方を実感し、聞き取り・取りまとめ・会員間での共有の場づくりを一層進め、その内容を掲示板等広報媒体に掲載することを考えています。</p>
<p>② 上記と重なりますが、将来像のデザインと共有とは、誰に向けて何をするイメージですか？</p>	<p>新たなメンバーが加わる中で、新たなアイデアも生まれてはいますが、各メンバーが会の設立趣旨を理解し、これまでの活動の歴史の上に活動を続けていくことが大切と考えています。このため、まずは、メンバー間で設立趣旨や歴史を踏まえた上で、どのような活動をしていきたいか、その活動によって何を目指すのかを議論し、共有していきたいと考えています。</p> <p>まち普請事業の応募を通じて、実際にこうした議論を行い、メンバーの思いを文字や絵にすることにつながっています。</p> <p>こうしたことも行いながら、更に地域に対する発信を行い、理解を広げていきたいと考えています。</p>
<p>松村委員</p>	
<p>① 「いの池を護るとはどういうことか？」に関して、地域の方々にとっての意味や意義はどのような意見が挙がりましたか？</p>	<p>11月9日の意見交換では、参加者の想いとして次のような意見が挙がりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども達に「なっかしい」と思い出せる経験をつくる（愛着をもってもらう）。 ・生き物が生きていて、人が生活していて、憩い、癒しになる。命に触れ合える場所。 ・地元の町に池があることがいい。人が集まってくる場所であって欲しい。 ・いの池が生活の一部であって欲しい。 ・まだ限定されたメンバーが中心だが、人のつながり（人の循環）がもっと広く、世代を越えて生み出されるといい。 ・人が集まる場所だというみんなの共通理解が生まれる（醸成される）とよい。 ・いろいろな人がつないでくれている／参加

	<p>してくれる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・以前は暗くて怖いイメージだったが、「池で色々やっているよね」「いの池があるといいよね」と子ども達が思えるようになってほしい。 ・池に通りにかかる人が楽しくなるように。敷地がきれいなだけでも人は集まる。 <p>活動内容を企画・準備する側が、その活動を一緒に行った参加者を交えて活動の振り返りのための話し合いを行うことで、こうした「思い」だけでなく、今後のアクションにつながる「アイデア」も引き出されました。</p>
<p>② 地域資源の循環は、どこからどこへ、どのような資源がめぐっていくのですか？その循環システムを再生させる目的は何ですか？</p>	<p>水と土の循環があると考えています。</p> <p>【水】森に降った雨は土に浸透し、いの池に流れ込みます。神社周辺の湧き水は時代とともにあまり見られなくなってしまいましたが、神社境内で汲み上げた地下水のオーバーフロー水等をまち普請事業によって池に導水することで、地下水を循環させることができ、また池の水の循環を作ることができます。</p> <p>【土】市民の森で育った木々からの落ち葉の一部が池に流れ込み、堆積し泥になります。池のかい掘りによってその泥を森に還し、森の土の栄養となります。一部は近隣の畑で肥料として利用されます。</p> <p>水が水脈に沿って巡り、土が豊かさを回復していく中で、生命もまたその生きる力を回復していきます。かつてはいの池を中心に、種の棲み分けと種の相互依存による生命圏があったと聞いています。私たちは愛護会の活動を通してその生命圏がまだまだここにはあるとの実感を得てきました。</p> <p>それをかつてと同じように回復させること</p>

はできないとしても、こうした自然の循環の輪に私たちもその一部として参画し太くすることで、いの池やその周辺地域を美しく維持・保全し、池に生きる生物や池に集まる生物の多様化、豊かな自然の再生につなげていけるとの手応えを得ています。この手応えを手がかりに、この自然の循環の輪を再生し維持していきたいと考えています。そしてその活動を通じて、子ども達が自分のふるさとに愛着と誇りを持てるようになると考えています。

環境省は、地域資源を活用して環境・経済・社会を良くしていく事業（ローカル SDGs 事業）を生み出し続けることで地域課題を解決し続け、自立した地域をつくとともに、地域の個性を活かして地域同士が支え合うネットワークを形成する「自立・分散型社会」を示す考え方として「地域循環共生圏」という概念を打ち出しています。その際に、私たちの暮らしは森・里・川・海のつながりからもたらされる自然資源が活用できる範疇でのみ成り立つため、それらを持続可能な形で活用していくとともに、自然環境を維持・回復していくことが前提となると謳っており、愛護会の活動はこれを実践することにつながります。

（「環境省ローカル SDGs」ホームページ）

<https://chiiki.junkan.env.go.jp/shiru/#a-shiru-about>

③ かい掘の参加した人が愛護会に入会するケースは、1年に何人くらいいますか？

入会申込は、①かいぼり・清掃等の行事参加時の申込②SNS・池横の掲示板等をみての申込③会員を介しての申込などがあり、かいぼり参加に特定して捉えることは難しいです。

年間の新規会員数の推移は、令和4年：7名、令和5年：9名、令和6年（11月末現在）6名となっています。

なお、会員増加は、役員の若返りや女性の

視点を入れるなど人のつながりを広くすることにより加入会員世代を拡大して、多様な活動内容に繋がるアイデアを引き出すと共に楽しい「いの池」愛護会活動に発展させることにより図っていきます。

会員の増加も大切ですが、会費を払って会員になる方々だけでなく「いの池」を大事に思ってくれる地域の方々と一緒に活動することが大事と考えています。

ヨコハマ市民まち普請事業

第2次提案書

- 注1) 2号様式はページを増やさず、必ず3ページ以内でまとめてください。
 注2) 2号様式は市民に公開しますので、個人が特定できる情報は記入しないでください。
 注3) 添付資料は計画図(位置図・平面図・完成予想図各A3判1ページ、その他必要に応じて配置図・断面図・立面図等)、想定整備費用内訳書(第3号様式)、協議・説明状況報告書(第4-1～3号様式)、1次コンテスト以降の活動内容(任意様式A4判1ページ)、その他資料(必要に応じてA3判2ページまで)

提案グループ名 (25字以内)	あおぞら広場をつくる会
整備場所 (町名又は丁目まで記入)	金沢区 谷津町
提案名 (25字以内)	あおぞら広場
助成金申請予定額	500万円
整備する施設 (具体的な整備内容※1を工夫した点※2にも触れて記入してください) ※1施設の全体像とともに整備助成金の対象箇所を明記してください ※2住民等が持つ発想、方法などを生かしたアイデアやユニークさ及びデザインへの配慮	<p>地域連携に日々取り組むあおぞら谷津保育園での子どもたちの活動が垣間見え、地域の方々が集い、人々の出会いが日常的に生まれるような広場を提案します。具体的な提案の内容は以下の通りです。</p> <p>1) 誰もが立ち寄りやすい場をつくる「ふらっとパーゴラ」 あおぞら広場の目印であると同時に地域のシンボルともなるパーゴラを設けます。また隣の谷津染井公園を普段利用する住民の方々からは公園に木陰が少ないという声があり、そうした人々の休憩場所の日よけにもなります。</p> <p>2) 道行く人々を自然と招く「みんなのベンチ」 園庭側から道路の方に伸びるベンチを設け、<u>道ゆく人々があおぞら広場に気軽にアプローチできる雰囲気</u>を生みます。ベンチ下の収納には非常時の備品などを収納することができ、<u>備蓄倉庫として利用</u>できます。</p> <p>3) 内外で視線と声が交わる「おとな子どもバーカウンター」 内側からは保育園の子どもたちが、外側からは地域の方が利用でき、<u>両者がそこで交流できるカウンター</u>です。窓の扉やカウンターの高さ等の細部の設計は「遊具の安全に関する規準」等を参照し、安全性に配慮します。</p> <p>4) 広場の存在をわかりやすく示す「ここだよ広場舗装」 駐車場部分を含む広場の地面の仕上げの素材を周りと異なるものに変えることで、<u>広場の領域をわかりやすく示します。</u></p> <p>5) セキュリティと広場開放を両立する「広場変身ゲート」 広場の出入り口の部分に<u>広場の開放と閉鎖のモードを切り替える大きな門</u>を設けます。開放のモードの時にはあおぞら広場を自由に利用でき、夜間等の閉鎖モード時には現在の保育園と同等のセキュリティを担保します。</p>
施設の活用・活動内容 (具体的な活動内容を工夫した点にも触れて記入してください)	<p>近隣の方々がお茶を飲んだり、軽食を食べたりしながら、①園庭の子どもたちとカウンター越しにお話をしたりしながらゆっくりと過ごせる公園のような空間を目指します。またそうしたゆるやかな広場の活用とともに、七夕飾りをみんなで作ってパーゴラを彩るWSや地域のJAさんとの協働で行う食育ミニ講義等、②季節の行事や日々の地域活動など住民主体の広場の活用を想定しています。(活用の具体例は「その他資料」を参照) 一方でそうした活動主体は簡単に集まるものではなく、上手く広場を活用する誰かの姿を見</p>

<p>※第1次提案書より具体的に記入してください</p>	<p>て「私もやってみたい」と思う人が増え、そうした人々との繋がりを拡げていくような活動の進め方が必要だと考えています。そこで活動の初期は特に、③保育園をはじめとする私達の提案グループが率先して広場活用の企画を実施する他、保育園による地域と交流する園外活動を積極的に実施し、地域の方々の目に見える形で広場を活用していきたいと思います。</p>
<p>提案の背景 (なぜ提案をするのか、地域のニーズや課題、生かしたい地域の魅力等に触れて説明してください) ※第1次提案書から変更した点がある場合はその理由も記入してください</p>	<p>本提案の代表者が園長を務めるあおぞら谷津保育園では、「あおぞらふれあいまつり in 谷津」をはじめとする周辺地域の団体や住民らと連携しながら「子育て支援と地域交流」を目指した様々な取り組みを展開してきました。こうした活動を経て、少子化で子どもと関わる機会が少なくなっている地域社会において、子育てという営みを“様々な世代の人々が関わりあって進めていくこと”として捉えることが、地域のつながりを生み出すきっかけとなるとともに、多くの子どもが日々の時間を過ごしている保育園という場所には地域を元気づける大きなポテンシャルがあることを今強く感じています。一方でイベントなどの特別な日だけでなく、子どもたちと地域の方々、また地域の方々同士の触れ合いが日常的な風景となることの重要性も大きく、「あまり話したことはないけれども、よく見かけるよね。」というような“顔の見える関係性”の広がりや、地域の防犯強化や災害時などの共助のネットワークの構築、日常生活における孤独感の解消等にもつながり、人々の暮らしをより安心で豊かなものへと変えてくれるように思えます。</p>
<p>整備プロセス (スケジュール、つくるときに連携する仲間の役割や活用する地域資源注4)、費用削減の工夫に触れて説明してください)</p>	<p>これまでに保育園の子どもたちから地域の高齢者まで、ワークショップというかたちで多くの方々との対話を重ねてきましたが、そうした中で得られた様々な意見やアイデアを反映させて基本計画をまとめました。2次コンテスト後の2月～4月には実施設計を進め、その後工事に着手します。整備においては地域の方々との繋がりを活かし、①各所の塗装作業や②ベンチの作成、③地面の舗装等、可能なものはDIYによって作ります。制作物の材料として近隣の方々のご自宅にある不用品などを頂いたり、園庭にあるピザ釜のレンガを再利用したり、アップサイクルによる地域や園の記憶の継承を狙うと同時に工事費用の削減に努めます。また園児ともこの“つくる”プロセスを共有し、制作活動の場を人々の繋がりを生む機会として活かします。</p>
<p>維持管理・運営計画及びその実施方法 (維持管理・運営するときに連携する仲間の役割や活用する地域資源注4)に触れて説明してください)</p>	<p>1) あおぞら広場運営委員会の立ち上げと持続的な活動実施体制 本提案グループを中心としたメンバーで運営委員会を立ち上げます。広場空間のメンテナンスや運営委員会による自主企画、地域住民の方々主催するイベント等を調整・検討する定例会を、月1回を目安に実施します。</p> <p>2) 保育園の既存の地域連携活動・チームとの連携 保育園内で専任保育士2名が携わる地域子育て支援センターとの連携により安定的な運営体制をとります。月に1回行われている「地域子育て支援グループ」の園内研究会の中であおぞら広場を議題として設け、子育て支援センターの利用者や地域のボランティアの方々にも運営に関わってもらいます。また保育園では園舎の大掃除や手入れを地域の方々にご協力いただき、その延長としてあおぞら広場の定期的なメンテナンスを実施します。</p> <p>3) あおぞら広場が地域の方々のための場所であることの発信 地域の方々があおぞら広場の運営や催しの実施に関わりたいと思えるように、あおぞら広場が地域の方々のための場所であることを日々様々なメディアで発信します。広場空間にもその旨を明示するインフォメーションボード等を設置するほか、広場の使い方の幅や可能性がわかったり、発想が拡がったりする子どもも大人もわかりやすいサインを設けます。</p>

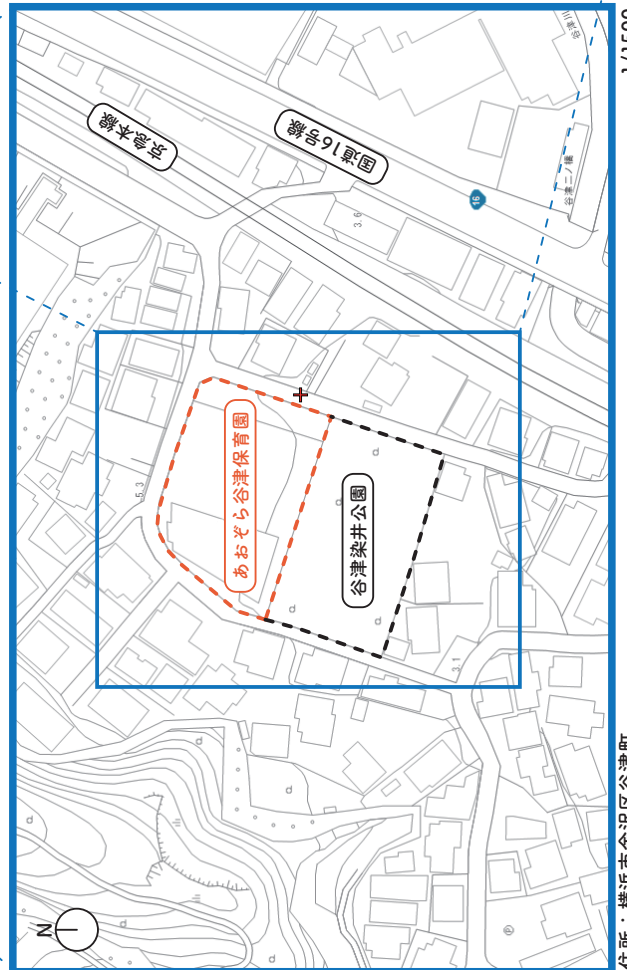
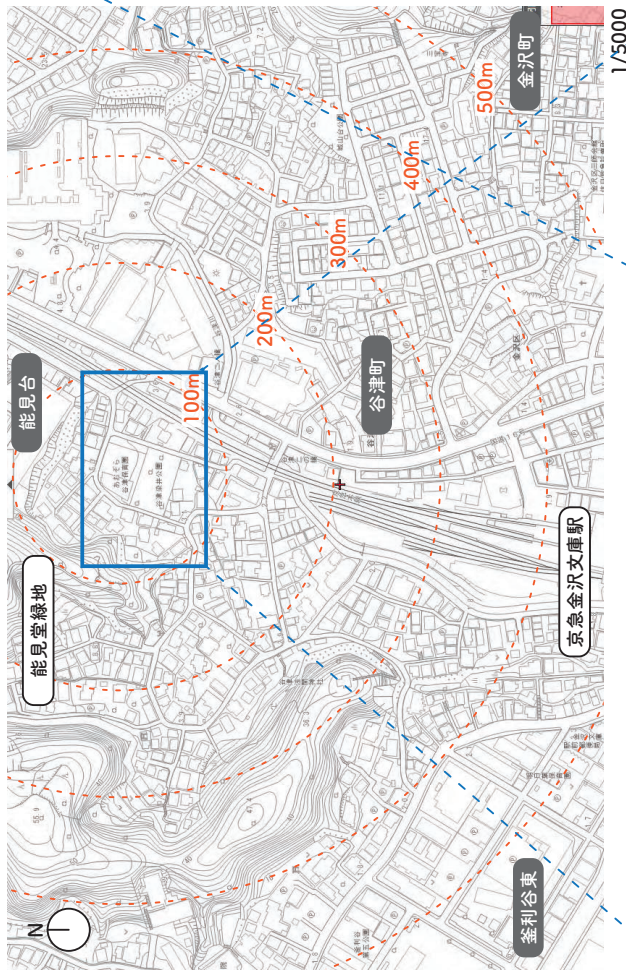
注4)「地域資源」とは、次のようなものを想定しています。

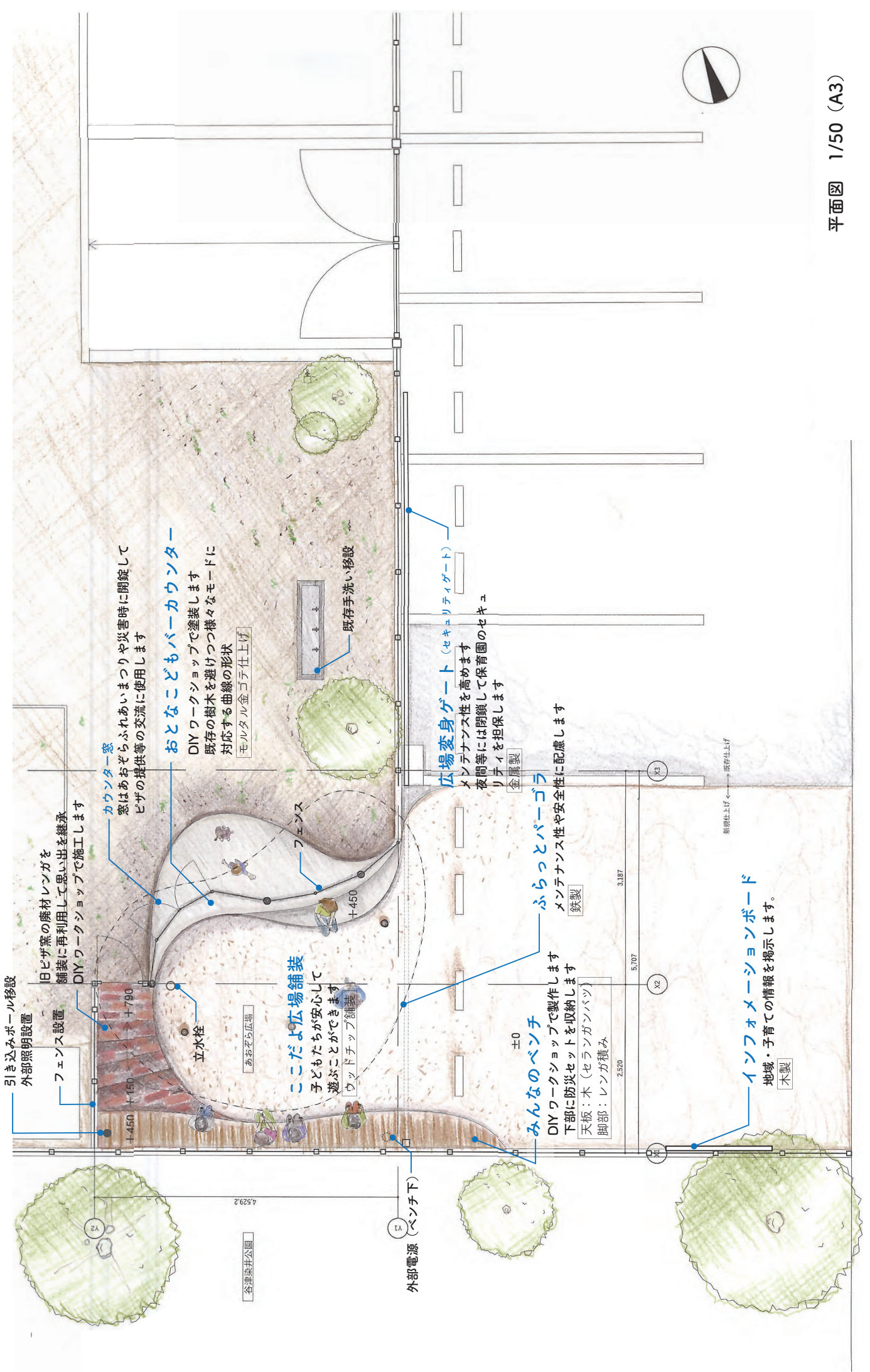
- 「ヒト」の例 ・地域のPTAから協力を受けられそう。 ・地域に設計の専門家がいる。
- 「モノ」の例 ・整備に必要な材料を安く入手できそう。 ・整備に必要な建設機械を安く借りられそう。
- 「カネ」の例 ・自治会町内会から資金的な支援を受けられそう。 ・バザーなどで資金を集められそう。

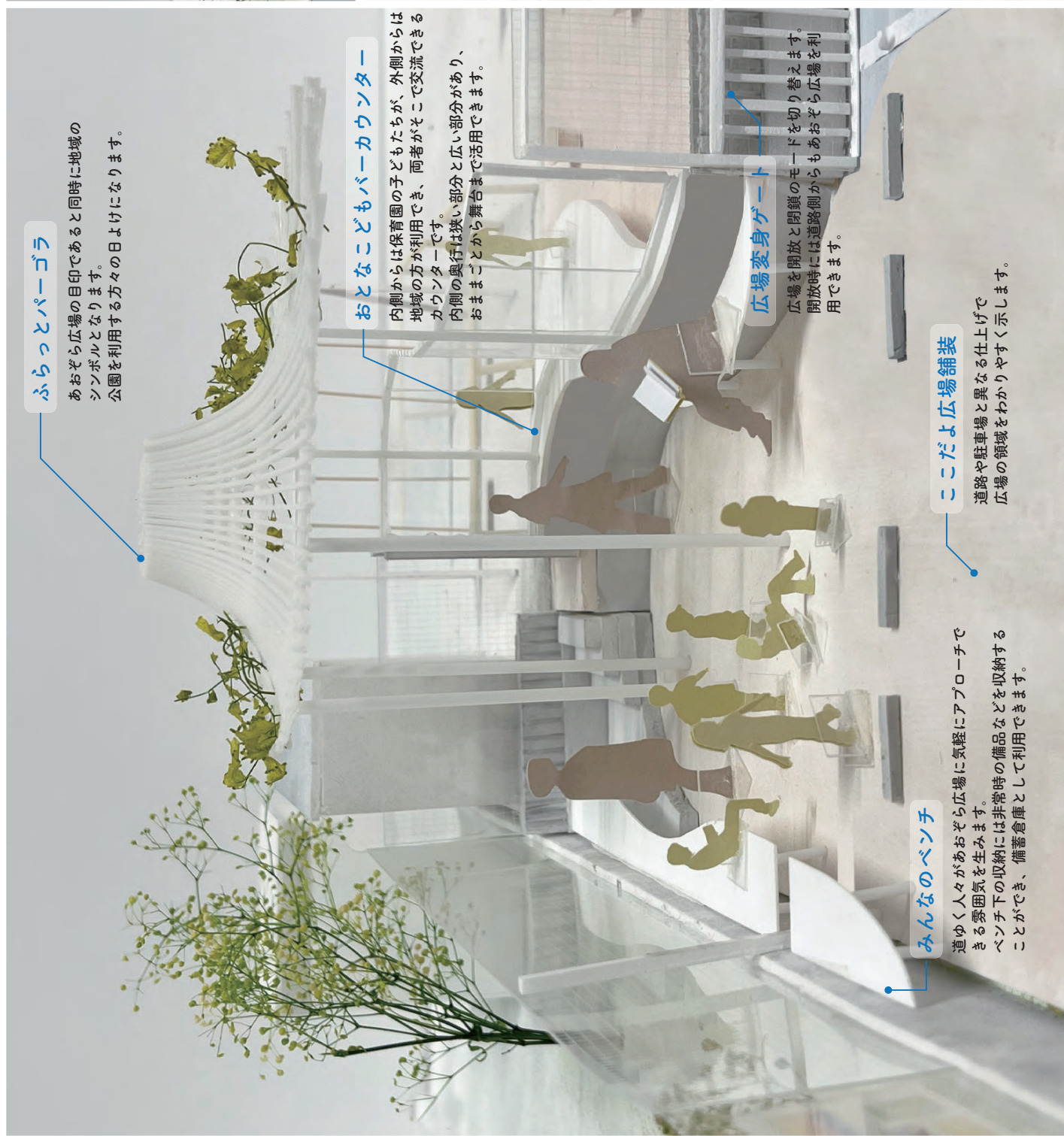
<p>1次コンテスト以降の活動内容 ※詳細については添付資料（任意様式）に記入してください</p>	<p>保育園の保護者や地域住民の方々を対象とした「第2回あおぞら広場を考えるワークショップ」(9/7)や、保育園の職員の方々と子どもの安全性や広場を活用する際の利便性など保育士の視点からみたあおぞら広場について議論するワークショップ(9/27)等を通して具体的な空間の整備内容についての検討を進めてきました。また保育園の子どもたちと一緒に粘土等を使って模型をつくりながら、広場での遊び方を考えるワークショップ(10/24)や「あおぞらふれあいまつりin谷津」において関係者らで考えた広場活用案リストを対象に来場者に「いいね」と思った活動や自分がやりたいと思った活動に投票をしてもらうワークショップを実施するなど、ハード整備だけでなく、そこで具体的にどのような活動ができるのか、という空間のソフト面についても議論を重ねてきました。また模型や図面等の紙面上だけで広場を考えるのではなく、10/24、31には隣の谷津染井公園で活動されている地域の方々にご協力を頂いて保育園の子どもたちとお茶を飲みながらお話をしてみる社会実験を行い、あおぞら広場で思い描く子どもと地域の方の交流の姿のリアリティを確認できました。</p>
<p>関係者の合意・調整状況 (地域《地権者、整備場所の近隣住民、地域住民、自治会町内会等》での合意形成や関係機関との調整結果の概要について説明してください)</p>	<p>9/2(月)に近隣の方々のご自宅を訪問した他、10/4(金)には谷津町内会役員会に出席し、本提案の説明を行った上で多くの方々から賛同のご意見をいただくとともに、今後の地域活動での連携強化(特に災害時の物資支援や避難場所の確保等)について相互に確認し合いました。10/27(日)には金沢シーサイドFMの番組「SEA SIDE LIVE SHOW」に出演し、本提案について紹介しました。また11/17(日)にあおぞら谷津保育園と谷津染井公園で実施された「あおぞらふれあいまつりin谷津」において、特設ステージ上で告知を行い、数千人の来場者に向けて本提案の紹介・説明を行いました。また本提案対象の地権者・管理部局であるこども青年局とは提案企画や具体的な設計の内容を共有し、協議・調整を進めてきました。</p>
<p>その他提案について特にPRしたい点を記入してください</p>	<p>1) これまでに保育園が築いてきた地域連携ネットワークの活用 あおぞらふれあいまつりin谷津の実施においては保育園職員や保護者だけでなく、地域の方々にも入っていただき実行委員会を立ち上げていますが、そうした地域連携の既存ネットワークを活用しながら、あおぞら広場の管理・運営を主導する運営委員会を立ち上げます。</p> <p>2) 谷津染井公園の延長としての役割 対象敷地に隣接する谷津染井公園は多くの地域の方々に利用されていますが、木陰やベンチ等休憩できるスペースが少なく、公園の延長の空間としてあおぞら広場を位置付けます。</p> <p>3) 災害等の非常時の避難・支援活動拠点としての活用 金沢消防署や消防団とも連携し、一時避難場所である谷津染井公園に隣接する防災本部として活用できます。</p>
<p>目指す地域の将来像 (施設が整備されることにより地域がどのように良くなるのか、地域に及ぼすインパクトについて説明してください)</p>	<p>“地域で子どもを育てる”という認識が地域で当たり前のものとなり、その一つの共通目標に向けた日々の活動や行事等を通して普段触れる機会の少ない大人と子ども、そして大人同士が相互につながり合い、互いの顔の見えるゆるやかで大らかな関係性が地域全体に広がる将来像を描いています。またそうしてできた地域のネットワークの中で、少しでも多くの人が地域のために“何かをしたい”という想いを抱きながらあおぞら広場を活用してくれるようになり、その生き生きとした活動の風景が周辺地域の日常の一部をかたちづくり、より創造的で豊かな人々の暮らしが実現されることを目指します。</p>

記載内容について次の点を確認後、チェックボックスに✓を入れてください。

- 記載内容は真実であり、虚偽はありません。
- 記載内容に個人情報はありません。







ふらっとパーゴラ

あおぞら広場の目印であると同時に地域のシンボルとなります。
公園を利用する方々の日よけになります。

おとなこどもバーカウンター

内側からは保育園の子どもたちが、外側からは地域の方が利用でき、両者がそこで交流できるカウンターです。
内側の興行は狭い部分と広い部分があり、おままごとから舞台まで活用できます。

広場変身ゲート

広場を開放と閉鎖のモードを切り替えます。
開放時には道路側からもあおぞら広場を利用できます。

みんなのベンチ

道ゆく人々があおぞら広場に気軽にアプローチできる雰囲気を生みます。
ベンチ下の収納には非常時の備品などを収納することができます。
ことができ、備蓄倉庫として利用できます。

ここだよ広場舗装

道路や駐車場と異なる仕上がりで広場の領域をわかりやすく示します。



インフォメーションボード
地域や子育ての情報を発信する掲示板を道路からも目につく位置に設置します。

道路側鳥瞰



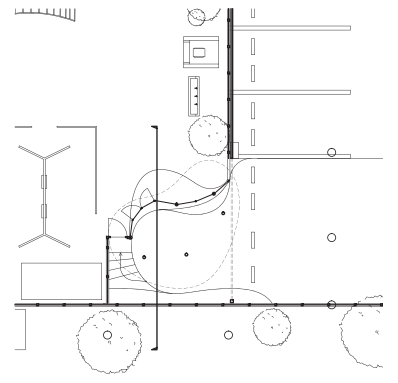
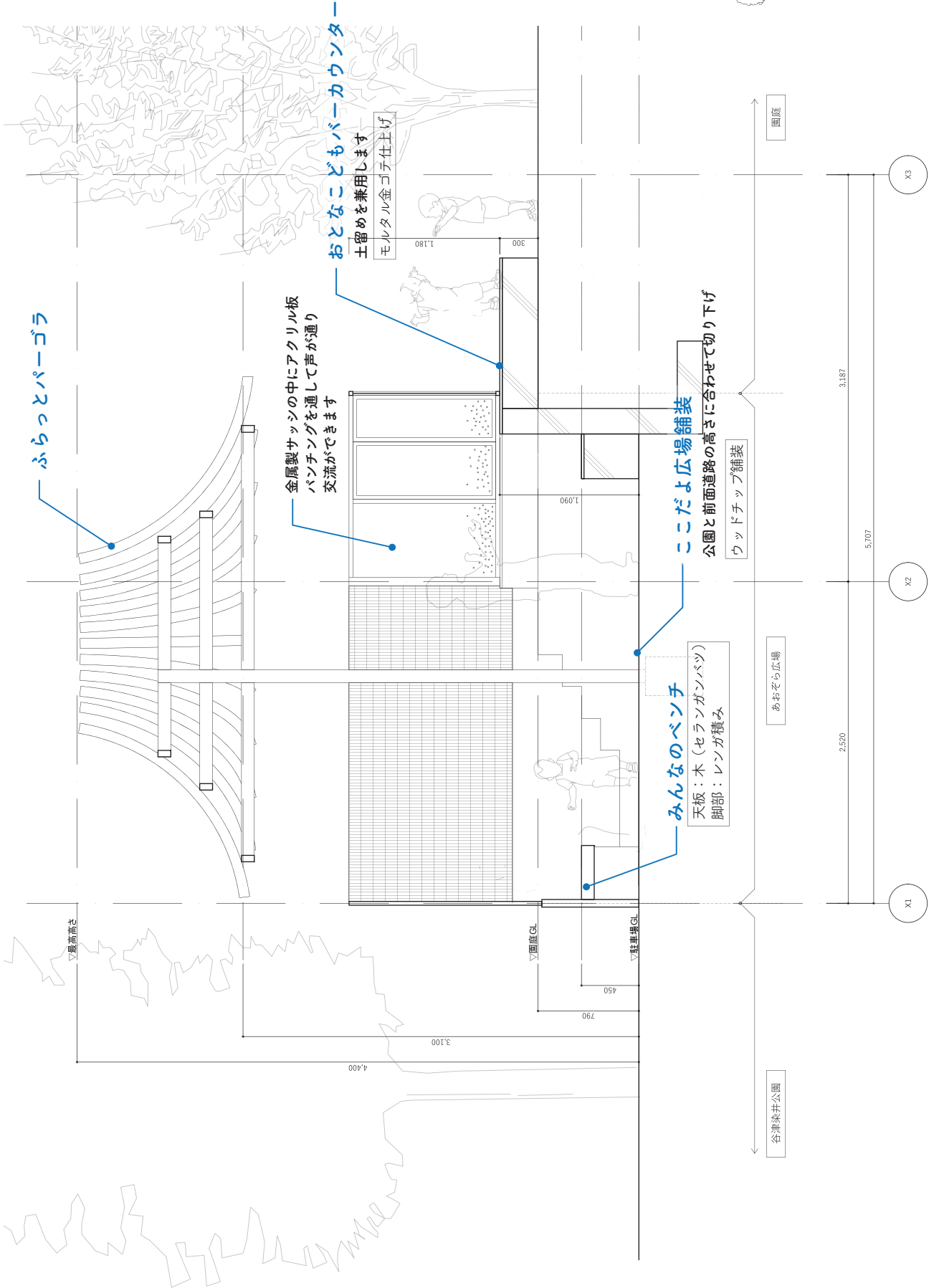
おとなこどもバーカウンター
カウンターは園庭側に膨らんでおり、子どもたちが乗って舞台のようにも使えます。

園庭側

ふらっとパーゴラ

みんなが集まる場所の目印として園庭側からも道路からも見えてやすいパーゴラを作ります

園庭側鳥瞰



断面図 1/50 (A3)

ヨコハマ市民まち普請事業

想定整備費用内訳書

※ 記入上の注意

- 「主な整備項目」「細目」欄の記入にあたっては、事務局と事前に十分調整してください。
- 「数量」欄については、やむを得ない場合を除き、「一式」と記入しないでください。
- 「地域住民等の参加」欄については、例えば地域が労力を負担する場合は、何人くらいが何日間くらい作業を行うかなど、できるかぎり具体的に記入してください。（見込みも含めて記入してください。）また、小中学校や子供会などが参加する場合は、その旨を明記してください。

主な整備項目	細目	数量	単価	計	地域住民等の参加 (費用又は労力の負担等)
解体工事	塀撤去、窯解体、植栽抜根等	1式		1,500,000	
仮設工事	パーゴラ組立足場	1式		500,000	
土工事	広場部分掘削等	15m ³	100,000	1,500,000	
基礎工事	土止め、鉄骨柱基礎等	1式		1,000,000	
鉄骨工事	パーゴラ（一部）	1式		2,500,000	
木工事	パーゴラ（一部）	1式		500,000	
外装工事	パーゴラ・ベンチ・バーカウンター等塗装	1式		500,000	ベンチ塗装の一部をDIYワークショップで子ども達や地域住民と共に行う。 30（人・時間*）
建具工事	カウンター窓、通用門、セキュリティゲート	1式		2,000,000	
家具工事	ベンチ、カウンター、インフォメーションボード等	1式		500,000	ベンチ製作の一部をDIYワークショップで子ども達や地域住民と共に行う。 18（人・時間*）
電気工事	外部照明、電源、引き込みポール移設	1式		300,000	
給排水工事	既存手洗い移設、立水洗設置	1式		300,000	
外構工事	広場舗装、フェンス設置	1式		700,000	広場舗装の一部をDIYワークショップで子ども達や地域住民と共に行う。

					30 (人・時間※)
諸経費	上記工事費×10%	1式		1,180,000	
設計料	実施設計、工事監理	1式		1,500,000	
構造設計料	パーゴラ、土止め	1式		500,000	
合 計				14,980,000	

※ 例えば2人で3時間かかる作業を $2 \times 3 = 6$ (人・時間) と表します。

9/2 近隣住民の方々への訪問・本提案の紹介と説明

9/7 第2回あおぞら広場を考えるワークショップ

3つの設計案を比較しながらあおぞら広場のアイデアを出しあいました。



第2回あおぞら広場を考えるWS



第2回あおぞら広場を考えるWS



第2回あおぞら広場を考えるWS

9/27 職員ワークショップ

広場の安全性や運用上の使い勝手等について職員を中心としたメンバーで話し合いました。

10/4 谷津町内会役員会での本提案の説明

10/24 子どもワークショップ

保育の時間に子どもたちと一緒に粘土等を使ってあおぞら広場をつくりました。

屋外テント社会実験①

対象敷地付近にテントとベンチを設置して、地域の方々と一緒にお茶会をしました。

10/27 金沢シーサイドFMに出演・告知

10/31 屋外テント社会実験②

あおぞらふれあいまつり in 谷津

11/17 あおぞら広場活用方法・アイデア投票WS

まつりの来場者の方々に広場の活用方法を示したパネルを見てもらい、「いいね」シールを投票してもらいました。

あおぞらふれあいまつり in 谷津

あおぞら広場活用方法・LEGO制作WS

上のアイデアに加えて、新たな広場の活用方法についてLEGOブロックを使って子どもたちと一緒に考えました。



子どもWS



職員WS



子どもWS



テント社会実験



子どもWSの
成果模型



テント社会実験



パネルに投票



ブロックで活用方法提案



広場活用方法投票&提案WS①



広場活用方法投票&提案WS②



広場活用方法投票&提案WS③

12/21 第3回あおぞら広場を考えるワークショップ(予定)

□ これまでのワークショップの成果と整備内容の変遷

7.5 Fri **第1回あおぞら広場を考えるWS**
あおぞら広場の構想を説明した後、模型を見ながら新たな意見やアイデアを出し合いました。保護者目線では子どもの安全面に関する意見が多くでました。



保護者の方々の意見

- 子ども達がカウンターに配置してある椅子に上ってジャンプしたり、柵を乗り越えたりしないように注意が必要である。
- 保育園の周りに自動販売機がないため、何か飲み物や自動販売機を設置したい。
- 車を運転する立場からすると駐車場側に入出口があるため、車のトラブールが発生する可能性が高いことから入出口を公園側に変更するのはダメなのか？

地域の方々の意見

- 情報ステーションを設置したい。
- 水道とカウンターを一体化したい。
- 使う人によって変化する様々な形のベンチがあるといい、使わないベンチはフェンスの下に収納して季節に応じて変化する広場にしてみたい。
- 引き戸の門をメッシュにして視線が通るようにしたい。
- 駐車場にある植栽部分を通路にした。
- パーゴラの上に植栽を構ませたい（果樹系とか）。



意見を基に透過性の高引き戸の門を設置

9.27 Fri **職員 WS**

整備案やあおぞら広場周辺の遊具などに対して、第2回ワークショップでの意見を踏まえながら園職員の方の目線で意見を出してもらい、話し合いました。



あおぞら広場の整備内容について

- 開閉できる窓の位置を変更する。
- 第2回ワークショップで出た広場のステーション意見を採用しカウンターと合体させる。
- カウンター下をメッシュにし、声を通るようにすることで園庭と地域側で会話できるようにする。
- 窓枠をカウンターの際に配置し、子どもが足をかけられないようにする。
- 通りがかかった人の目にはまらぬようものを設置する。
- 広場と駐車場の素材を統一する。
- ガーデニングできる場所を設け地域の人と育てる。

あおぞら広場周辺の植栽・遊具について

- プランコは2つなくす、位置変更はなし。
- プランコ機の倉庫は位置変更なし。
- 太鼓構はプランコに近づける。
- 移動する木と伐採する木を選定した。



C案のステーションと合体のぼりを立てる

10.24 Thu **子ども WS**

あおぞら谷津保育園の子どもたちにも、あおぞら広場に何が欲しいか、完成したらどんなことがやりたいかを粘土や画用紙を使って自由に工作してもらいました。



子どもたちの意見

- 友達とキノコシソーで遊びたい。
- みんなでソラマメを育てたい！
- 滑り台が欲しい。
- トランポリンが欲しい。
- 映画をみるスクリーンがあったら良い。
- アイス屋さんをしたい！
- 子どもたちが作った作品をステージに展示する。
- 地域のおじいちゃんやが体験できるイスが欲しい。
- ごみを捨てる場所が欲しい。
- バスケットボールやフープで遊びたい。
- 1人用の小さい椅子が欲しい。

子どもたちの作品紹介



11.17 Sun **あおぞらふれあいまつり in 谷津**

活用方法・アイデア投票 WS
あおぞら広場での活動風景をスケッチで描いた合計33枚のパネルに「いいね！シール」と「私やります！シール」を貼り投票してもらいました。



活用方法・LEGO 制作 WS

あおぞら広場でなににしたい？というテーマで子どもたちがレゴを作成してもらいました。親御さんや学生と話しながら考え合計43個の作品が作成されました。



活動 LEGO の作品紹介



作品名 : アスレチック
活動内容 : 階段を使用したアスレチック

□ 広場活用提案・アイデア集

運 あおぞら広場運営委員会が主体となった実施する活動

保 あおぞら谷津保育園が子どもと保護者と連携して実施する活動

地 地域の方から「やってみたい」という声が既に挙がっている活動

ア 実施主体はまだ明確ではないが可能性のあるアイデア段階の活動

おはなし広場 ア

地域の方が保育園児や地域の子どもたちに読み聞かせを行う

シェア菜園 地

保育園児と地域の方がプランター等を使って一緒に植物・作物を育てる

あおぞらミュージアム 運

地域の方が展示や体験したいものを持ち寄り展示会を開く

みんなの願い事を書こう! 地

七夕の際に保育園児と地域の方々の願い事を短冊に書いて笹飾りをする

あおぞらひな祭り 地

紙などで簡単に作れる、吊るし雛を地域の方々と一緒に作る活動

学びなおしあおぞら教室 運

子どもの体験や平和、包括的性教育等、園が取り組んできたテーマを中心に地域の方々にミニ講座を開催する

給食をみんなで食べてみよう! 保

保育園の給食を地域の方々みんなで食べる

ピザ提供カウンター 保

あおぞらふれあいまつりの際にピザの提供場所として利用する

お野菜教室 地

保育園と連携しているJAさんに野菜や食育についての話を地域の方々に合わせて行うイベント

地域の先生プチ講座 ア

地域の人の得意分野を題材にミニ講座を開催する

あおぞら広場の看板づくり 運

地域の人や子どもたちで地域のあおぞら広場の看板を作成し設置する

おみせやさんごっこ 保

保育園での体験や地域の方々と一緒に地域の親子とごっこを行う

クリスマスオナーナメントづくり ア

ツリーに飾るオナーナメントをみんなで作りツリーを飾る

レモンでクッキング 地

園内のレモンを使ってクッキング、試食会

親子ランチ ア

園舎・園庭開放に遊びにきた親子がお弁当等を持ち寄りランチをする

小学校で出会う前に 地

夏休みや冬休みに幼稚園に通っている地域の子たちと一緒に遊ぶ

流しそうめん 地

地域のひとと子どもで流しそうめんを作り、一緒に食べる

あつまれキッチンカー ア

お休みの日に地域のキッチンカーに来てもらいあおぞら広場で食べて交流する

昔遊び 地

地域の人に昔の遊び(羽子板など)を教えてもらい一緒に遊ぶ

あおぞら広場を考える会 運

利用者の声を聞くために、完成後も気軽に広場のあり方について意見交換できる交流の場を設ける

あおぞら掲示板 保

掲示板に園児の作品やクラスで人気の絵本、遊びを紹介する

あおぞら広場 地

谷津井公園

あおぞら広場 地

園庭 在園児 地域親子* 地域住民
門扉 在園児 地域親子* 地域住民
広場変身ゲート 閉
駐車場 駐車しない

あおぞら子育てサロン 運

育児講座や悩み聞かせを通じて、地域の方との交流を深める

鯉のぼりづくり ア

みんなで作ってあおぞら広場に地域の鯉のぼりをつける

親子フリーマーケット 地

地域の方とのフリーマーケットを開催し、お古の洋服やおもちゃ、子育てグッズ等を売る

あおぞら広場 地

谷津井公園

あおぞら広場 地

園庭 在園児 地域親子* 地域住民
門扉 在園児 地域親子* 地域住民
広場変身ゲート 閉
駐車場 駐車しない

※「地域親子」の考え方
園では「わくわくあおぞらっこ」として地域の親子等を対象とした「地域子育て支援事業」に取り組んでいます。(今年度の利用者登録数:230組)今後、親子以外の方も登録により利用できるようにする予定です。

□ あおぞら広場の開放時間・門の開閉によるモードの切り替え

利用時間帯	7:00-9:30	9:30-12:00	12:00-15:00	15:00-
園庭	在園児 ○ 地域親子* ×	在園児 ○ 地域親子* ×	在園児 ○ 地域親子* ×	在園児 ○ 地域親子* ×
門扉	在園児 ○ 地域親子* ×	在園児 ○ 地域親子* ×	在園児 ○ 地域親子* ×	在園児 ○ 地域親子* ×
あおぞら広場	在園児 ○ 地域親子* ×	在園児 ○ 地域親子* ×	在園児 ○ 地域親子* ×	在園児 ○ 地域親子* ×
広場変身ゲート	閉	閉	閉	閉
駐車場	駐車可	駐車しない	駐車可	駐車可

「登園」 ↑ 広場開放 ↑ or 閉 ↓ 「降園」

運営開始初期は平日の午前を開放時間とし、状況を見ながら午後(最長~15時)のあおぞら広場の開放を調整・検討します。

2次コンテスト事前質問集

【提案名グループ名】 あおぞら広場をつくる会	
事前質問	回答欄
朝比奈委員	
① ゲートの可動方法（ルール？）や管理方法など具体的に教えてください。	門の可動方法としては門自体が自立し、地面に設置したレールの上をスライドできる方式（小学校の校門等で使用されるようなもの）を想定しています。門の開閉管理は提出資料記載の開放時間に従い、園の園庭開放を管理している地域子育て支援センターの職員が行います。
② まち普請以外の資金の調達方法を教えてください。	地域の方々や園の関係者等からの寄付金を募り、それでも不足する場合には園の整備積立金より支出します。
植松委員	
① 子ども達が遊んでいる様子をただ外から眺めている、というだけでなく、具体的交流に結びつける要素・仕掛けについて教えてください。	日常的に保育士や地域子育て支援センターの職員が園庭で活動しているので、随時広場の利用者の方々にお声掛けをし、会話を通して子どもと地域をつなぐ役割を果たしていきたいと考えています。具体的な活用方法の例については提案書の「その他資料②」に記載していますが、例えば活用アイデアの「おはなし広場」は現在も園舎で月に1回開催している「お話会」（お話の先生が季節を感じる絵本の読み聞かせや手遊びなどをしてくださり地域の親子が楽しく過ごす会）をあおぞら広場に舞台を移して実施することを検討しています。このようにまずは提案グループや園が主導してイベントなどを開催することで広場の利用イメージを掴んでもらい、利用者の輪を広げていきたい（例えば上記の「お話

	会」であれば先生役の地域の方や話を聞きに来られる地域親子から知り合いの方々を誘っていただく等)と考えています。
川原委員	
質問なし	
後藤委員	
① 広場と園庭の境界部分のフェンスは開閉しないのでしょうか？(声は通る、と資料に記載がありますが...)	広場と園庭の境界部分を窓としてつくるか、フェンスとしてつくるか、については現在も検討を続けています。開閉の管理のしやすさや子どもの利用時の安全性(窓が多いとその分指詰めリスクが大きくなる等)に鑑み、現段階での設計では一部を開閉可能な窓、その他を開閉が不可能なフェンスとして計画しています。一方で特にフェンスについてはそのデザインのあり方によっては広場と園庭の強い心理的な境界を生み出すことになってしまうので、ポリカーボネートを使用して視線は通るようにする工夫のほか、そこに微細な穴を設けて窓やフェンス越しの会話をしやすくする仕掛けなど、細部の設計の検討を続けています。(12/21に実施した第3回「あおぞら広場を考えるワークショップ」ではその穴の配置や大きさについて、合板で作った実物大のモックアップを用いてみんなで検討し、穴が小さすぎると不自然な意匠となることや、指や手のサイズに近い中途半端な大きさだと指や手が抜けなくなる可能性があることなどを発見・確認しました。)



様々な大きさの穴があいたパネルで検討

また窓については、園で開催されるイベント時や災害などの非常時には開けて利用することを想定しています。日常時には、保育士や地域子育て支援センターの職員らの見守りによる子どもの安全性を確保した上で極力オープンな広場と園庭の関係性を構築したいと考えていますが、これまでに審査員の方々や市の方々からもたくさんのご意見やアドバイスを頂く中で窓を開けることの安全性やセキュリティについての注意すべき点も明らかになり、検討を進めるほど、それらが簡単には両立しえないトレードオフの関係にあることの認識も深まってきました。現段階では運営開始時は窓を閉めておくことをベースとしつつ、多くの方々からいただいたご意見や運営の中でのフィードバックをもとに開閉の仕方について広場を使う段階においても継続的に検討していきたいと考えています。

杉崎委員

質問なし

鳥海委員

① パーゴラが活躍し、ひろばに木陰をもたらす時間帯は何時から何時頃の計算でしょうか。

開放開始時間として検討している 9:30 から、最長 15:00 までの日中の時間帯は広場に日陰ができます。朝方は東側（平面図下側）からの浅い角度で広場の一部に直接日

	<p>が差し込みますが、日中の強い日差しはパーゴラが効果的に遮光してくれます。またパーゴラには植物を巻き付かせることを想定しているので、遮光性能はさらに高くなっていくと考えています。</p>
<p>② 面白いアイデアですが、地域住民の利用できるパブリックスペースとしての時間が短いのが気になります。短い時間の中で有効的に活用するための仕掛けはありますか？</p>	<p>開放時間については、園児や地域の様子をみながら検討していきます。子どもにとって、急激な変化にならないよう、少しずつ様子を見ながら検討し、広げていくことを大切にしているからです。</p> <p>人と人をつなぐプロの地域子育て支援センターの職員が様子をみながら、子どもや地域の方々との会話の中から、あそびやイベントの提案へ広げていきたいと思っています。</p> <p>現在も、あおぞら谷津保育園では地域子育て支援センターを運営していますが、短い時間でも、専任保育士が意識的に関わっていくことで、たくさんの地域とのつながりが生まれていくことを強く実感しています。</p> <p>一方で運営側と関係性が構築できている他の団体や個人の方々によるあおぞら広場の利用は予約制度等をとることによって必ずしも開放時間内に限られるものではないと考えています。相談があった際には、運営側では開放しない休日等の活用を検討していきます。</p>
<p>③ 地域の日常的な休憩や公園の木陰代わりとしての機能を果たすには短いですが、園児・保護者の心的負担等を考えると、保育園の一部開放としてはいい時間設定だとも思います。一気に15時まで開放にせず、段階を踏んで開放するにあたり時間を長くすることで懸念されていることはどんなことですか？</p>	<p>最も大きな懸念としては運営側の負担増とその結果生じる可能性のある持続的な運営の困難さが挙げられます。あおぞら広場は保育園の園庭の片隅にあり、安全に管理していく責任の担い手として園が中心的な役割を担うべきと考えていますので、園運営の負担にならない時間で開放していきたいと思っています。</p> <p>またすぐに長時間開放することは子ども</p>

	<p>の環境を急激に変えることになり、子どもの心理的影響への懸念が生じると考えています。園では子どもの心理的影響を考慮し、子どもの生活に新しいこと取り入れていく時には短い時間から少しずつ慣れていくなど、子どもの様子を見ながら環境を整えていくことを大切にしています。</p> <p>以上のことからまずは9時半から12時30分で開放していき、子どもの様子や地域の実態にあわせながら、柔軟に変化させていく運営をしていきたいと思っています。今までも地域子育て支援センターはそうした考えで、時間帯を何度も検討し、その時々の実態や要求にあった運営を進めてきたからこそ園児にも負担なく、持続的な運営が可能となっており、その結果たくさんの利用者に喜んでいただいています。</p>
<p>④ 状況をみながら開放を9時半から15時まで開放した場合、駐車場の利用はできなくなりますがその場合でも永続的な開放は可能ですか？調整・検討した結果さらに9時半～12時までの開放時間が短くなることもありますか？</p>	<p>あおぞら広場の前の駐車場は、現在も9時から15時までには使用していないため、その時間が開放時間として設定された場合も問題はありません。</p> <p>運営開始時の開放時間として考えている9時半～12時の時間設定を更に短く設定する可能性はないと考えています。</p>
<p>⑤ 写真不可、〇〇禁止など場の使い方にはじめから制限を付ける予定のあるものを教えてください。</p>	<p>あおぞら広場を利用する方に対し、①個人情報、プライバシーの観点から、子どもや園の様子を写真や動画で撮ることは禁止、②喫煙禁止、③あおぞら広場でのイベント以外での飲酒は禁止、④あおぞら広場でのケガ等は園では責任をおいませぬ。くれぐれも安全に気をつけてご利用ください、という旨の掲示を行い、同意いただけた方のみご利用いただけるようにすることを想定しています。</p>
<p>⑥ 広場用にゾーニングされた駐車場の横の駐車スペースは午前中・15時まで延長した場合はどれくらい車の出入り</p>	<p>地域親子が出入りする午前中は常時1～2台、イベント時は多くて3台程度が駐車されていますが多くの親子が自転車やベ</p>

<p>がありますか？境目を、大人は理解できても子どもには難しいこともあります。不慮の事故や駐車時の巻き込み事故を防ぐために色分けゾーニングの他に工夫してあることはありますか？</p>	<p>ビーカーを利用されているので、駐車場が満車になることはほぼありません。また地域親子の出入りがない13:00-15:00の時間帯もほとんど駐車場の利用はありません。あおぞら広場の前の2台分の駐車場の地面の色を周りと異なるものにして、子どもや地域の方がより安全に使えるように工夫します。またその2台分の駐車場とそれ以外の駐車場の間にはチェーンを設ける他、駐車場の利用者には広場に遠いほうから駐車してもらうことを周知する予定です。</p>
<p>⑦ 「あおぞら広場」の利用者の怪我等があった場合、保険はどのように考えていますか？</p>	<p>保険には入りませんので、回答⑤の内容を事前に利用案内の掲示に記載します。</p>
<p>肥後委員</p>	
<p>① 足りない費用はどのように集める予定ですか？</p>	<p>朝比奈委員の質問②に対する回答と同じです。</p>
<p>松村委員</p>	
<p>① 想定整備費用は補助金の上限額を大きく上回っていますが、不足分の資金はどのように調達する予定ですか？</p>	<p>朝比奈委員の質問②に対する回答と同じです。</p>
<p>② バーカウンターに関する懸念（話しにくいのでは？スカートの中が見えてしまうかも？）について改善策を検討されましたか？</p>	<p>広場と園の視線が通りやすいように、窓やフェンスはポリカーボネートを用いつつ、そこに小さな穴を多数開けることによって声が通りやすい仕掛けを考えています。スカートの課題に関しては、まず在園児は現在も危険防止のため、スカートは履かないことになっているので問題ないと考えています。また在園児以外の地域親子はスカートを履いている子どもがいる可能性はありますが、常に保護者が横についている状態で活動するので、こちらも問題はないと考えています。（現状のフェンスも透過性のあるもので、境界の内外には今回整備する広場と同じ高低差がありますが、これまでにそうした問題は発生していません。一方で広場には犯罪行為等の抑制</p>

をはかるために新たに防犯カメラを設置する予定です。) また運営を始めて仮にそうした視線上の問題が生じた際には動かせる植栽や植木鉢等の設置による視線の調整を行います。

上記のような対策をとりながら内外の十分な視覚的關係を確保することで、普段は身長の違いで合うことのない大人と子どもの視線の高さがそろって会話がしやすくなることも大きなメリットになると考えています。こうして園の内外のより活発な交流、ひいては地域の人々の豊かなつながりを生み出していくことを目指しています。

ヨコハマ市民まち普請事業

第2次提案書

注1) 2号様式はページを増やさず、必ず3ページ以内でまとめてください。

注2) 2号様式は市民に公開しますので、個人が特定できる情報は記入しないでください。

注3) 添付資料は計画図(位置図・平面図・完成予想図各A3判1ページ、その他必要に応じて配置図・断面図・立面図等)、想定整備費用内訳書(第3号様式)、協議・説明状況報告書(第4-1～3号様式)、1次コンテスト以降の活動内容(任意様式A4判1ページ)、その他資料(必要に応じてA3判2ページまで)

提案グループ名 (25字以内)	生麦事件参考館リユースプロジェクト
整備場所 (町名又は丁目まで記入)	鶴見区生麦 1丁目
提案名 (25字以内)	歴史でつなぐ多文化共生・多世代交流のまちづくり
助成金申請予定額	500万円
整備する施設 (具体的な整備内容※ ¹ を工夫した点※ ² にも触れて記入してください) ※ ¹ 施設の全体像とともに整備助成金の対象箇所を明記してください ※ ² 住民等が持つ発想、方法などを生かしたアイデアやユニークさ及びデザインへの配慮	私設資料館として愛されてきた「生麦事件参考館」を、地域の人と協力して再開し、歴史と地域の特性を活かしたまちづくりに貢献する施設とする。 開館当時には余り問題にならなかったバリアフリー化も現在では欠落させてはいけない要素になっている。多文化共生・多世代交流の拠点として、生麦地域のまちづくり事業に参加していくため、照明・空調・通信環境などの改修を行ない、何時でも誰もが安心して参考館を利用できるようにして行きたい。 ◎正面入り口 扉の改修 上部の構造物(水漏れの主因)・支柱の改修 情報告知スペースの確保 看板新設 バリアフリー化 ◎1階 入口わきの壁(水漏れ)改修 壁面改修(ピクチャーレール取付) 照明取替え 空調修理(再利用)→10畳分のスペースを有効活用 ◎2階 外階段滑止め 出入口の段差解消 窓の改善 照明・空調の改修 創設者のメモリアルコーナー 棚・大机を置くスペース確保 資料等の収納スペース(天井裏に) ◎中庭・母屋軒下 コンクリート部分撤去して平地化 床下滑り止め イベントで大机設置できるように整備 軒下ギャラリー(絵画等展示) *トイレの設置(不足分を寄付で賄うことも含め検討)
施設の活用・活動内容 (具体的な活動内容を工夫した点にも触れて記入してください) ※第1次提案書より具体的に記入してください	参考館の活用・活動は「地域の協力」・「子どもの目から」を基本に行なう ◎1階資料展示スペース…資料を見ながら歴史を学ぶ場 *開館日 週3日(必要に応じて臨時開館) 常時説明員を配置 *説明員・資料整理 ボランティアの協力で 整理は専門家の力を借りる *子どもが「創る」 プロジェクターなど機材を使用し自由な学びを体験 ◎2階交流スペース…中央のデスクを使って楽しく交流する場 *大人の小グループ 会議・発表・お喋り etc *子どものworkshop 事件 de カルタ・紙芝居、生麦マップづくり etc ◎参考館の内外で…0から皆で一緒に作る活動 *歴史講座・出張授業 ボランティアとともに(募集し一緒に準備) *“語り部”活動 子どもや地域に伝えたい思いがある人中心に *情報発信(紙・SNS・掲示板など) *地域を越えた企画(商店会・自治会と) 鹿児島・英国・旧宿場町サミット *開館日は中庭開放 誰もが気楽に立ち寄れる場

<p>提案の背景 (なぜ提案をするのか、地域のニーズや課題、生かしたい地域の魅力等に触れて説明してください) ※第1次提案書から変更した点がある場合はその理由も記入してください</p>	<p>◎地域の概要と課題 *利便性が良い地域(東京・横浜間にあり交通網充実) *多様な地域性(伝統ある生麦・宅地化進む寺尾・商業中心の鶴見中央) *少子高齢化 新規転入・若年世帯増加 商店街の世代交代 外国人の増加 →地域の交流機会・繋がり減少 伝統・慣習の継承者不足</p> <p>◎地域の魅力 *自治会・町内会組織健在 活発な自主活動(新イベント、サークル活動) *伝統的行事の保存(蛇も蚊も、お囃子・甚句保存会)</p> <p>◎新しい交流の拠点・居場所づくり *伝統的祭りの拠点(寺院・神社)や地区センター・ケアプラザ・町内会館など地域には既存の交流拠点が多数あり、他の地域よりも活発な交流が行なわれてきた。 *この活力ある地域で、新しい交流の拠点・居場所として参考館ならではの役割を果たして地域の魅力向上・繋がりの一つになりたいと願っている</p>
<p>整備プロセス (スケジュール、つくるときに連携する仲間の役割や活用する地域資源注4)、費用削減の工夫に触れて説明してください)</p>	<p>◎再開館時期 コンテスト終了後工務店と協議し来秋中の再開館を目指す</p> <p>◎DIY実施 地域ボランティアと一緒に楽しく・無理なく 周辺清掃 中庭草刈り 室内片付け(所有者の了承後) 資料の整理(専門家の助言・協力)</p> <p>◎費用削減 修理箇所限定(建物維持・来館者の安全優先) 器材は再利用 必要なものの寄付は地域に協力依頼する</p> <p>◎人材発掘 地域に多数いる専門家 web ニュース編集者・TV関係者、学校関係者、イラスト専門家 金融・経営スペシャリスト その人たちと協力・協働</p>
<p>維持管理・運営計画及びその実施方法 (維持管理・運営するときに連携する仲間の役割や活用する地域資源注4)に触れて説明してください)</p>	<p>◎スタッフ 当面は現プロジェクトメンバーや地域ボランティアが行なう。 中長期の計画を作成し、安定的運営を行なう過程で地域主体に移行 →ボランティアについては自立まで伴走、有償・保険加入</p> <p>◎維持管理 建物は地域の工務店に 日常の見守りはボランティアに</p> <p>◎参考館の運営 開館は毎週3回(平日・土日+予約日) 地域のイベントの際には臨時開館 スタッフ常駐(歴史の会・見どころガイド・地域や学生ボランティアを募集)</p> <p>◎運営・維持費 *「入館料」(仮称)小学生以上100円・高校生以上200円・高齢者無料 *協賛金募集 地域の内外から幅広く(協賛企業・公的な補助) *自主事業 歴史講座・講演会開催・歴史散歩講座の開催 資料出版 貸室料 物産展・バザー</p> <p>◎来館者の増加 *情報発信 紙媒体・町内掲示板活用 SNS(「これつる」IP) *地域イベントに協力 該当期には特別開館 *その他 出張授業 地域の教育関係者・機関との協働</p>

注4)「地域資源」とは、次のようなものを想定しています。

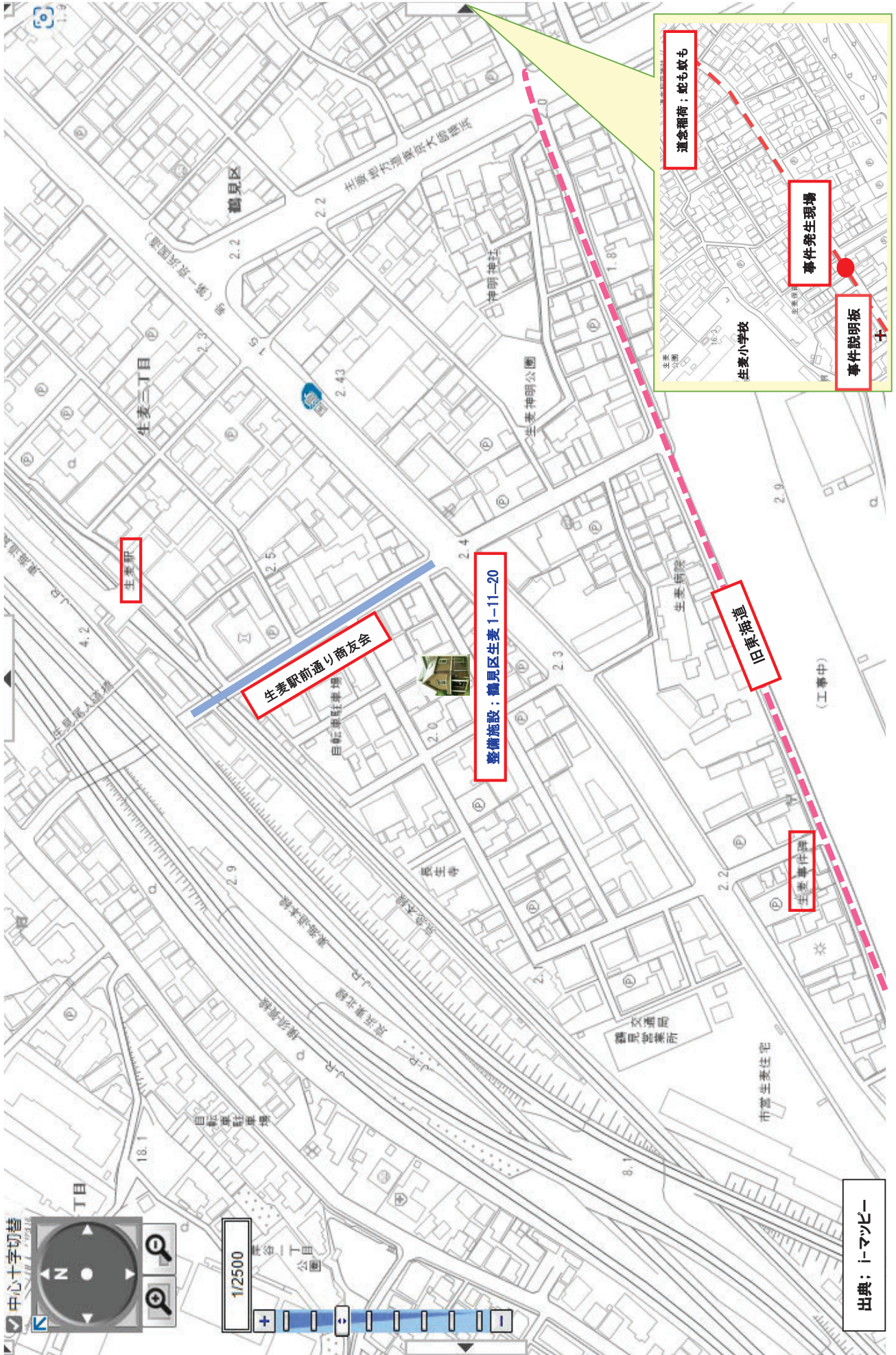
- 「ヒト」の例 ・地域のPTAから協力を受けられそう。 ・地域に設計の専門家がいる。
- 「モノ」の例 ・整備に必要な材料を安く入手できそう。 ・整備に必要な建設機械を安く借りられそう。
- 「カネ」の例 ・自治会町内会から資金的な支援を受けられそう。 ・バザーなどで資金を集められそう。

<p>1次コンテスト以降の活動内容 ※詳細については添付資料（任意様式）に記入してください</p>	<p>◎プロジェクト会議 会議の後半は、各メンバーの考えていることを出し合いそれに基づいて3グループ（参考館内・地域との結びつき・管理運営）に分かれて自由討議し、プランの実現化に向けて動き出している。</p> <p>◎広報活動 10月3日三ツ池フェスティバル、11月3日つるみ夢ひろばin總持寺でチラシ配布とシールアンケート実施。11月14日webニュース編集者とSNSでの情報発信について話し合い、協力の確約を得た。</p> <p>◎地域との協働 空き店舗活用交渉、歴史散策（生麦～居留地～外人墓地 下見・形式・地域と協力の内容検討進める）ボランティア希望者への説明会準備 地域の和菓子屋さん等に「新生麦名物・スイーツ」づくりを相談</p>
<p>関係者の合意・調整状況（地域《地権者、整備場所の近隣住民、地域住民、自治会町内会等》での合意形成や関係機関との調整結果の概要について説明してください）</p>	<p>◎参考館所有者 了承済み</p> <p>◎近隣住民 10月29日の現地視察後に実施。</p> <p>◎自治会 9月25日生麦第2自治連合会会長会で説明。併せてチラシの掲示・回覧を依頼。</p> <p>◎校長会 10月10日鶴見区内小学校校長会で説明。 （1校から、12月5日に6年生4学級の特別授業依頼あり）</p> <p>◎横浜東ロータリークラブ 鶴見を基盤とするRCで11月8日に卓話（スピーチ）。参加者より資金的見通しについて質問を受ける。</p>
<p>その他提案について特にPRしたい点を記入してください</p>	<p>◎事件関係者との交流について 8月21日、生麦事件碑顕彰会が主催した追悼祭に参加。席上で旧薩摩藩士（事件関係者）のご子孫と挨拶を交わした。追悼祭には英国の関係者が参列したこともある。160余年後も続く追悼祭を多くの人に知ってもらいたい。</p> <p>◎地域に残る事件の記憶について 11月5日、歴史講座で「生麦事件参考館の再開」が報告された後、参加者の1人が事件当時の「生麦村家並図」を手にして「私の家はここ、事件のことは聞いている」と報告者に話しかけてきた。参考館の再開を機に、地域での聞き取りを行ない。次世代に事件の記憶を語り継ぎたい。</p> <p>◎地域との協力・協働について *事件現場や参考館の位置を示す大看板について、設置場所・その内容について具体的な提案が出され取り組みを始めている。 *参考館の説明員をやってみたい、見回りや草刈などで協力したいetcの声が寄せられている。今年中にボランティア説明会を開く予定。</p>
<p>目指す地域の将来像 （施設が整備されることにより地域がどのように良くなるのか、地域に及ぼすインパクトについて説明してください）</p>	<p>◎コミュニティの次の担い手を意図的に育てる地域 小学校教科書から「生麦事件」が消える時代。子どもたちが参考館で事件について学ぶことによって地域の歴史に目を向けてもらい、地域への愛着を育てる</p> <p>◎多文化共生が根付く地域 自治会・商店会、若い人のグループなどと協力して、鹿児島・英国・旧東海道宿場町（川崎・神奈川・保土ヶ谷・戸塚）との交流イベントを創る。</p> <p>◎世代を超えた交流が生まれる地域 年々増加する高齢者、孤立しがちな子育て中の母親など様々な人がフラリと立ち寄り、ゆっくりと過ごせる場所の一つとして参考館を利用する。</p> <p>◎誰にでも居場所がある地域 祭りやイベントには、新旧の住民や外国籍の住民を自然と結びつける力がある。各団体と協働して参考館としての役割を果たしていく。</p> <p>◎誰もが「生麦に住んで良かった」と言えるような地域 参考館は地域のアンテナとして情報を集め発信する。それによって、様々な人が集って交流を深めてより良いコミュニティを形成する。</p>

記載内容について次の点を確認後、チェックボックスに✓を入れてください。

- 記載内容は真実であり、虚偽はありません。
- 記載内容に個人情報はありません。

生麦事件参考館：位置図



出典：i-マップビー

平面図

<母屋軒下>
 イベント用机 軒下ギャラリ-設備
 子どもの作業場 多目的スペース

母屋軒下
 中庭
 <中庭>
 花壇撤去
 平地化
 駐車場立入禁止

ここを利用して
 地域の情報交換

ピクチャレール

扉修理

扉修理

壁水漏れ?

本棚

手すり設置

ドア交換

透明な壁を作り 地域情報を掲示

テラスの撤去
 雨除け新設

剥がれタイル交換

1 階 平面図 S=1/50

2 階 平面図 S=1/50

4,550

1,820

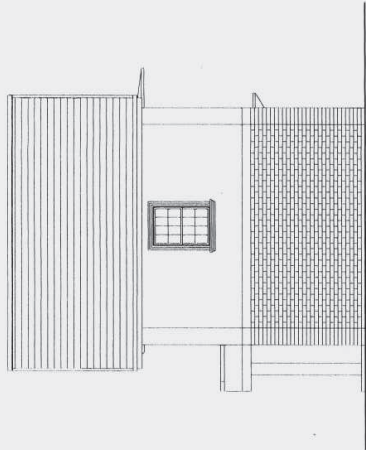
1,365

1,365

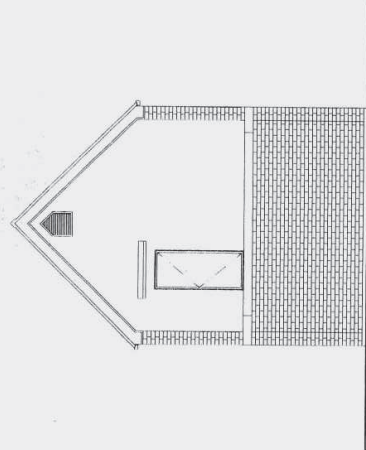
4,550

4,550

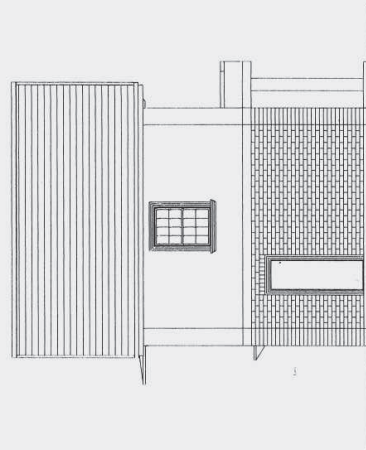
立面図



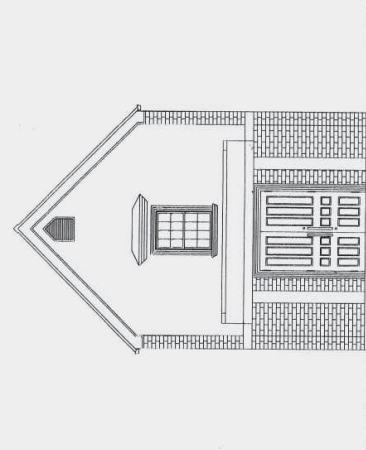
東側立面図 S=1/100



北側立面図 S=1/100



西側立面図 S=1/100



南側立面図 S=1/100



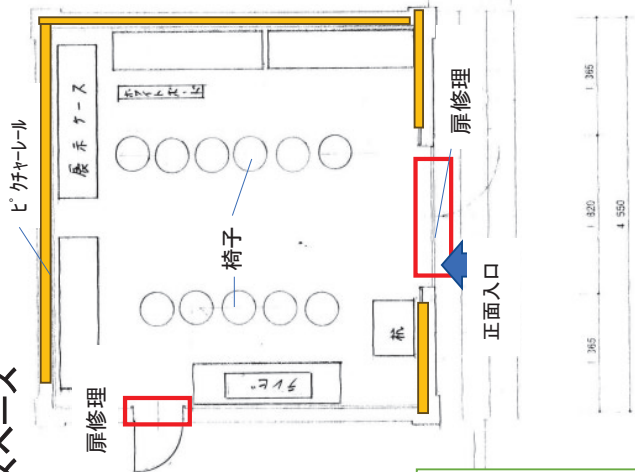
株式会社堀池工務店 一級建築士事務所
 横浜市鶴見区生麦1-15-9 TEL (045)501-5850 FAX (045)511-2265

承認 設計 担当 縮尺 S=1/100
 設計年月日 令和6年11月15日
 工事名称 生麦事件参考館
 図面名称 立面図

No. 01

完成予想図

1 階資料展示スペース



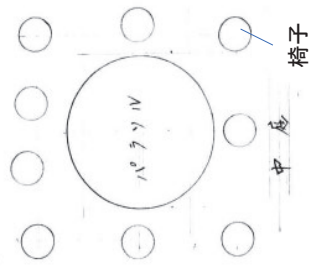
1階は基本の構造は変更なし。真ん中では10数名の子どもが説明を聞けるよう椅子を置く。壁面にピクチャレールを取り付ける。
 展示は定期的に交換し、余裕を持って見学できるようにする。テラス部分は撤去するが、雨よけを付け、入口脇に告知スペースを設置。
 看板は付けられるよう工夫する。

ピクチャレール

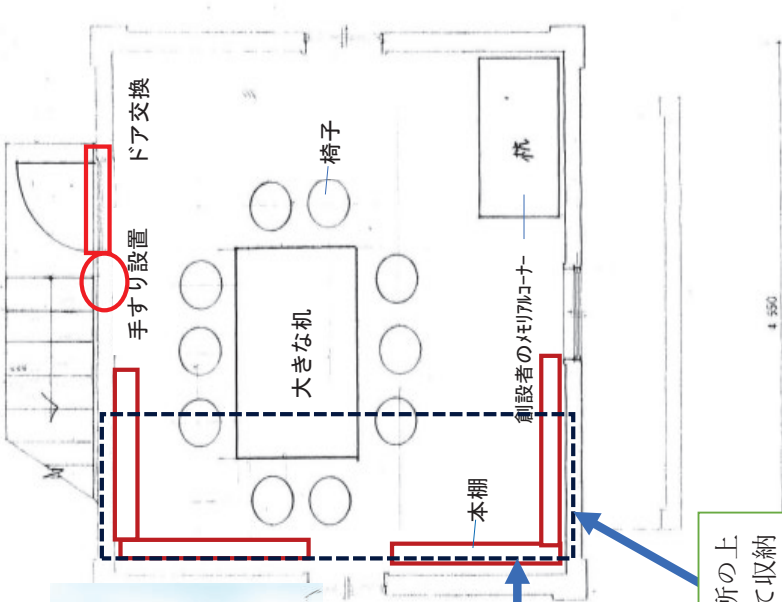
母屋軒下



中庭



2 階交流スペース



・2階の入口部分には手すりを付けるとともに、ドアを交換し安全に配慮する。
 ・本棚を作り付け、保管庫を新設することで余裕を持って使えるよう変更。

保管庫はこの場所の上辺りに板を渡して収納

母屋軒下では「軒先ギャラリー」のためにピクチャレールを設置する。軒下は場所が空いている時は、子どもたちの作業スペースにと考えている。トイレについては検討中。
 中庭は、駐車スペースをとる必要が生じたため、大きく変更。花壇を撤去するとともに、整地し、駐車部分と仕切りを行う。
 日よけのパラソルを置き、皆でおしゃべりをしたりゆっくりと過ごせる場所にしたい。

ヨコハマ市民まち普請事業

想定整備費用内訳書

※ 記入上の注意

- 「主な整備項目」「細目」欄の記入にあたっては、事務局と事前に十分調整してください。
- 「数量」欄については、やむを得ない場合を除き、「一式」と記入しないでください。
- 「地域住民等の参加」欄については、例えば地域が労力を負担する場合は、何人くらいが何日間くらい作業を行うかなど、できるかぎり具体的に記入してください。（見込みも含めて記入してください。）また、小中学校や子供会などが参加する場合は、その旨を明記してください。

主な整備項目	細目	数量	単価	計	地域住民等の参加 （費用又は労力の負担等）
仮設工事（足場掛払い）	屋根及び外壁塗装用	一式		990,000	
1階外部・裏階段修繕	テラス撤去・雨除け新設・掲示スペース設置	各1ヶ所		1,362,000	
各所ドア交換工事	1階扉2ヶ所、2階1ヶ所	3ヶ所		1,128,000	
正面入りロタイル取替	破損部分のみ交換・滑止め施工	一式		270,000	
内装工事	母屋軒下ピックアップレール取付、1階壁面補強しピックアップレール取付・水漏れ部壁修復・2階固定本棚や保管庫設置	レール5カ所・壁は状況次第で修理箇所増加		354,000	
電気設備工事	照明器具交換・空調修理	1・2階とも		420,000	
中庭工事	花壇撤去・整地・駐車部分と仕切り	各一箇所		198,000	不要物撤去・コンクリ部分以外はDIY
諸経費	二階入り口に手摺、入口に看板	各1ヶ所		420,000	看板製作はDIYも検討 (経費節約)
合 計				5,142,000	

1次コンテスト以降の活動内容

(1)プロジェクトの運営

メンバー全員が集まって企画内容や役割分担を検討する「PJT会議」と、会場確保・連絡・議題整理・資料準備等を行なう「事務局会議」で話し合いながら活動を進めて来た。

◎事務局会議

*5回開催 7/30・8/16・9/17・10/12・11/12

*次のPJT会議に提案する内容を事前に検討・整理。9月以降は地域担当者2名を決めて地域にプロジェクトを知ってもらい、地域の声を広く集める努力を行なった。

(実践例)

- ・空き店舗の利用について商店会や店主と折衝
- ・生麦事件を色々な形で伝えるために地域の人材発掘（嘶家さんとの交渉）

◎PJT会議

*4回開催 8/22・10/1・10/17・11/14

*10月以降の会議では、報告や確認の時間を短くして各自の「やってみたいこと」を出し合ってどう実現していくのか議論する時間を増やした。話し合いは「参考館内の企画」「地域との協働」「参考館の管理・運営」の3グループに分かれて行った。

(以下実践例)

- ・自治会長会や鶴見区内校長会への挨拶の日程をすぐに設定
- ・地域ではボランティアをやりたいという声がたくさんあることがわかる

(2)広報活動

◎イベントに参加してチラシ配布・アンケート調査を実施

*三ツ池フェスタ(10/15) 小学生が生麦事件についての感想メモをたくさん書いてくれた

*夢ひろば in 總持寺(11/3) ブースで質問に対応・アンケート実施 再開館歓迎の声多数

- ・歴史資料の保管に専門知識を持つ大学教授がボランティアを申し出る
- ・ブラジルから帰国中の雑誌編集者が「今度横浜の記事を作るが、生麦や花月園等色々なことをもっと知りたい」とプロジェクトメンバーと名刺交換

*生麦 de 事件 D A(11/23) ボランティア募集の宣伝実施

◎歴史講座で周知

*寺子屋環塾(11/5) 講座終了後、受講生が講師席に来て「事件は我が家の前で起きたので色々調べている」と話しかけてきた。

*生麦地区センター歴史講座(11/27) 創設者の知り合いの人が、何度も来館して事件についての感想を文章化したことを語ってくれた。講座は新情報・人材に触れる機会と実感。

◎その他

*web ニュース編集者との話し合い、近日発売の「地球を歩く」に記事掲載、NHKドキュメント番組作成者の取材

*鶴見区内小学校校長会で挨拶(10/10) その後、小学校6年生対象の出張授業の話し

*横浜東ロータリークラブ卓話(11/8) 出席者から資金的な見通しについてアドバイス

(3)地域との連携

◎追悼祭参列(8/21)、13町会会合で挨拶(9/25)、近隣の挨拶回り(11/5)

◎具体的な働きかけ

*参考館ボランティアの説明会 どのような仕事があるかを洗い出して、年内に一度実施

*史跡散策の実施 12月にはコースを決めて下見を実施 新アイデアが一杯出る話し合い

・定点ガイド(動かずに自身の暮らしている地域の説明)

・歴史的事実を踏まえながら参加者を楽しませるガイド 休憩時には<名物>を賞味

*イベントで売る「押し」菓子 地域のお菓子屋さん・パン屋さんと相談

*自治会役員がボランティアで小学生に生麦事件を教えている

その経験を聞き、小学生向けのテキストを一緒に創って行きたい

☆任意資料として、具体的な内容、写真やアンケート結果は添付

1. 整備後の生麦事件参考館

◎週間予定（開館日）

月	火	水	木	金	土	日	臨時開館
		開館 10:00~16:00			開館 10:00~16:00	開館 10:00~16:00	地域イベント・長期休暇中・予約 10:00~
		staff在室			staff在室	staff在室	staff在室

※staff PJTメンバー+地域ボランティア(事前の指導・解説マニュアル準備)

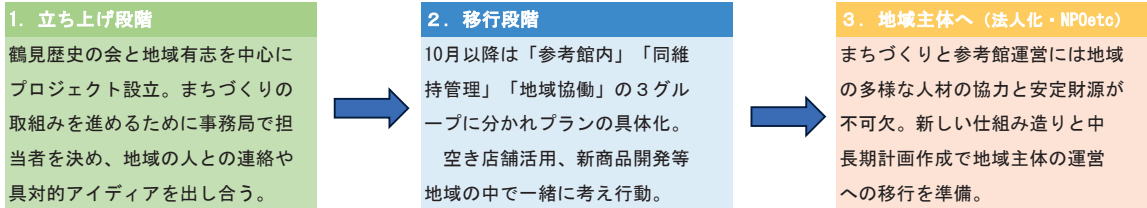
※臨時開館 イベント時(主催者と協議して対応) 来館者増が見込まれる時(夏休みの自由研究等)

◎年間活動計画

1月	2月	3月	4月	5月
七福神巡り		子どもフェスティバル		
←大人(幕末旅企画・募集・準備)→実行		←子ども(地域探検企画)→	←幕末旅実施→	←子ども(内容決定)→
展示・解説		(展示替え)	展示・解説	
6月	7月	8月	9月	10月
◎蛇も蚊も	◎ふるさと岸谷祭り	◎旧東海道祭 追悼祭	◎生麦deまちゼミ	
←子ども(募集・探検実行)→		←学生と自由研究→	←幕末旅II企画・募集準備→/子ども(クイズ等作成)	
展示・解説		(展示替え)	展示・解説	
11月	12月	㊤ 地域行事等 参考館は積極的に参加(形態・内容は主催者と協議して) ㊤ 参考館自主事業 (例) 大人企画・子供企画 (pdca、自主性) ㊤ 展示室 開館日は展示・解説 展示は3ヶ月毎に入替え 2階“生麦base” 誰もが自由な発想でやりたいことにチャレンジ		
生麦de事件DA/旧東海道祭り				
←事件DA参加→ ←幕末旅II実施→				
		(展示替え)		

◎運営体制

(PJTから地域へ)



◎運営資金収支予算

(1ヶ月)

【収入の部】	
入館料	40,000 子ども100人 大人150人
個人協賛金	30,000 月300円 100人
企業協賛金	12,500 月500円 25件
雑収入	7,500 資料販売・歴史講座等
	90,000 ※協賛金は年一括

【支出の部】	
人件費	30,000 2人(週3日・月4週@6h) 1人(適宜相談 @3h)
維持管理費	30,000 光熱・水道料金等
事務費	20,000 印刷代・通信費・広報費・消耗備品購入
予備費	10,000 イベント参加費・保険等
	90,000

◎来館者の増加

(見込み)

- 要因① 小学校教科書から「生麦事件」削除 現行学習指導要領は「身近な地域などに見られる諸現象を…歴史とつながっていることを理解(高等学校)と記す→学校関係の来館者は増加
- 要因② 来館者名簿に県外来館者が目立つ→地域を越えた情報発信で広報(webニュース編集者等と提携予定)
- 要因③ 春秋の日曜や祭日のJR鶴見駅・京急鶴見駅には旧東海道散策の小グループが集合→再開館を知らせれば必ず立ち寄る

2. 参考館再開館とまちづくり…新しい居場所づくり、新しいつながり



11月23日(土)、京急生麦駅東西2商店街を会場に「第6回生麦de事件DA」が開催された。左のチラシは第1回のもので共催に「生麦事件参考館」がある。今年、目にとまったものはプロレスのリングで歌い踊る南米系の女性に合わせてリズムをとる観客の姿で多文化共生が進んでいることを実感。鹿児島産焼酎の販売や試飲、英国ビールの販売—鹿児島(薩摩)や英国は生麦事件のキーワード。地域を越えた交流が既に芽吹いていた。



日本の子どものリングへ



焼酎が結ぶ薩摩と生麦



ビールで始まる生麦交流



会場に貼られたメモの作成には参考館館長も協力



空き店舗には休憩所の貼紙 他の空き店舗では子どもがお菓子の販売員

空き店舗の活用はPJTでも大きな課題、そのヒントもあった。駅前にメモ(クイズ)の集約所。クイズ出題やメモの集約に場所の提供…参考館と地域の協力・協働には大きな可能性があることを確信した「第6回生麦de事件DA」。

★生麦事件参考館リユースプロジェクトは「企画」を地域と一緒に考え、それぞれの得意を活かした協働でまちづくりを発展させる。



プロジェクト会議



所有者と話し合い



現地視察



リニューアル工事検討会

つるみ夢ひろば in 總持寺 文化ゾーン 11/2～11/4 總持寺三松閣で



パネル展示・チラシ配布・リニューアルプロジェクトの説明・アンケート実施



生麦事件追悼祭に参加 8月21日



“開国最中 生麦” 地元商店会とのコラボ企画

地域のお菓子屋さんに、開国最中、開国まんじゅう、開国サブレー、パン屋さんに、開国あんぱん、開国ドーナツなどを共同企画・創案して、生麦地区の年中行事（お祭りやイベント）に参考館プロジェクトとして出店し販売する。参考館中庭ひろばでも行事に合わせて企画展示をする。

地元飲食店などでもそれぞれ開国メニューを創案して、日本の開国、近代化は生麦から始まり、「生麦事件碑」「生麦事件碑顕彰会」「生麦事件参考館」が国際交流の大切さを伝えるつづけていることを地域全体で共有しアピールする。

商店街スタンプラリー

商店会と協力し「生麦ごばなしシリーズ」を作り、地域の商店を利用するスタンプラリーを企画運営する。楽しみながら地域に親しむ！



郷土史講座 11/5 寺尾センターで「生麦事件参考館再開に向けて」



各所でチラシ掲示

生麦事件参考館は、生麦事件について小学生が学ばせよう、学童クラブや地域の小学生が連携協力して、地域全体の活性化につなげていく視点を大切にしたい。

軒先ギャラリー・テラスステージ・中庭ひろばの活用

地区内の小学校や地域全体で60年以上支え続けている「生麦ひまわり学童クラブ」など地域の学童クラブと連携し、小学生たちが地域の歴史や暮らしを学ぼうとして活用する。

江戸時代の街並みや屋号・絵図、史跡案内板などを活用し、子どもたちが町の由来や伝承・年中行事・小学校・交通の変遷・地域の寺社仏閣・海や川・石碑などについて、両親や祖父母、地域の高齢者などから聞き取りをする。絵や文章にまとめてパネルを作成し、軒先ギャラリーに展示し、テラスステージで発表する。寸劇や動画にまとめてよい。

中庭ひろばの観覧席には、聞き取り調査に協力した高齢者をはじめ、地域の人たちが気軽に参加し、子どもたちの発表を大きく。

発表後には、おやつを食べながら、子どもたちと大人たちが歓談しながら、世代間交流や地域の人々同士の交流を深める。

子どもたちは、祖父母や高齢者から、地域の歴史や文化、町の成り立ちについて直接聞いたことで、自分たちの調べたことが展示されたことで、発表したりすることで、自分たちの住んでいる生麦への郷土愛を深めていく。

生麦事件参考館を地域全体の活性化につながっていく拠点として、子どもたちが選んだテーマに詳しく高齢者などの紹介や資料の提供、助言などをすることで、地域住民が連日、語り合いながら、埋もれた歴史を掘り起こしながらより豊かな地域文化を育む拠点とする。



10月13日(日) 三ツ池公園 つるみワールドフェスティバルで



生麦事件知ってますか？
知っている人 26人
知らない人 25人

生麦事件参考館知ってますか？
知っている人 10人
知らない人 27人

●感想!! thoughts
今、初めて知った生麦事件。聞いたことはあるけど、くわしくは知らなかったもので、しれるとなすとうれしひです。しかも本物の公式の参考館で勉強できることなるとなるとなると!!行ってみてみたいと思います。そして本物の絵やいろいろな事件に関する資料を見たいです!!横浜市にあって身近なのに学校でも行くそうなので、楽しみです!!
●お姉ちゃんが生麦事件のことを昔、話してくれてちよっと知ってたんですけど、もっとなんと知れることを知って、いろいろな歴史をもっと知りたいたいです!!
●事件のことを知りたい!!
●生麦事件のことを見たいです!!
●みんななど行ってみたいです!!
●事件のことをはじめてしてしまっ!!しりよかんに行ってもっとしりたいたいです!!
●いろいろな歴史をもっと知りたいたいです!!
●あ有名な生麦事件についての資料館なので、横浜に住んでる人として行ってみたいと思います!!
●事件についても知りたいたいです!!
●外国人の人だからと差別してしまっ!!戦争になったのはまことに残念に思う。オランダ人だけでなく同じ人間、仲よくすくすばいいたいと思っ!! (●餅子ヶ谷小6年生 ●豊岡小5年生)

ヨコハマ市民まち普請事業 2次コンテスト事前質問集

【提案名グループ名】 生麦事件参考館リユースプロジェクト	
事前質問	回答欄
朝比奈委員	
① 展示計画について現段階の考えを教えてください	展示計画 常設展示（生麦事件関係）と年3回交替する企画展示（“現在と過去の対話”という視点）に分けて計画しています。中学生が見て分かる内容を意識して展示します。
② 開設時はスタッフが常駐するとのことですが、スタッフのためのスペースはどのように考えていますか。	スタッフのスペース 来館者に直接対応（受付・解説・救護等）するため1階に机・椅子を準備します。交替で休憩をとれるように2階にも机・椅子を準備します。開設時には中庭も開園し、スタッフの負担が増えますのできちんとしたシフトを検討します。
植松委員	
① 1階については現地視察に寄せていただいた折、兎に角たくさんものがある！という印象で、どれが大切なものなのか判然としない、という感じでした。1回の展示物を思い切って全物品の4分の1に絞り、週替わりで1か月かけて全物品を展示公開するなど、展示品の整理調整をされてみてはいかがでしょうか。	展示品の整理 PCで資料検索ができるように 参考館資料整備グループ （現在6人）はデータベース作成の準備をしています。事件関係の古文書・地図・写真・絵画・新聞記事等は時系列を追って常設展示します。企画展示では、「なぜ今生麦事件を学ぶのか」が解るように資料を整理展示します。 資料は内容・形態に応じて整理・保管を行ないます。御用留・手紙類など一次資料はガラスケース内で公開、写真・絵画・新聞記事は必要な補修を行ったうえで公開。図書類は配架・書庫保管に分類する予定です。 なお、資料の分類・整理を行なう際は創設者浅海氏の想いも反映させて進めたいと考え、ご遺族の立会をお願いする予定です。
② 2階は逆に、浅海氏の思い出と生前の功績を感じる場所として、余り手を入れてしまって雰囲気を変えてしまうよりも、今でもちょっと待てば浅海氏が帰って来そうな雰囲気を大切にすることで、氏の功績を偲ぶ手がかりとする場所として生かすことが望ましいので	2階の使い方 改修の際には、建物全体は現状の雰囲気を残しながら、来館者の安全・各スペースの有効活用・建物の維持を優先基準にします。 2階の一角に浅海氏の使用机や文具などを残し、壁面に功績を示す表彰状や新聞記事を掲示します。室内中央には大型机を置いて交流の場にします。 具体的には…

<p>はないかと思いますが、どうお考えでしょうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> * サークルや小グループの打合せ・作業、住民のしゃべり場 * スタッフの打合せや実務、来館者の質問等に対応する場 * 子どもの溜り場 Namamugikids・生麦base・生麦探偵団（仮称） やりたいことにチャレンジする workshop 企画の条件は「生麦事件」「生麦」を Keyword にすること クイズ・カルタ・マップ作製、塗り絵コンテスト、お店紹介、地域イベント・workshop 参加 子どもたちは開館前に募集 * 情報発信の場 参考館の企画、地域話題を適宜発信、地域ボランティアを募集
<p>③ 駐車場や中庭などのアレンジ（整備や活用の内容）について詳細を教えてください。</p>	<p>駐車場・中庭 中庭に仕切りを設けて母屋で使用する車の駐車スペースを確保します。それ以外のスペースは更地（芝生）にして椅子・卓を準備して誰もがゆったり過ごせる場にします。仕切りは子どものアイデアを活かせるスペースとして活用します。</p>
<p>川原委員</p>	
<p>質問なし</p>	
<p>後藤委員</p>	
<p>① 中庭は駐車場スペースをとる必要があるため、と記載されているが、資料館用の中庭として利用できるのはどのくらいのスペースなのでしょう？また駐車場は、来館者用でしょうか？</p>	<p>利用できるスペース 中庭で利用できるスペースは乗用車2台分です。近隣の人が立ち寄ってお喋りをする、保育園児が散歩途中で休んで行く…そのような場に予定。来館者用駐車場は設けません（近隣駐車場を案内） 中庭に立ち寄った人たちが安らぐことができるアイデアを地域から募集します。 * 鉢植えの花を並べて目を楽しませる、パラソルをおいて日陰で休憩、お茶やコーヒーを飲みながらお喋りする等々</p>
<p>杉崎委員</p>	
<p>① 整備に伴い、資料の展示内容や方法をどのように更新するのか予定を教えてください。</p>	<p>資料の展示内容・方法 古文書類はガラスケース内に収納展示、絵画・写真・新聞記事は壁面に展示。常設展示の内容も適宜見直します。企画展示は「今なぜ生麦事件か？」という内容を考えさせる視点で年3回交替していきます。</p>
<p>鳥海委員</p>	
<p>① 入館料に関して、次世代に語り継いでいく歴史、多世代交流の場として、高齢者は無料、小学生100円、高校生以上200円という設定に決めた理由を教え</p>	<p>入館料設定の根拠 横浜市開港資料館の高校生以上200円、小中学生は100円という事例を参考にし、高校生以上200円、以下は100円としました。高齢者については</p>

てください。	100 円に変更することを考えています
② 次世代に歴史を語り継ぐために、自分のお金を持っていない子は来ることができない(知ることができない)と思ってしまわないために、考えている工夫はありますか？	子どもを悩ませない工夫 運営スタッフに歴史に関心のある子どもたちに参加してもらう予定です。子どもならではの自由な発想で活動を進めてもらいたいと考えています。メンバーの入館料は無料とします。 *グループ名は子どもたちが決める
肥後委員	
① 土地・建物所有者の方と管理上の取り決めをしていますか？	現在は鍵の開閉・管理は事務局で行ない、入館の場合には土地・建物所有者に事前報告することを決めています。将来的には、更に具体的な取り決めをします。
② 整備場所を借りるにあたって、家賃等は発生しますか？	今後も無償でお借りできることになっていますが、入館料の一部を光熱費に充てて頂くなど検討します。
③ 収支計画を教えてください。入館料などの収入で、施設の維持管理は可能ですか？	収入は最小に、支出は最大に見積もり月 9 万円の収支計画を作りました。入館料のみで施設の維持管理は難しく、個人・団体・企業から協賛金を募ります。なお平成 29 年～令和 4 年までの入館者は 740 名(年 247 名)でしたが再開後は入館者数が大幅に伸びる見込みがあります。
④ 安定的運営まで何年くらいを想定していますか？	1 年目は参考館をアピールし、2 年目は地域との協働を広げ、3 年目には安定的運営を実現します。最初は歴史の会等を中心とした現メンバーで運営しますが、適宜、地域のボランティアを募り担い手を増やしていきます。
松村委員	
① 参考館は、なぜ地域の人から愛されてきたのでしょうか？	参考館が地域に愛された理由 参考館で貴重な資料を無料公開、事件説明板設置、生麦事件碑顕彰会と慰霊祭催行、各地での講演活動等浅海氏の情熱や思いが実を結び、多数の見学者が生麦を訪れました。地域でも近代化の出発点となった事件を誇りとし、参考館を地域の大切な施設として親しむようになりました。
② 安定的に協賛金を集められるアテはありますか？	協賛金のアテ 自治会・商店会会員や PTA 役員の協力で自治連合会・ロータリークラブ・校長会で参考館の説明をした際には協賛企業の紹介も受けました。学校関係や雑誌社の問合わせも増え協賛を得られると確信しています。
③ 地域の交流拠点としての機能を持たせるとして、それをこの資料展示スペースの上につくるメリットはどこにあり	交流拠点を置くメリット 異文化の出会いから起きた生麦事件は多文化共生・相互理解の大切さを教えます。参考館を多様な

ますか？

人が暮らす生麦地域の、互いを理解し合い、温かく活気あるまちづくりを進める交流拠点の一つとして地域の中で育てて行きたいと考えています。

*子どもたちが1階で学んだことを2階で紙芝居等にまとめ、地域のイベントの際に中庭で発表する。「事件について学び、伝える場所」だからこそ多様な取り組みが可能になると思います。

*「散歩班」が検討している地域散策ツアーや、タクシー会社が企画している観光タクシー等でも参考館を中心にツアーを実施することで生麦の街への理解が深まり、愛着を醸成することができると考えています。

ヨコハマ市民まち普請事業

第2次提案書

- 注1) 2号様式はページを増やさず、必ず3ページ以内でまとめてください。
 注2) 2号様式は市民に公開しますので、個人が特定できる情報は記入しないでください。
 注3) 添付資料は計画図(位置図・平面図・完成予想図各A3判1ページ、その他必要に応じて配置図・断面図・立面図等)、想定整備費用内訳書(第3号様式)、協議・説明状況報告書(第4-1～3号様式)、1次コンテスト以降の活動内容(任意様式A4判1ページ)、その他資料(必要に応じてA3判2ページまで)

提案グループ名 (25字以内)	二つ台みーとみーとPJ
整備場所 (町名又は丁目まで記入)	保土ヶ谷区釜台町
提案名 (25字以内)	シェアキッチンを備えた多世代交流拠点の整備
助成金申請予定額	500万円
整備する施設 (具体的な整備内容※ ¹ を工夫した点※ ² にも触れて記入してください) ※ ¹ 施設の全体像とともに整備助成金の対象箇所を明記してください ※ ² 住民等が持つ発想、方法などを生かしたアイデアやユニークさ及びデザインへの配慮	<p>横浜国立大学のすぐそばにあった精肉店を改修し、シェアキッチンを備えた多世代交流拠点と学習塾（まち普請整備対象外）を併設した地域拠点を整備する。学習塾は、①机とイスさえあれば運営できる。②子どもたちが学校に通う昼間は空間を持って余している。ということに着目し、学習塾×交流滞在空間×シェアキッチンで構成される交流拠点を整備し、地域へ開放する。当該建物は、バス通りの旧商店街に位置し、広い間口を持つ建物であり、地域に開けた建物である。その場所で地域の住民や団体がさまざまな活動を行えるシェアキッチンを備えた交流施設を整備する。</p> <p>■業務用キッチンの新設：飲食店営業許可・菓子製造業許可が取得できる業務用キッチンを整備し、食に関して調理・販売ができるような場とする。飲食店にチャレンジしてみたい地域住民や、(食に限らず)地域に開けたイベントを行いたい地域団体などに貸し出す。近接の公共施設（地域ケアプラザ・コミュニティハウスなど）では難しい販売等の営利活動も行える場とする。</p> <p>【その他の主な整備内容】床工事／電気・給排水・空調設備工事／内装工事／トイレ・建具工事／断熱工事など</p>
施設の活用・活動内容 (具体的な活動内容を工夫した点にも触れて記入してください) ※第1次提案書より具体的に記入してください	<p>①チャレンジ・挑戦の機会の提供 ②地域のハブとして交流の場の提供 ③学びの場の提供を軸に、地域住民・地域団体がさまざまな活動を地域に開いていく場となることを目指し活動する。</p> <p>①チャレンジ・挑戦の機会の提供：料理やお菓子作りなどが好きでいつかお店を持ちたい人が試しにお店を開いてみるチャレンジの場の提供。日替わりで色々な店が展開し、地域に彩りが生まれる。</p> <p>②地域のハブとして交流の場の提供：間口が広く、地域の人が訪れやすい場所であるため、地域団体がさまざまな活動を地域に開いていく場として地域団体や地域住民に貸し出す。また、世代の違う団体等がコラボしてイベントを開ける場や販売活動などを行える場とする。また、貸出活動だけでなく様々な団体・住民が交わるきっかけとなるようなイベントをみーとみーと主催で行う。</p> <p>③学びの場の提供：お茶の教室や料理教室・病院とコラボした医療系のイベントなどが学びの活動が行える場の提供を行う。またチャレンジ・挑戦そのものが学びとなるため、①と関連して機会提供を行う。</p>

<p>提案の背景 (なぜ提案をするのか、地域のニーズや課題、生かしたい地域の魅力等に触れて説明してください) ※第1次提案書から変更した点がある場合はその理由も記入してください</p>	<p>横浜国大に近接したこの地域に学習塾を開設するにあたり、学習塾以外の時間は地域のために開放できないかと考えた。当該建物は、周辺住民や横浜国大の西門を利用する学生なら知らない人はいない地域のシンボリックな精肉店(ご主人の急逝により閉店)でありどのように利用されるかには高い期待が集まっている建物である。主な地域の課題としては大きく2点挙げられる。</p> <p>①商店の急激な減少：ここ数年で店主の高齢化により商店が一気に閉店してしまい、人通りが多いのにも関わらずシャッターが閉まった建物が目立つ寂しいまちとなってしまった。また、高台に位置するため急峻な坂道を上り下りしないと商店・飲食店などにアクセスできない地域となっている。ふらっと立ち寄れる場所や腰を下ろす場所がなく、また地域の居場所となるような場所がいため、そのようなニーズが高まっている。</p> <p>②異世代交流の希薄：釜台・常盤台地区は、高齢者は高齢者同士、子育て世代は子育て世代同士など同世代の関係を強化する取り組みは高頻度で開催されている。しかし、年齢問わず交流できる機会が少なく、縦の繋がりが薄い。また、横浜国大があるため多くの大学生が地域に住んでいるが、大学生の活動が地域に出ていく機会が少なく、大学がある地域としてのポテンシャルを活かしきれていない。それら異なる世代が繋がれるきっかけとなるものが何か一つでもあれば、様々な世代が交わり合う地域になれる潜在性を秘めているため、そのようなきっかけが作れないかと考えている。</p>
<p>整備プロセス (スケジュール、つくるときに連携する仲間の役割や活用する地域資源注4)、費用削減の工夫に触れて説明してください)</p>	<p>2025年4月ごろ学習塾部分(まち普請整備対象外)オープン、2025年7～8月ごろキッチン部分オープン予定。横浜国大出身の若手建築ユニット8000000studioに設計デザイン、および工事監理を依頼。同ユニットのメンバーはセルフビルドに関する論文を書いており、工事は可能な限りセルフビルドとし工事費用削減を行う。セルフビルドの際の人的資源として、地域住民の参加と、横浜国大建築学科の学生への実践の学びの機会として参加を募ることを予定。みーとみーと学生メンバーに建築学生が多いため、通常のDIY以上にセルフビルドが行えると想定している。また耐震改修工事の費用調達のためのクラウドファンディング(2024年11～12月実施)の返礼品にてDIY参加券を設け、広報活動も兼ねて参加者を募る。また地域に向けたイベントを引き続き行い、運営体制の構築と仲間集めを進め実際のイベント運営を通して運営チームの体制を整えていく。</p>
<p>維持管理・運営計画及びその実施方法 (維持管理・運営するときに連携する仲間の役割や活用する地域資源注4)に触れて説明してください)</p>	<p>運営体制：地域メンバーと学生メンバーで構成される。キッチンの貸出の管理については、地域メンバーで行う。地域メンバーに常盤台地区でキッチンカーのカフェを運営しているメンバーがいるため、開設初期はカフェとしてなるべく場所を開き、みーとみーとが開いている状態を維持し、シェアキッチンの貸出利用が増えれば徐々に移行していく計画。学生メンバーに関しては、横浜国立大学の地域課題実習(単位取得ができる授業制度)に組み込み、毎年メンバーを募集する。学生メンバーには地域の課題を解決するような取り組みをみーとみーとで行なってもらい、学びの機会とする。大学に近接した場所であるため学生の機動力が地域資源であると考え。地域メンバーと学生メンバー協働で、地域の課題解決や交流を促進するようなイベントをみーとみーと主催で行なっていく。単発のイベントだけでなく、月1や週1など定期的に開催できるイベントが行えるようになることも一つの目標としていく。</p> <p>運営費・運営計画：シェアキッチン・シェアスペースの貸出料金により運営費を賄う。また、人が集まりやすい立地を生かして、棚貸しや野菜の委託販売、弁当販売などを行い運営費に充てがう。家賃は学習塾と負担し合うことで月々の固定費の軽減を図る。また、初年度において2階の住宅部分はシェアハウスとして学生に貸し出すことでスタート時の家賃の軽減を図る。学習塾・シェアキッチンの利用頻度が向上した際には2階部分を学習塾に移行し、シェアキッチン専用部の拡充に対応する。詳しい運営計画はその他資料に記載。</p>

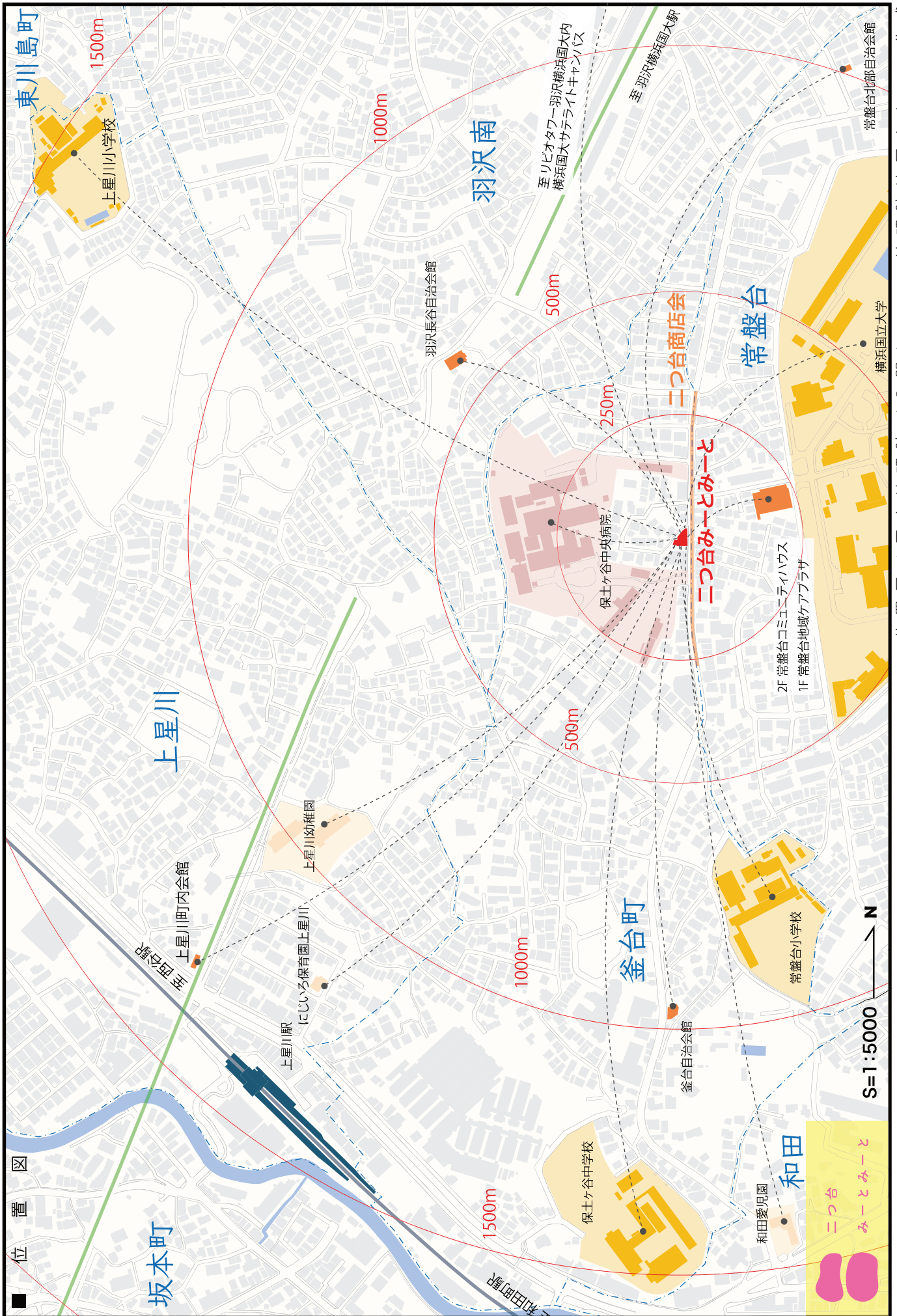
注4)「地域資源」とは、次のようなものを想定しています。

- 「ヒト」の例 ・地域のPTAから協力を受けられそう。 ・地域に設計の専門家がいます。
- 「モノ」の例 ・整備に必要な材料を安く入手できそう。 ・整備に必要な建設機械を安く借りられそう。
- 「カネ」の例 ・自治会町内会から資金的な支援を受けられそう。 ・バザーなどで資金を集められそう。

<p>1次コンテスト以降の活動内容 ※詳細については添付資料（任意様式）に記入してください</p>	<p>当該建物にてイベントの開催：幅広い住民の意見を取り入れるため、またシェアキッチン需要を測るため、周知活動も兼ねて当該建物で様々なイベントを開催した。建物が改修前で薄暗いことを逆手に取り、映画上映イベントを行った。他にも横浜国立大学のボードゲームサークルとコラボし、ボドゲカフェを地域住民に向けて開催、また農業系の学生団体とコラボし、地域の畑から収穫したサツマイモを利用した焼き芋カフェを開催するなど、横浜国立大学の活動を地域に開いていくということが実現できた。</p> <p>団体の構築：これらイベントの企画・運営を実際に行う学生を募集し、実際の企画を通じて学生団体としてのまとまりの構築を行うことができた。また、これらのイベントを通じて活動に興味のある地域住民（主婦から高校生まで）が仲間に加わった。</p> <p>需要の確認：シェアキッチンができることが周知されたことで実際に使ってみたいという声を直接いただきシェアキッチン需要があることが確認できた。</p> <p>近隣の病院・小学校との連携：イベントを通じて、上星川小学校の教員、保土ヶ谷中央病院の医師たちと繋がりができた。12月以降は保土ヶ谷中央病院と連携して、医療系のイベントの開催を企画している。上星川小学校とは、総合学習に取り入れ、子どもによる地域活動の実践の場として連携することを予定している。</p>
<p>関係者の合意・調整状況 （地域《地権者、整備場所の近隣住民、地域住民、自治会町内会等》での合意形成や関係機関との調整結果の概要について説明してください）</p>	<p>建物所有者：耐震改修の工事費用を捻出できれば、建物は自由に使ってもらって構わないという意向を伺っている。イベント開催のために、無償での建物利用と電気・水道の開通をしていただき活動に対して非常に協力していただいている。/自治体（常盤台連合町内会・和田釜台連合町内会・羽沢横国まちづくり協議会）：若者が地域で頑張っているということで好意的に応援しているという声をいただいた。/住民説明会：11月に2度の住民説明会を行い、住民からの意見をいただいた。説明会時点では運営面でまだ脆弱な部分があり、運営の継続性に対して厳しい意見をいただいたが、ご指摘を踏まえ運営体制の構築を進めた。/近隣住民：地域を盛り上げるものを作るということで応援するが、公金で整備する以上しっかりとしたものを作ってほしいと意見をいただいた。</p>
<p>その他提案について特にPRしたい点を記入してください</p>	<p>①地域拠点 × 学習塾の両軸による運営：通常の学習塾に通う中学生・高校生や現役世代の保護者たちは一般的に福祉拠点や地域との関わりが希薄になる傾向がある。一体の施設として整備することによって地域拠点単体では実現できない交流が期待できる。また、まちづくりのための拠点団体と学習塾の両軸での運営形態とすることで経営面での負担を分散させ持続的に場の運営を行うことができる。②大学に近接している場：大学に近接しており、学生が積極的に参加するPJとなる。学生のフレッシュなアイデアや高いデザイン性を生かしたまちづくりができる。これにより学生と地域住民が協働するまちづくりのモデルケースを目指す。</p>
<p>目指す地域の将来像 （施設が整備されることにより地域がどのように良くなるのか、地域に及ぼすインパクトについて説明してください）</p>	<p>みーとみーとが整備されることによって、地域住民や地域団体の「やってみよう！」や「やりたい！」が実現できる地域となることを期待している。自分のお店を開いてみたいなどの商売的な挑戦、子ども食堂や住民の居場所提供など社会的な貢献、自分たちの活動をより知ってもらうため地域へ開いた活動の実現など、ジャンルを問わず様々な「やりたい！」に挑戦できる場を地域に提供する。それによって自分たちの「やりたい！」を爆発できるようなエネルギーにあふれた地域となっていくと考えている。それら各人の挑戦の中で交流が生まれ、仲間作りや足りない部分の補い合い、助け合いなどが行われる地域となることを期待している。また、色々な団体がこの場所を利用することにより、例えば病院×小学校×みーとみーとで世代を超えた催し・イベントの開催など、今まで結び付かなかつた世代と結びつくことで新たな交流が生まれ、多世代がつながりのある地域となることを期待している。</p>

記載内容について次の点を確認後、チェックボックスに✓を入れてください。

- 記載内容は真実であり、虚偽はありません。
- 記載内容に個人情報はありません。



位置図

位置図は国土地理院が公開している地理院地図をもとに作成



完成予想図(外観パース)



完成予想図(内観パース)



ヨコハマ市民まち普請事業

想定整備費用内訳書

※ 記入上の注意

- 「主な整備項目」「細目」欄の記入にあたっては、事務局と事前に十分調整してください。
- 「数量」欄については、やむを得ない場合を除き、「一式」と記入しないでください。
- 「地域住民等の参加」欄については、例えば地域が労力を負担する場合は、何人くらいが何日間くらい作業を行うかなど、できるかぎり具体的に記入してください。（見込みも含めて記入してください。）また、小中学校や子供会などが参加する場合は、その旨を明記してください。

主な整備項目	細目	数量	単価	計	地域住民等の参加 （費用又は労力の負担等）
解体工事	天井・裏新規開口部外壁	一式	132,000	132,000	地域住民・学生によるWS施工(3人工以上)
床工事（塾部分を除いた約40.3㎡分）	塾部分を除いた約40.3㎡分の床施工	一式	264,000	264,000	
木工事	柱撤去・梁補強	一式	418,000	418,000	
キッチンカウンター工事	調理機器・カウンター	一式	1,872,000	1,872,000	
造作工事	棚（約0.9㎡）・キッチン部床上げ（約7.0㎡）	一式	376,000	376,000	
建具工事	建具(前面約7.2mと背面約2.5m分)ドア(5か所)	一式	1,245,000	1,245,000	
内装工事	内壁下地・仕上げ（約50㎡）	一式	284,000	284,000	地域住民・学生によるWS施工(20人工以上)
トイレ工事	シート張替・機器設置	一式	286,000	286,000	
断熱工事	断熱材設置	一式	210,000	210,000	地域住民・学生によるWS施工(30人工以上)
水道工事	給排水管設置	一式	660,000	660,000	
電気工事	照明器具・スイッチ等設置	一式	308,000	308,000	
ガス工事	ガス管設置	一式	220,000	220,000	
設計料	上記費用×12%			753,000	
合計				7,028,000	

活動内容	日付	参加者	効果
対象建物でのイベント開催：場所の利用可能性の検討			
鍵を借りる	9/22	-	建物所有者から鍵を借り、建物でイベントを自由に行えるようになった。
みーとみーとシネマ (映画上映会)	10/19	20	初めてのイベント開催。沢山の通行人が足を止め、中を覗いてくれた。多くの 高齢者 が来場し、おしゃべりを楽しんでいた。
ボードゲカフェ	10/26	30	横浜国大内のボードゲームサークルとの コラボイベント 。多くの 小学生 で賑わい、大学の活動を地域に広げる場所として使われた。
みーとみーとクラフト (イスづくり)	11/10	30	メンバーの 特技 と建物の 土間空間 を活かし、工作体験のイベントを開催。 親子 での参加が多く、保護者の方にはみーとみーとの説明もできた。
おいもカフェ	11/17	100	横浜国大内の学生団体が栽培したサツマイモを焼いて販売。 「食」をテーマにしたこのイベントには地域の 様々な世代 が集まった。
みーとみーとカフェ <small>資料提出時未実施</small>	12/13 ~14	-	メンバー(niki coffee)が運営するカフェをみーとみーとで出店。 大学生 や 教職員 にも積極的に広報。地域での 飲食店ニーズ を把握する。
…その他多数	-	-	みーとみーとの 様々な使われ方 を発見できた。 参加者から様々な ニーズ を聞いた。 「 集まれる場所 」としてのイメージが住民に浸透し始めた。



ボードゲカフェ



みーとみーとクラフト

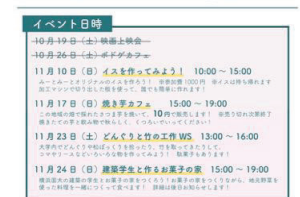


おいもカフェ

運営体制の構築：実現性の向上

メンバーの増加	8月~	イベントなどをきっかけに声をかけてくれる住民や学生が増加。 新規メンバーは高校生から主婦まで。 10~70代 の各世代が揃った。
PJ内チームの再編	10月~	PJ運営・広報・イベント・学生・クラファン に分け、チームを再編。 各活動を効率的に進められるように体制を整え始めた。
運営会議の定期開催	10月~	運営の実現性を高めると共に、PJの 方向性 を定め、 意思統一 をした。

二つ台みーとみーとPJ
秋のイベント情報



イベント情報

広報活動の拡大：地域での認知度上昇

SNSでの発信	9月~	積極的に活動状況を発信。認知度上昇と共に多くの 新メンバー の窓口となった。
ポスターの掲示	10月~	シャッターに貼ることで大池道路を通る 多くの地域住民 に認知されるようになった。
地域メディアで発信	10月~	タウンニュースとYCVに取り上げていただき、 地域からの反響 を得た。
住民説明会の開催	11月	運営面での実現性に関する質問や、提案への 期待の声 をいただいた。



タウンニュース誌面



ポスター掲示

近隣施設との連携：地域を巻き込んだ活動につなげる

上星川小学校	10月	イベントのお知らせ時にプロジェクトに興味をもつていただき、概要説明。 PJとコラボした まちづくり をテーマに総合学習の授業を検討中。
保土ヶ谷中央病院	10月	イベント時に声をかけていただき、概要を説明。 勤務医から地域での 健康イベント 開催について相談を受けた。



運営会議

事業運営計画・収支計画

二つ台みーとみーとPJ その他資料①

事業運営計画

事業の3つの柱

- ① 地域と学生のチャレンジ・協働の機会 シェアキッチン事業
- ② 地域と学生の交流の場 HUBとしての交流の場 主催共催イベント事業
- ③ 地域と学生の出逢いと学びの場 コミュニティカフェ事業

Schedule 2027

10月

【協働の機会】
協働の機会としての
調理師の協働スケジュール

【協働の機会】
協働の機会としての
調理師の協働スケジュール

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun
1					1	2	3
4	4	5	6	7	8	9	10
11	11	12	13	14	15	16	17
18	18	19	20	21	22	23	24
25	25	26	27	28	29	30	31

WEEKLY SCHEDULE

TIME	MONDAY	TUESDAY	WEDNESDAY	THURSDAY	FRIDAY	SATURDAY	SUNDAY
8:00	モニコカフェ	モニコカフェ	モニコカフェ	モニコカフェ	モニコカフェ	モニコカフェ	モニコカフェ
9:00	モニコカフェ	モニコカフェ	モニコカフェ	モニコカフェ	モニコカフェ	モニコカフェ	モニコカフェ
10:00	モニコカフェ	モニコカフェ	モニコカフェ	モニコカフェ	モニコカフェ	モニコカフェ	モニコカフェ
11:00	モニコカフェ	モニコカフェ	モニコカフェ	モニコカフェ	モニコカフェ	モニコカフェ	モニコカフェ
12:00	モニコカフェ	モニコカフェ	モニコカフェ	モニコカフェ	モニコカフェ	モニコカフェ	モニコカフェ
13:00	モニコカフェ	モニコカフェ	モニコカフェ	モニコカフェ	モニコカフェ	モニコカフェ	モニコカフェ
14:00	モニコカフェ	モニコカフェ	モニコカフェ	モニコカフェ	モニコカフェ	モニコカフェ	モニコカフェ
15:00	モニコカフェ	モニコカフェ	モニコカフェ	モニコカフェ	モニコカフェ	モニコカフェ	モニコカフェ
16:00	モニコカフェ	モニコカフェ	モニコカフェ	モニコカフェ	モニコカフェ	モニコカフェ	モニコカフェ
17:00	モニコカフェ	モニコカフェ	モニコカフェ	モニコカフェ	モニコカフェ	モニコカフェ	モニコカフェ
18:00	モニコカフェ	モニコカフェ	モニコカフェ	モニコカフェ	モニコカフェ	モニコカフェ	モニコカフェ
19:00	モニコカフェ	モニコカフェ	モニコカフェ	モニコカフェ	モニコカフェ	モニコカフェ	モニコカフェ
20:00	モニコカフェ	モニコカフェ	モニコカフェ	モニコカフェ	モニコカフェ	モニコカフェ	モニコカフェ
21:00	モニコカフェ	モニコカフェ	モニコカフェ	モニコカフェ	モニコカフェ	モニコカフェ	モニコカフェ
22:00	モニコカフェ	モニコカフェ	モニコカフェ	モニコカフェ	モニコカフェ	モニコカフェ	モニコカフェ

事業ごとの概要・目的

- ① シェアキッチン事業 (全体の約70%)
 - ・理想のシェアキッチン稼働率は70%程度
 - ・地域住民と学生とのチャレンジの機会
 - ・そのチャレンジをきっかけに新たな出逢いに繋がり、お客さんとして訪れた人が自分もチャレンジできるイメージが付きやすく、次に繋がることを想定
- ② 主催共催イベント事業 (全体の約15%)
 - ・地域の方・お子さん・学生をつなぐこと、街を豊かにする地域連携HUB機能
 - ・地域団体や学生団体と手を組んで共催イベントを盛り上げていきます
 - ・1次コンテンツ後、実際に主催・共催イベントを複数開催→地域の方からの好評や今後の期待の声
- ③ コミュニティカフェ事業 (全体の約15%)
 - ・敷居を低く、ドリンク代等の低価格で利用できる
 - ・2週に1回のコミュニティカフェは運営メンバーが担当することで、このプロジェクトの趣旨等を必ず説明することができ、新たな出逢いや挑戦の機会を逃さない!

具体的な事業内容

- ① シェアキッチン事業
 - ・弁当など、飲食店が少ないという声に応えた、弁当やランチ等「座って食べられる場所」の機能。
 - ・編み物教室、英会話教室、お茶教室などの「趣味を教える挑戦の場×新しいことを学べる場」の機能。
 - ・地域団体や学生団体の「発表・公演などの挑戦の場」としての機能。
- ② 主催共催イベント事業
 - ・1次コンテンツ後に既に実施を試みた「みーとみーとクラフト」のような「大人も子供も一緒に楽しめるイベント」の機能。
 - ・「みーとみーとソナマ」のような「夜でも明かりのある安心な街」としての機能。
 - ・小川食堂は地域の野菜等を使って「こども食堂」として活動予定
- ③ コミュニティカフェ事業
 - ・普段交流が少ない地域住民と学生向けに「気軽に交流を話したり聞いたりできる場」コミュニティカフェの実施
 - ・朝から動きのある街への第一歩として「モーニング」も実施。
 - ・これからみーとみーとで新たな挑戦をしたい方も、まずはコミュニティカフェに来て、こんな楽しい活動ができるか一緒に考えていこうと思います。

収支計画 / Annually

売上高①	1期10月	2期10月	3期10月
売上A	¥146,000	¥183,200	¥246,200
売上B	¥20,000	¥20,000	¥20,000
売上C	¥6,400	¥6,400	¥6,400
売上D	¥35,000	¥25,000	¥10,000
売上E	¥15,600	¥85,800	¥163,800
内訳	¥15,000	¥30,000	¥30,000
販売手数料	¥4,000	¥16,000	¥16,000
雑収入	¥50,000		
地代家賃	¥15,000	¥15,000	¥50,000
水道光熱費	¥30,000	¥30,000	¥30,000
通信費	¥3,000	¥3,000	¥3,000
修繕費	¥10,000	¥10,000	¥10,000
消耗品費	¥5,000	¥5,000	¥5,000
保険料	¥5,000	¥5,000	¥5,000
宣伝広告費	¥10,000	¥10,000	¥10,000
企画費	¥10,000	¥10,000	¥10,000
衛生費	¥2,000	¥2,000	¥2,000
仕入額	¥1,920	¥1,920	¥1,920
人件費A	¥0	¥0	¥0
人件費B	¥20,000	¥20,000	¥20,000
合計②	¥111,920	¥111,920	¥146,920
利益①-②	¥34,080	¥71,280	¥99,280

売上高①

売上A: 主催・共催イベントの収入

- ・月2回程度実施予定
- ・地域住民と学生が交流が目的
- ・老若男女が楽しめるコンテンツを実施する
- ・企画により参加費を徴収する

売上B: 主催・共催コミュニティカフェの収入

- ・月2回/2週に1回実施予定
- ・新たな地域住民と学生を取り込むことが目的
- ・低価格のドリンクを用意して敷居を低く訪れやすいきっかけを作る

売上C: メンバー企画イベント・カフェの収入

- ・シェアキッチン利用以外の枠を活用
- ・各企画毎の収支からのマージンを収入とする
- ・みーとみーとの趣旨に沿った活動を認める

売上D: シェアキッチン賃出代

- ・シェアキッチン利用代のすべて
- ・挑戦したい地域住民や学生を応援
- ・個人利用ではなく住民に向けたものを認める

売上E: 商品紹介兼販売棚の月極棚賃

- ・月額レンタルシングルケース利用代のすべて
- ・個人の作品や展示での利用を認める
- ・販売物のお会計のみ運営メンバーが代行可

販売手数料: 地元野菜の受託販売

- ・野菜等を中心とした受託販売手数料のすべて
- ・できる限り地元の農家と提携する
- ・販売物のお会計のみ運営メンバーが代行可

雑収入: シェアハウス家賃 (初年度のみ)

- ・建物改修範囲外である2階居住空間の家賃
- ・2年目は学習スペース増加の可能性あり
- ・居住者は運営メンバーの中から確約済

人件費B: 有償ボランティア

- ・地域メンバーと学生で構成
- ・企画主や主力メンバーには時給を支払うことを予定

人件費A: 無償ボランティア

- ・学習塾と按分して経費計上
- ・前震改修工費費用と相殺にて家主と誓約済み

地代家賃: 整備場所の家賃

地代家賃 (説明不足部分のみ補足)

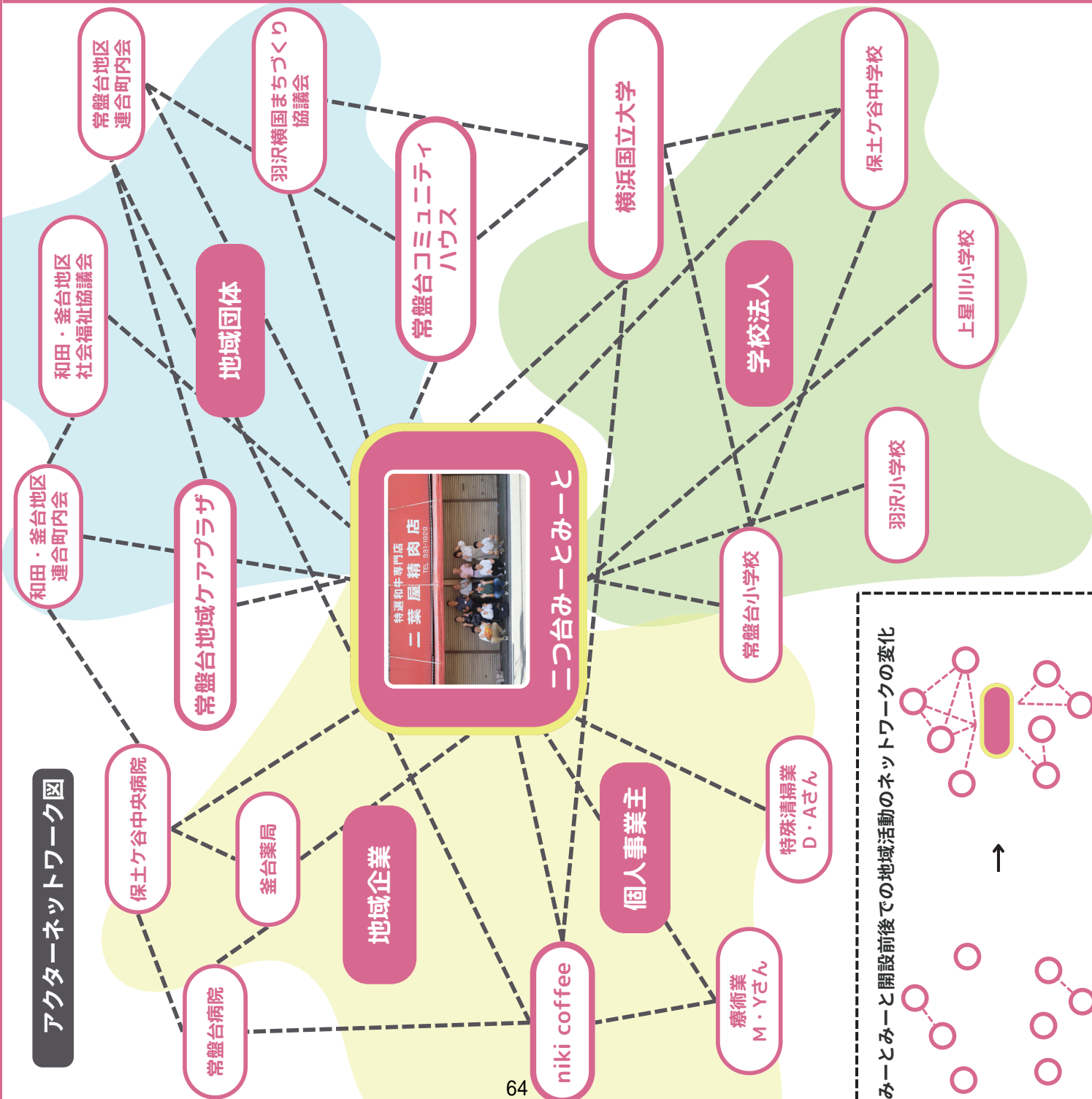
- ・学習塾と按分して経費計上
- ・前震改修工費費用と相殺にて家主と誓約済み

経費細目 (説明不足部分のみ補足)

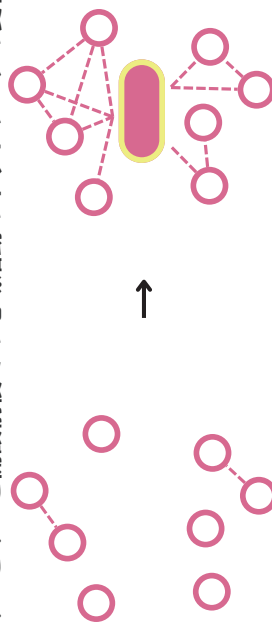
人件費A: 無償ボランティア

- ・地域メンバーと学生で構成
- ・学生は「地域課題実習」の単位として取得可能にする

アクターネットワーク図



みーとみーと開設前後での地域活動のネットワークの変化



実際にシェアキッチンを使いたい人たちの声

■(和台町)40代女性
カレー屋さんをいつかやってみたくて、実際に料理教室に通い勉強中。とりあえず月1で小さく店を始められる場所を探していたのでちょうど良いと思っています。

■(常盤台)60代女性
お茶の講師を細々としています。以前から二つ台の住民の方や学生に向けてお茶で繋がる場所を作りたいと思っていました。茶話会やお茶の淹れ方の講座やお茶にまつわる色々なことを開催して集う人が増えて、この土地に住む人にとって愛着のある場所になってくれたらと思います。これから多くのことを発信して魅力ある場所を目指します。ひとりでは出来ないことをみんなと一緒に作りたいです。

■(釜台町)50代女性
息子(20代男性)が将来ボードゲームカフェを開くことに興味があります。不登校の子供にも昼間に居場所ができればいいなと思っていますが、収入になるかも不安です。時間貸しで、小さくチャレンジできるような場所があればいいなと考えていたので興味があります。

■(釜台町)70代女性
弁当屋さんを経営していました。月1くらいならお店を出しても良いかと思っています。

■羽沢近隣の方々
プライベートのメンバー。コミハ・ケアプラは無料で使える場所ですが、営利販売が難しいため、この場所を使って何か販売ができれば嬉しいです。

■常盤台中部に住んでいる方
お弁当屋さんをやってみたくて、親子で勉強中です。

その他、近くの養蜂園・チーズケーキ屋さんなどからお問い合わせを頂いております。



二つ台
みーとみーと

2次コンテスト事前質問集

【提案名グループ名】 二つ台みーとみーとPJ	
事前質問	回答欄
朝比奈委員	
<p>① 外部の声を積極的に生かそうとする姿勢にとっても共感します。活動の輪が広がると、一方で理念（大事にしていること）を共有していくことが大事になってくると思います。その点について考えていることがあれば教えてください。</p>	<p>理念に関しては、①チャレンジ・挑戦の機会の提供 ②地域のハブとして交流の場の提供 ③学びの場の提供という3つの理念を現在のメンバー間で、考えだし共有しています。今後、新たな加入メンバーが入った際や新たな仲間を募集する際には、この3つの軸を目指して動いている団体であるということをもまず最初に伝えるようにしていきたいと考えています。</p> <p>また、今後団体を組織していく上での規約をしっかりと作成して行きたいと考えています。</p> <p>さらに、地域住民に対してはみーとみーと主催のイベントやコミュニティカフェ等で当プロジェクトの趣旨を継続的に伝え続け、地域から応援してもらえるプロジェクトとなるような関係性を作っていきます。</p>
<p>② 学習塾と連携があるからこそできることはたとえばどんなことですか。</p>	<p>学習塾のメインターゲットは小学校高学年から中学生を想定しています。一般的な子ども食堂などは訪れる層が小学生など年齢の低い子どもである傾向が強いですが、学習塾と同じ建物であることで、みーとみーとで行われる地域活動が中学生に触れる機会が増えることが期待されます。</p> <p>また学習塾に通う生徒だけでなく保護者も含め、みーとみーとに関連するイベント等に関わることができ、より幅広い世代の住民に関わってもらえるという効果が期待できま</p>

	<p>す。同様に学習塾でアルバイトをする大学生も地域活動に関わるきっかけになることも期待されます。学習塾の講師と生徒という関係性が構築されているからこそ生徒も講師も活動に参加しやすくなることと考えられます。</p> <p>子どもたちは小さな頃から地域活動に関わることで、自分の生まれ育った街に愛着が沸き、ゆくゆくは街を主体的に盛り上げる一員となってくれることを期待しています。</p> <p>子どもが学校や部活動以外のコミュニティを持つことで子どもと古くからの地域住民とが交流するきっかけを作り、より一層安心できるまちづくりができます。</p>
<p>植松委員</p>	
<p>① 現地視察に伺った際、多くの学生さんが様々な形で関わっており、その多面性、継続性に疑義をさしはさむ余地はないように感じました。不安が残るとすれば、シェアキッチンにどの程度の需要があるのか、という点ですが見通しは如何でしょうか。</p>	<p>10月から11月にかけて地域に向けたイベントの開催とInstagramなどの広報を通じて、シェアキッチンを整備する旨の告知を行いました。</p> <p>その結果、興味があり具体的に話を聞いてみたいという問い合わせを15件いただいております。2次コンテスト提出資料の「その他資料」の2枚目の右側に(11月末までにいただいた)使ってみたい人の声を記載しております。</p> <p>また、11月に開始したクラウドファンディングの返礼品にてシェアキッチン利用権が既に4枠選ばれています。</p> <p>オープン前の段階で地域内の方のみで問い合わせがあるため、シェアキッチンの需要は見込めるのではないかと考えています。</p> <p>また世間一般的にもここ数年でシェアキッチンの需要の高まりにより開設数が増加しています。シェアキッチン専用の予約サイトプラットフォームに登録し、地域外からの利用者也受け付けたいと考えております。</p>

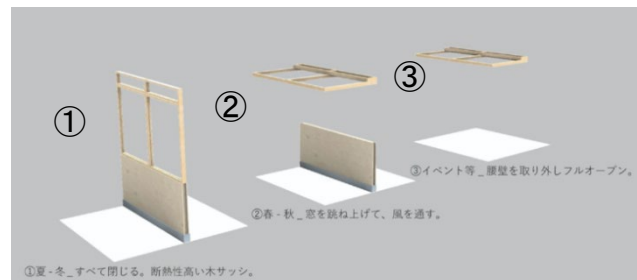
<p>② 近くにある大きな病院には患者と面会者が寛いで話を出来る場所が少ないが、こちらと連携するなどの計画はありますか。</p>	<p>隣接する保土ヶ谷中央病院さんとは、すでに連携をしており、12月6日に第一回健康カフェを開催しました。総合診療科の医師と実習中の医学部生、栄養士さんなどがみーとみーとで、地域住民とお茶しながら日頃の健康についてのお話をするというイベントを開催しました。</p> <p>1月10日に第二回を開催することが決定しており、これから定期的に保土ヶ谷中央病院と連携してイベントを開催していきたいと考えています。</p> <p>このように病院の医師との繋がりができているので、今後、寛いで話を出来る場所のニーズなどがあれば病院と連携していきたいと考えています。</p>
<p>川原委員</p>	
<p>質問なし</p>	
<p>後藤委員</p>	
<p>① 500万円を超える整備費用については、どのように賄う予定でしょうか。</p>	<p>500万円を超える整備費用については、クラウドファンディング・地域からの寄附と学習塾としての融資で捻出する予定となっています。</p> <p>クラウドファンディングは既に11月から12月にかけて実施し、132万円の寄付が集まりました。また、クラウドファンディングの周知を兼ねて地域への挨拶回りを行いました。その結果、直接の寄附や口座振込での寄附も募ることができました。クラウドファンディングは終了しましたが、引き続き寄付自体は募る予定です。</p>
<p>杉崎委員</p>	
<p>質問なし</p>	
<p>鳥海委員</p>	
<p>① 将来的な構想はイメージできました。まち普請事業における具体的な整備箇所は1次コンテストから変更なしとの認識でよろしいでしょうか？完</p>	<p>キッチンカウンターの配置が1次の時から変更されましたが、それを除けば整備箇所について大きな変更はありません。</p>

成予想図の外観パースをみると、土間に出入り口なしのフルオープンにみえます。具体的な整備についてもう少し知りたいです。

道に面した大きな開口をどう生かすかはこのプロジェクトの整備事業において重要な点です。私たちの計画では、日本の伝統的な建具である「蔀戸（しとみど）」を参照しながら、下図のような、跳ね上げ式の木サッシ建具を設ける予定です。

使い方や気候に合わせて閉めきった状態からフルオープンの状態まで、3段階のひらき方が可能になります。断熱性や安全性に十分注意して検討しております。

パースでは、まちゆく人々に対して本拠点を文字通りフルオープンに開放するようなイベント時等を想定して絵を描いております。コンテスト当日には模型等を用いてより詳しく説明できるかと思えます。



- ① 夏・冬_すべて閉じる。断熱性高い木サッシ。
- ② 春・秋_窓を跳ね上げて、風を通す。
- ③ イベント時等_腰壁を取り外しフルオープン。

肥後委員

① シェアキッチン利用ニーズがどのくらいあるかを具体的に把握していますか？

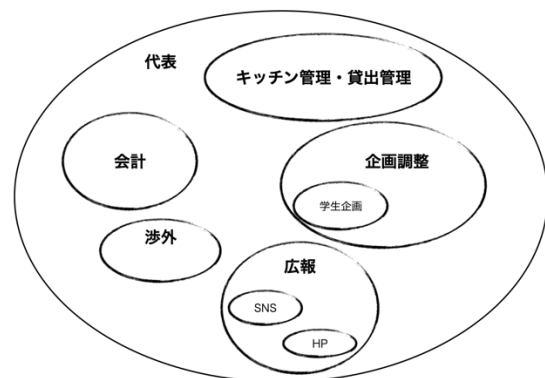
植松委員の質問①にて同内容の質問がありましたので、そちらの方にて回答いたしました。

② みーとみーと全体の運営は、代表中心に行うのでしょうか？

代表が全体を把握しつつ、現在の各メンバーで役割を分担し、それぞれ負担が大きくなりすぎないような組織体制で運営を行いたいと考えております。

ヒエラルキーの組織体制ではなく下図のようなホラクラシーの組織体制が二つ台みーとみーとには適しているのではないかとチームで考え組織図を作成しました。

二つ台みーとみーと 組織図



各ロール（役割） 定義

キッチン管理・貸出管理

- ・ 予約、現地説明、スケジュール管理

渉外

- ・ 地域連携（町内会等に企画の説明に行くなど）
- ・ 説明、要望を聞き取る、開拓系

広報

- ・ SNS、チラシ、広報状況の管理
- ・ HP、新聞、TV、取材
- ・ プレスリリース

会計

- ・ 収支管理、領収書、見積もり
- ・ 取引の記録、税務管理、現金、預金管理

企画調整

- ・ 各企画の統括、進捗管理

松村委員

質問なし

ヨコハマ市民まち普請事業

第2次提案書

- 注1) 2号様式はページを増やさず、必ず3ページ以内でまとめてください。
- 注2) 2号様式は市民に公開しますので、個人が特定できる情報は記入しないでください。
- 注3) 添付資料は計画図(位置図・平面図・完成予想図各A3判1ページ、その他必要に応じて配置図・断面図・立面図等)、想定整備費用内訳書(第3号様式)、協議・説明状況報告書(第4-1～3号様式)、1次コンテスト以降の活動内容(任意様式A4判1ページ)、その他資料(必要に応じてA3判2ページまで)

提案グループ名 (25字以内)	『あつまれ！なみき』ワーキンググループ
整備場所 (町名又は丁目まで記入)	金沢区並木二丁目
提案名 (25字以内)	あつまれ！なみきの・みんなで・きずくみらい！
助成金申請予定額	500万円
整備する施設 (具体的な整備内容※1を工夫した点※2にも触れて記入してください) ※1施設の全体像とともに整備助成金の対象箇所を明記してください ※2住民等が持つ発想、方法などを生かしたアイデアやユニークさ及びデザインへの配慮	<p>【市民活動ならではの福祉・交流拠点：あつまれ！なみきベース】 並木地区の中心にあるピアレヨコハマ内に新たにオープンする「たぬきち商事」の事務所を廉価に借りて、公的施設では実現できない様々な地域の福祉・交流拠点を整備する。</p> <p>①あつまれ！なみきベース【床の整備】 普段は買い物ついでの休憩の場として気軽に立ち寄れる場、イベント開催時は、オープンな場所で地域活動と触れあう場としてフリースペース・レンタルスペース、プライバシーに配慮した相談コーナーを整備する。子どもが自由に遊べるキッズスペースも整備する。グループの貴重品・物品保管場所を用意する。</p> <p>②みんなの自由帳【壁・棚の整備】 地域の活動者がローカルな情報を発信・収集する場を整備する。</p> <p>③まちのダイニングキッチン【シェアキッチン・カウンター・間仕切り壁】 こどもや高齢者の孤食の解消のために4～5人で作業ができるキッチンを整備する。空いている日はシェアキッチンとして貸し出す。</p>
施設の活用・活動内容 (具体的な活動内容を工夫した点にも触れて記入してください) ※第1次提案書より具体的に記入してください	<p>整備場所では、並木で長年地域活動に携わってきた住民の「知恵と経験」、専門職・企業の「ノウハウ」が融合し、今までにない自由な活動が実現できる。また必要な人が支援につながる仕掛けを行う。</p> <p>やること①「あつまれ！なみきベースの世話焼き管理」 <u>火～日曜日の13：00～18：00にメンバーが駐在</u>して、「フリースペース」に<u>立ち寄った方への声かけや利用者間の交流などの世話を焼いて</u>、把握した地域の課題やニーズはメンバー内で共有し、解決に取り組む。声かけのきっかけとして有料での飲み物の提供や、駄菓子販売スペースを設ける。「レンタルスペース」の利用者には、<u>広報協力やノウハウの提供などの世話焼き</u>を行う。奥の「相談コーナー」は、可動式パーティションでプライバシーに配慮した空間として、<u>メンバーで対応できない相談は、ケアプラザやたぬきち商事に繋いで、プロによる課題解決に繋げる。</u></p> <p>壁面や棚の「<u>みんなの自由帳</u>」は、①地域活動の情報発信、②福祉機器などの展示・販売、③ギャラリー・小箱ショップなど個人の作品の発表・販売を</p>

	<p>行い、利用料は活動費に充てる。</p> <p>やること②「あつまれ！なみき大家族」 <u>毎週金・土曜日17：00～20：00</u>は「こども食堂」を開いて、大学の栄養学部などと協力したメニュー開発や、ピアレ内の食料品店からの食材提供など、学校や企業との連携を行う。<u>毎週木曜日11：00～13：00</u>は金沢シーサイドタウン地区社協と共催で、高齢者の孤食解消の「ほのぼのカフェ」を開いて、誰かと一緒に食べたい人、誰かのために作りたい人をつなげる。空いている時間は、有料のシェアキッチンとして、地域で食に関連した活動・小商いをする方に貸し出す。</p> <p>やること③「あつまれ！なみき～100までなみき健康講座」 <u>毎週1回</u>、理学療法士や管理栄養士等と協力して、ピアレヨコハマ内で階段昇降や低い位置にある販売品の取り方の指導、買い物のコツ・調理方法等を伝える有料講座を開催する。</p>
<p>提案の背景 (なぜ提案をするのか、地域のニーズや課題、生かしたい地域の魅力等に触れて説明してください) ※第1次提案書から変更した点がある場合はその理由も記入してください</p>	<p>●活動場所の閉鎖:ボート小屋が令和6年度末に閉鎖されるので、地区社協主催のサロンの活動場所がなくなってしまう。</p> <p>●非営利の原則:公の施設では金銭の授受は禁止という原則があり、こども応援部主催のおばけやしきでは、50円や100円の子どもたちの手作り小物の販売ができなかった。</p> <p>●若い世代の発想:高齢化で地域の担い手不足がある反面、従来型の活動を元にした運営のため、若い世代の方々の発想を取り込めていない。 また、1次コンテスト以降のアンケート調査やフリースペース利用者からの聞き取りで、以下の地域ニーズが把握できた。</p> <p>●子どもの居場所:シールアンケートでは25%・362枚が『子どもが遊べる場所』だった。地区の保護司からは「並木には大人の目の届く小学生から高校生くらいまでの居場所が少ないので期待している。」という声があった。</p> <p>●こども食堂:社協主催の落語会でのアンケートでは「並木にないこども食堂が欲しい」という意見があり、シニアクラブ会長が施設に立ち寄った際に「こども食堂をやりたいが、こどもが少ないからと自治会から断られ、公の施設は団体の結成・登録を求められ、メニューを考えたり調理するのに仲間が必要と諦めていたが、ここなら仲間を集めて実現できる」との声があった。</p> <p>●シェアキッチン:施設に立ち寄った方から、「副業も兼ねてシェアキッチンを使いたいが、公共施設は営利不可、一般の施設は料金が高く難しい」との声があった。</p>
<p>整備プロセス (スケジュール、つくるときに連携する仲間の役割や活用する地域資源注4)、費用削減の工夫に触れて説明してください)</p>	<p>○2025年2月～3月はプレ運営をしながら、利用ニーズの掘り起こしと、整備後の活動者の発掘を行う。また理学療法士・栄養士・調理師など、施設に必要な細かい要件を整理する。</p> <p>○2025年3月に子ども会議を開催し、駄菓子屋のデザインを考える。</p> <p>○2025年5月から内装工事を開始し、手の届く範囲の壁紙張り、床面の整備、装飾づくりなどは地区内の学校や地区社協、利用者となる方と協力して行い、自分たちの居場所だと意識して頂くようにする。</p> <p>○2025年7月オープン記念イベントを開催し、主催事業と協力者による事業を開始する。</p> <p>※キッチン以外はメンバーや住民等のDIYで費用が抑えられている。</p>
<p>維持管理・運営計画及びその実施方法 (維持管理・運営するときに連携する仲間の役</p>	<p>○施設所有者(金沢商業開発)及び賃貸借契約者(たぬきち商事)がメンバーで、廉価な賃料での運営が可能となる。駄菓子販売スペースの初回仕入れに関する費用はピアレ横浜オーナーに寄付を頂く予定で、その後の仕入れや収支の管理はグループが行う。また住民が集い、活動することで「ゼブラ企業」として地域に根ざした事業を行うたぬきち商事にとっても、施設利用者が利用者やスタッフの発掘につながる為、賃料を抑えることができる。</p>

割や活用する地域資源注4)に触れて説明してください)	<p>○有料の飲み物提供の売上やレンタルスペース利用料、「あつまれ！なみき～100までなみき～」の参加費で運営費を賄う。</p> <p>○自治連合会や地区社協の役員がメンバーにいる為、回覧板や掲示板での情報提供の協力が得られる。</p> <p>○食品衛生責任者の資格所有者、管理栄養学部の教授、理学療法士、金沢商業開発、たぬきち商事など産学民が協働した運営を行う。</p>
----------------------------	--

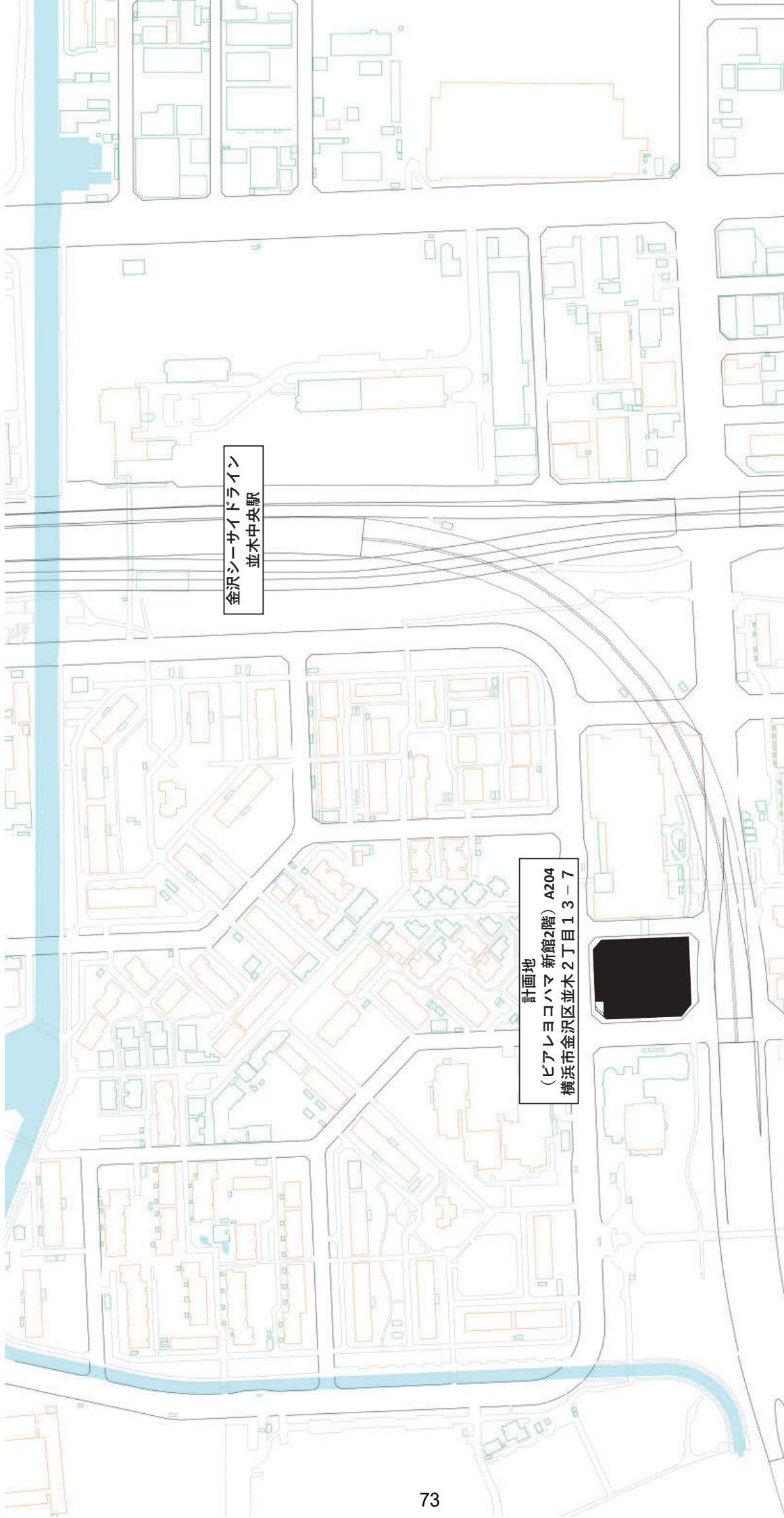
注4)「地域資源」とは、次のようなものを想定しています。

- 「ヒト」の例 ・地域のPTAから協力を受けられそう。 ・地域に設計の専門家がいる。
- 「モノ」の例 ・整備に必要な材料を安く入手できそう。 ・整備に必要な建設機械を安く借りられそう。
- 「カネ」の例 ・自治会町内会から資金的な支援を受けられそう。 ・バザーなどで資金を集められそう。

1次コンテスト以降の活動内容 ※詳細については添付資料(任意様式)に記入してください	<p>○整備場所についての意見集約(あつまれ！なみきベースでのシールアンケート・地区社協主催の落語会でのアンケート・ベースに設置したこれからの並木を考える掲示板・あつまれ！なみき生涯活躍のまちをつくる会・『あつまれ！なみき』ワーキンググループお知らせとホームページ作成)</p> <p>○活動シミュレーション(レンタルスペースとしての貸し出し・あつまれ！なみき大家族お試し開催)</p>
関係者の合意・調整状況 (地域《地権者、整備場所の近隣住民、地域住民、自治会町内会等》での合意形成や関係機関との調整結果の概要について説明してください)	<p>○施設所有者及び賃貸借契約者に定例会への参加をして頂き、グループメンバーとして参加、活動への協力をして頂くことになった。</p> <p>○ピアレコハマ新館・整備場所と同じフロア内のテナント(整備場所の近隣住民)とスマイル保育園への説明を行い、合意を得られた。</p> <p>○回覧板や掲示板など各自治会への情報共有の協力、整備場所の周知として金沢シーサイドタウン地区連合自治会定例会でご説明し、合意を得られた。</p> <p>○金沢シーサイドタウン地区社会福祉協議会定例会でご説明し、合意を得られた。「あつまれ！なみき大家族」「あつまれ！なみき～100までなみき健康講座」について、広報や当日の開催の手伝いの協力体制を得られた。</p>
その他提案について特にPRしたい点を記入してください	<p>○金沢商業開発は地域貢献の一環で賃料を安く設定、そこを地域に根ざした事業を展開するたぬきち商事が借り、地域活動との連携・協働のために採算度外視で使わせてくれている。メンバーには栄養や運動の専門職もいる為、幅広い世代が利用するスペースになる。</p>
目指す地域の将来像 (施設が整備されることにより地域がどのように良くなるのか、地域に及ぼすインパクトについて説明してください)	<p>○「ここで活動することで人や情報がつながり、次の担い手や新しい活動が生まれる」、また「個人でも団体でも既に活動する人が疲れを癒しに来る場所ができる」ことに産学民連携が加わり、必要な取り組みがつながる、広がる、増える並木になる。</p> <p>○子ども、学生、若い世代の居場所、活動、交流拠点ができることで、並木で担い手育成の循環が起こる。また、誰でも気軽に来ることができる商業施設のフリースペースで、「また会ったね」と言える第二の実家のような安心感を持てる場所が並木にできる。</p>

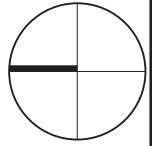
記載内容について次の点を確認後、チェックボックスに✓を入れてください。

- 記載内容は真実であり、虚偽はありません。
- 記載内容に個人情報含まれていません。

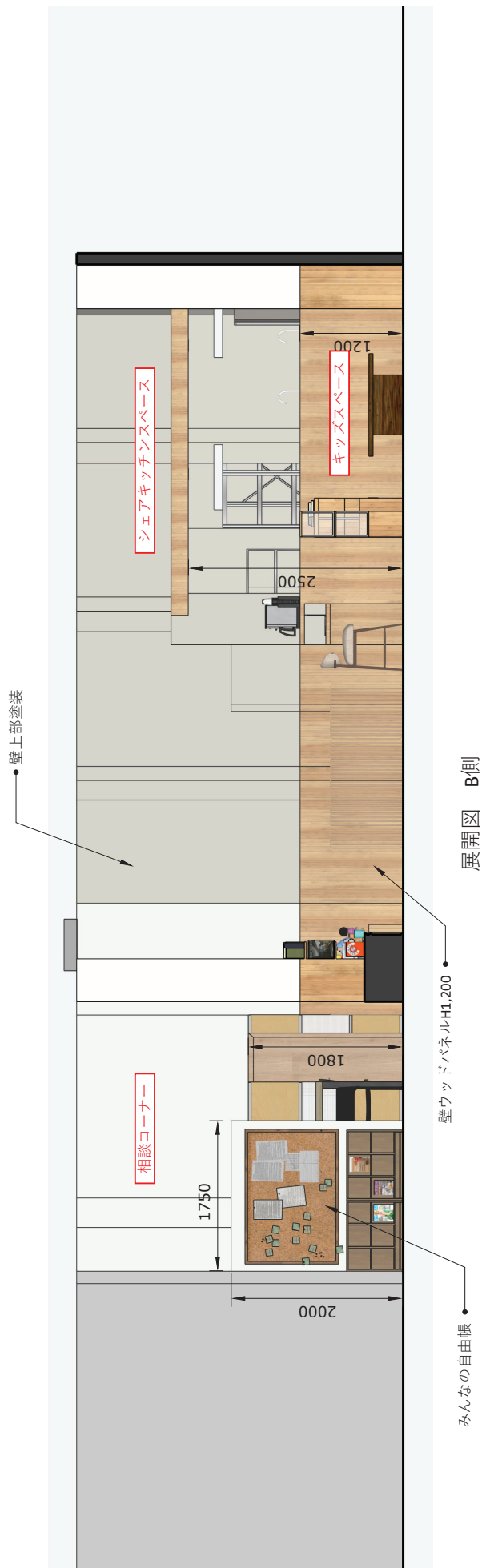


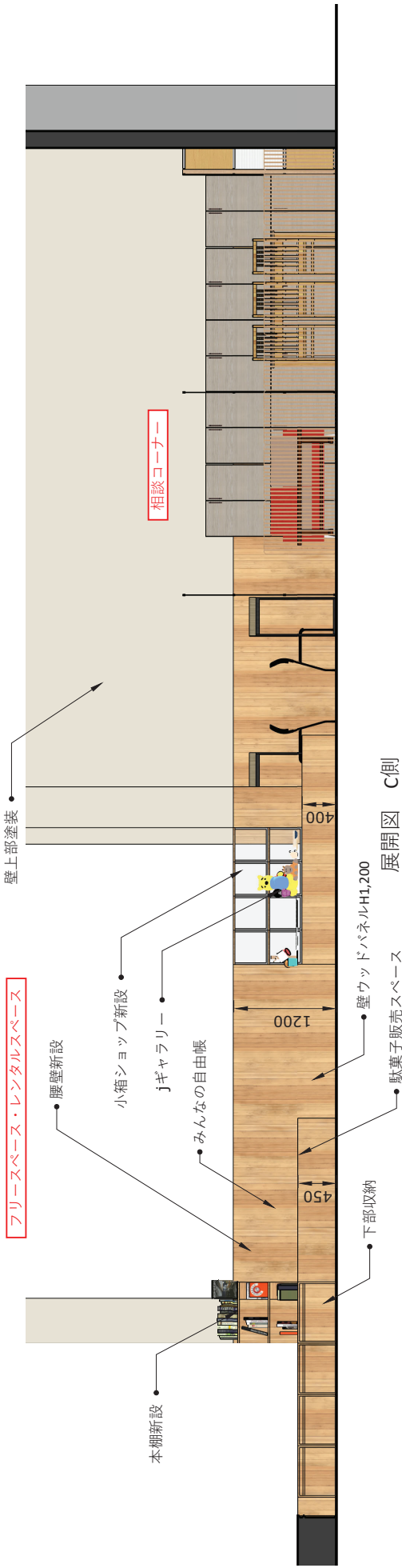
金沢シーサイドライン
並木中央駅

計画地
(ピアレヨコハマ 新館2階) A204
横浜市金沢区並木2丁目13-7

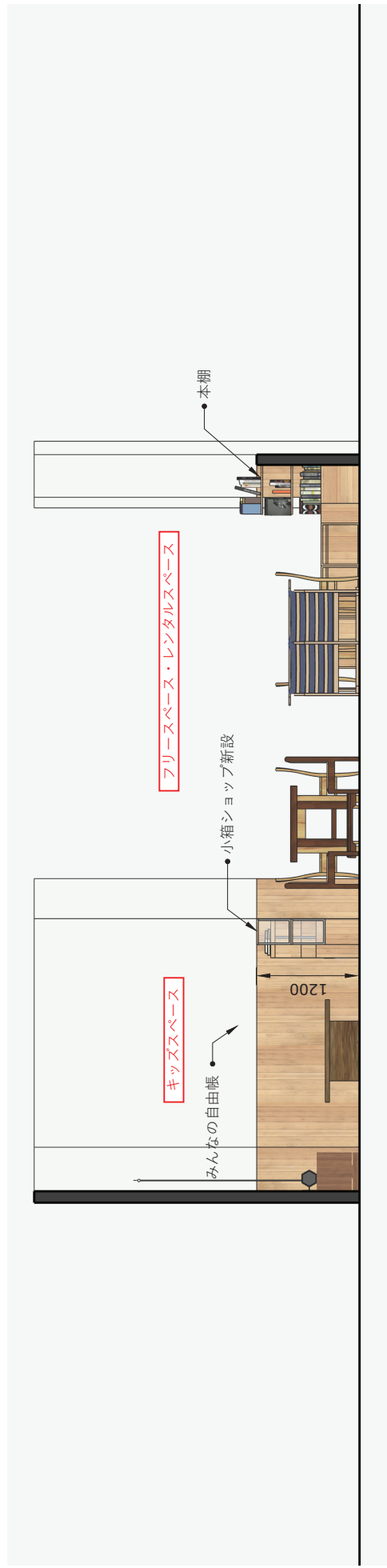


出典：国土交通省 国土地理院地図

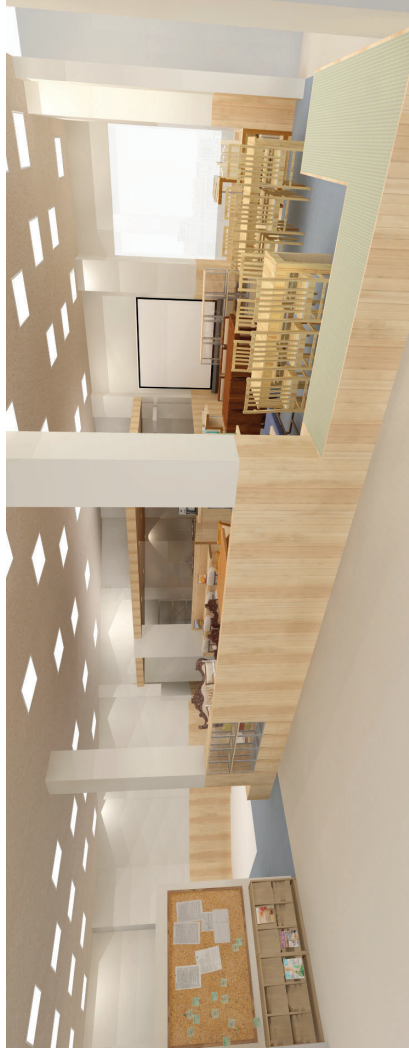




展開図 C側



展開図 D側



エントランス付近より



キッズスペース



エントランス付近より



フリースペース・レンタルスペース



シェアキッチンスペース



相談コーナー

ヨコハマ市民まち普請事業

想定整備費用内訳書

※ 記入上の注意

- 「主な整備項目」「細目」欄の記入にあたっては、事務局と事前に十分調整してください。
- 「数量」欄については、やむを得ない場合を除き、「一式」と記入しないでください。
- 「地域住民等の参加」欄については、例えば地域が労力を負担する場合は、何人くらいが何日間くらい作業を行うかなど、できるかぎり具体的に記入してください。（見込みも含めて記入してください。）また、小中学校や子供会などが参加する場合は、その旨を明記してください。

主な整備項目	細目	数量	単価	計	地域住民等の参加 (費用又は労力の負担等)
シェアキッチンスペース	鋼製建具	1式	600,000	600,000	
シェアキッチンスペース	ガラス工事	1式	1,089,000	1,089,000	
シェアキッチンスペース	電気設備	1式	524,000	524,000	
シェアキッチンスペース	厨房設備工事	1式	1,884,000	1,884,000	
シェアキッチンスペース	給排水工事	1式	154,850	154,850	
シェアキッチンスペース	防災工事	1式	2,134,000	2,134,000	
壁・棚・小箱 造作	造作	1式	0	0	DIYにより制作： 10人/日-3日間 材料：寄付による
床貼り	タイルカーペット、フローリング	133㎡	0	0	DIYにより床貼り： 10人/日-7日間 材料：寄付による
壁貼り	ウッドパネル貼り	52㎡	0	0	DIYにより壁貼り： 3人/日-7日間 材料：寄付による
壁塗装	ペンキ塗装	153㎡	0	0	DIYにより塗装： 3人/日-7日間 材料：寄付による
合 計				6,385,850	

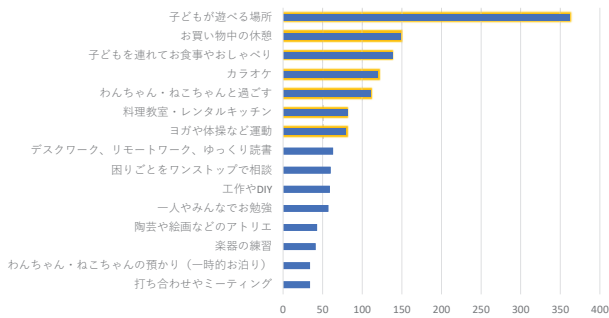
1次コンテスト以降の活動状況①

シールアンケート調査及び落語会アンケート調査



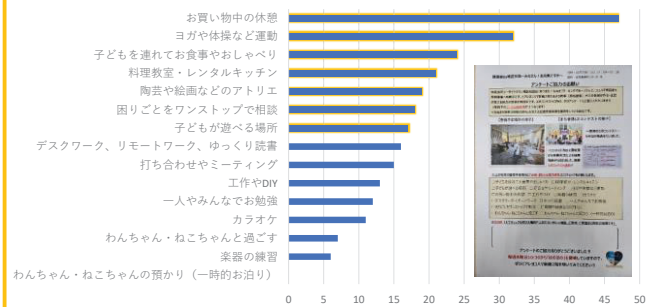
★ベース機能アンケート集計

R6.10.10～R6.11.15 「1,428回答」



地区社協主催の落語会アンケート集計

R6.10.30 「106枚配布86名が回答」



【ニーズ把握・整備内容の検討】「子どもが遊べる場所」、「お買い物中の休憩」の票がアンケート初期から多かったため、現在**飲食可能なフリースペース（キッズスペースあり）**として火～日曜日お試し開放中！

栄養の日2024inピアレコハマ新館2階 開催

栄養の日2024
inピアレコハマ新館2階
8月10日(土) 11:00～17:00
入場 無料

12:00に休憩場にて、コラゾン1階の『新鮮村』様の食材を使用した右記お弁当販売がございます。
ご来場の皆様は、ぜひお立ち寄り下さいませ！

会場では講演会にブース出展など、様々な学びや来場特典が盛りだくさんで、健康チェックもあり！会場の中を見て回ると、新しい発見が必ずあるはずです！会場案内をご参考しぜひ全てのブースをご覧下さいませ！

キッズスペースには、お楽しみ頂ける遊び場もご用意しています！

【グループ・整備場所の周知】『あつまれ！なみき』ワーキンググループで企画・運営を行いました。左上ピアレコハマ新館図の赤丸①～③の空き店舗を活用させて頂き、当日は約500名の方にご参加頂きました。フリースペース（休憩所・キッズスペース）として整備場所を開放し、「ここはどうなるんですか？」と来られる方に**まち普請事業やグループ・活動についてご説明**しました。

【整備内容の検討】並木の皆様お馴染みのボード小屋の取り壊しが決定し、地区社協さんで開催している「ほのぼの」が整備場所へ移転して下さいました！**その他各種イベント**でご活用頂きました！

整備場所での活動応援（レンタルスペース）



これからの並木を考える掲示板『なみきの“今”と“むかし”を語ろう』



1次コンテンツスト以降の活動状況②

みんなのそばに 子ども食堂・地域食堂

あなたの家の近くに子ども食堂・地域食堂を見つけたら、ぜひ一度足を運んでみてください。そこには温かい笑顔と、おいしいごはんが待っています。

並木地区は空白

×は休止中

【作成】金沢区社会福祉協議会
金沢区子ども食堂・地域食堂連絡会
(2021年7月時点)

子ども食堂 地域食堂

子どもを中心としたみんなの居場所であり、無料または低額で食事を提供する場所です。

子どもや親子だけでなく、高齢者の方など様々な方が参加できる場所もあります。「誰かとお話ししながら食事をしたい」など、ちよっと興味が湧いたら、お近くの子どもの食堂・地域食堂をのぞいてみませんか？

★金沢区子ども食堂・地域食堂連絡会のご案内？

金沢区子ども食堂・地域食堂連絡会は、金沢区の子どもの食堂・地域食堂のネットワーク化を図り発達させました。食堂同士だけでなく、様々な専門機関とも連携しながら活動しています。



あつまれ！なみき生涯活躍のまちをつくる会開催
初回R6.9.6 (以降毎月第1・3金曜日)

【二一スの掘り起こしと協力者の募集】並木にお住まいの方より「ケアラザ」などは団体登録、予約、鍵の貸し借りが必要なので、本音を言えば**気軽に使えない**。」「友達も高齢になり病気をしているのを見ると、自分も不安になる。**たぬさちさんの仕事を説明してほしい**。」「このことが分かってきた気がする。何かあれば**盡力ながらお手伝いします**。」「プロ級の作家さんも近所にいらっしゃる。**作品展や販路**などできたら良い。」「や、近隣の介護事業者の方より「ピアレコハマ」があるのありがたい。」「長年並木を見て思うのは、若い世代は活用している。**休憩できるスペース**があるのありがたい。」「他地域の主任児童委員さんより「不登校のお子さんの居場所など、**が住みたくなくなる街**になると良い。」「や、他地域の主任児童委員さんより「不登校のお子さんの居場所など、住民と企業と一体になっているところからこそ、**活用に夢が膨らむ**。」などのご意見を頂きました。

あつまれ！なみき大家族（こども食堂）お試しい開催 R6.10.24～R6.10.26



【整備内容の検討・活動シミュレーション】「子どもの居場所にシールたくさん付いている。よく調べたら**並木にこども食堂ないね**。前からやってみてみたいと思ってた！」という**グループメンバーの思いからお試しい開催**！計19名の親子にご参加頂き、「子どもがここでずっと遊んでいるので**非常に助かります**」や「正式に開いたら教えて欲しい。**絶対来ます**！」などのご意見を頂きました！

『あつまれ！なみき』ワーキンググループお知らせ・ホームページ作成

ピアレコハマ

大倉社長からのメッセージ
金沢区の魅力あふれる地域です。緑豊かな自然、便利な都市機能、そして子育てにも優しい環境。本当に素晴らしい場所だと思います。
私は、この金沢区が大好きです。ですから、もっとも長く生きていきたいと考えています。
「どうすればさらに良くなるだろう」と、いつも頭を悩ませています。
今までも地域の皆様と一緒に様々な取り組みをしてきました。
金沢区はもっともっと魅力的になると思っています。少しでも大きな可能性を秘めています。
ひとりでも多くの住民の皆さんに役立つようなスペースになることを祈っています。

どうか、一緒に盛り上げていきましょう！
私たちの誇る金沢区へ「来を、皆様と共に作り上げていけたら...」そう願っています。

ホームページ一部抜粋

「なみき」が暮らしやすく、楽しくなること。
このチャンスを逃さず、ぜひご参加ください！

意見を送る

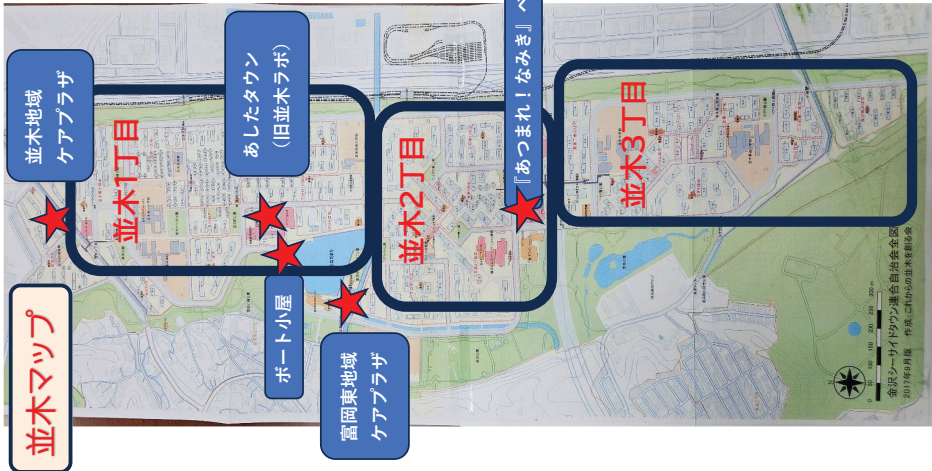
是非あなたのご意見を聞かせください。
日々の暮らしの中で、なみきにあったらいいな！と感じたものがありましたら、以下の運営改善をチェックしてください（複数可です！）
運営改善の中になければ、その他にチェックし、自由に記述してください！
こういう風に使いたい！

子どもを連れてお食事やおしゃべり
 お買い物中の休憩

【あつまれ！なみき】の特別発信

【あつまれ！なみき】の特別発信

【あつまれ！なみき】の特別発信



月	火	水	木	金	土	日
定休日						
週間スケジュール 午前 (10:30~13:00) ケアプラザの出張相談(共催) 14:30~16:30						
午後 (13:00~17:00) 色付き空白部分は ・フリースペース ・レンタルスペース ・有料での飲み物提供 ・駄菓子販売スペースを管理						
夜間 (17:00~20:00) 色付き空白部分は ・フリースペース ・レンタルスペース ・有料での飲み物提供 ・駄菓子販売スペースを管理 (18:00まで)						
あつまれ! なみきまでなみき健康講座 14:00~15:30						
あつまれ! ケアプラザの出張相談(共催) 14:30~16:30						
あつまれ! なみき大家族 17:00~20:00						
あつまれ! なみき大家族 17:00~20:00						
あつまれ! なみき大家族 17:00~20:00						

グループ結成の経緯

地域ケアプラザ主催「まちづくりカリキュラム」事業
 令和6年1月キックオフ!!
 (地域課題把握・課題解決案の検討と実行をセットにした「まちづくり」がテーマの自主事業：毎月1回)

地域ケアプラザ

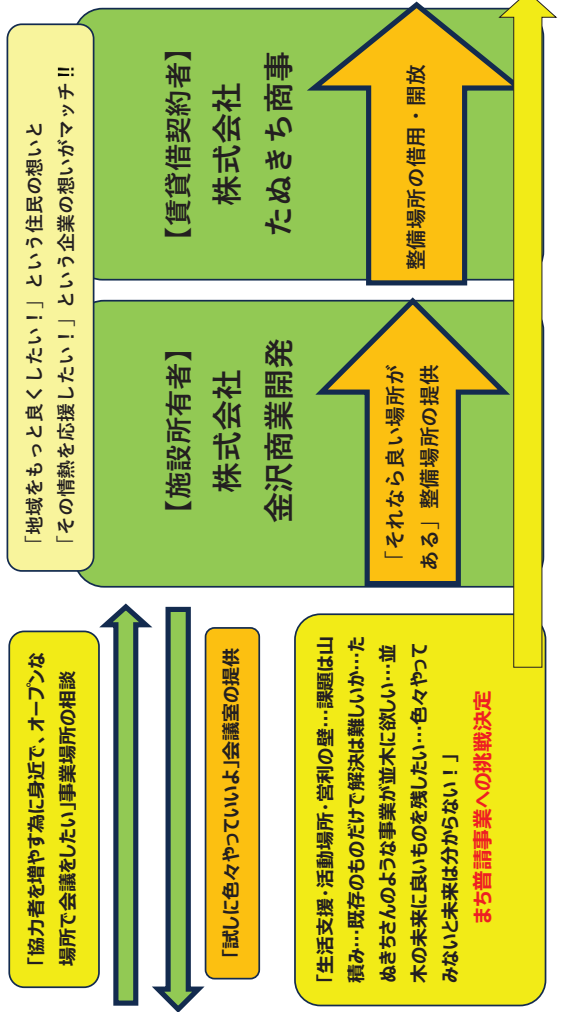
参加希望住民

近隣病院PT

株式会社 たぬきち商事

近隣大学教授

金沢商業開発



あつまれ! なみきワーキンググループ 『あつまれ! なみき』ベース (協力者の声)

ポート小屋がなくなる地域サロンの場所が...
 3丁目は活動場所がそもそももないね...

金沢シーサイド
 タウン地区社協

販売 = 営業? 活動するとすぐ壁にぶつかるとも応援部

定例会参加で「賃貸住宅の管理でもごみ屋敷や身元保証人がいないとか聞く」地域の中には個人でも団体でも色々課題があるのが分かった!

金沢商業開発
 金沢シーサイドFM

2次コンテスト事前質問集

【提案名グループ名】 『あつまれ！なみき』ワーキンググループ	
事前質問	回答欄
朝比奈委員	
① レンタルスペースやシェアキッチンの使い方について教えてください。誰がどのようにどの程度利用すると見込んでいますか。	別紙1をご覧ください。現在利用相談を受けているものも含め、月間スケジュールを作成しました。グループメンバーが行う事業（表では「なみき健康講座」・「なみき大家族」で記載）以外に、近隣ケアプラザの出張所としての機能（出張相談・出張講座）や、並木地区や近隣地区にお住まいの方が個人もしくは団体としてサロンや副業など自由な活動場所として利用される予定です。キッチンについては、2つまで活動重複可能とする予定です。
② 活動への継続した参加や運営の仲間づくり、とくに若い世代の参加について工夫があれば教えてください。	地区社協やケアプラザ等に所属しているグループメンバーがいる為、幼稚園・保育園や学校とのつながりが深いです。整備段階のDIY参加の声掛けを行うことができます。あつまれ！なみき大家族（こども食堂）などの継続する活動は助成金申請を行い、若い世代も担い手として参加しやすいよう活動者に活動費を出せるようにします。また整備場所が商業施設という強みを活かしたこどもカフェなど、職業体験イベントを開催し、活動の周知と参加の促し、運営の仲間づくりを行います。
③ 活動の収支計画を教えてください。	別紙2をご覧ください。現段階での収支表を作成しました。
植松委員	
① たぬきち商事との今後の連携の仕方について詳細を教えてください。	LINE グループを活用し、ワーキンググループとたぬきち商事とお互いの活動や事業等で知り得た情報を、できる範囲で迅速に情報共有し、最新の地域ニーズ把握に努めます。また来場者へ

	<p>の情報提供など、その場ですぐ解決できることは連携して解決します。</p> <p>あつまれ！なみきベースの世話焼き管理を行う上で、担い手育成の循環につながるよう、ためきち商事から助言を受け、活動改善を図ります。人材情報の共有を行い、ワーキンググループとしての活動及び地域活動の発展につなげます。また生活課題の解決はワーキンググループから、ケアプラザやためきち商事など、プロに引き継ぎます。ケアプラザやためきち商事にもレンタルスペースやシェアキッチンを貸し出し、プロにしかできない時短料理支援や生涯活躍のまちシンポジウムの展開を依頼し、グループで人手等の支援をします。</p>
<p>② このプロジェクトは、様々な団体のご出身の皆さまの一致団結の賜物と伺っています。その元の団体との連携、今後の地域への展開について見通しを教えてください。</p>	<p>現在は元団体（地区社協、自治会、シニアクラブ、こども応援部など）が開催するサロンや出張相談、講座などの活動場所の提供のみでなく、元団体のチラシ配架や元団体の活動時の人手としての支援（活動時の準備や片付け）など、小さい連携から始めています。今後は商業施設という立地を活かし、ケアプラザや地区センター、コミュニティハウスなど地域活動場所の情報集約を行い、金沢シーサイドFM（ラジオ）との情報発信の連携や、みんなの自由帳で並木の情報発信の場を目指します。情報集約から課題を把握し、解決が必要な場合はケアプラザやためきち商事へつなげます。その為に整備場所の周知等を各団体と連携し、各自治会の掲示板や回覧板の活用、情報ラックへのワーキンググループの広報誌配架の依頼等で地道に行っていきます。運営の仲間が増えてきた将来においては、家賃補助など収入面の安定、並木地区の住民が主体となった健康づくりへの取り組みと担い手の循環のために、商業施設という強みを活かし、買い物や調理を一緒に行うサービスBの展開を視野に入れていきます。別紙3もご覧ください。</p>
<p>川原委員</p>	

質問なし	
後藤委員	
① 整備費のほとんどが「キッチン」に充てられています。シェアキッチンは誰が、どのくらいの頻度で、どのような活動で、利用される予定でしょうか？こども食堂なども記載されていますが、他にもあれば教えてください。	朝比奈委員の質問①の回答のとおりです。
② シンク2台、コンロ2台あるように見えますが、2台必要な理由を教えてください。	プロの仕様であれば工程別に分けることが一般的だと思いますが、お弁当の準備と時短料理支援というように複数団体が同時にキッチンを利用する際には、団体同士で声を掛け合って頂き、シンク、コンロのように2つある備品については按分するなど、異なる活動が重なったとしてもやりくりできるようになっています。 また、近隣地区の「ジュピのえんがわ」という地域サロンでこども食堂を開催している方から「スタッフ5人、25食分用意しているが、2口コンロとシンク1つだと、この辺りの食数が限界。3口コンロが2つ、シンクが2つある並木ケアプラザでやっている時とは、かかる時間や手間が段違いで大変。」とのご意見を頂いています。「あつまれ！なみき大家族」では最低50食以上を用意する予定で考えており、「地域住民のやりたい（現在把握している副業としての料理教室、こども食堂など）」を実現していく為には2台必要だと考えております。
杉崎委員	
質問なし	
鳥海委員	
① キッズスペースに囲炉裏を3台も設置する理由を教えてください。	実家のような場所にしたいという思いから、床にじかに座れるスペースをつくりたいと思い、囲炉裏の家具をすでに入れております。現在フリースペースとして開放していますが、子連れのグループが2組や3組入り、談笑したり、ボードゲームをしたり、食卓・ちゃぶ台のように

	<p>持参のおやつを食べて休憩したり、くつろいだ雰囲気です。新たなコミュニケーションも生まれ、とても良い場所になったと実証できましたので、そのまま既存の囲炉裏3台を使用します。</p>
<p>② まち普請事業の500万の全額をあてる「シェアキッチン」に重きを置くようになった理由を教えてください。</p>	<p>グループのメンバーであり建物所有者である金沢商業開発の大倉社長より、「金沢区内のこども食堂へホールケーキを届けた際に、ホールケーキを見たことがないお子さんが大勢いらっしゃり、自分の中では考えられないことであり、初めて食べて美味しかった等の感想付き写真が送られてきた時は胸が張り裂けそうだった。そこには少し遠い並木の方もいらっしゃり、食の支援というのはとても大事だと思った。並木には、こども食堂はないんだよね。」とのご意見を10月のグループ定例会時に頂いています。また近隣地区の「ジュピのえんがわ」という地域サロンでこども食堂を開催している方からも「並木地域ケアプラザで月に1回やっていたが、ジュピのご近所スタッフは高齢化もあり、ケアプラザでの開催は負担が大きくなり辞めた。金沢文庫辺りにはたくさんあり、並木の方も通っているよう。並木に1つもない状況を寂しく思っていた。もう私達が手広くやるのは無理。ぜひこども食堂を実現させて欲しい。やはり食に関する支援は人のつながりを作るので、キッチンの整備はぜひ実現させて欲しい」とのご意見を11月の見学時に頂いています。食を通じた支援という言葉色んな活動の先輩方々やたぬきち商事や金沢商業開発を含めた企業から聞くことが多く、また12月25日から開催している「あつまれ！なみき大家族」のお試し開催では、こどもから「一緒に作りたい」という意見や、親からは「少し子供の面倒を見てもらっている間にゆっくり話や食事ができて嬉しい」、「事情があって家よりこういう場所で遊びや勉強や食事が楽しめる場所になって助かります」などのご意見を頂いています。現在フリースペースとして</p>

開放している中でも、シェアキッチンに関する要望も多く、並木地区および並木近隣地区には営業など自由な用途で使用できるキッチンがなく、公の施設での非営利の原則など、地域活動の閉塞感の打破をグループとしては目指しているため、シェアキッチンに重きをおきました。将来的には家賃補助など収入面の安定、並木地区の住民が主体となった健康づくりへの取り組みと担い手の循環には、商業施設という強みを活かし、買い物や調理を一緒に行う、キッチンをフル活用したサービスBの展開を視野に入れています。

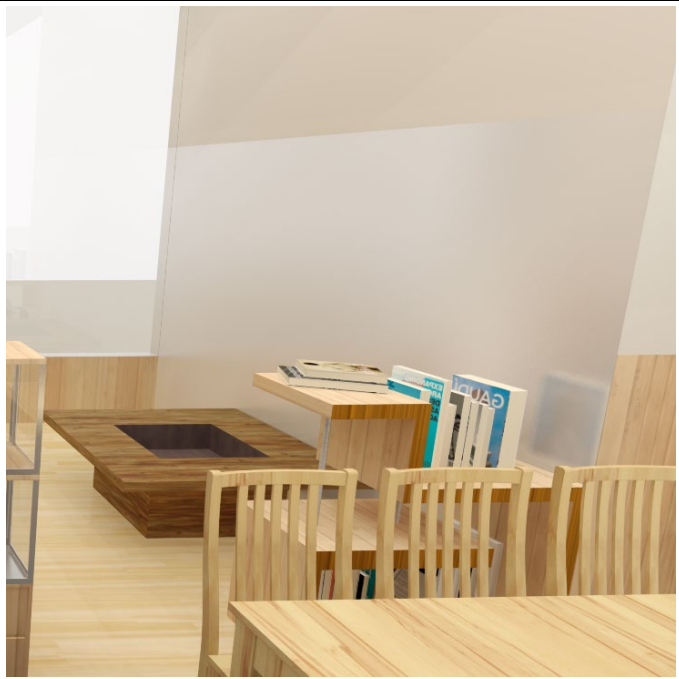
③ みんなの自由帳はどのような形式でしょうか

既存のマガジンラックや新設する小箱ショップにより、情報収集ができる場として整備します。将来的には、デジタルサイネージやホワイトボード等を用いることも検討しています。

みんなの自由帳 イメージ①



みんなの自由帳 イメージ②



みんなの自由帳 イメージ③



④ キッズスペース前に靴入れがありませんが基本的に全面土足でしょうか。

キッズスペースと記載したスペースは全面土足禁止とします。靴入れを用意するか、現状通り土足禁止スペース前で靴を脱ぐようにするかは現段階では検討中です。

肥後委員

① シェアキッチンの利用ニーズがどのくらいあるかが、具体的に把握していますか？

朝比奈委員の質問①の回答のとおりです。

② 運営は、提案グループとたぬきち商事の共同で行っていくのでしょ

グループメンバーとして運営はいわゆる人的な部分（スペース内の見守り、自主事業で「あつ

<p>うか？</p>	<p>まれ！なみき大家族（こども食堂）」や「あつまれ！なみき～100 までなみき（健康講座）」の開催、スペースの予約受付など）は共同運営を行う予定です。今後も運営に関してどこまで共同していくかも含め、定期的にたぬきち商事と会議を継続していきます。</p>
<p>松村委員</p>	
<p>① 費用はシェアキッチンの整備にすべて充てられていますが、ここにシェアキッチンが不可欠な理由は何でしょうか？</p>	<p>現在フリースペースとして開放している中でも、シェアキッチンに関する要望も多く、並木地区および並木近隣地区には営業など自由な用途で使用できるキッチンがなく、公の施設での非営利の原則など、地域活動の閉塞感の打破をグループとしては目指しています。</p> <p>鳥海委員の質問②の回答にも記載のとおり、地域から多くのご意見をいただきました。</p> <p>現在は参加者ですが、子どもが大きくなったら次はここで担い手側になろうと思える担い手の循環を目指します。</p> <p>地域活動の閉塞感の打破や食の支援に対するグループの想いを実現するにはシェアキッチンは不可欠と考えています。</p>
<p>② シェアキッチン以外に、デザイン上もっとも工夫した点はどこにありますか？</p>	<p>実家の雰囲気づくりに最もこだわりました。自宅、実家のように過ごしてもらえよう床に座れたり、椅子に座れたり、ふらっと寄れるようにエンガワを設置したり、あつまれ！なみきベースの中央（居間にあたる場所）で団らんできるようにしたりしました。</p>
<p>③ 賃料が廉価であってもお金の算段は必要ですが、整備場所の運営に関して、どのような予算計画を立てていますか？</p>	<p>別紙 2 をご覧ください。現段階での収支表を作成しました。</p>

別紙1 月間スケジュール 朝比奈委員① 後藤委員① 肥後委員①

月三定休日	火 2	水 3	木 4	金 5	土 6	日 7
午前 (10:30-13:00)	フリー・レクリエーション	フリー・レクリエーション	昼のほのかフェ	フリー・レクリエーション	フリー・レクリエーション	フリー・レクリエーション
午後 (13:00-17:00)	飯・ピアレヨコハマKkC	なみき学園講堂 (1400-1530)	飯・お買い物サロン 飯・パン作り教室	ケアアラザの出張相 席 (1430-1630)	飯・お配お弁当作り 十時短縮授業	飯・子連れカフェ
夜間 (17:00-18:00)	飯・日替わりスナック	飯・子ども食堂	飯・日替わりスナック	なみき大家族 (1700-★2000)	なみき大家族 (1700-★2000)	飯・日替わりスナック
8	フリー・レクリエーション	フリー・レクリエーション	フリー・レクリエーション	フリー・レクリエーション	フリー・レクリエーション	フリー・レクリエーション
午前 (10:30-13:00)	フリー・レクリエーション	フリー・レクリエーション	昼のほのかフェ	フリー・レクリエーション	フリー・レクリエーション	フリー・レクリエーション
午後 (13:00-17:00)	飯・シニアクラブ スモスKkC	なみき学園講堂 (1400-1530)	飯・お買い物サロン 飯・パン作り教室	ケアアラザの出張相 席 (1430-1630)	飯・お配お弁当作り 十時短縮授業	飯・子連れカフェ
夜間 (17:00-18:00)	飯・日替わりスナック	飯・子ども食堂	飯・日替わりスナック	なみき大家族 (1700-★2000)	なみき大家族 (1700-★2000)	飯・日替わりスナック
15	フリー・レクリエーション	フリー・レクリエーション	フリー・レクリエーション	フリー・レクリエーション	フリー・レクリエーション	フリー・レクリエーション
午前 (10:30-13:00)	フリー・レクリエーション	フリー・レクリエーション	昼のほのかフェ	フリー・レクリエーション	フリー・レクリエーション	フリー・レクリエーション
午後 (13:00-17:00)	フリー・レクリエーション	なみき学園講堂 (1400-1530)	飯・お買い物サロン 飯・パン作り教室	ケアアラザの出出張 席 (1430-1630)	飯・お配お弁当作り 十時短縮授業	飯・子連れカフェ
夜間 (17:00-18:00)	飯・日替わりスナック	飯・子ども食堂	飯・日替わりスナック	なみき大家族 (1700-★2000)	なみき大家族 (1700-★2000)	飯・日替わりスナック
22	フリー・レクリエーション	フリー・レクリエーション	フリー・レクリエーション	フリー・レクリエーション	フリー・レクリエーション	フリー・レクリエーション
午前 (10:30-13:00)	フリー・レクリエーション	フリー・レクリエーション	昼のほのかフェ	フリー・レクリエーション	フリー・レクリエーション	フリー・レクリエーション
午後 (13:00-17:00)	ケアアラザのチーム ズレンダ出張席 (1330-1500)	なみき学園講堂 (1400-1530)	飯・お買い物サロン 飯・パン作り教室	ケアアラザの出出張 席 (1430-1630)	飯・お配お弁当作り 十時短縮授業	飯・子連れカフェ
夜間 (17:00-18:00)	飯・日替わりスナック	飯・子ども食堂	飯・日替わりスナック	なみき大家族 (1700-★2000)	なみき大家族 (1700-★2000)	飯・日替わりスナック
29	フリー・レクリエーション	フリー・レクリエーション	フリー・レクリエーション	フリー・レクリエーション	フリー・レクリエーション	フリー・レクリエーション
午前 (10:30-13:00)	フリー・レクリエーション	フリー・レクリエーション	フリー・レクリエーション	フリー・レクリエーション	フリー・レクリエーション	フリー・レクリエーション
午後 (13:00-17:00)	フリー・レクリエーション	フリー・レクリエーション	フリー・レクリエーション	フリー・レクリエーション	フリー・レクリエーション	フリー・レクリエーション
夜間 (17:00-18:00)	飯・日替わりスナック	飯・子ども食堂	飯・日替わりスナック	なみき大家族 (1700-★2000)	なみき大家族 (1700-★2000)	飯・日替わりスナック

※ 黒字：自主事業・共催事業 青字：貸出予定
 ※ 駄菓子販売は、フリーベース・レンタルスペース内での毎日販売です。

別紙2 朝比奈委員③ 松村委員③ 収支表

■ 収入

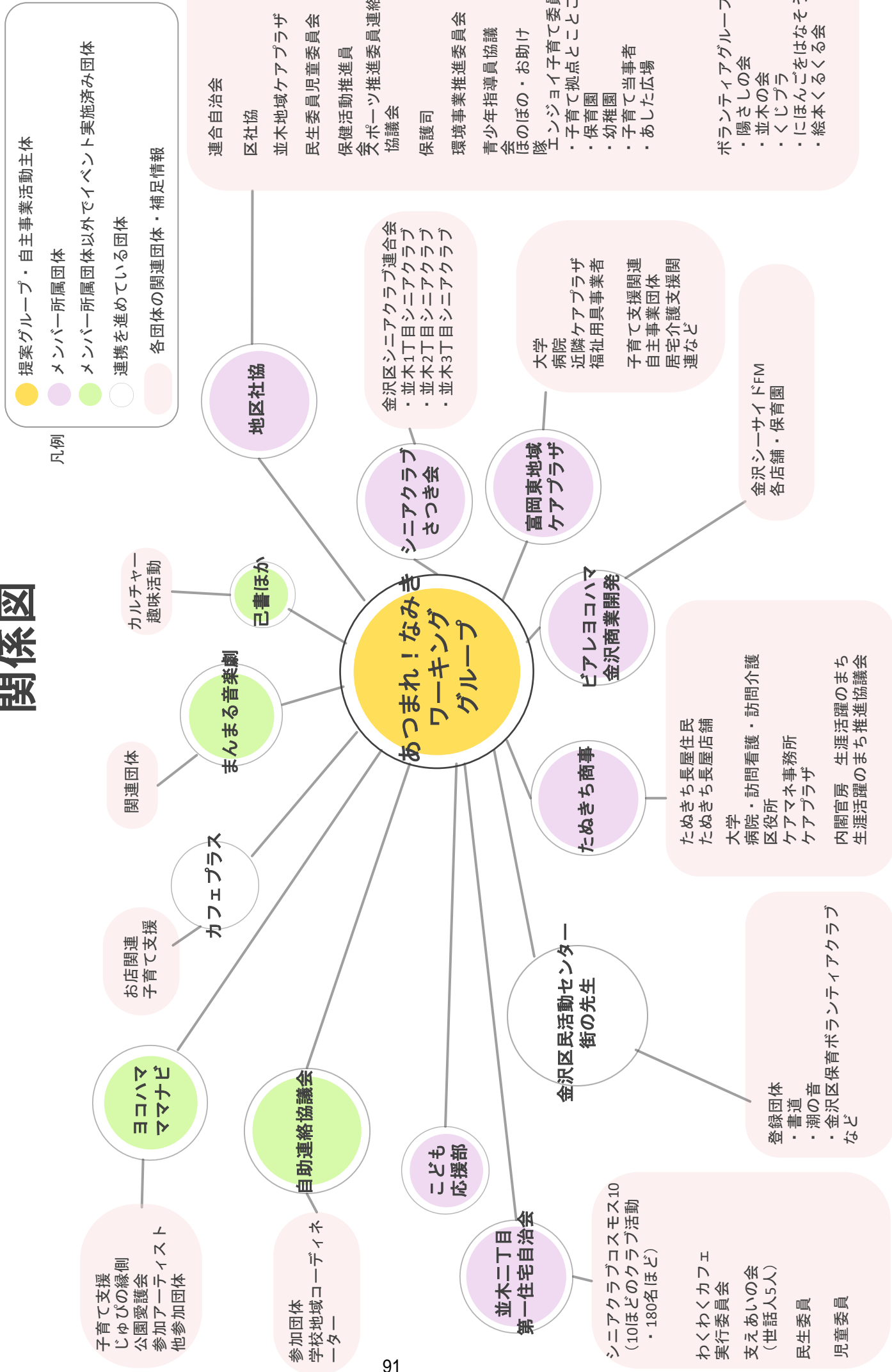
項目	月額	数量	金額
登録会員費	0.6万円	40団体・個人	24万円
レンタルスペース・シェアキッチン随時利用	3万円	5,000円×6日（月間スケジュール表の青色空き部分）	3万円
小箱ショップ	0.3万円	16か所	4.8万円
駄菓子売上	2.5万円	1,000円×25日	2.5万円
有料飲み物売上	5万円	100円×20名×25日	5万円
ほのぼのカフェ売上	4万円	500円×20名×4日 （共催者である地区社協の分を除いた本グループ分）	4万円
「あつまれ！なみき大家族」売上	8万円	200円×50名×8日	8万円
「あつまれ！なみき～100までなみき」参加費	4万円	500円×20名×4日	4万円
かなざわふれあい助成金	5.8万円	「あつまれ！なみき大家族」年間40万円・「あつまれ！なみき～100までなみき」年間30万円	5.8万円
収入合計			61.1万円

■ 支出

項目	金額	備考
家賃	10万円	50万円のところ負担10万円
人件費	25万円	1万円×1名×25日
水光熱費	5万円	10万円のうち5万円負担（たぬきち商事と折半）
材料費	10万円	駄菓子・有料飲み物・ほのぼのカフェ・「あつまれ！なみき大家族」食材費
印刷費	1万円	
消耗品費	1.5万円	ボールペン・養生テープなど
「あつまれ！なみき～100までなみき」講師謝金	6万円	1.5万円×4回
通信・IT	1万円	当番の電話受付等のスマホ契約料金・スケジュール管理やチラシ作成のためのタブレット端末の契約料金・チラシ作成ソフトの月額利用料
次月へ繰り越し	1.6万円	本グループの活動費用・整備場所のメンテナンスに充当する
支出合計	61.1万円	

あつまれ！なみき 団体登録及び連携協力団体（候補含む）

関係図



ヨコハマ市民まち普請事業

第2次提案書

注1) 2号様式はページを増やさず、必ず3ページ以内でまとめてください。

注2) 2号様式は市民に公開しますので、個人が特定できる情報は記入しないでください。

注3) 添付資料は計画図(位置図・平面図・完成予想図各A3判1ページ、その他必要に応じて配置図・断面図・立面図等)、想定整備費用内訳書(第3号様式)、協議・説明状況報告書(第4-1～3号様式)、1次コンテスト以降の活動内容(任意様式A4判1ページ)、その他資料(必要に応じてA3判2ページまで)

提案グループ名 (25字以内)	いちょう坂商店街カフェ
整備場所 (町名又は丁目まで記入)	港南 区 丸山台 3丁目
提案名 (25字以内)	集い・学び・楽しむ。 カフェで助け合いの輪をつくる。
助成金申請予定額	500万円
整備する施設 (具体的な整備内容※1を工夫した点※2にも触れて記入してください) ※1施設の全体像とともに整備助成金の対象箇所を明記してください ※2住民等が持つ発想、方法などを生かしたアイデアやユニークさ及びデザインへの配慮	<p>いちょう坂商店街にある空き店舗を活用し多世代が気軽に立ち寄れるコミュニティカフェを整備します。限られたスペースを有効に使うため、折り畳みができるテーブルを使う、大きめのベニヤ板を出してマップ作りのワークショップを開催するなど、カフェ以外の様々な利用ができるよう工夫します。</p> <p>整備内容</p> <p>【トイレ】小さな子供連れにも利用して貰えるようおむつ台を整備。</p> <p>【キッチン・カウンター席】おにぎりや焼きそばの提供に必要な調理スペースを確保・近くで対話できるカウンター席も整備。</p> <p>【飲食スペース】椅子下を収納にした長椅子を整備。椅子には井草を使った座布団を敷きます。</p> <p>【畳スペース】畳1帖ほどの小上がりを整備。畳を知らない子供達に畳の良さを知ってもらおうとともに、授乳やこどもの遊び場に使用します。さらに授乳などでも使えるようカーテンレールを取り付けます。使用する畳は商店街会員店舗から提供して頂きます。</p> <p>【棚】2段飾り棚を2か所設置します。(w=300h=1800とw=300h=2200) 展示や販売のためお預かりした作品を陳列します。棚の上部にはピクチャーレールを取り付け、絵・写真・書等の作品を掛けられるようにします。棚の取り付け作業はオーナー様にお手伝い頂き、商店街会員有志で作業します。</p> <p>【出入口】シニア、車いすの方が来店された際の対策として、スロープ・手摺・呼び鈴を設置。誰もが気軽に休憩できるようベンチも設置。</p> <p>【掲示板・シャッター】名看板や玄関シャッターには地元中学校の美術部に絵を描いてもらいます。</p> <p>【事務作業スペース】商店街の事務局を兼ねるため、パソコンやプリンターなどが置けるよう、一番奥にある奥行90cm、横幅80cmほどの物置上部の棚は残し、下部に作業机を作ります。</p>
施設の活用・活動内容 (具体的な活動内容を工夫した点にも触れて記	<p>カフェは10:00～15:00(予定)、月・火・木・土曜にオープン。小学生考案のやきそばを始め、おにぎりのみそ汁を提供。店内だけでなくテイクアウトもOK。1ドリンク注文して頂けたら商店街で購入したお弁当やパンなど持ち込みOKとします。限定メニューとしてヘルスメイトさん(地域の食生活等改善に取り組むボランティアグループ)にご協力頂き、あらゆる世代に向けての健康づくりを</p>

<p>入してください) ※第1次提案書より具体的に記入してください</p>	<p>テーマにしたメニューを考案、提供していきます。 壁には地域の人が出展する絵や小物を展示・販売する他、商店街マップを貼りだし、(または直接描くことも検討中) 新店情報などがすぐにわかるようにします。その他、港南区と交流のある宮城県大崎市の野菜やお米を月に1回(第一土曜日)販売、毎週土曜は駄菓子販売します。 カフェのお休みの日を利用して、地域で特技を持っている方や商店街のマスターによる体験講座を行います。商店街体験ツアーも主催し、地元の個店をもっと知って頂くきっかけづくりをしていきます。 商店街の事務局として、新規HPを作成、またSNSを活用して商店街情報をいち早く届けられるようにします。地域の防犯情報等も自治会や区役所と連携して周知するお手伝いをしていきます。カフェの公式LINEを作り、XやInstagramを利用しないシニアにも登録の呼びかけをしていきます。</p>
<p>提案の背景 (なぜ提案をするのか、地域のニーズや課題、生かしたい地域の魅力等に触れて説明してください) ※第1次提案書から変更した点がある場合はその理由も記入してください</p>	<p>いちょう坂商店街は、近年個人商店や飲食店が減少し、買い物は大型スーパーで済ませ、気軽に立ち寄りおしゃべりが出来る個店が少なくなりました。地域は少子高齢化も進み、子ども会は解散。長いコロナ禍の影響からシニアサークルの活動も以前のように戻らず交流が少なくなりました。しかし、イベントを開催すれば多くの方々が参加され、シニア世代からは子供と交流が出来て楽しかった、子供達からは昔の遊びを教えてもらえて嬉しかったなどの声が届きます。イベントの時だけでなく日頃から交流できる場所がほしいという声をよく聞きます。またアンケートで寄せられた、気軽に立ち寄れてちょっと休憩出来る場所。困りごとを話にいきやすい場所があったらいいなど切実な意見も多く寄せられ、何とかそうした居場所を実現したいと思っています。 住民の困りごとに応えていける様々なスキルを持ったマスターが多い地区の特性を生かし、そうした方々の出番を作り出していきます。例えば車いすがパンクした、防犯対策を相談したい、コーヒー豆やお酒、野菜等の専門知識を持つ個人商店でコミュニケーションを取りながら買い物出来ることでお互いが顔見知りになり、ゆるやかな見守りにもつながります。困りごとに合わせて相談できる人の力を引き出せるのが何よりの強みであり魅力であると思います。 地域が活発になることが商店街の活性化にも繋がります。</p>
<p>整備プロセス (スケジュール、つくるときに連携する仲間の役割や活用する地域資源注4)、費用削減の工夫に触れて説明してください)</p>	<p>10月開催予定の商店街の一大イベント丸山大ホコテンに間に合うよう、2025年9月オープンを目指します。 ・商店街の畳屋さんに小上がりで使用する畳等の支援、取り付け作業の協力をお願いします。 ・カフェ運営に必要な電化製品や食器などの備品寄付を呼び掛けていきます。 ・飾り棚やクロス剥がし、張り替えはオーナー様でもある金物店さんやDIYの得意な地域住民に声掛けし、協力をして頂きます。 ・お店の看板やシャッターに絵を描く作業を地域の中学生にお願いします。</p>
<p>維持管理・運営計画及びその実施方法 (維持管理・運営するときに連携する仲間の役割や活用する地域資源注4)に触れて説明してください)</p>	<p>【スタッフ】提案メンバーの中の5名を軸に、知人への声掛けなどで3名増え、計8名で運営をスタートします。今後もボランティアを募集していきます。 【運営費】カフェを商店街の事務局とし、委託費を5万円戴くことで固定収入とします。その他カフェで使えるコーヒー回数券の販売(サポーター)やおにぎりセットの店内及びテイクアウトを主な収入とし、軸となる収入の安定化を図ります。カフェをやらない時間帯に行うレンタルスペースは1000円/2時間を使用料とします。ワークショップ開催時は自治会と連携させて頂き、かかる費用を双方で半額負担として頂ける承諾を頂きました。 【学び・楽しむ】地域でスキルを持っている方や商店街の会員に講座を依頼し、まずはカフェが主催で体験講座を実施、その後講師が定期的に講座開催を出来るよう繋げていきます。 【広報】自治会の回覧板や掲示板を活用します。またSNSを活用し、若い世代にも情報が届くよう発信していきます。また、地域ケアプラザやコミュニティハウスの担当者とも連携を取り、広報していきます。</p>

注4)「地域資源」とは、次のようなものを想定しています。

- 「ヒト」の例 ・地域のPTAから協力を受けられそう。 ・地域に設計の専門家がいる。
- 「モノ」の例 ・整備に必要な材料を安く入手できそう。 ・整備に必要な建設機械を安く借りられそう。
- 「カネ」の例 ・自治会町内会から資金的な支援を受けられそう。 ・バザーなどで資金を集められそう。

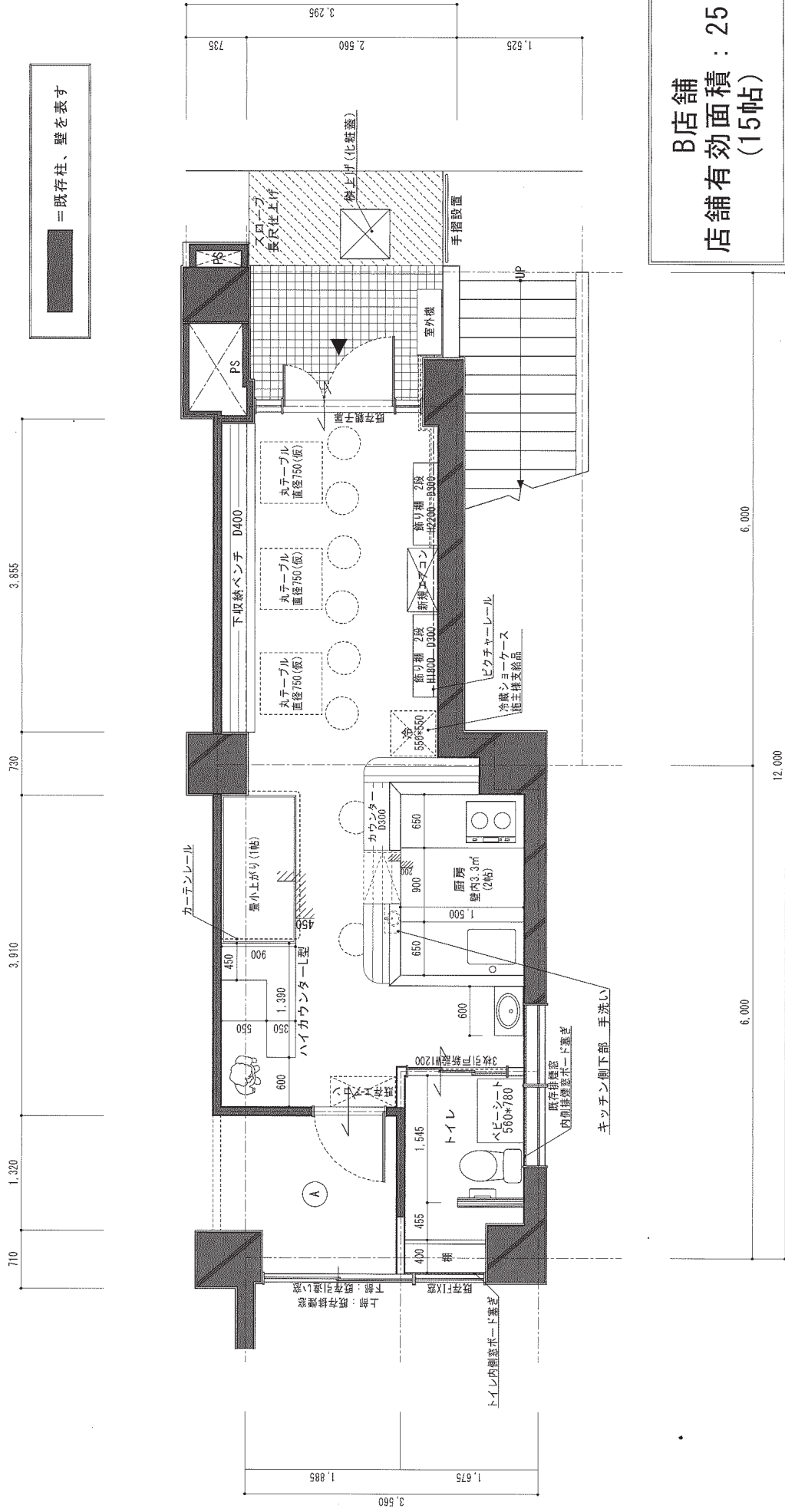
<p>1次コンテスト以降の活動内容 ※詳細については添付資料（任意様式）に記入してください</p>	<p>8月～10月：商店街歩行者天国イベントへ参加のため企画を検討、10月13日に開催された丸山大ホコテンに参加。いちょう坂商店街カフェオープンに向け、名前や活動状況を知って頂く良い機会であり、また地域のニーズを知るためアンケートを実施。子供向けワークショップ万華鏡講座を開催（20名参加） 10月：商店街会議にていちょう坂商店街カフェについて説明。認知度を上げるためハロウィンイベントに参加。子供たちにお菓子を配布。 11月：自治会役員会に出席。いちょう坂商店街カフェについて説明。地域住民へ回覧・掲示板でいちょう坂商店街カフェについてポスターで広報。 12月7日：やきそば大会に参加。カフェメニューとなるやきそばを販売。 1月12日 お餅つきを開催予定。1月中旬からフリーマーケットも開催予定。</p>
<p>関係者の合意・調整状況 （地域《地権者、整備場所の近隣住民、地域住民、自治会町内会等》での合意形成や関係機関との調整結果の概要について説明してください）</p>	<p>【地権者】 整備内容や運営について逐次相談しながら進める事で合意しました。 【地域住民】 歩行者天国イベントで広報、その他自治会の掲示板や回覧で説明。地域内で活動しているシニアサークルへ説明。 【自治会関連】 整備場所の単会自治会役員会で説明。同時に連合町内会長へも挨拶をし、賛同頂きました。 【学校】 地域内の小学校・中学校へ活動内容を説明。中学校PTAにも説明。既に活動に参加して頂いている方以外にもカフェオープン後のボランティア参加をお願いしました。 【商店街】 カフェの主旨に賛同して頂き、運営に参加する承諾を頂きました。</p>
<p>その他提案について特にPRしたい点を記入してください</p>	<p>1次コンテストに通過した日からメンバーの結束はより固まりました。地域の方々の協力やアイデアも日ごとに増え、地元小学校の6年生がカフェオープン後のメニューとしてオリジナル焼きそばを考案してくれました。また丸山台には元のお仕事がお医者さんや弁護士、警察関係、航空関係、教師の方が多く住んでいらっしゃいます。お仕事に関わるお話しや趣味が高じてプロ並みのスキルを持つ方に指導や披露して頂くことができるのはとても心強いです。また運営の軸になるメンバー以外に、地域ケアプラザ・コミュニティハウス・地区社協の方なども活動メンバーに含まれており、多方面のサポートが可能です。何より私達の強みは、商店街と自治会がタッグを組んでいること、オーナー様に多大なご理解・ご協力を頂いていることです。将来的には第二の施設として使用頻度の少ない第二自治会館を活用させて頂き、より多くの取り組みができるよう活動の幅を広げて、誰もが自分の住む街を良くしたい、安心して住める街にしたいと望んでいます。地域が持つ課題解決に向けて一緒に向き合っていきたいと思えます。</p>
<p>目指す地域の将来像 （施設が整備されることにより地域がどのように良くなるのか、地域に及ぼすインパクトについて説明してください）</p>	<p>一人で悩まない、一人で頑張らない、をモットーに多世代の方に頼って頂ける居場所を目指します。この施設での出会いを通じ、地域内でのグループ活動が増え、地域が元気になること、シニアの方の明るいセカンドライフのお手伝いをしていきます。特技を披露する場を提供することで生きがいを持って頂きたいですし、これまで挑戦しなかったことにもチャレンジして頂きたいと思えます。子育て世代の方には敷居が高いと思われがちな地域活動を体験して頂くことで地域の方々が顔見知りになり、いざという時の助けに繋がることと思えます。地域も商店街も元気な街、子育てがしやすい街、永く住める街、安心して暮らせるまちづくりの一助になることを目指します。</p>

記載内容について次の点を確認後、チェックボックスに✓を入れてください。


- 記載内容は真実であり、虚偽はありません。
- 記載内容に個人情報はありません。

位置図

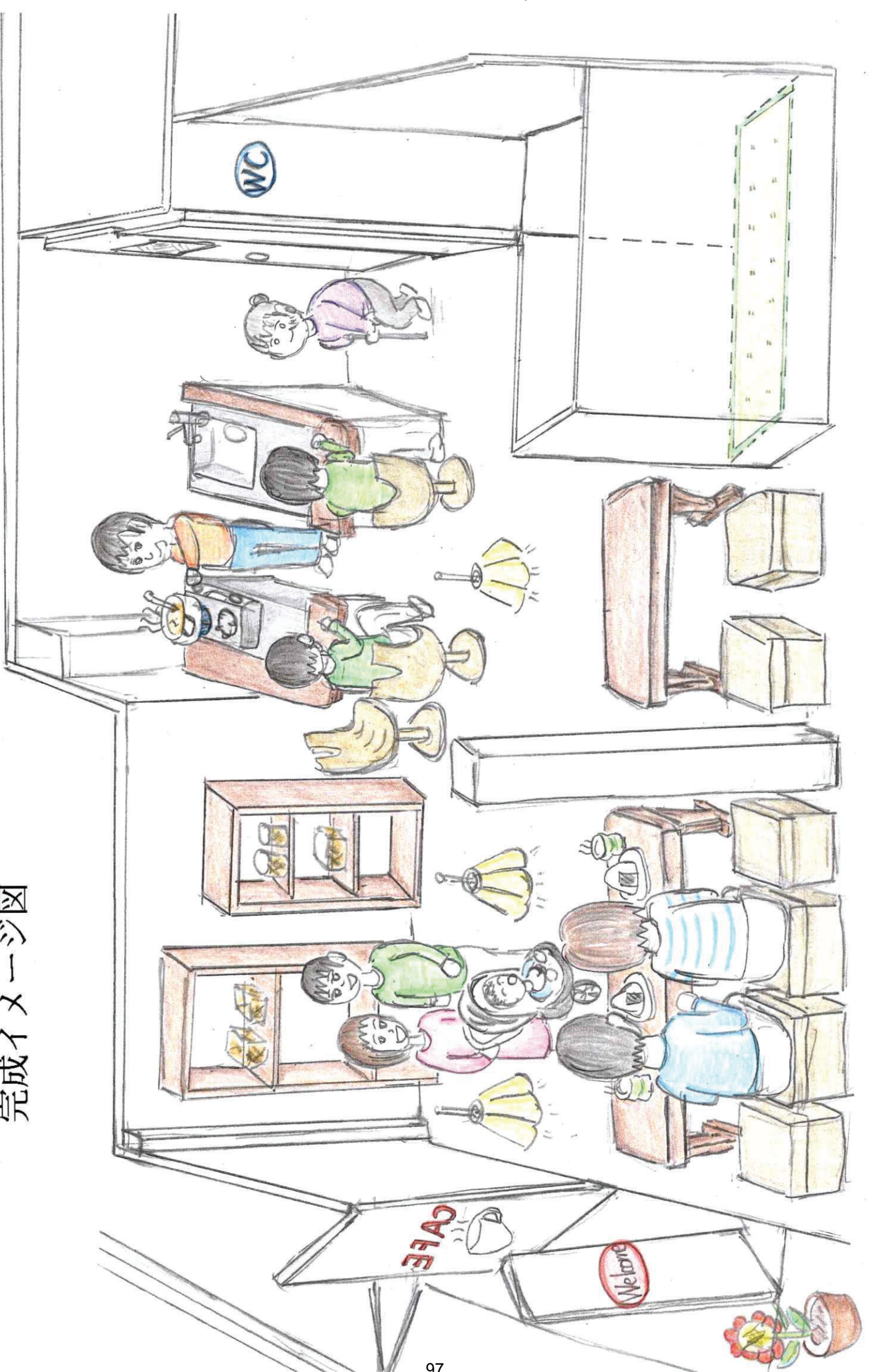




プラン図 B店舗

 根本建設株式会社	工事名称 港南区上永谷2丁目 B店舗/リニューアル工事		図面名称 平面図		縮尺 A3 1/50		承認欄 中島 今西		担当 中島 今西		作成年月日 2024/10/19		訂正年月日 2024/11/26		図番 A-1	
	一級建築士事務所 登録 番号第 5301号 一級建築士(大臣登録)第132817号 大久保															

完成イメージ図



ヨコハマ市民まち普請事業

想定整備費用内訳書

※ 記入上の注意

- 「主な整備項目」「細目」欄の記入にあたっては、事務局と事前に十分調整してください。
- 「数量」欄については、やむを得ない場合を除き、「一式」と記入しないでください。
- 「地域住民等の参加」欄については、例えば地域が労力を負担する場合は、何人くらいが何日間くらい作業を行うかなど、できるかぎり具体的に記入してください。（見込みも含めて記入してください。）また、小中学校や子供会などが参加する場合は、その旨を明記してください。

主な整備項目	細目	数量	単価	計	地域住民等の参加 (費用又は労力の負担等)
キッチン工事	カウンター 流し台・作業 台・コンロ・換 気扇・冷蔵庫・ 電気温水器、手 洗いなど	一式		120万円	
トイレ工事	便器・ベビーシ ート・引き戸 可動棚など	一体		100万円	
エアコン工事		1台		24万円	
棚	棚材	一式		9万円	商店街会員が取り付 け 3名
壁	クロス ピクチャーレー ル	一式		20万円	クロス貼り替えの一 部を地域住民で作業
事務スペース	机・ライトなど	一式		30万円	
小上がり・ベン チ	造作工事	一式		53万円	小上がりで使用する 畳は無償提供
電気工事	分電盤移設・電 灯・コンセント 配線工事など			19万円	
スロープ・手摺 工事	スロープコンク リート打ち、外 部手摺など	一式		57万円	
工事費 計				432万円	
現場管理費	上記 432 万円の 10%			43万円	
合 計				475万円	

1次コンテスト以降の活動状況

★定例会 計9回

・2次コンテストまでのスケジュール確認

・アンケート内容の検討

・整備内容の具体化、オーナー様と協議

10月～11月

地域・自治会・商店街へ改めて活動内容を説明。丸山大ホコテンに参加

10月 区内の建設会社と打ち合わせし、活用イメージや要望を伝え、完成予想図と見積もり依頼をした。

10/13（日）丸山大ホコテンに参加



子供向けに万華鏡ワークショップを開催



地域のニーズを知るため、丸山大ホコテンに来られた方にアンケートを実施しました。

216名（こども61名・男性39名・女性116名）が協力してくれました。

★協力の呼びかけ

・地域内の小学校・中学校を訪問。小学生は開店後のメニューの考案に、中学生は店看板の作成とシッターに絵を描く作業を担当してくれることになりました。

・地域のイベントに参加し、参加されている地域の方や関係者の方々にいちょう坂商店街カフェの実現に向けて活動している状況をお話しする機会を頂き、複数人の方からお手伝いの申し出を頂きました。また、区役所や地域ケアプラザ・コミュニティハウスの皆様からも協力して頂けるお言葉を頂きました。

・港南区や磯子区でボランティア活動をされている方を訪問し、関わっている居場所サロンやサークルの方に繋いで頂き、意見交換をさせて頂きました。

2次コンテスト事前質問集

【提案名グループ名】 いちょう坂商店街カフェ	
事前質問	回答欄
朝比奈委員	
① レンタルスペースの利用や講座の開催など現段階でどれくらいの見込みがありますか。具体的に教えてください。	<p>自治会が主体となるレンタル利用としては、月7回、利用料収入は約2万円を想定し、フレイル体操（月4回）・スマホ教室（月2回）・写経（月1回）などを見込んでいます。その他、個人での利用は幼児向けのフォトサービスやハンドマッサージなどでの利用相談も頂いています。</p> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>（幼児向けのフォトサービスイメージ） 赤ちゃんの背中にエンジェルが！ 身体にやさしいペイント材を使用します。</p> </div> <p>いちょう坂商店街カフェが主催する講座は、毎月大人向け・子供向けを開催予定としていますが、多世代向けとして開催する食育講座は地域の食生活等改善に取り組むボランティアグループに依頼し、定期的で開催します。</p>

<p>② 部屋の使い方について教えてください。たとえば講座の開催時、どのような使い方を想定していますか。</p>	<p>スペースの使い方は、講座内容にもよりますが、フレイル体操は椅子に座って出来る体操のため、テーブルを片付け、椅子のみとし、8名ほどが参加出来るスペースを作り実施します。</p> <p>カフェ営業時に講座を同時開催は出来ないでカフェ営業日以外に講座のみ開催または午前中を講座、午後は軽食タイムにと考えています。</p> <p>今のところ週4日の10:00~15:00営業を予定していますが、夏季は夕方もオープンし、仕事帰りの方の利用も視野に入れていきます。</p>
<p>③ 活動の収支計画を教えてください。</p>	<p>月当たりの収入として、24万円（商店街事務局委託費5万円・カフェ営業15万円・レンタルスペース料2万円・物販2万円）を計画。</p> <p>月当たりの支出としても、24万円（賃料13万円・光熱費3万円・仕入7万円、その他1万円）を計画しています。</p> <p>さらに、安定した収入を増やすため、サポーター会員のしくみを検討しています。今のところ、会員には月千円でコーヒーを3回飲める回数券を配布します。当面30名を目標とし3万円の収入増になると見込んでいます。</p>
<p>植松委員</p>	
<p>① ランチの提供や、地域に向けて地産地消製品を集めて売り出すなど、何らかの方法でもっと地域を巻き込んだ形で運営費を確保しなければ、長続き出来ないのではないかと思います。どうお考えでしょうか。</p>	<p>野菜等の直売を定期的実施する予定で、近くのチャレンジフィールド（笠原農園）や野庭農業専用地区の野菜農家から野菜や果物などを仕入れ販売する予定です。また、軽食として、近隣小学生が考案したやきそばメニューを提供します。このやきそばは6年生がもっと地域と関わりたいという思いから先生に提案し、実現したものです。近隣中学校の校長先生からも生徒が考案したメニューのご提案も頂き、今後提供</p>

していく予定です。その他、港南区と交流のある宮城県大崎市の野菜やお米も販売、商店街の商店とのコラボ商品を企画していきます。第一弾として商店街の和菓子屋さんといちよう坂商店街カフェオリジナルクッキーを試作するなど、地域を巻き込んだ取り組みを行っています。



(いちよう坂商店街カフェオリジナルクッキーイメージ)
抹茶・チョコレート・チーズ味などがあります。(10枚入り)

川原委員	
質問なし	
後藤委員	
質問なし	
杉崎委員	
① 現段階で実現性の高い講座やワークショップなどの具体的な企画内容について教えてください。	<p>内藤畳店による、余った畳のへりを使ったアクセサリワークショップや井草を使用したお正月飾り講座、ボンコアンコーヒー店によるコーヒーの淹れ方講座、和菓子徳増さんと中学校PTAのお母さんによるレジ講座を予定しています。</p> <p>カフェでは季節行事を大切にしたいと考えており、定期的にミニイベントを開催します。直近では1月12日にお餅つきを予定しております。</p>
② 車いすを利用している人のトイレ利用への配慮は想定していますか。	<p>トイレまでの動線の確保やバリアフリートイレの完備がスペース上難しいため、既</p>

	に近隣店舗にお声掛けし、お借りできる体制を整えていますので、そちらをご案内いたします。
鳥海委員	
① 小上がりに布カーテンは転落の危険があると思いますが、どのような工夫をされていますか？	おむつ交換や着替えなどの一次的な利用を想定しており、小さいお子さんだけの利用は想定しておりません。運営後、必要と判断した時はガードを用意するなど検討します。
② 整備にあたり、商店街会員 3 名の他に住民やメンバーが携われる箇所はありますか？	クロス剥がしやクロス貼り替え、飾り棚設置を地域の方々にもお手伝い頂く予定です。また、後述する案内看板や商店街マップなどは、中高生の美術部や若いの方々などによる企画・制作を検討しています。
③ 地域の見守り機能を兼ねるとのことですが、「何かいつもと違うな」と気になる人が出た場合、グループの人とどのように情報を共有しますか。またその後、行政機関やプロの相談窓口へ繋ぐなども考えていますか？	現在も気になる事があった場合、商店街グループ LINE で情報共有しており、必要に応じて、自治会へも連絡し、民生委員やケアプラザへ繋いでいます。そうしたネットワークの場が一層広がることを期待しています。
肥後委員	
質問なし	
松村委員	
① 多くの機能を持たせたいようですが、この面積で狭くないですか？	決して広いスペースとは言えませんが、情報発信や物販など広さに拘わらず出来る事を積極的に進めていきます。日頃から自治会・ケアプラザ・コミュニティハウスと講座開催について情報交換を行い、参加人数が多く見込まれる子供向け工作講座やワークショップは、自治会館やケアプラザの多目的ホールをお借りして実施できるよう事業計画に組み込んで頂く予定です。
② 地域の課題解決のためにデザイン上で特に工夫した点はどこに見られますか？	入口には、カフェ内で開催されるレンタル利用や講座等の催しやランチメニューなどをお知らせする魅力的なデザインの案内看板を設置します。また、店内には、商店街の事務局機能も兼ねるため、壁に商店

街マップを貼り付けまたは直接描くことを検討しています。マップには店主の写真を貼るなど身近に感じて頂けるよう工夫します。

その他、商店街が坂道のため、特に夏場などのひと休み場所として利用して頂けるベンチを入口付近に設置します。

ヨコハマ市民まち普請事業

第2次提案書

注1) 2号様式はページを増やさず、必ず3ページ以内でまとめてください。

注2) 2号様式は市民に公開しますので、個人が特定できる情報は記入しないでください。

注3) 添付資料は計画図(位置図・平面図・完成予想図各A3判1ページ、その他必要に応じて配置図・断面図・立面図等)、想定整備費用内訳書(第3号様式)、協議・説明状況報告書(第4-1～3号様式)、1次コンテスト以降の活動内容(任意様式A4判1ページ)、その他資料(必要に応じてA3判2ページまで)

提案グループ名 (25字以内)	「アスレの森」を残す会「あすのこ」
整備場所 (町名又は丁目まで記入)	金沢 区 六浦東3 丁目
提案名 (25字以内)	あつまれ「アスレの森」
助成金申請予定額	500万円
整備する施設 (具体的な整備内容※1を工夫した点※2にも触れて記入してください) ※1施設の全体像とともに整備助成金の対象箇所を明記してください ※2住民等が持つ発想、方法などを生かしたアイデアやユニークさ及びデザインへの配慮	<p>瀬ヶ崎小学校の裏山にある「アスレの森」の前に、休み時間に森での遊びを見守り、地域住民など多世代で集まり休憩や拠点となる広場。「あすのこ広場」</p> <p>○ メインウッドデッキ 子ども達から「裸足で遊べるウッドデッキが欲しい」との要望。また、授業での発表をはじめとした各地域団体による活動発表の場としても活用。</p> <p>○ ミニウッドデッキ 地域住民によるDIYで製作。それぞれ快適な距離感で点在するミニウッドデッキは、子どもから大人まで森の緑を感じながら落ち着く居場所となる。</p> <p>○ 回遊の小道とスロープとシンボルツリー 森の風を感じながら散歩できる草地のくねくね小道。そして「あすのこ広場」と子ども達や地域の人々を見守るシンボルツリー「プラタナス」。</p> <p>○ アプローチ 飛び石状に並べられた枕木は自然豊かな「アスレの森」に誘う！</p> <p>○ 落石防止ウォール 斜面側における万が一の落石の危険性を考え、遊び心溢れた（寄り掛かったり、かくれんぼしたり）デザインのRC壁の設置。</p>
施設の活用・活動内容 (具体的な活動内容を工夫した点にも触れて記入してください) ※第1次提案書より具体的に記入してください	<p>○ 平日は休み時間の児童利用と見守り、まち保育としての利用 児童の休み時間での遊びの見守り（週1回ほど）。また、近隣幼稚園や保育園のまち保育としての活用。（まち保育による園児管理は幼保職員）</p> <p>○ 土日に学校開放時間のイベントや交流の場として 親子参加イベントやサークル活動、読み聞かせ、音楽会、ヨガ・体操教室や工芸教室、森の散策など、地域が集い、のんびり過ごせる憩いの場として活用。各町内会、婦人会、子ども会の活用。近隣大学と協同でのワークショップ開催。地元スポーツ団体の観戦や応援。（イベント参加者の安全管理は主催者）</p> <p>○ 森の安全教室・防災教室の企画 消防団やネイチャーガイドと協力して体験を通じた命の大切さや安全を学ぶ。</p> <p>○ 気軽に立ち寄り、休憩できる広場として 何もしなくても、ちょっとお喋りする場として…気軽に集える居場所づくり。</p> <p>○ 広場使用の際の安全な使い方や注意の喚起</p>
提案の背景	○ 脈々と受け継がれてきた「アスレの森」の活動

<p>(なぜ提案をするのか、地域のニーズや課題、生かしたい地域の魅力等に触れて説明してください) ※第1次提案書から変更した点がある場合はその理由も記入してください</p>	<p>「アスレの森」は60年前、PTAや地域の協力で創立10周年(S39年)にその地形を活かした遊歩道のある「自然園」として誕生した。創立30周年頃にはPTAや地域の熱い要望のもと、教育委員会と協力しアスレチック「わんぱくランド」と形を変えた。H19年、老朽化に伴うアスレチック撤去の際には傾斜地である森全体をコンクリートで覆う計画も浮上。しかし、豊かな森を子ども達に残すために『あすのこ』を保護者有志で発足。保護者と地域、学校が横浜市と粘り強く交渉を重ね「アスレの森」として残すことが決定した。H21年に遊歩道を整備し保護者と地域が一体になって森の整備にも取り組み、永く親しまれている。</p> <p>◆ 学校での休み時間の利用を促進 現在、大人の見守りの必要性から「子ども達が行きたいのに行けない」という問題が生じている。「アスレの森」の入口に大人の見守り拠点があれば、子ども達の森での活動も今まで以上に活発になる。</p> <p>◆ 発表のステージや休憩場所の確保 計画地では土日の学校開放時に延べ25回のワークショップが行われている。しかし、発表のステージや休憩場所の確保が課題である。その課題を解消するために、ウッドデッキがあれば発表のステージや休憩場所として活用が可能。また、グラウンドでの試合観戦などにも使用できるため活用の幅は広がる。</p> <p>◆ 地域の活性化 地域住民の高齢化が大きな課題である。コロナ後、交流が制限される中で集まるきっかけや機会が減り、地域の担い手不足も深刻化している。特に若い人材の交流も少なくなっているため、イベントや町内の集まりなどに利用されることで地域活性化の一歩としたい。</p> <p>◆ 第1次提案書からの変更点 ◇ プラン全体像 地域全体がより活用でき、様々な人が「広場で出会い、森とともに育つ」ことができる交流施設として修正。 ◇ 削除及び追加点 ・急傾斜地の安全性を考慮しグラウンド側にメインデッキはずらして設置。 ・セキュリティ面の検討の結果、入校用の専用扉と通路については削除。 ・東屋は法規の制約により取りやめ、ウッドデッキや草地広場の範囲の拡張。 ・「あすのこ広場」完成後は、陽射し対策のシェード設置等も検討している。</p>
<p>整備プロセス(スケジュール、つくるときに連携する仲間の役割や活用する地域資源注4)、費用削減の工夫に触れて説明してください)</p>	<p>○ ミニウッドデッキ製作と広場の整地をみんなの手で! 毎年「アスレの森」の手入れには地域から100名近くの協力を得られているため、施工時の協力体制も整っており費用は圧縮可能。子ども達、地域住民、近隣大学のメンバーによるワークショップにてミニウッドデッキ製作を計画。</p> <p>○ 完成後の整備も地域みんなで! 完成後の整備についても、連合町内会長、各町内会長、学校地域コーディネーター、主任児童委員、学校長、PTA会長などを中心に組織を構成し計画的に行う。常に情報を発信し、仲間を増やしながら活動する予定。学校開放で利用している地元スポーツ団体にも整備の協力を呼びかけたい。</p> <p>○ 設計・設備について 活動メンバーに大学で教鞭をとる建築の専門家がいる。整備を進める上で随時助言・支援を受けることができる。</p> <p>○ 町内掲示板に「あすのこ広場」専用のコーナーを常設し、情報発信をしていく</p> <p>○ 不足する工事資金について プレイベントを複数回開催し活動の周知とともに募金活動や、クラウドファンディングも実施。寄付の返礼品には児童が企業とともに製作した商品を用意。</p>
<p>維持管理・運営計画及びその実施方法(維持管理・運営するときに連</p>	<p>○ 維持管理について ウッドデッキと草地広場のメンテナンス。ウッドデッキは年1度再塗装する。</p> <p>○ 「あすのこ広場」の整備・点検 例年10月に地域総出での森の手入れが定例化。「アスレの森」も含め、広場の整備及び点検も計画的に実施していく。</p>

携する仲間の役割や活用する地域資源注4)に触れて説明してください)	○ 運営方法 バザーを開催した収益金や、少額ながらイベントの参加費等を集め、それを継続した整備費用に充てていこうと考えている。また、助成金や寄付金なども費用に充てていこうと考えている。
-----------------------------------	--

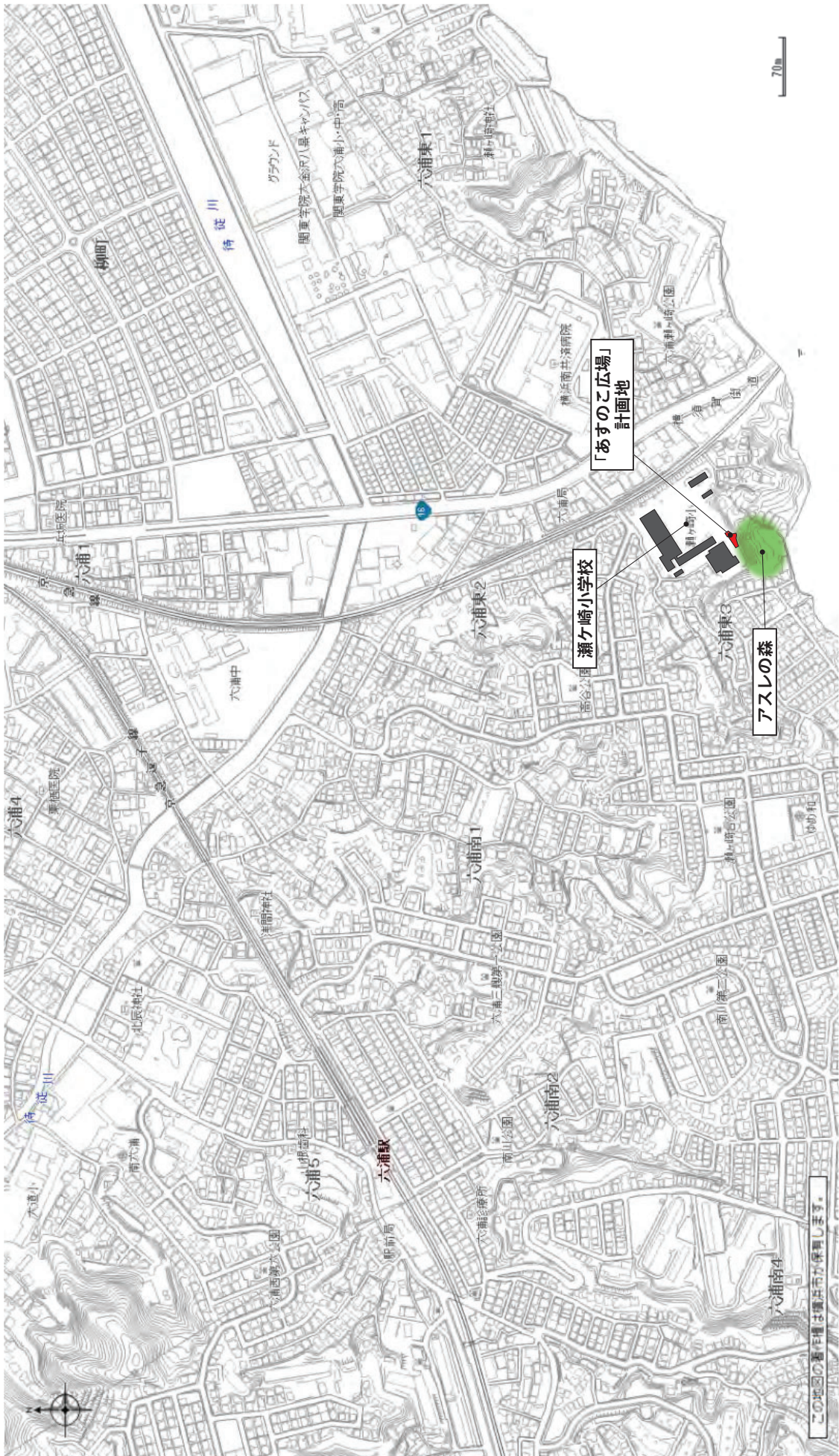
注4)「地域資源」とは、次のようなものを想定しています。

- 「ヒト」の例 ・地域のPTAから協力を受けられそう。 ・地域に設計の専門家がいる。
- 「モノ」の例 ・整備に必要な材料を安く入手できそう。 ・整備に必要な建設機械を安く借りられそう。
- 「カネ」の例 ・自治会町内会から資金的な支援を受けられそう。 ・バザーなどで資金を集められそう。

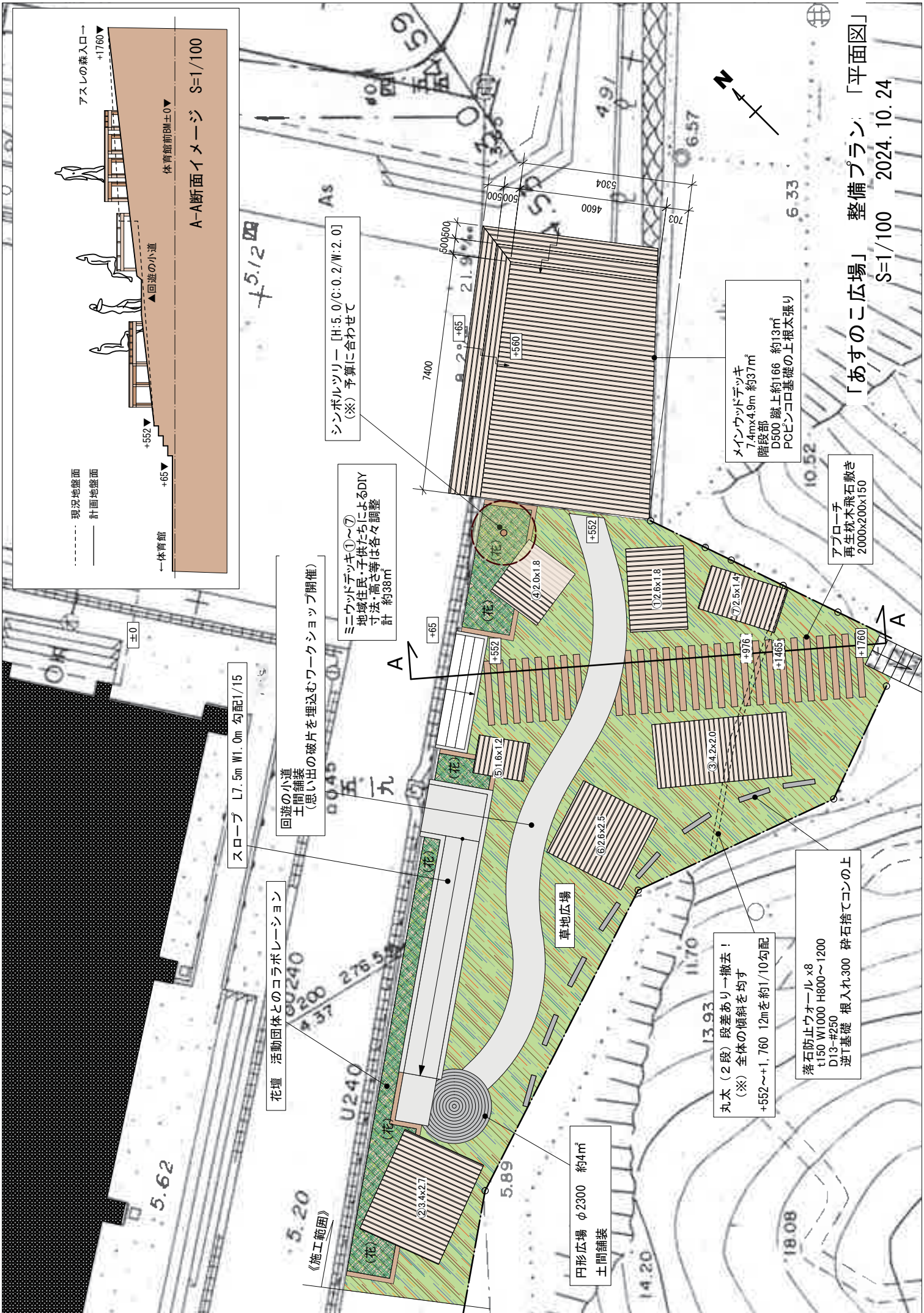
1次コンテスト以降の活動内容 <small>※詳細については添付資料（任意様式）に記入してください</small>	○ 広場の設計アイデア、運営方針などについて話し合い。（詳細は別紙） ◆運営方針 楽しみながら無理なく継続できる活動。 ◆広場に関するアイデア ・専門家に意見を求め、安全面への考慮を図面に反映（別紙） ・ウッドデッキを活用したイベント案 ・教育活動における活用方法 ・「あすのこ広場」に関する広報 ・運営資金について
関係者の合意・調整状況 （地域《地権者、整備場所の近隣住民、地域住民、自治会町内会等》での合意形成や関係機関との調整結果の概要について説明してください）	○ 学校長に説明し、合意済 ○ 瀬ヶ崎小学校「アスレの森」傾斜地の安全に関する専門家との協議内容 関東学院大学の地盤工学の専門家に下記の項目をご指導いただいた。 1)傾斜勾配の方向により判断し、崩壊可能性の高い傾斜地西側の斜面下は計画地から外す。2)降雨による土砂崩壊の可能性は低いと予測するが、時間雨量、累積雨量、土壌雨量指数(スネークライン)を確認し、一定の基準を超えた際は、計画地への立入禁止とする制度とする。3)雨量や地震によって傾斜地の危険が高まることを児童に教育し、自然の中の危険を判断できる教育を行う。4)最先端の研究者でも急傾斜地の地盤崩落を予測することは不可能ではあるが、上記項目を実施することで現状における最良の安全対策と言えよう。 ○ 近隣説明は対象住民に説明文書を直接渡し、理解を得た。
その他提案について特にPRしたい点を記入してください	○ 永く愛されてきた「アスレの森」！「あすのこ広場」で多様な繋がりを！ 開校以来、周年行事の度に様々な企画や整備を行い保護者と地域が一体となり取り組んできた。近隣住民にも永く親しまれてきた小学校にある「アスレの森」は貴重な自然を備えている(H21年環境大臣表彰受賞)。自然と触れ合う機会の減った近年、「あすのこ広場」があれば気軽に自然を感じられる。 ○ 「アスレの森」で育ったメンバーがいる！ 現在の提案メンバーには、かつてアスレックスを子どもと楽しんだ保護者に加え、当時遊んだ卒業生が大人になり保護者として参加。さらに、現中・高生も参画するなど世代の繋がりを感ぜられる。すでに出来上がっている協働の地盤に、多世代の交流があればより豊かな拠点となる。
目指す地域の将来像 （施設が整備されることにより地域がどのように良くなるのか、地域に及ぼすインパクトについて説明してください）	○ 子どもは地域の宝であり未来の希望 <u>「あすのこ広場」で子ども達の「生きる力」を育む。</u> また、ここで育った子ども達がイベントなどを通して卒業後も繋がる居場所となる。さらに、地域住民も参加することで互いに顔の見える関係が構築できる。 ○ 「アスレの森」広場を保育の場として活用 小規模保育園や幼稚園の利用で園児が豊かな自然に触れることができる。 ○ 梓にとらわれない居場所として 引きこもりがち子どもから高齢者など、外の繋がりが持ちたくてもハードルが高く感じる人がいる。イベントを通して同じ趣味を見つけたり、ただ自然を感じたり…誰もが自由に安心して過ごせる場所を目指したい。

記載内容について次の点を確認後、チェックボックスに✓を入れてください。

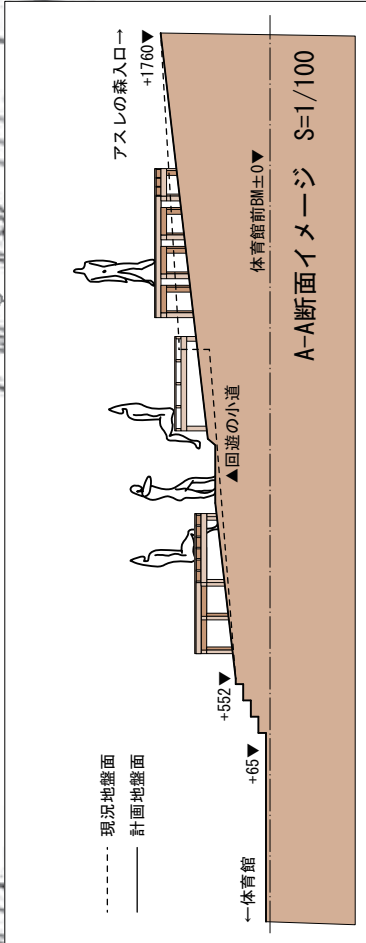
- 記載内容は真実であり、虚偽はありません。
- 記載内容に個人情報はありません。



「あすのこ広場」整備計画 位置図



「あすのこ広場」 整備プラン 「平面図」
 S=1/100 2024. 10. 24



シンボルツリー [H:5.0/C:0.2/W:2.0]
 (※) 予算に合わせて

ミニウッドデッキ①～⑦
 地域住民・子供たちによるDIY
 寸法・高さ等は各々調整
 計 約38㎡

回遊の小道
 工間舗装
 (思い出の破片を埋込むワークショップ開催)

スロープ L7.5m W1.0m 勾配1/15

花壇 活動団体とのコラボレーション

円形広場 φ2300 約4㎡
 土間舗装

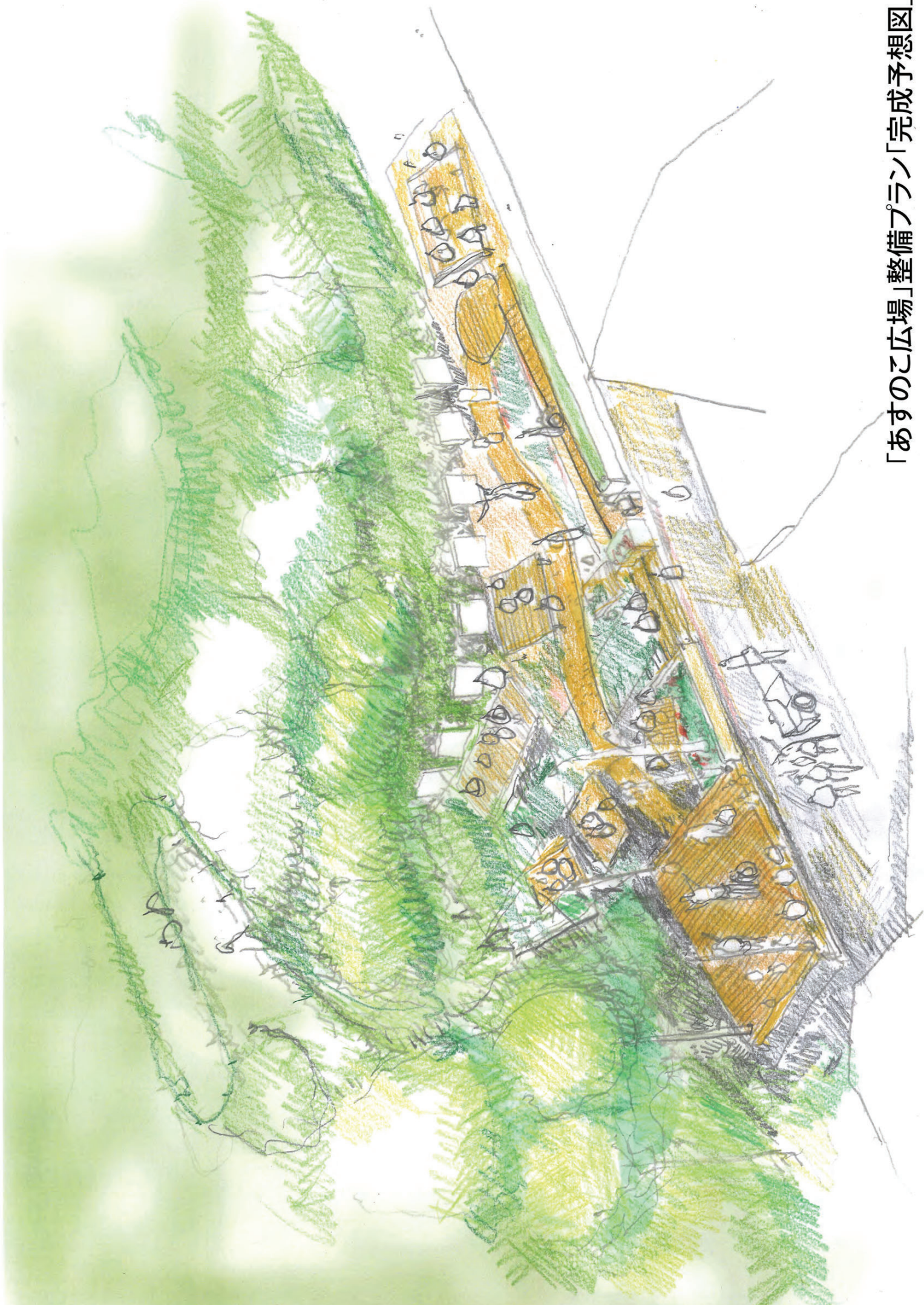
草地広場

丸太 (2段) 段差あり→撤去!
 (※) 全体の傾斜を均す
 +552～+1,760 12mを約1/10勾配

落石防止ウォール×8
 t150 W1000 H800～1200
 D13-#250
 逆T基礎 根入れ300 砕石捨てコンの上

メインウッドデッキ
 7.4m×4.9m 約37㎡
 階段部
 D500 蹴上約166 約13㎡
 PCピンコ基礎の上根太張り

アプローチ
 再生枕木飛石敷き
 2000x200x150



ヨコハマ市民まち普請事業

想定整備費用内訳書

※ 記入上の注意

- 「主な整備項目」「細目」欄の記入にあたっては、事務局と事前に十分調整してください。
- 「数量」欄については、やむを得ない場合を除き、「一式」と記入しないでください。
- 「地域住民等の参加」欄については、例えば地域が労力を負担する場合は、何人くらいが何日間くらい作業を行うかなど、できるかぎり具体的に記入してください。（見込みも含めて記入してください。）また、小中学校や子供会などが参加する場合は、その旨を明記してください。

主な整備項目	細目	数量	単価	計	地域住民等の参加 (費用,労力の負担等)
メインウッドデッキ	7.4m x 4.9m	37m ²	¥40,000	¥1,480,000	構造体組上げは業者施工 塗装は住民施工 [10人 x 5時間]
メインウッドデッキの階段部	D500;蹴上166	13m ²	¥40,000	¥520,000	構造体組上げは業者施工 塗装は住民施工 [10人 x 5時間]
スロープ	土留ブロック 床面：土間仕上	11.7m ²	¥50,000	¥585,000	土留は業者施工 土間は住民施工 [5人 x 5時間]
落石防止ウォール	H:800~1200, W1000	8基	¥85,000	¥680,000	型枠建込～コンクリート 打設～脱型は業者施工 塗装は住民施工 [5人 x 5時間]
円形広場	インターロック	4.0m ²	¥12,000	¥48,000	下地材敷込みは業者施工 ブロック材敷き並べは 住民施工 [3人 x 5時間]
回遊の小道	土間仕上げ (思い出品埋込みワーク ショップ)	21.6m ²	¥12,000	¥259,200	端部型枠～メッシュ引込 は業者施工。コンクリート 打設時～思い出品埋込 住民施工 [10人x5時間]
アプローチ	再生枕木	14基	¥15,000	¥210,000	住民施工 [10人 x 5時間]
花壇	見切材及び花苗等	47.6m	¥2,500	¥119,000	地元緑化活動団体による ワークショップ
シンボルツリー	H:5.0, W:2.0, C:0.2程度	1本	¥90,000	¥90,000	住民施工 [5人 x 2時間]
ミニウッドデッキ	1.92~9.18m ² (7箇所)	37.78m ²	¥12,000	¥453,360	住民施工 [21人 x 5時間]
土工事		150m ²	¥1,000	¥150,000	荒造成は業者施工 仕上げ均しは住民施工 [10人 x 5時間]
塗装工事	メイン・ミニウッドデ ッキ250m ² (表面、裏面、 柱、脚部などすべて) 落石 防止ウォール25m ² 合計 275m ² 塗装道具一式	一式	¥187,500	¥187,500	住民施工
設計監理費		一式	¥200,000	¥200,000	
【小計】				¥4,982,060	
(消費税)				¥498,206	
合 計				¥5,480,266	

【注意】「住民」には、安全を配慮した上で瀬ヶ崎小学校の児童を含む

【一次コンテスト（7/21）通過以降の主な活動】

「あすのこ」みんなで検討！

7月

「あすのこかいぎ③」コンテストの振り返りと今後の活動について話し合う！

8月

二次コンテストの説明やその間の活動助成金の申請手続きなどの説明（まち普請事業事務局から）コーディネーターの決定！

「あすのこかいぎ④」コーディネーター、設計士と顔合わせ

8/28 まち普請事業施設見学会バスツアー！3つの拠点見学。

具体的な成功事例を見学！二次コンテストまでに、メンバーの意思疎通、方向性の共有、具体的な活動も大切だと実感

9月

「あすのこかいぎ⑤」二次コンテストに向けて具体的な話し合いと広場イメージ共有

「あすのこかいぎ⑥」広場のラフデザインなどの具体的な話し合い

森の安全性を確保しながらどんな広場を作る？

「あすのこかいぎ⑦」まち普請活動懇談会に向けて打合せ「ステップアップシート」作成

この広場で何ができるのか誰が集まるのか

9/22 市民まち普請活動懇談会（5名）参加ステップアップシート

森の安全性と長く活動するための維持管理の方法や運営の課題

10月

「あすのこかいぎ⑧」活動懇談会報告と具体的な広場のデザインイメージを固め、設計士に依頼



「あすのこかいぎ⑨」広場デザインの検討・共有

森の安全性

どんな活用をしていくか 広場の機能

▶瀬ヶ崎小ちゃんばくランド整備の歴史
30周年記念
アスレの森の成り立ちについて
脈々と受け継がれる思い

地盤工学の専門家のアドバイスをもとに、ウッドデッキ広場は森の真ん前ではなくより安全性の高い東側ターゲットエリアに！

脈々と受け継がれる思い

開校当時から、地域が祖父母世代、親世代、子ども世代と手入れしてきた！

「あすのこかいぎ⑩⑪」設計士による広場デザインのさらなる提案と検討。

10/31

まち普請審査員現地視察

広場を校内の森の前であえて作るこの意味 広場だけで完結できるのか

「あすのこかいぎ⑫⑬」二次コンテスト申請書案検討。図面、パース、模型提案



近隣地域への説明（校長、代表、近隣対象地域町内会長、副代表）

「あすのこかいぎ⑭⑮」子どもも大人も集まって二次コンテスト申請書案、最終図面等最終検討に

子どもも大人も集まって「あすのこ広場」をDIY！予算も圧縮

二次コンテスト申請書一式提出予定（※切 11/28 17時厳守）

いろんな人が無理なく楽しく関われるしくみを

12/21 瀬ヶ崎小学校 創立70周年記念式典開催予定！

12月

二次コンテストに向けて準備審査員事前質問など

1/26 二次コンテスト！

ワークショップやイベントで地域に発信！

7/28 関東学院大学建築・環境学部研究室主催の アスレの森のワークショップ開催 「みんなで植物図鑑づくり」



8/30 瀬ヶ崎小学校運営協議会拡大版にて「アスレの森」とその広場のグループに分かれ地域と教職員が意見交換



10年後、20年後、30年後の活用や夢について考えた！

9/3 瀬ヶ崎小5年生のワークショップ アスレの森前の広場で何作ろう

どんな広場にしよう！子どもたちの視線からあすのこ広場考える！

9/14 関東学院大学建築・環境学部研究室主催の アスレの森のワークショップ開催 「みんなで丸太の家具づくり」



10/12 関東学院大学建築・環境学部研究室主催の アスレの森のワークショップ開催

実際のロープなどを使ってスケールを把握。2×4材などを使ってベンチなどを製作！広場予定地にベンチを置くことで広場のイメージが深まった！



10/26 アスレの森の手入れ草刈り 地域・保護者、児童参加



みんなで汗を流すのって楽しい！

11/9 関東学院大学建築・環境学部研究室主催のみどりアップワークショップ 「家具をつくらう」

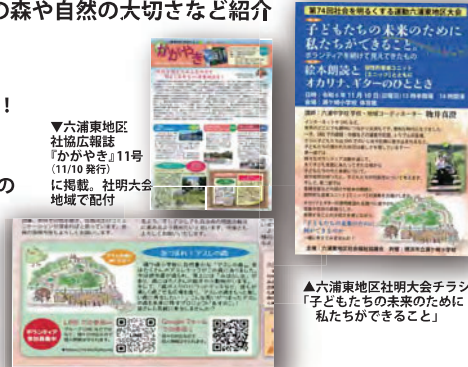


11/10 六浦東地区の社明大会でアスレの森や自然の大切さなど紹介

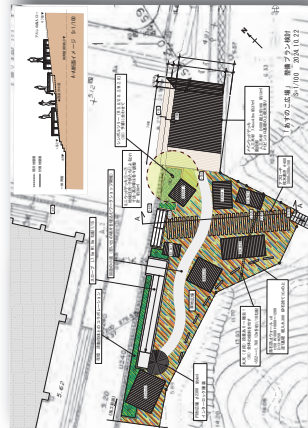
11/30 関東学院大学建築・環境学部主催のみどりアップワークショップ開催予定！ 「樹木博士になろう！」

▼六浦東地区 社協広報誌「かかやき」11号（11/10発行）に掲載。社明大会地域で配付

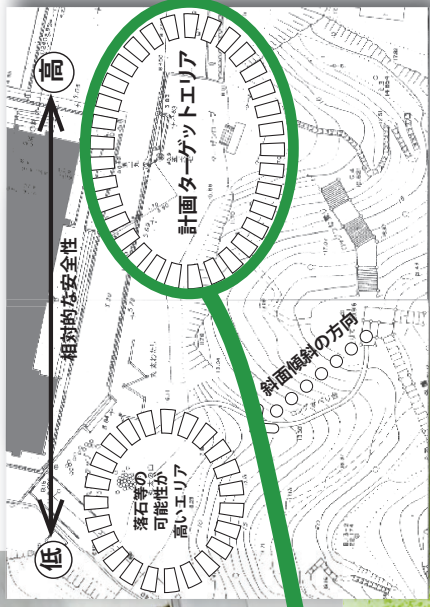
12/7 関東学院大学建築・環境学部主催のみどりアップワークショップ 「フラワーポットづくり」開催予定！



▲六浦東地区社明大会チラシ「子どもたちの未来のために私たちができること」



完成予想図



施工図面

「あすのこ広場」はこんなところ！

◆シンボルツリー
4年生の国語の教科書にも出ていたプラタナス。アスレの森と広場、そして子どもたちや地域の人々を見守る！

◆落石防止ウォール
万が一の落石の危険性に配慮し、遊び心も兼ね備えたわくわくするデザインのスロープを斜面側に設置。

◆回遊の小道
森の風を感じながら草原のくねくね小道を散歩！

◆アプローチ
飛び石状に並べられたアプローチは自然豊かな「アスレの森」の入り口に誘う！

◆みんなで作る
ミニウッドデッキ
子どもも大人も森の緑を愛でながら休憩したり、本を読んだり、おしゃべりしたり。点在するミニデッキはそれぞれの快適な距離感で落ち着く居場所

◆スロープ
誰もが利用できるために！
草花を愛で回遊しながらウッドデッキへと繋がる

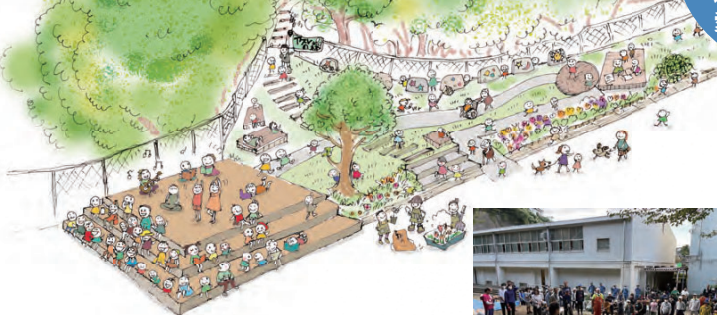
◆メイン
ウッドデッキ

急傾斜地の安全性を考慮しグラウンド側にメインデッキを設置。児童の授業や合唱、演劇などの発表、地域のヨガ・体操・盆踊りサークル、バンドの演奏、工作教室など、体験と発表の場。グラウンドでの試合観戦や行事観覧、休憩、見守りの場。キッズクラブのお弁当時間など、のんびり過ごせる広場！

**あすのこチーム みんなで運営！
祖父母から親世代、子・孫世代へと
多世代が無理なく、楽しく、枠を超えて**

瀬ヶ崎小学校の
創立から70年!!
周年行事の度に
地域と学校が協働し、
森の手入れをし
愛されてきた歴史

わんぱくランド整備の歴史 (30周年記念誌より)



関東学院大学の建築・環境学部研究室主催
大学生と子ども・地域住民のワークショップ開催
(2015年～25 回実施)



まちの先生や
横浜市や金沢区、大学の
ボランティアサポートセンター
企業との連携

関東学院大学
とのコラボ
ワークショップや
みどりアップ
南共済病院との連携

◆子どもたちの自由な
遊びと学び活動に
「あすのこ広場」と「アスレの
森」を子どもたちが考え、
企画しながら楽しむ！

◆いろいろな企画を無理なく楽しく♪
無理なく、独自のイベントも企画しながら、地
域のさまざまなサークルなどにも発表や活動の
場として企画してもらおう。
また安全教室なども学校や消防団、ネイチャー
ガイドと連携し企画実施。

金沢区民
活動センター
"ゆめかもん"

◆仲間を集め、
「あすのこ広場」の
活動を広く伝える！
「あすのこ広場」と「アスレ
の森」を広く知ってもら
い、活動に気軽に参加し
てもらうために。広報や
募集活動を展開！

◆楽しく植栽！
花のボランティア
「ガーデンボランティア
アすみれ」や草花に興
味のある地域住民、
保護者が子どもたち
と楽しく植栽！
「あすのこ広場」を楽
しく癒やされる緑と
花の広場に♪



町内の掲示板
あすのこ広場
の常設コーナー

公式HP
「あすのこ」LINE
インスタなど
SNS等の発信など

町内会、自治会の
見守り・防犯パトロール
防災班などとの連携

地域の
スポーツ団体、
サークルなどへの
呼びかけ

◆「アスレの森」と「あすのこ
広場」の維持と保全活動
地域住民と学校、子ども、保護者、サークルメ
ンバーが関東学院大学など近隣大学やみどりの
協会、樹木医などと連携し、こまめな草刈
りや手入れをしながら維持と保全に取り組む。

◆それぞれのチームを繋ぐ
それぞれのチームを繋ぎながらサポート。
会計業務、助成金、クラファン、募金、
企業とのコラボなど対応。

◆みんなで造る！
地域住民と関東学院大学、自然や拠点づくりに
興味のあるボランティアも地域枠にとられ
ず幅広く募りみんなで広場づくりに取り組
むことで、あすのこ広場をたくさんの人に
知ってもらう機会もなる。

◆見守りチームメンバーに！
「あすのこ広場」施工後、運営がスタートし
たら、子どもたちの「アスレの森」利用の際
の見守りや森のメンテ、植栽、企画、広報、
マネージメントなど得意なチームに！

2次コンテスト事前質問集

【提案名グループ名】 「アスレの森」を残す会「あすのこ」	
事前質問	回答欄
朝比奈委員	
① ウッドデッキの土台や基礎はどのようになりますか。	基礎部分はコンクリート製のコンクリートピンコロと呼ばれる四角形の基礎石を使用予定
② ウッドデッキはどのような使い方をしますか。授業、地域の方たちの普段の利用などシーンを想定して教えてください。	○メインウッドデッキ 授業：グラウンドでの活動の休憩や応援観戦の場。合唱や劇などの発表の場 地域：ヨガや体操教室、ダンスなどのイベント開催や発表の場、グラウンドでの試合観戦や休憩場所として。のんびり座って森をながめながら過ごす場。 ○ミニウッドデッキ 授業：休み時間は友達とおしゃべりしたり、休憩したり、たのしく過ごす場として。読み聞かせや読書の時間として利用。総合学習等、様々な授業でのグループ学習の場として。 地域：ゆっくり森を眺めながら、休憩したり読書したり、おしゃべりする場として利用。
植松委員	
① 現地視察に伺った際、とても素晴らしい空間で、今のまま＝デッキではなく芝生、緑地帯のままで充分素敵だと感じられましたが、これをデッキにしようとする必要性を教えてください。	緑地帯は天気がいい時も湿気が多く、特に雨天後は、ぬかるみ状態になるため、活動をためらう場合が多いです。そこで緑地帯の一部に広いウッドデッキを設置し、広場の整備をする事で雨天後も「アスレの森」の前での活動が活発になり、天候にかかわらず快適に過ごすことができると考えます。

	<p>グラウンドや教室からも森のシンボルとして広がるウッドデッキは、わくわくする場として、アスレの森へ誘う重要な働きをしてくれます。また、回遊の小径やミニウッドデッキなどがあることは、子どもたちの遊びや観察場所としての機能を妨げることもありません。むしろある程度整備することで、緑地帯での活動の可能性が広がり、これまで以上に自然に親しむ契機となるのでは期待しています。</p>
② ウッドデッキは案外腐食が早く、特にこちらの土地のような、樹木や丘地からの湿度がもたらされるような場所では 10 年ほどで腐食が始まることがありますが、その場合の対策はどのように考えていらっしゃるでしょうか。	<p>基礎部分や柱の部分などは、樹脂などの人工木材を使うことで、湿気による腐食の課題にも対応。床下の風通しなどにも考慮し、長く使用できるかと思えます。天然木については、定期的な塗装整備（最低 2 年に 1 度）を考えています。</p>
③ 回遊の小径は、車椅子とその介助のスペースを十分にとり、傾斜などにも充分に配慮する必要がありますが、それだけの場所を確保出来そうでしょうか。	<p>設計段階でも傾斜は緩やかに計画しており、介助者にとって小径と草地の段差も少ないので問題ありません。スペースもとくに問題ありません。</p>
川原委員	
質問なし	
後藤委員	
① ミニウッドデッキの利用イメージを具体的に教えてください。	<p>ミニウッドデッキの想定している利用方法については朝比奈委員の質問②の回答内容と同じになります。</p>
杉崎委員	
① 施設やグループの活動以外で地域住民等が自由に森に入ることができる時間はありますか。	<p>地域住民の利用は、現時点では、基本的に土曜日・日曜日の学校開放時が対象となります。</p> <p>また、近隣の小学校や幼稚園、保育園等の利用に関しては引率の先生や保育士が対応してくれることを前提に平日も利用可能です。</p>
② ミニウッドデッキを整備するに至る経緯、また想定している利用方法を教え	<p>これまでのワークショップ開催で参加した子どもたちや保護者、地域住人から屋外</p>

<p>てください。</p>	<p>でおしゃべりしたり、のんびり過ごせる場所やぼーっとしたり、落ち着く場所がほしいという希望がありました。丸太椅子やベンチづくり等のワークショップを通して、落ち着くスペースや心地よい場所について体感。みんなで手作りのミニウッドデッキも造りたいとの声が上がりました。ミニウッドデッキの想定している利用方法については朝比奈委員の質問②の回答内容と同じになります。</p>
<p>鳥海委員</p>	
<p>① 現地視察させていただき、「アスレの森」はとても素敵な場所だと実感しました。自然の中で過ごすこと、自由に遊べる環境の大切さを知っている「あすのこ」さんが隣接する箇所にこれだけの造作物を必要とされる理由を教えてください。</p>	<p>「アスレの森」の素晴らしさや親しみについては、アウトドア好きな大人や子どもは充分感じていると思います。しかし虫や草木が苦手な子どもたちや保護者、自然に触れあうきっかけのない地域住民も多くいます。そういった子どもや地域住民もメインウッドデッキやミニデッキなどがあることで、そこに座り、木々や鳥の声を聴きながら居心地の良さを体感したり、回遊の小径での散策、花壇の季節の草花を楽しむことで、「アスレの森」の自然にもっと親しむきっかけになると考えています。</p>
<p>② 基本的に「アスレの森」と別物として、子どもたちの活動は森の下で完結することでしたが、造作物を作ることによって、大切にしている「アスレの森」の課外活動自体をどう変化させていきたいかを教えてください。</p>	<p>「アスレの森」は六浦東のランドマークであり、類い希な財産であると考えています。六浦東地区は瀬ヶ崎小学校で育ち、地域の担い手として定住している人が多い地域です。愛着ある小学校の中に皆が集えるウッドデッキなど、親しみやすい広場をつくることは、「アスレの森」の価値を再確認し、森への愛着を持つ人が増えると共に、地域の人的繋がりも育まれ、地域全体で森の保全や維持管理をしていく上でも重要な役割を果たします。</p> <p>小学校は防災拠点でもあり、ウッドデッキのある「あすのこ広場」を防災キャンプ、炊き出しなどにも利用でき、地域住民の防</p>

	<p>災にとって極めて有用です。</p> <p>「あすのこ広場」ができることで活動の内容など、質量ともに拡がり、自然から遠ざかりがちな大人、子どもにとって五感を使って自然を体験できる貴重な場になると確信しています。</p> <p>未来のまちを担う子どもたちの成長は、地域の発展や住民福祉にとっても大切な意味をもっていると考えます。</p>
③ 小学生だけではなく、近隣幼稚園保育園を含めた子どもたちの活動、自然に親しめる環境をこれからも大切にするために一番必要だと思っている造作物はなんですか？	<p>子どもから大人まで、地域の多世代が集まり、ゆっくり過ごせるウッドデッキです！また、森に繋がるちょっと遊び心のあるミニデッキが点在する広場も、森の散策が難しい小さな子どもたちにとって、森への関心を高めながら無理なく遊べる場になるのではないかと考えています。</p>
肥後委員	
① 学校に近隣の方が気軽に訪れることに心配はありませんか？	<p>平日、児童がいる時間帯は正門での解錠等、学校の管理下で行われ、出入りチェックも可能なので特に心配はしていません。土日の学校開放時は、グラウンド利用団体の管理下にあるので登録の利用団体と相談していきたいと思います。地域に開かれた学校としての伝統もあるので工夫し検討していきます。</p>
松村委員	
① 児童が利用することはイメージが湧くのですが、地域の方々はどのように利用されると想定していますか？	<p>○講師を招いてヨガ・体操教室や森のサウナ、ピザ・パン焼き講座、野鳥や草花などの自然観察会、コーヒー講座、野点、アクセサリー手作り講座の開催。災害救助犬や盲導犬教室などの企画など。</p> <p>○保健活動推進委員と協働し、フレイル予防体操教室、消防団と協働しての防災教室など多世代向けのイベントを企画。</p> <p>○大学と連携したワークショップも引き続き開催。みどりアップ活動ともコラボ。</p> <p>こうしたイベントで地域住民の交流や</p>

	<p>人材の更なる掘り起こしをしたい。</p> <p>○バザーやフリーマーケットの企画開催。</p> <p>○<u>花壇整備のボランティアと協働</u>して、広場の花壇整備をし、季節のテーマに沿って楽しい草花の広場にも！花を愛でに、地域の老人会や婦人会などが憩える広場にしてい予定です。</p> <p>○<u>町内会単位</u>での婦人会の集まりやイベントを気軽に開催。</p> <p>毎年小学校で実施されている<u>六浦東地区全体の防災訓練、芸能祭、社明大会</u>などを<u>広場を使った企画</u>としても検討中です。</p> <p>コロナ前には小学校で毎年開催していた六浦東地区の地域・子ども交流イベント「ふれあいまつり」（地域の青少年育成関係者やまちの先生などが中心に、ゲームや工作、着付け、手芸教室など実施）の再開も検討しています。</p> <p>土日にイベントなどがなくても、見守りスタッフのいる日は広場を開放。ウッドデッキに腰掛け、鳥の声や森の緑を眺め、ゆっくり過ごす癒やしの場として、それぞれが落ち着くデッキや空間で過ごせること。それが地域の大人も子どもにとっても最大の魅力ではないでしょうか。</p>
<p>② アスレの森の木を、整備に用いる計画はありますか？</p>	<p>すでに手入れの際に出た間伐材を使ってワークショップによる丸太ベンチの製作・設置やウッドチップを広場整備に利用しています。今後も同様の活動を続けるとともに、さらに地域に呼びかけ、こまめに森や広場の安全点検や整備に取り組みます。少人数でも、定期的に整備することで作業効率も高め、ウッドデッキや森の保全・整備においてもベストだと思います。</p>
<p>③ 整備後の維持管理にかかる費用は、どのように作り出す予定ですか？</p>	<p>○恒常的な<u>募金</u>の呼びかけ。</p> <p>○<u>イベント実施</u>の際、会費の一部を森や広場の整備費用として利用。</p>

○フリーマーケット、バザーを開催し、収益を活動運営と整備費用に充てることを考えています。

ヨコハマ市民まち普請事業

第2次提案書

注1) 2号様式はページを増やさず、必ず3ページ以内でまとめてください。

注2) 2号様式は市民に公開しますので、個人が特定できる情報は記入しないでください。

注3) 添付資料は計画図(位置図・平面図・完成予想図各A3判1ページ、その他必要に応じて配置図・断面図・立面図等)、想定整備費用内訳書(第3号様式)、協議・説明状況報告書(第4-1～3号様式)、1次コンテスト以降の活動内容(任意様式A4判1ページ)、その他資料(必要に応じてA3判2ページまで)

提案グループ名 (25字以内)	パレット境木ベース運営委員会
整備場所 (町名又は丁目まで記入)	保土ヶ谷区境木本町
提案名 (25字以内)	懐かしい街の記憶を次世代へと繋ぐ拠点
助成金申請予定額	500万円
整備する施設 (具体的な整備内容 ^{※1} を工夫した点 ^{※2} にも触れて記入してください) ^{※1} 施設の全体像とともに整備助成金の対象箇所を明記してください ^{※2} 住民等が持つ発想、方法などを生かしたアイデアやユニークさ及びデザインへの配慮	<p>境木商店街の中央に位置し、地元で長年愛され惜しまれながら閉店した人気パン屋さんの空き店舗を整備して『パレット境木ベース』を造る。ここでの活動が地元で愛され、多世代を繋ぎ、子供たちにとって将来「懐かしい街の記憶」となり、次世代へ受け継がれていく拠点となる。</p> <p>【1階】 ①壁を張り替え、入口の近くに地域の情報掲示板を作る。②既存のニッチを利用して、外からも眺められ店内に入りたくなるような貸本棚と展示台を作る (DIY)。③2階のカフェに目が行く工夫を凝らした看板を取り付ける (DIY)。④出入口の古くなったテントを架け替える。⑤自動ドアを開け閉めが容易でかつ安全性を重視して指挟み防止ストッパーを取り付けた手動の引き戸に取り換える。⑥買い物帰りやワークショップ参加時に気軽に利用できる温水洗浄便座付トイレ、チャイルドシート、おむつ交換台、手洗いを新設する。⑦清掃しやすいフラットな床に張り替える。(利用者が自由にレイアウト可能) ⑧腰かけて一休み出来るウッドデッキを設置する (DIY)。⑨古い外壁を塗り替える (DIY)。 ※①④⑤⑥⑦は施工業者</p> <p>【2階】 ①既存キッチンを撤去し、作業しやすいカウンター付きシェアキッチンを作り、菓子製造許可を取得する。(外部イベントやネットでの菓子等の販売が可能になる) ②清潔さを重視したフローリングに張り替え、用途に応じて可動式畳マットを敷く。(昔ながらの窓の高さを活かす) ③懐かしい写真の展示やコミュニティに利用できる多目的収納棚を取り付ける。④入口をリフォームする。⑤入口とキッチンの間の壁をガラスにすることで、どこか懐かしい雰囲気を感じさせる柱や窓が見えるようにし、中に入り易くする。⑤トイレをリフォームし手洗いを新設する。</p>
施設の活用・活動内容 (具体的な活動内容を工夫した点にも触れて記入してください) [※] 第1次提案書より	<p>地域の人を繋ぐ【コミュニティの場】、ポテンシャルを引き出す【チャレンジの場】、地域との繋がりをうむ【地域との連携の場】という3つの柱で活動をする。</p> <p>【コミュニティの場】</p> <p>①定期的に作り手の顔が見えるマルシェやイベント・ワークショップ (ランチ付きも有) を開催する。外出するきっかけを作り高齢者等の孤立を防ぐ。 ②年齢層別 (ときにはテーマ別) の茶話会ジェネレーションカフェを週1回開催する (事務局が運営)。人と人を繋ぐ活動のベースになり、懐かしい街の記憶</p>

<p>具体的に記入してください</p>	<p>の発掘や地域のニーズの把握になり運営に生かせる。</p> <p>③子育てサロン「かえるんち」を週1回開催する（事務局が運営）。託児ではなく親が安心して寛げる場所で、ひとりの時間は欲しいけど、預けるのは不安なお母さんたちが、子供の様子を見ながらホッと一息つける時間を提供する。親子が地域の友達を作る機会にもなる。体験型ワークショップも企画しており、参加中は保育士に子供を預けることで親が子育てから少し離れてリフレッシュできる時間が持てる。</p> <p>④人と人を繋ぐ貸本棚を作る。本は地域の方に寄贈して頂き、寄贈者のお勧めコメントを帯に記載する。帯は年齢層別に色を変え、読んだ人がコメントを追記できるようにする。</p> <p>⑤カフェ・フリースペースとして散歩や買い物の途中に<u>ふらっと立ち寄れる場所</u>にする。</p> <p>【チャレンジの場】 <u>地域の人が特技や趣味の活動を広げたり、料理・語学教室や長年の夢だった1Dayカフェ等を開きたい方（初心者）が挑戦できる場所</u>を提供する。</p> <p>【地域との連携】 ①1階に<u>地域の情報掲示板</u>を作りSNSと連携して発信する。（パレットと商店街応援SNSのフォロワー合計約1,580人） ②商店会と協働したイベント時に『パレット境木ベース』を開放し、活動を周知する。また、イベント時には地域のトイレとして商店会に対して貸出し（有料）を行う。 ③夏場は<u>クールシェアスポット</u>として提供する。</p>
<p>提案の背景 （なぜ提案をするのか、地域のニーズや課題、生かしたい地域の魅力等に触れて説明してください） ※第1次提案書から変更した点がある場合はその理由も記入してください</p>	<p>昔は地域の資源である商店街には活気があり、行事が盛んで地域の繋がりが楽しめる街だった。顔見知りによって立ち話をしたり、声を掛け合ったり、地域の人が笑顔で繋がっていた。店主の高齢化等の影響で閉店する店が増えて人通りが少なくなり、最近では通り過ぎるだけの場所になりつつある。商店街だけは用事が足りず、バスで最寄り駅まで出ることが多くなり不便を感じている人も多い。この地域は高齢者だけでなく、子育てが一段落して新しいことを始めたい元気な中高年や、移り住んできた子育て世代など多世代が暮らしている。しかし、「地元で集う用事も場所もない」「繋がりがなくて寂しい」という声が聞こえてくる。</p> <p><u>賑やかだった頃の懐かしい街を取り戻すために私たちが地域と繋がり、地域の人と人が繋がる拠点を作りたい。そこでの活動がやがて「懐かしい街の記憶」となり次世代へ繋がっていく。そんな街づくりに貢献したい。</u></p>
<p>整備プロセス （スケジュール、つくるときに連携する仲間の役割や活用する地域資源注4）、費用削減の工夫に触れて説明してください</p>	<p>地域学生や住人と協働し2025年8月中旬オープンを目指す！</p> <p>①これまでの活動に加え、施設説明会、シェアキッチン等の利用者説明会、本格的に始動することの広報活動を5月頃迄に行い、サポーターを増やしていく。</p> <p>②R7/5月工事着手（至7月）。コロナの影響で閉鎖した料理教室の厨房設備をリユース品として譲り受けることで、低コストでの整備工事を実現する。</p> <p>③工事中はこれまでの活動で繋がったメンバーや地域学生ボランティアと一緒に、地域の大工さんの協力を得ながら貸本棚、看板、ウッドデッキ等のDIYを行う。（参加することで整備後に愛着をもって利用して頂く）</p> <p>④閉店した居酒屋を借用しカフェメニューの試食会やイベントを行う。</p> <p>⑤初期運用資金はイベントやマルシェを開催し調達する。</p> <p>⑥欲しいものリストを掲げ寄付を募る。</p> <p>⑦出資、募金、クラウドファンディングを実施する（専門家に指導頂く）。</p>
<p>維持管理・運営計画及びその実施方法 （維持管理・運営するときに連携する仲間の役</p>	<p>①事務局（5名）が企画・運営を行う。ジェネレーションカフェ・軒下マルシェの開催、シェアキッチン&カフェを使って懐かしい味を提供する。地域イベントでは主催側と連携してボランティアとして参加する。保育士2名は子育てサロン「かえるんち」を主催・運営する。</p> <p>②出店メンバー（現在9名）は定期的にマルシェやワークショップを開催する。月契約とし利用料を徴収する（整備箇所継続的な利用と運営費確保）。地域イベントでは事務局と連携して出店し『パレット境木ベース』が1つになり（お揃</p>

割や活用する地域資源 ^{注4)} に触れて説明してください)	<p>いのTシャツ・隣り合わせのテーブル・共通スタンプカード・繁忙時の相互サポート) イベントを盛り上げる。</p> <p>③サポーター(現在11名)は主に事務局をサポートする。イベント時は事務局と連携し、ジェネレーションカフェの開催・運営にも協力する。</p> <p>④チャレンジ利用は都度利用料を徴収する。複数回利用した方にはサポーターや出店メンバーへ促し、仲間を増やし運営費確保に繋げる。</p>
---	---

注4)「地域資源」とは、次のようなものを想定しています。

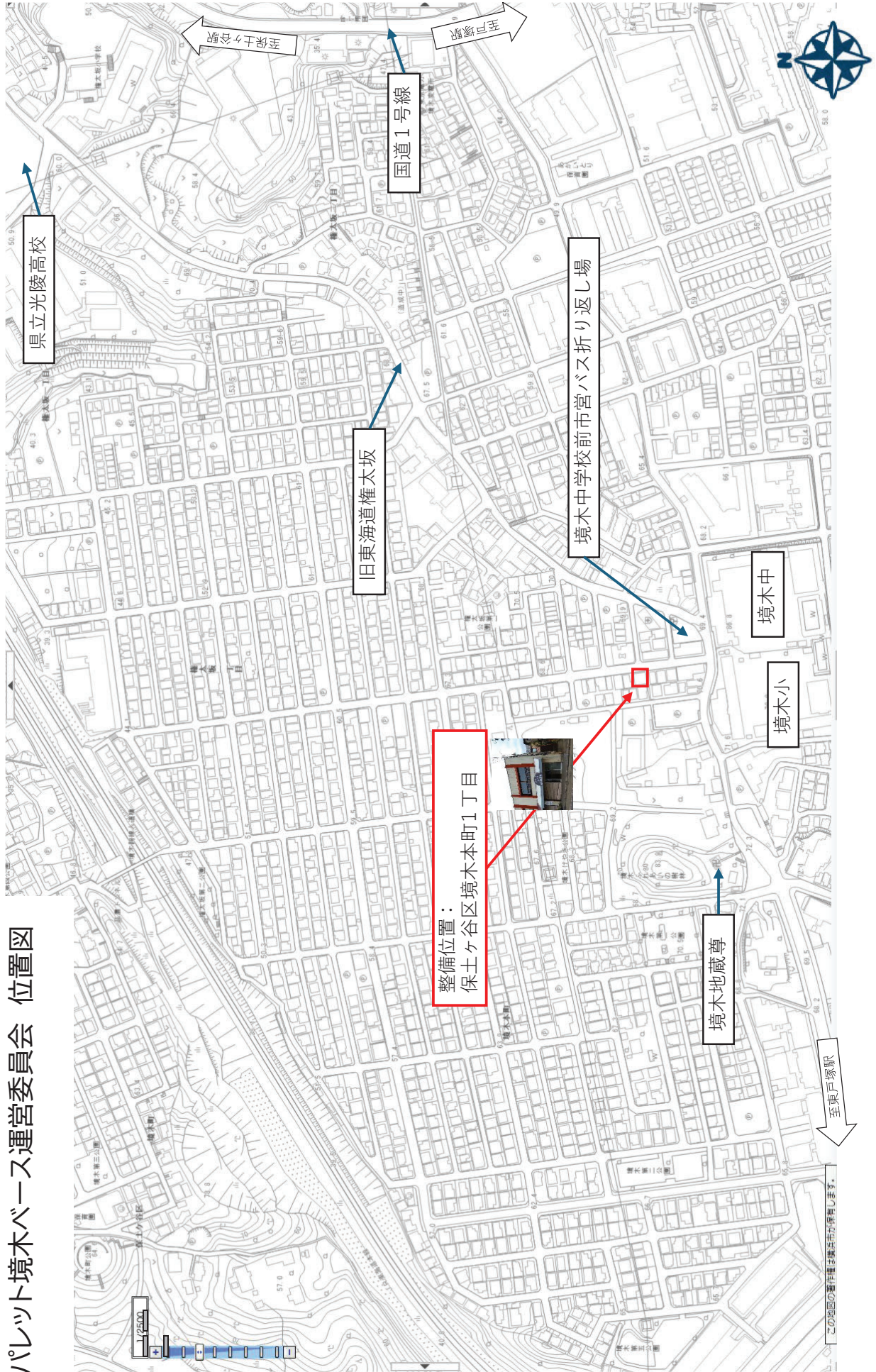
- 「ヒト」の例 ・地域のPTAから協力を受けられそう。 ・地域に設計の専門家がいる。
- 「モノ」の例 ・整備に必要な材料を安く入手できそう。 ・整備に必要な建設機械を安く借りられそう。
- 「カネ」の例 ・自治会町内会から資金的な支援を受けられそう。 ・バザーなどで資金を集められそう。

<p>1次コンテスト以降の活動内容</p> <p>※詳細については添付資料(任意様式)に記入してください</p>	<p>【周知活動】地域コミュニティで説明、活動案内発信(SNS・店頭掲示・ポスティング)</p> <p>【ニーズ調査】Webアンケートを実施(約60名から回答、詳細は別紙に記載)</p> <p>【地域との連携】サポーターの要望で閉店したお店の在庫品のフリーマーケットを開催。売上は運営資金として全額寄付頂いた。地域イベント(ハロウィン)で閉店した地元店の懐かしい味[もつ煮]を伝授頂き提供(大好評で今後も継続)した。閉店しても受け継がれていくことで店主の喜びを感じた。</p> <p>【懐かしい街の記憶発掘】ジェネレーションカフェを開催し地元の「懐かしい街の記憶」を調査。昔は活気があり地域密着の楽しみがある街だったことがさらに分かった。</p> <p>【子育てサロン】子育てサロン「かえるんち」活動開始(0~2歳:月1回、3歳以上:週1回)アンケート調査で子育てに関するニーズが多く、プレ活動を実施した。今後保育士仲間に声をかけ活動を拡充させる。</p>
<p>関係者の合意・調整状況</p> <p>(地域《地権者、整備場所の近隣住民、地域住民、自治会町内会等》での合意形成や関係機関との調整結果の概要について説明してください)</p>	<p>【地権者】整備の提案、活動内容の報告、運営軸等を説明した。1次提案前より交流し対話を重ね信頼を得た。2階への階段を改修して頂くことになった。</p> <p>【境木商店会】役員会にて説明会を実施した。商店会のイベントに参加して多くの店舗より激励の言葉を頂いた。完成後は商店会へ加盟し地域の連携、協働を共有させて頂くことになった。</p> <p>【権太坂境木自治会】活動内容を説明した。整備内容と完成後の活用に大変興味を持って頂き、元気の糧になると楽しみにしてくれている。</p> <p>【近隣住民宅】個別に説明をした。パレット境木ベースのマルシェ等を既にご利用している方が多く、今後の活動に期待をしているとの応援の言葉を頂いた。</p> <p>【県立光陵高校】ボランティア活動の協力を相談した。街の活性化について探求している生徒の活動の場所として提供してもらえたら有難いと担任と生徒2名の紹介を頂いた。</p> <p>【保土ヶ谷地区社会福祉協議会】今後の活動に繋がるアドバイスを頂いた。</p>
<p>その他提案について特にPRしたい点を記入してください</p>	<p>思い入れの深い愛着のある場所で地域のために出来ることをしたい!と地元をよく知る中高年が次々に集まった。「ヒト・モノ・トキ」を詰め込んだ地域の拠点をつくり、街の活性化を目指す。親世代が毎日のように通った懐かしい場所に、趣味やスキルを活かせる場所をつくり、子世代が思い出をつくる居場所として『パレット境木ベース』を地域で盛り上げ、地域の人々の「懐かしい街の記憶」に繋がる街づくりをする。</p>
<p>目指す地域の将来像</p> <p>(施設が整備されることにより地域がどのように良くなるのか、地域に及ぼすインパクトについて説明してください)</p>	<p>地域で盛り上げる場所があることで地元意識が高まり、顔見知りと楽しい時間を過ごせるカフェがあれば、地域の人同士の絆も深まる。担い手不足を感じている自治会や商店会などの地域団体と連携し、互いを尊重しながら協力することで地域活動が活発化し、助け合う環境が整い、楽しく安心して長く暮らせる場所になる。多世代を繋ぐ地域の拠点として『パレット境木ベース』が地元で愛され、ここで育った子供達にとって将来「懐かしい街の記憶」となり、次世代へと受け継がれていく。</p>

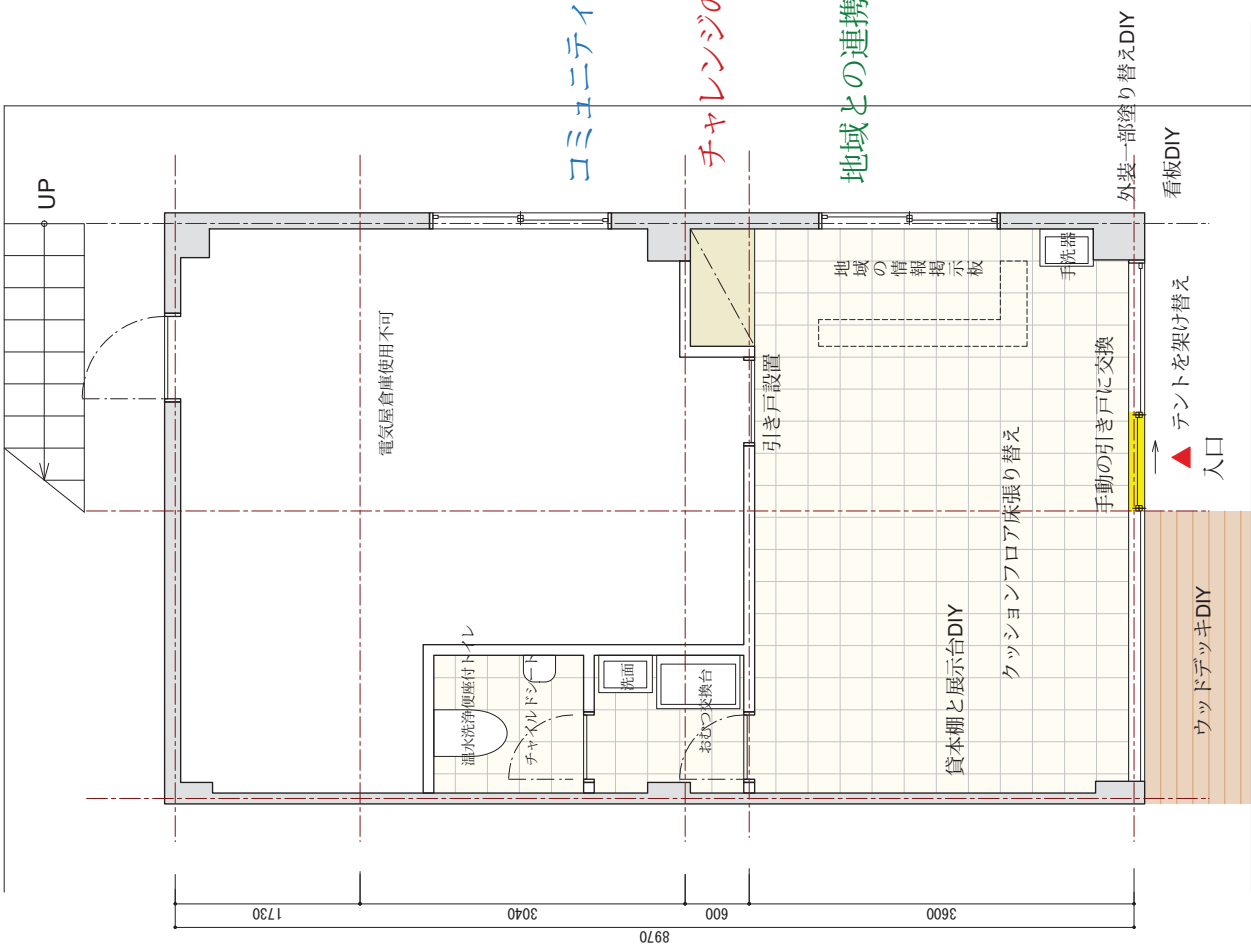
記載内容について次の点を確認後、チェックボックスに✓を入れてください。

- 記載内容は真実であり、虚偽はありません。
- 記載内容に個人情報はありません。

パレット境木バス運営委員会 位置図

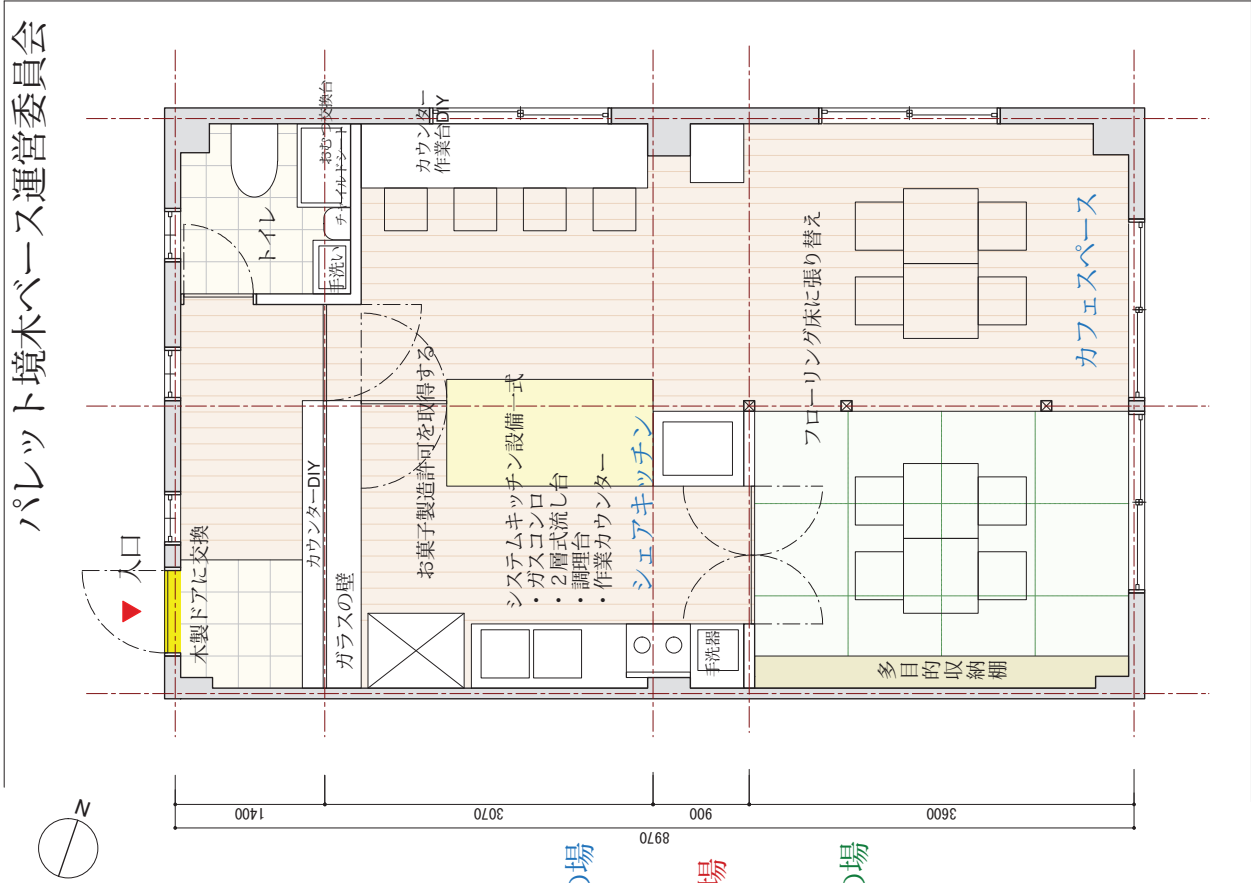


パレット境木ベース運営委員会



1階平面図

縮尺 1 / 50



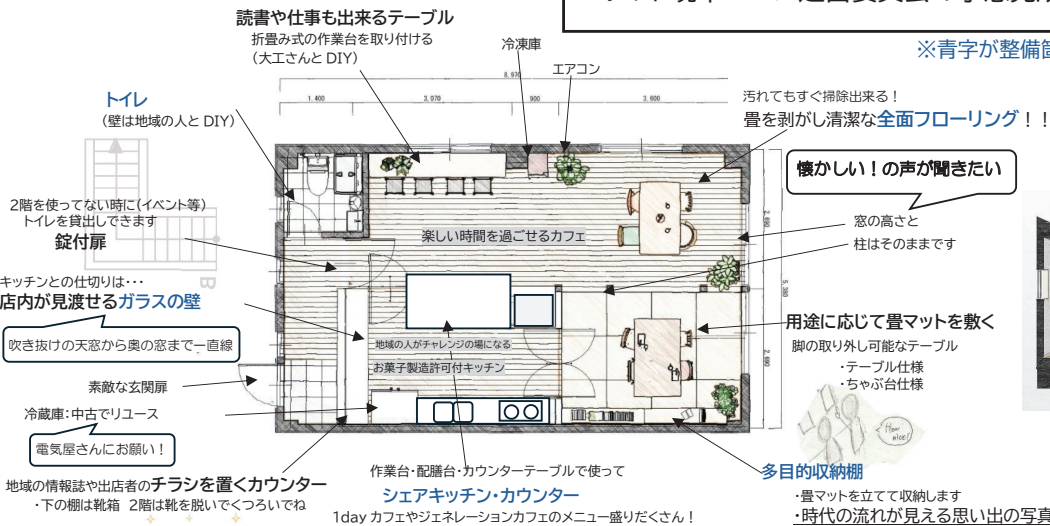
2階平面図

縮尺 1 / 50

パレット境木ベース運営委員会の予想完成図



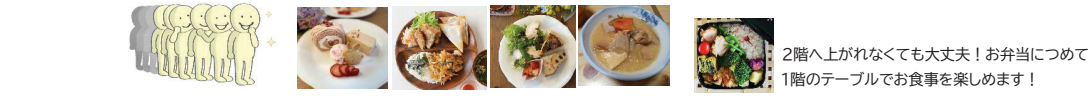
※青字が整備箇所



2階予想完成図

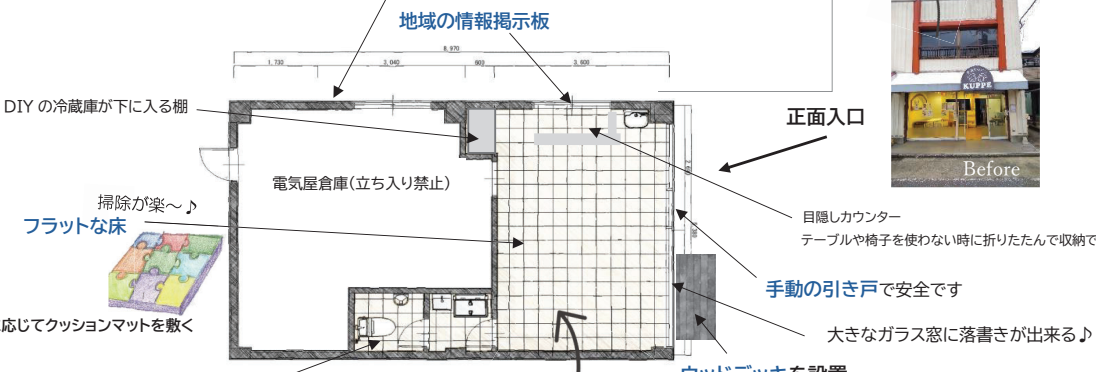
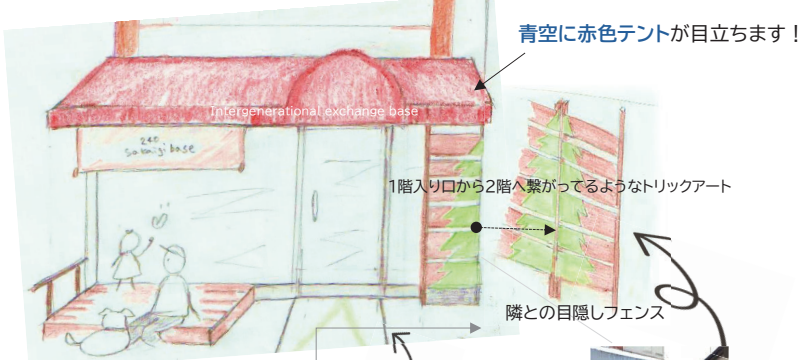


2階の立面予想完成図



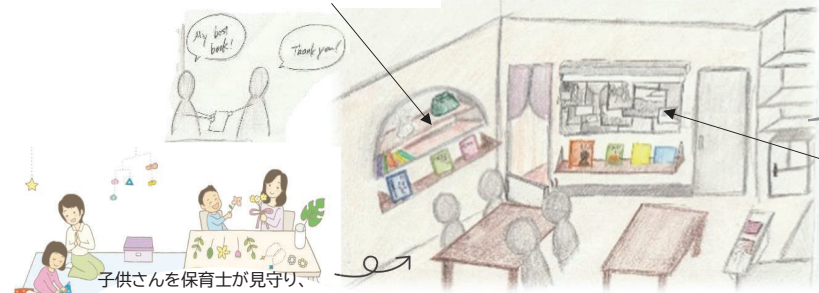
1階予想完成図

2階へどうぞ...
外壁を塗り替え壁アート(地域の人)写真映えスポット!



買い物途中でも気軽に利用できる**トイレ**
・温水洗浄便座付トイレ・チャイルドシート・おむつ交換台、手洗い付き

DIYで既存ニッチを利用した
貸本棚と展示台



地域の皆さんの思い出の写真を収集
壁面に懐かしい街のパネル
時には幕を張り、プロジェクターで映画や懐かしい地域DVDの観賞会!

1階の立面予想完成図

ヨコハマ市民まち普請事業

想定整備費用内訳書

※ 記入上の注意

- 「主な整備項目」「細目」欄の記入にあたっては、事務局と事前に十分調整してください。
- 「数量」欄については、やむを得ない場合を除き、「一式」と記入しないでください。
- 「地域住民等の参加」欄については、例えば地域が労力を負担する場合は、何人くらいが何日間くらい作業を行うかなど、できるかぎり具体的に記入してください。（見込みも含めて記入してください。）また、小中学校や子供会などが参加する場合は、その旨を明記してください。

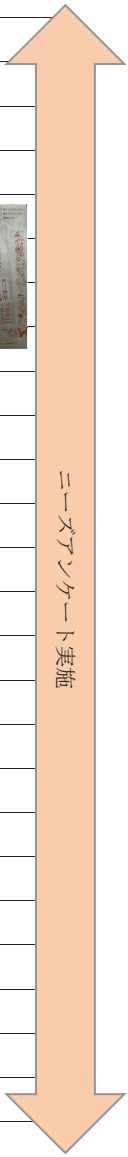
主な整備項目	細目	数量	単価	計	地域住民等の参加 (費用又は労力の負担等)
内装改修工事	既存壁・畳撤去 新規床壁造作	一式 (70㎡)		1,200,000	解体・片付け・掃除等 地域の人6名×2日
建具工事	1F・2F	一式 1F 4箇所 2F 6箇所		700,000	
内装仕上げ工事	天井壁塗装・床 (1F・2F)	一式 (190㎡)		500,000	
設備工事	厨房機器 システムキッチン設置 手洗い器 1F・2Fトイレ設備	一式 2台 一式		1,000,000	
電気工事	配線・照明器具 設備	一式		700,000	
エアコン設備	2階	1台	150,000	150,000	
外装工事	①テント張替え ②ウッドデッキ ③看板 ④外壁一部塗装	一式		350,000	②③④は 地域の人と大工さんとDIY 6名×4日
固定家具類	2Fカウンター作業台・多目的収納棚 1F貸本棚と展示台	一式		100,000	地域の大工さんとDIY 3名×2日
設計工事管理費	諸経費	一式		300,000	
合 計				5,000,000	

『パレット境木ベース』 1次コンテスト以降の活動内容

7/21	1次コンテスト 通過!		大人気のマルシェ (1次提案前から定期開催) ・悠仲マルシェ (パン&マルシェ仲間) ・アイラカフェ (ケーキ・焼き菓子) ・楽しい野 (新鮮な地場野菜)
7/25	近隣住民に活動説明		
8/4	事務局 定例会 (意見交換)		
8/28	現場見学会 参加		
8/29	事務局 定例会 (認識合わせ)		
9/5	権太坂・境木自治会 永寿会に活動説明		
	椅子ヨガ スタート! (定期開催: 月3回)		
9/7	事務局 定例会		椅子ヨガ 定期開催: 月3回 2階ができればヨガもやるよ~
9/12	光陵高校に活動説明		
9/19	ジェネレーションカフェ トライアル開催		
9/22	活動懇談会 参加		
9/26	保健所 相談 (菓子製造許可付きキッチン)		
	横浜市都市計画課建築局 相談		
9/28	ピッコロに活動説明		
	事務局 定例会		
9/29	整備 現場視察		
10/5	地元の懐かしい味 (もつ煮) 店主から伝授いただく		
	ジェネレーションカフェ (もつ煮試食)		ジェネレーションカフェ (定期開催: 週1回) 第1回目は・・・ 商店街の古いチラシを見ながら地域の人から「懐かしい街の記憶」発掘
10/10	保土ヶ谷区社会福祉協議会 報告		
10/11~12	フリーマーケット		
10/17	ジェネレーションカフェ (子育て世代)		
10/18	境木商店会に活動説明		
10/23	整備 設計図 (パース) ・見積書入手		
10/24	ジェネレーションカフェ		
	権太坂・境木自治会に活動説明		
	光陵高校から2名サポーター参加		
	『パレット境木ベース』 運営委員会メンバーTシャツ作成 (結束力UP!)		
10/26	商店街ハロウィンイベント (出店・場所貸し・ボランティア)		
10/29	現地視察 審査員から沢山の素敵なアドバイスを頂く		
11/2	事務局 定例会		
11/4	シェアキッチン見学		
	施工業者と打ち合わせ		
11/7	コーディネーターと打ち合わせ		
	かえるんち スタート!		子育てサロン「かえるんち」 (定期開催: 整備後は週1回) 11月に2回開催、計5組の親子が参加 参加者から・・・ 「ポストिंगのちらしを見てきた」 「SNSで知った」 「地元でこういう場所が欲しかった」
11/14	地権者に活動説明		
11/21	コーディネーターと打ち合わせ		
11/23	事務局 定例会		
11/28	2次提案書 締切		
11/29	軒下マルシェ (新メンバー参加)		
12/14	商店街クリスマスイベント		

マルシェやワークショップには徐々に利用者やリピーターが増え「バスに乗らずに利用できて便利」「地元でこういう場所が欲しかった」「近くで繋がりができて嬉しい」という声が届いている。

現在、ニーズアンケート等を確認し私達にできることを1つずつ整理している。また、『パレット境木ベース』の活動を知り、出店メンバーやサポーターに加わる仲間が増え、毎月活動が増えている。声をかけると「地域のためなら」と快く協力して下さる方が多いことも改めて分かった。



『パレット境木ベース』活動案

事務局・出店メンバー・サポーターからの活動案とニーズアンケートの要望から実現可能なものを書き出し、各々の活動項目・区分・担当・場所（1階・2階）・開始時期等を確認して整理した今後の活動案の一覧です。

#	大項目	詳細	3つの柱		区分		担当				場所	開始時期																						
			コミュニティの場	チャレンジの場	地域の連携	懐かしい街の記憶	ワークショップ	マルシェ	シェアキッチン	カフェ		子育て支援	事務局	出店メンバー	サポーター	地域住民	1階	2階	現在実施	整備後	数年後													
1		子育てサロンかえるんち	○						○	○	○	○																						
2		親子カフェ	○						○	○	○	○																						
3		子供食堂							○	○	○	○																						
4	子供	長期休みの小学生ランチ提供							○	○	○	○																						
5			絵本の読み聞かせ							○	○	○	○																					
6		預かり保育								○	○	○	○																					
7		宿題・勉強のお手伝い								○	○	○	○																					
8		子供の居場所（遊び場）								○	○	○	○																					
9		子供が参加できるワークショップ								○	○	○	○																					
10		スマホ教室								○	○	○	○																					
11		フラワーアレンジメント								○	○	○	○																					
12	教室	英語教室								○	○	○	○																					
13			韓国語教室								○	○	○	○																				
14			アロマ教室								○	○	○	○																				
15			手芸ワークショップ								○	○	○	○																				
16			ジュエリーアレンジメント								○	○	○	○																				
17	集う	ミニコンサート								○	○	○	○																					
18			フリママーケット							○	○	○	○																					
19			お話し会（講演会）								○	○	○	○																				
20	飲食	飲食店・カフェ								○	○	○	○																					
21			1dayカフェ							○	○	○	○																					
22			おやじカフェ								○	○	○	○																				
23			料理教室								○	○	○	○																				
24	健康	懐かしい味の再現								○	○	○	○																					
25			健康関連ワークショップ							○	○	○	○																					
26			健康体操								○	○	○	○																				
27			ヨガ								○	○	○	○																				
28	健康	栄養士相談								○	○	○	○																					
29			トクターの講演								○	○	○	○																				
30	展示	ハン								○	○	○	○																					
31			スイーツ（ケーキ・焼き菓子）							○	○	○	○																					
32			地場野菜								○	○	○	○																				
33	福祉	雑貨・ハンドメイド								○	○	○	○																					
34			弁当・惣菜								○	○	○	○																				
35			コラボ弁当								○	○	○	○																				
36	展示	地域こそってのマルシェ・フェス								○	○	○	○																					
37			地域の掲示板								○	○	○	○																				
38	展示	作品展・写真展								○	○	○	○																					
39			昔の商店街の写真掲示								○	○	○	○																				
40	その他	貸本棚								○	○	○	○																					
41			防犯セミナー								○	○	○	○																				
42			レンタルトイレ								○	○	○	○																				
43		地元の歴史の情報発信								○	○	○	○																					
			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
			△																															
			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

『パレット境木ベース』ニーズアンケートの結果

地域の人、イベント参加者、SNSフォロワーにWebアンケートを実施しました。

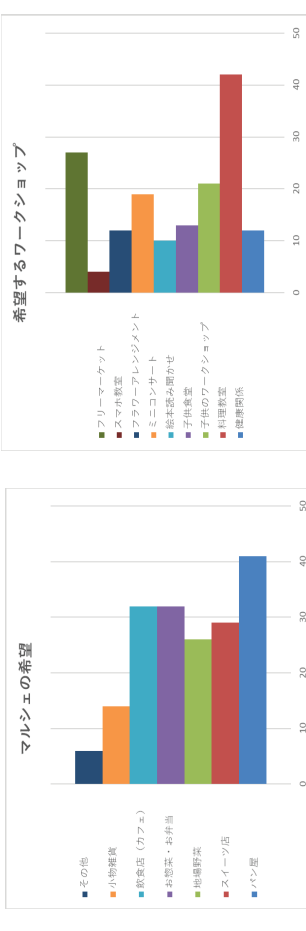
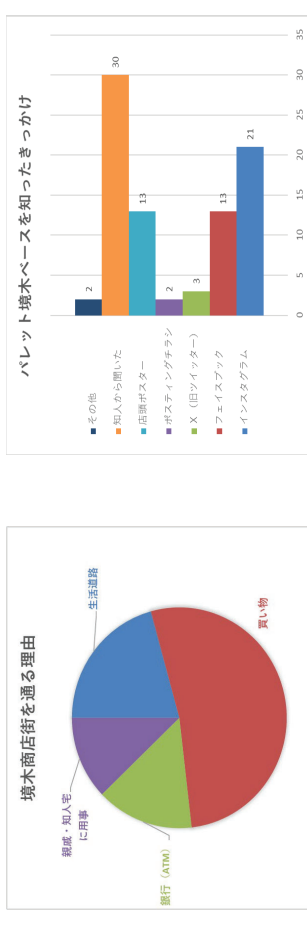
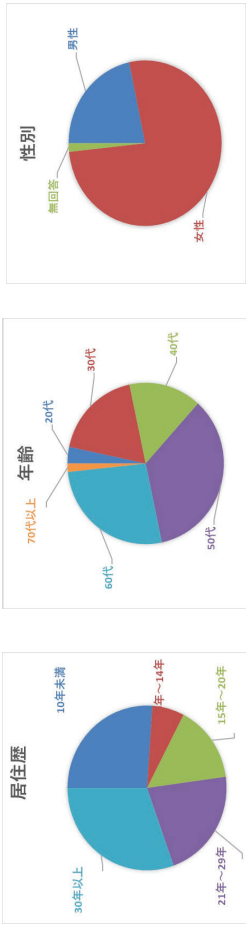
実施期間	2024年9月7日～2024年11月17日
回答数	60

アンケート結果から分かったこと

- 長く住んでいる方が多い……居住歴20年以上が 52%
- 中高年の女性の関心が高い……女性：77%、男性：22% 50代：35%、60代：27%
- 境木商店街を通る理由は買い物 52% と一番多い
- パン、飲食店、惣菜/弁当・スイーツ・野菜・料理教室と食に関する希望が多い

フリーコメント

マルシェ とても有難い。安全な物が多くて嬉しい。地元で買い物ができる。毎日開いて欲しい。
 カフェ お喋りができる場所がなく近所の方と疎遠になっているので、座ってお喋りできるカフェが欲しい。
 商店街 商店街が賑やかになった。商店街に活気が戻ると嬉しい。
 参加希望 ハンドメイド販売：2名、韓国料理/韓国語教室：1名、PO教室：1名、防犯セミナー：1名
 カテゴリが利用希望 7名



『パレット境木ベース』体制図 (役割とメンバー)

事務局

企画・運営

<凡例>
・役割
メンバー情報
活動計画

・代表
境木商店街の整体サロンを
経営、商店会会員でもある
足もみ健康講座を検討中

・副代表
保育士
「かえるんち」を運営中
子供食堂も検討中

・会計
地元住民、保育士
「かえるんち」を運営中

・建築整備
地元住民、会社員、料理男子
商店街へビュースター
FB「境木商店街を応援したい」
の管理人

・広報
地元住民、会社員
ミニ盆栽ワークショップ
を検討中

出店メンバー

定期的なワークショップ開催

<凡例>
・出店名または出店者イニシャル
メンバー情報
出店内容

・アイラカフエ
地元住民
パティシエ、カフェ経験者
ケーキ・焼き菓子の販売

・悠伸マルシェ
マルシェ仲間多数 (60人)
パン屋の販売

・楽しい野
地元住民
新鮮無農薬野菜の販売

・I Sさん
地元住民
ヨガインストラクター

・HIさん
地元住民、地元高校生
ソラフワラーのワークショップ

・シャリー
地元住民
ハワイアンアプリアリックの販売

・KIさん
地元住民
韓国料理・語学教室の実施

・オレンジナナ
地元住民
布小物の販売

・NOさん
地元住民
布小物の販売

サポーター

事務局サポート (ボランティア)

<凡例>
・サポーターイニシャル
メンバー情報
活動への関わり方

・I Sさん
永寿会 (老人会) 副会長
手芸 (販売、ワークショップ) を
検討中

・FUさん
発酵食品教室主催
コラボ弁当・料理教室を検討中

・NAさん
地元住民
若テラリウム・レザー雑貨等販売

・KAさん
地元住民、商店街の電気屋
設備担当

・WAさん
地元高校生ボランティア
DIY、コラボ企画に参加

・MAさん
地元高校生ボランティア
DIY、コラボ企画に参加

・MIさん
地元住民
子供食堂を検討中

・AOさん
地元の大工さん
DIYの指導

チャレンジ利用者

地域の方が特技や趣味を
活かして
地域との人と繋がる
チャレンジの場として利用

調整中サポーターの
今後の活動計画

- ・スマユ教室
- ・PC教室
- ・グラフィックアーティスト
- ・プロカメラマン
- ・地元の人ちとコラボ検討中
- ・料理男子 (おやじカフェ)
- ・リトミック

連携図
各々のメンバーが連携し
相互にサポートする



懐かしい記憶
祭り・緑日・名店の味・賑わい)



収支試算 (見込み)

「活動カレンダー」と「仕組み」を元に計算しています

取入	詳細	月	年
① 出店メンバー	キッチン利用込 会費 @20,000円/月×3店	60,000	720,000
② 出店メンバー	会費@3,000円/月×7店	21,000	252,000
③ ジェネレーションカフェ	食事・ドリンク提供 1日20食×@800円x4回/月	64,000	768,000
④ レンタル事業	シェアキッチン利用 @7,000円×2日 コミュニティ活動 @2,000円×4日	22,000	264,000
⑤ 軒下マルシェ	参加出店料・運営委員会 売り上げ見込み	20,000	240,000
⑥ 地域貸事業	商店会イベント時の貸トイレ 25,000円×2回/年		50,000
取入計		187,000	2,294,000
支出	月	年	
家賃	80,000	960,000	
水道光熱費	40,000	480,000	
通信費 (Wi-Fi)	5,000	60,000	
事務費	5,000	60,000	
備品・消耗品費	10,000	120,000	
人件費	7,000	84,000	
設備積立	20,000	240,000	
ジェネレーションカフェ材料費	20,000	240,000	
火災保険		10,000	
支出計	187,000	2,254,000	

仕組み

事務局

出店メンバー
月契約・利用規約
2階 (シェアキッチン含む) 20,000円/月
1階 3,000円/月
※事務局の承認が必要

サポーター
利用料金
物販 3,000円/4時間
コミュニティ活動 2,000円/3時間
シェアキッチン 7,000円/1日
※事務局の承認が必要
※回数以上利用後は出店メンバーへ促す

チャレンジ利用者

1カ月の活動カレンダー

活動の最初に書いてある番号は、「収支試算」の「取入」欄の番号です

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
28	29	30	1	2	3	4
			①悠伸マルシェ	②椅子ヨガ ③ジェネカフェ	①アイワカフエ ②韓国料理	②楽しい野 ①韓国料理
5	6	7	8	9	10	11
④1dayカフェ		②かえるんち	①悠伸マルシェ	④永寿会 ③ジェネカフェ	①韓国料理	②楽しい野
12	13	14	15	16	17	18
②ユカマルシェ ①韓国料理		②かえるんち ④ランチCS	①悠伸マルシェ	②椅子ヨガ ③ジェネカフェ	①アイワカフエ ②カラフワラー	②楽しい野 ①子供食堂
19	20	21	22	23	24	25
④1dayカフェ		②かえるんち	①悠伸マルシェ	④永寿会 ③ジェネカフェ	②韓国料理	②楽しい野
26	27	28	29	30	31	
⑤軒下マルシェ		②かえるんち ②カラフワラー	①悠伸マルシェ	②椅子ヨガ ③ジェネカフェ	①アイワカフエ ②シヤリー	

2次コンテスト事前質問集

【提案名グループ名】	
パレット境木ベース運営委員会	
事前質問	回答欄
朝比奈委員	
質問なし	
植松委員	
① 学校住宅街に隣接し、通りにも面した広い開口部を持つ建物で、リノベーションするとそれは素敵なものに仕上がると思われますが、この場所が活用される見通し=どのような方々、どのような場面で活用されそうか、を教えてください。	<p>WEB アンケートの回答は 66 件あり、中でも多かったニーズを踏まえつつ、次の3つのような使い方を想定しています。</p> <p>①中高年世代のチャレンジの場所 マルシェ・ワークショップ・カフェ等 趣味で始めた小物製作物の販売や講習会（ワークショップ）を開催し、活用したいと言っている出店メンバーがいます（その他資料②「パレット境木ベース体制図」参照）。整備後はカフェや地域食堂（子ども食堂）で活用を考えている方もいます。</p> <p>②ゆっくりおしゃべりが楽しめるカフェ 健康体操やグランドゴルフ帰りの高齢者がふらっと立ち寄り、お茶やランチが楽しめたり、子育て世代が保育士に子供を預けて、ワークショップやカフェを楽しむ日も予定しています。</p> <p>③公共の場として気軽に利用 商店街の通りは、生活道路以外に犬の散歩道としても利用されているため、多くの地域の方が通ります。 提案場所に、途中で一休み出来るウッドデッキを外に設置することで、誰もが気軽に利用してもらえようにします。</p>
② 昨今は、高齢者は膝などの脚の問題から、若年者は正座や胡坐がかけない、	畳の部屋は、将来的な張り替え等のコスト面を考え、今回の提案では、畳敷き（マット）

<p>などの問題から畳の部屋は人気が無いが、実は畳の部屋は立っても座っても寝てもよく、一番ノスタルジアを感じさせられる空間だと思いますが、それを活かしたりリノベーションは考えられましたか。</p>	<p>とフローリングの 2way で出店者や利用者の幅を広げます。</p> <p>例えば、飲食やお菓子製造等での利用の場合は、水回りの衛生面や清掃がしやすいフローリングとして使用します。子育てサロンの利用時には、ハイハイや伝え歩きのお子さんが安全に動き回れるように畳マットをフローリングの上に敷いて使用します。</p> <p>また、畳マットでの使用は、ノスタルジアを感じさせる茶会や、定員数の多い会合なども想定しています。</p>
<p>川原委員</p>	
<p>質問なし</p>	
<p>後藤委員</p>	
<p>① 2階の方がスペースが広いと、2階をカフェにしていると思いますが、2階に上りづらい方も多いと思います（高齢者など）。それについてはどのように考えていますか？</p>	<p>2階のカフェメニューを、テイクアウトできる容器で提供し、1階でも楽しんで頂けるようにします（出前）。そのため1階はイートインできる飲食店営業許可を取得、併せて事務局（全員）が食品衛生責任者資格を取得し、衛生面でも安心して飲食が出来る場所を提供します。</p> <p>また、カフェ以外にもワークショップ等のご要望があれば、1階での開催も実施していこうと思います。</p>
<p>杉崎委員</p>	
<p>① 現段階での2階部分の収益想定（誰が借りてくれるのか）を教えてください。</p>	<p>【その他資料②収支試算】をご覧ください。</p> <p>2階部分の収益としては主に、</p> <p>①出店メンバーの2階利用</p> <p>③ジェネレーションカフェ（事務局運営）を想定しています。</p> <p>①については、アイラカフェさん、悠仲マルシェさん、シーズスタイル&カルミアキッチンさん、韓国料理屋さんが出店予定です。（2万円×3～4店）</p> <p>①の出店メンバーは中高年世代が多く、既に地域からのニーズもあり、人の繋がりもあることから多世代の見込み客の来店が期待で</p>

	<p>きます。</p> <p>来店客が多ければ、やりがいや出店者側のモチベーションも上がり、出店の継続性にも繋がりがり、安定した運営が出来ると想定します。(各々の SNS でも大勢の方に支持・応援されています)</p> <p>③については、事務局(高橋・濱崎・横山)が運営するカフェですが、1日20食、月4回開催で64,000円/月の収入を見込んでおり、既にイベント等でとり福さんから継承した懐かしの味(とり福牛もつ煮・豚汁)を提供、90食を完売しアンケートでは10人以上の方から継続してほしい、楽しみにしているとのことをお声をいただいております。</p> <p>事務局の行う月4回のカフェ開催以外に、1,2階の出店利用が無い日には事務局でカフェ(ドリンクのみ)運営をします。</p>
<p>鳥海委員</p>	
<p>① 様々な出店者がいることが魅力ですね。毎日その場所にいる人が替わると横に繋がっていきにくいと思いますが、出店者とお金を払った利用者だけで活動が完結しないよう「パレット」本体の仕掛けとして工夫していることはありますか？</p>	<p>2階には、事務局が常駐します。事務局が常駐することで人と人、人と情報など、地域の人たちをつなぐ役割を担います。事務局メンバーは活動の記録をログブック(グループライン)で毎回共有し、出店者も自分の活動をログブックに記録してもらうようにすることで、情報共有を行います。</p> <p>また、「パレット」本体は、2階を事務局窓口として運営し、1階での出店が無い日は、公共の場として使えるよう貸本棚やフリースペースとして開放し、2階の事務局へ繋がるインターフォンまたは見守りカメラを設置し、事務局が1階へ来た人への対応も出来る仕掛けをします。</p> <p>また、出店者をできるだけ同じ曜日に固定することにより常連客ができ、お互いの口コミや紹介で出店者同士の仲が深まり、横の繋がりが生まれていく工夫をします。</p>
<p>② パレット境木ができることで街が変わ</p>	<p>既に「最近賑やかになった」「近くで美味し</p>

<p>ることがあればどのようなことだと思いますか？</p>	<p>いものを買えて嬉しい」「知り合いに会う機会が多くなった」「シェアキッチンを利用してみたい」と様々な声を頂いています。地域のニーズに合った場所が商店街にあることで、その場所が地域の魅力になるだけでなく、そこに訪れる人が増えたり、商店街のお店に立ち寄る機会になったりします。</p> <p>また、地域に人通りが増えることで地域の人同士の顔が見え、お互い助け合い、人の繋がりが生まれます。</p> <p>人の繋がりがあると商店会や自治会などの地域活動が活発になり、楽しく安心して長く暮らせる街になると思います。</p>
<p>③ 地域の見守り機能を兼ねるとのことですが、「何かいつもと違うな」と気になる人が出た場合、グループの人とどのように情報を共有しますか。またその後、行政機関やプロの相談窓口につながるなども考えていますか？</p>	<p>基本的に活動した日は、ログブック（グループライン）で全運営メンバーが共有し、伝えます。</p> <p>パレットの見守り活動は地域の人同士の顔が見える関係を築き、少しでも不安を解消することを目的としています。</p> <p>質問にある「気になる人」が出た場合については、安心、安全、防犯、防災を地域でできる範囲で担い、専門機関や行政につなぐ体制づくりを意識し活動します。</p>
<p>肥後委員</p>	
<p>質問なし</p>	
<p>松村委員</p>	
<p>① 1階と2階をどう使い分けるのでしょうか？どちらでも場所貸しをおこなう予定ですか？</p>	<p>1階と2階の使い分けは用途により使い分けます。その都度、出店者と事務局で面談し使い分けを決定します。</p> <p>①場所貸し 主に1階は出店販売やワークショップ、2階はカフェ事業を行う出店者や、お菓子製造などでキッチンを利用する方を優先に場所貸しをします。</p> <p>②事務局の利用 場所貸しとのバランスを取り、2階を窓口として事務局が常駐し、1階は貸本棚やフリー</p>

	<p>スペースなどのふらっと立ち寄れる場として活用するほか、2階は事務局とサポーターで催すジェネレーションカフェや子育てサロンかえるんちで利用し運営します。</p>
<p>② 予算上は、出店メンバー9名の利用料徴収によって、安定的に運営できる見込みでしょうか？</p>	<p>出店メンバーの場所貸しと、事務局の催しで最低限の収入確保はできる見込みですが、事務局のサポーター及び出店メンバーを増やして更なる安定を計ります。</p>

ヨコハマ市民まち普請事業

第2次提案書

- 注1) 2号様式はページを増やさず、必ず3ページ以内でまとめてください。
 注2) 2号様式は市民に公開しますので、個人が特定できる情報は記入しないでください。
 注3) 添付資料は計画図(位置図・平面図・完成予想図各A3判1ページ、その他必要に応じて配置図・断面図・立面図等)、想定整備費用内訳書(第3号様式)、協議・説明状況報告書(第4-1～3号様式)、1次コンテスト以降の活動内容(任意様式A4判1ページ)、その他資料(必要に応じてA3判2ページまで)

提案グループ名 (25字以内)	弘明寺 チームNECTA COLLECT
整備場所 (町名又は丁目まで記入)	南区 大岡2丁目
提案名 (25字以内)	生き辛い世の中を生きる青少年のための居場所づくり
助成金申請予定額	495万円
整備する施設 (具体的な整備内容※1を工夫した点※2にも触れて記入してください) ※1施設の全体像とともに整備助成金の対象箇所を明記してください ※2住民等が持つ発想、方法などを生かしたアイデアやユニークさ及びデザインへの配慮	<p>整備予定地の「B型継続支援事業所ACE」の設備・内装を拡充して、近隣に生活する青少年・子供たちによる「お菓子工房」を整備します。事業所の営業終了後の時間や休日を活用してお菓子作りや交流の場、居場所としての活用を出来るようにします。</p> <p>整備内容として、コンベクションオープンと冷蔵庫や冷凍庫を整備して、子供たちや青少年が気軽に集い、スイーツなどの研究や開発、試食などを行うとともに、スイーツづくりをきっかけとして、引きこもりや孤独感、生き辛さなどの問題を抱える青少年の参加を促します。施設の運営は設立予定のNPO法人が行います。</p> <p>NPOには来春卒業予定の生徒数名が参加を申し出てくれており、年長者が若年者の課題解決や悩み相談を行います。支援を受けた者が、支援者となり年少者を支援していくことで、この活動は持続可能となります。</p> <p>本活動の事例を積極的に発信することにより、その活動は地域や社会そして未来にとって必ず有意義なものとなります。</p> <p>地域に生活する様々な課題を抱える青少年の社会参加の勉強をする場所、すなわち社会人になる前に少し社会に出るための準備をする場所となります。</p>
施設の活用・活動内容 (具体的な活動内容を工夫した点にも触れて記入してください) ※第1次提案書より具体的に記入してください	<p>就労支援施設の使用外の時間帯（平日の17時以降及び土日）を解放し、近隣に生活する孤独や孤立による引きこもりや生き辛さなど様々な課題を抱える青少年の居場所として活用してもらおう。</p> <p>菓子やスイーツの開発、製造、販売体験を通じて、様々な課題を抱える青少年の将来的な就業や自立を目的とする。</p> <p>そこに通う子どもたちの発案により地域イベントを開催し、地域の活性化につなげるとともにスマートフォン教室や試食会などのイベントを開催し、コミュニケーション能力の向上や防犯、防災活動を行います。</p>

<p>提案の背景 （なぜ提案をするのか、地域のニーズや課題、生かしたい地域の魅力等に触れて説明してください） ※第1次提案書から変更した点がある場合はその理由も記入してください</p>	<p>施設予定地の近隣には、様々な課題により、生き辛さを抱えている高校生や青少年が多く存在している。 これからの時代を担うであろう若い世代を地域全体で支えていくという課題が、弘明寺という地域には存在している。 弘明寺地域にある横浜総合高校の近くには、カフェやカラオケ店など生徒が放課後にコミュニケーションをとる施設が全くなく、どうしてもコンビニやマンションの駐車場などにたむろし、近隣住民から迷惑であると誤解を受けている現状がある。また、学校内に経済的格差があり、遊びに行きたくても遊びに行けない生徒が多く存在している。従って、それらの生徒の居場所を作ることは、地域における重要な課題となっている。</p>
<p>整備プロセス （スケジュール、つくるときに連携する仲間の役割や活用する地域資源^{注4}）、費用縮減の工夫に触れて説明してください</p>	<p>一次コンテストの後、横浜総合高校や弘明寺商店街との連携を強化し、地域で子どもたちを育む活動に協力を得る関係性を構築してきました。 学校でメンバーがクッキーを配布することで、在校生に今の活動を知ってもらおう活動を始めています。 既存の福祉施設の就業時間以外の空き時間を使用することで、椅子や机の家具類を購入することもなく、施設の設備を共用することで、開所の費用が安く抑えられています。</p>
<p>維持管理・運営計画及びその実施方法 （維持管理・運営するときに連携する仲間の役割や活用する地域資源^{注4}）に触れて説明してください</p>	<p>当初は週末に週に一回程度の開催とし、その後、開所日数を増やしていく予定です。 横浜総合高校などの卒業生が、支援員として在籍し、在校生を支援してまいります。また、福祉施設の社員が運営に協力いたします。 今提案で設置する設備を就労支援施設に貸し出すことで定期的な運営資金を得ます。また、就労支援施設で製作しているクッキーを商店街やマルシェなどで販売し、運営資金を得ることが出来るので運営面での資金的な懸念はありません。 横浜総合高校、みなと総合高校などの卒業予定者が協力を申し出てくれており、すでに活動に参加してくれています。現在その仲間たちとNPO法人（仮称NPO法人 フラター）を設立すべく準備を進めており、NPO法人設立後は、その法人が運営にあたります。</p>

注4)「地域資源」とは、次のようなものを想定しています。

- 「ヒト」の例 ・地域のPTAから協力を受けられそう。 ・地域に設計の専門家がいる。
- 「モノ」の例 ・整備に必要な材料を安く入手できそう。 ・整備に必要な建設機械を安く借りられそう。
- 「カネ」の例 ・自治会町内会から資金的な支援を受けられそう。 ・バザーなどで資金を集められそう。

<p>1次コンテスト以降の活動内容 ※詳細については添付資料（任意様式）に記入してください</p>	<p>数回のチームミーティングを行い、今後の方針として、お菓子やスイーツの研究、開発、試作、試食を通じて様々な課題を抱える青少年の居場所とすることを仲間と共有しました。 横浜総合高校生徒へのクッキーの提供活動、マルシェでのクッキーの販売活動、能登地震の復興支援活動などチームネクタコレクトで行いました。他に、実際に講師を招いて、シュークリームやレモンケーキの製作体験を行いました。他に関東学院大学関内キャンパスでの能登地震復興支援、横浜総合高校の文化祭でも活動を行っています。</p>
---	--

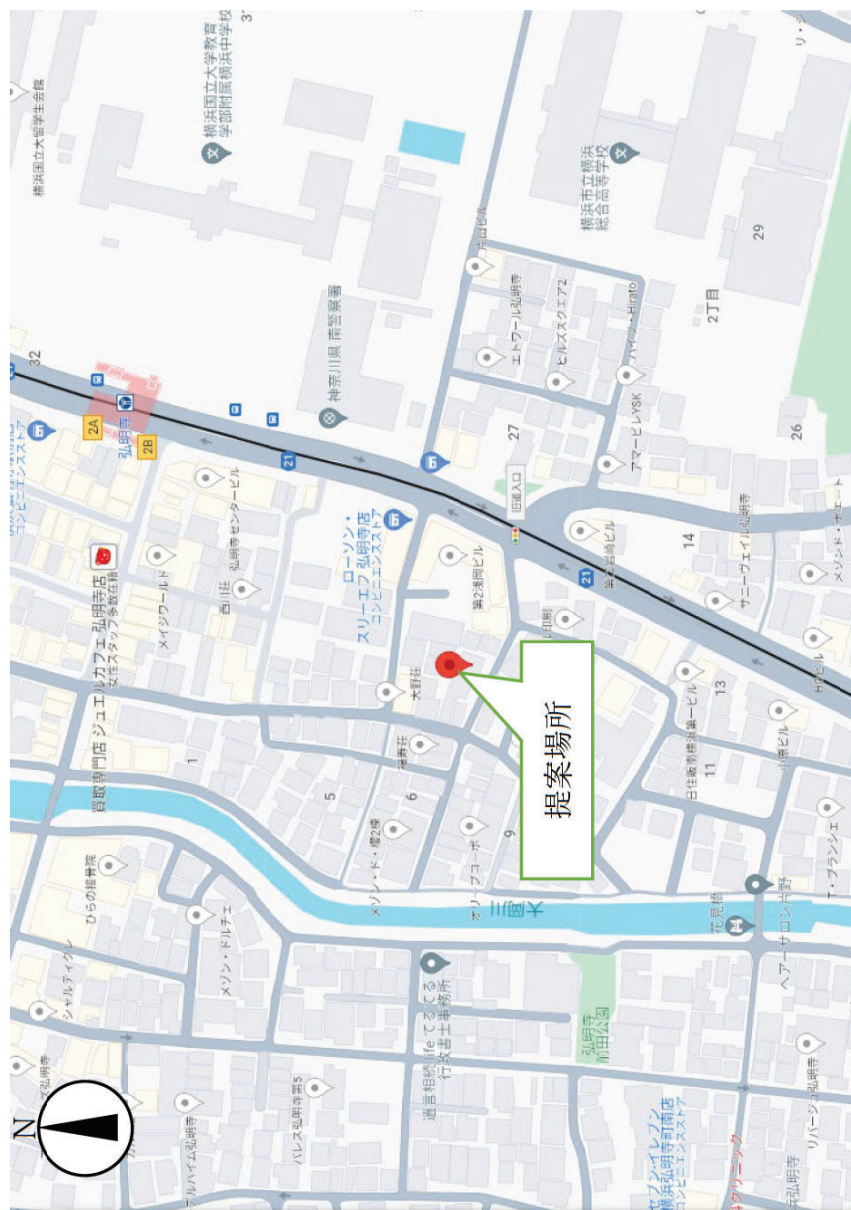
	それらの活動はメンバーの個人的なアカウントですが、InstagramやFacebookで公開をしています
関係者の合意・調整状況 (地域《地権者、整備場所の近隣住民、地域住民、自治会町内会等》での合意形成や関係機関との調整結果の概要について説明してください)	近隣住民、地権者には、状況を説明し、同意を得ています。 弘明寺商店街、弘明寺観音の住職にも場所提供など協力を依頼し、了承を得ています。 横浜総合高校で週1回水曜日に生徒の悩み相談や貧困家庭の生徒への食事提供を目的として開催されている「ようこそカフェ」で、就労支援事務所で製造されたクッキーをメンバーが生徒に渡す活動を行っており、横浜総合高校とは盤石な関係性が構築出来ており、今後はみなと総合高校、戸塚高校へその活動を広げていく予定です。
その他提案について特にPRしたい点を記入してください	まち普請において、今提案は、前例のない提案であると聞きました。私たちの提案は、確かに子どもたち中心に物事を考え、子どもたちだけの支援を目的とした活動に見えてしまうかもしれません。 今活動は、地域や全世代にとって必ず有益な活動になると確信しています。未来を担う若者が生き生きと生活することで、その波及効果は全世代に及ぶものと確信しております。中学生の10人に1人が不登校に陥っているという現実があり、実際に提案メンバーの通う横浜総合高校では、年間に100人を超える退学者を出している現実があるのです。そして地域には孤独や孤立に悩み、更に心を閉ざしてしまう青少年が多く存在しているのです。そこに光を当てることこそが、今提案の目的であり、その現状が少しでもよくなるよう、皆で協力し、アイデアを出しながら、地域ぐるみで改善していきたいと考えています。まち普請で言う「まち」とは何か、人あってこそその「まち」であり、未来を担う「人」を育むことが「まち」の始まりなのではないでしょうか？ 次の時代を切り開く人材なくして「まち」は持続していけないのです。 大人はほんの少しだけ手助けをすればよいのです。 子供たちの可能性を信じ、その子供たちが自ら未来に期待をもてる「まち」を創っていくことを期待したいと思います。
目指す地域の将来像 (施設が整備されることにより地域がどのように良くなるのか、地域に及ぼすインパクトについて説明してください)	高齢化が進む地域において、活力ある若者が生き生きと生活する弘明寺を作ること。 また、その活動がサステイナブルな活動であること。今活動が未来や社会に必ず大きな利益をもたらし、地域からなくてはならない活動であると思われる活動をすること。 弘明寺地域から生き辛さを抱える青少年が一人でもいなくなり、輝ける未来を送れるようになる活動 そしてその活動を全国へと広げてまいります。 私たちの今提案は、弘明寺の地域だけでなく県内、そして全国へと広がる活動になると思います。人こそがまちの始まりであると捉える、私たちの提案する新たなまち普請にご期待ください。

記載内容について次の点を確認後、チェックボックスに✓を入れてください。

- 記載内容は真実であり、虚偽はありません。
- 記載内容に個人情報はありません。

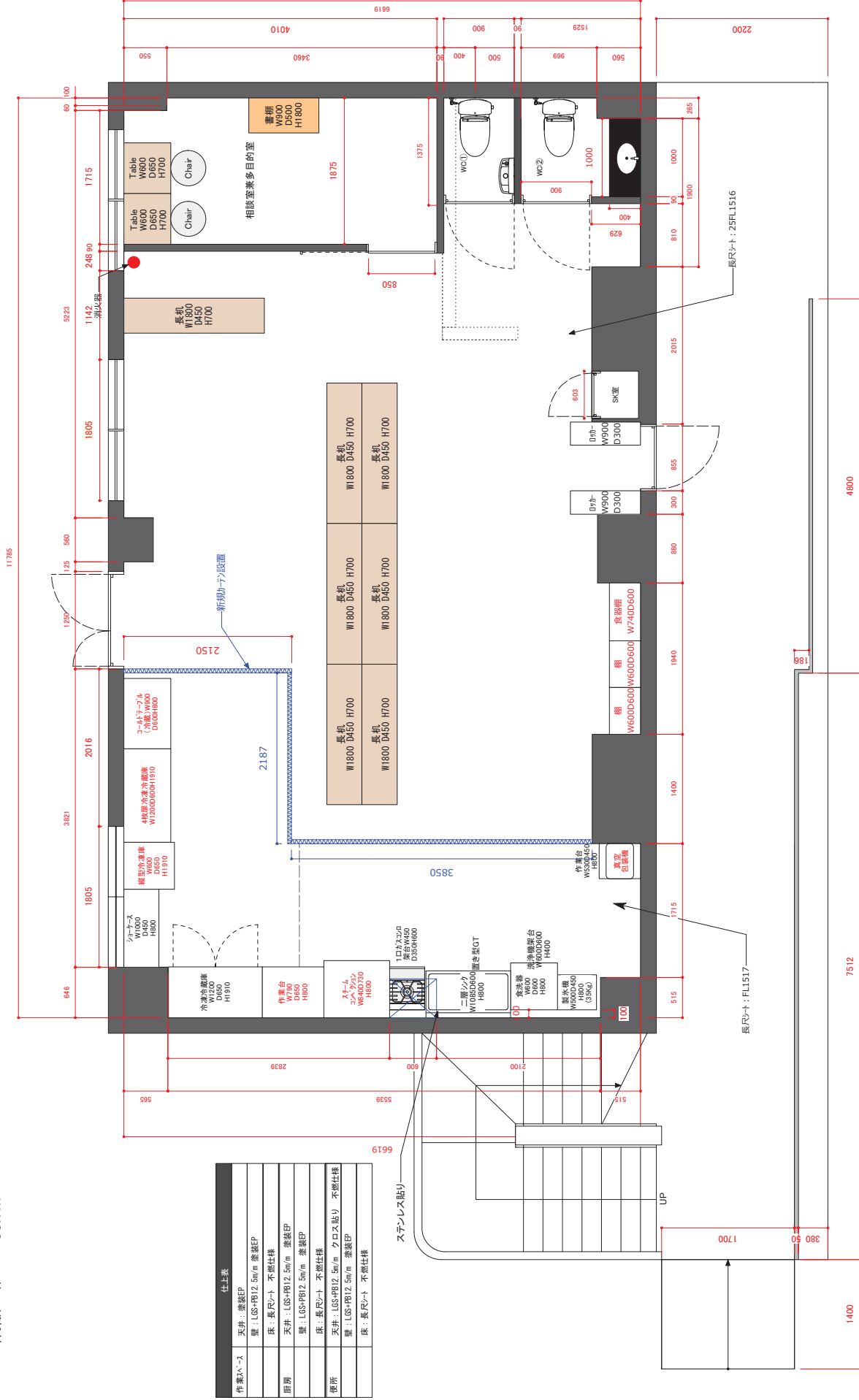
位置図 出典：Google map

提案場所：南区大岡2丁目

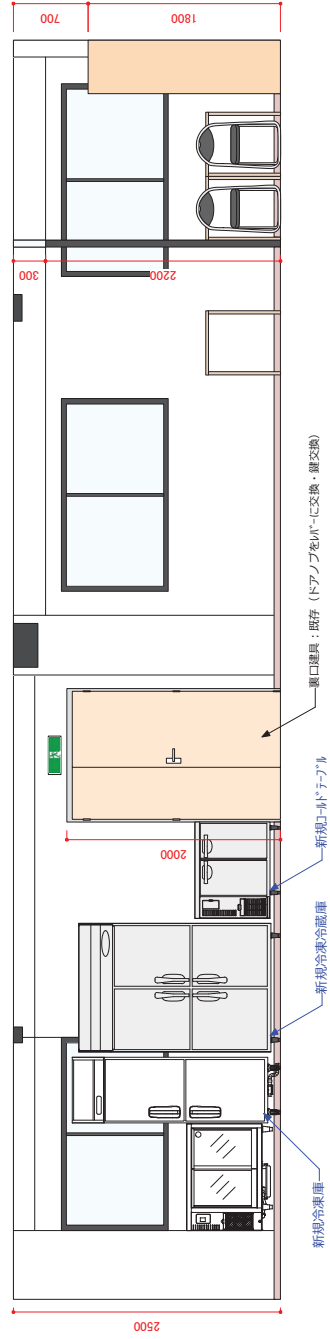
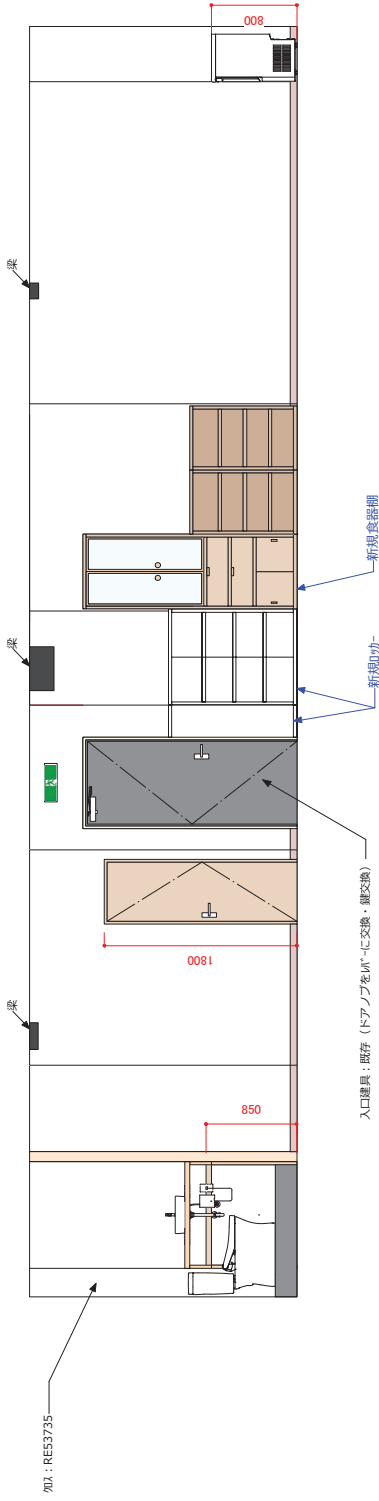
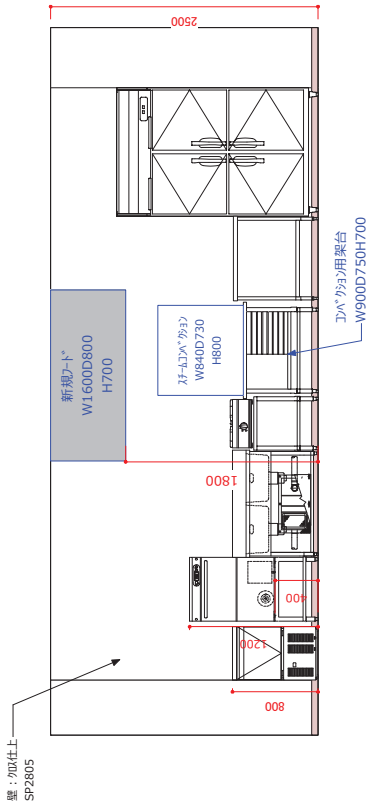


・赤字・青字部分が整備対象です。

作業スペース 60.7㎡



完成予想図



PLOT INC. - 株式会社プロット - 神奈川県相模原市 (R-24) 第70055号	2024.11.22	■Project Name. (名称)AGE Fitness Plus.com 数寄江探白前事務所 新築工事	■Project Address. 神奈川県相模原市大岡2丁目1-18 第3号建面7号	■Planner. K.Yoshihara	■Check. J.Yokoyama	■Drawing Title. 展開図①	■Scale. 1/50	■No. 1/50

ヨコハマ市民まち普請事業

想定整備費用内訳書

※ 記入上の注意

- 「主な整備項目」「細目」欄の記入にあたっては、事務局と事前に十分調整してください。
- 「数量」欄については、やむを得ない場合を除き、「一式」と記入しないでください。
- 「地域住民等の参加」欄については、例えば地域が労力を負担する場合は、何人くらいが何日間くらい作業を行うかなど、できるかぎり具体的に記入してください。（見込みも含めて記入してください。）また、小中学校や子供会などが参加する場合は、その旨を明記してください。

主な整備項目	細目	数量	単価	計	地域住民等の参加 (費用又は労力の負担等)
仮設工事	墨だし、養生 クリーニング	一式	100,000	100,000	
解体工事	残材処分費	一式	50,000	50,000	
什器工事	棚板	一式	100,000	100,000	
内装工事	カーテンレール、カーテン	一式	200,000	200,000	
板金工事	ステンレス貼り	一式	100,000	100,000	
厨房器具	スチームコンベクション	1台	1,500,000	1,500,000	
厨房機器	冷凍冷蔵庫、冷凍庫、コールドテーブル、真空機、作業台	各1台	1,000,000	1,000,000	
換気設備工事	ファン、ダクト、フード、グリスフィルター	各1台	750,000	750,000	
電気設備工事	厨房機器電源工事	一式	200,000	200,000	
給排水設備工事	接続工事 配管工事	一式	200,000	200,000	
その他経費	現場管理費 駐車代	一式	300,000	300,000	
消費税				450,000	
合 計				4,950,000	

活動報告書

弘明寺 チーム NECTA COLLECT

令和6年11月28日

令和5年4月	設備予定地に継続就労支援施設B型事業所「ACE」開所
令和6年5月	横浜総合高校在校生、卒業生を中心に「弘明寺チームNECTA COLLECT」結成
令和6年5月	活動目的と方針を確認 仲間づくり開始
令和6年7月	1次コンテスト 14チーム中12位 最低投票にて通過
令和6年8月	地域の課題探求 横浜総合高校生徒や商店街関係者に聞き取り
令和6年9月	施設利用者とメンバーによるクッキー作り（学福食の連携）開始
令和6年10月	横浜総合高校「ようこそカフェ」でクッキーの供給開始（隔週水曜日）
令和6年10月	みなと総合高校、蒔田中学校、戸塚高校に活動の輪が広がる
令和6年10月	馬車道で能登地震復興支援マルシェの開催
令和6年10月	馬車道マルシェでクッキーの販売開始
令和6年11月	講師を招いてのスイーツの製造体験イベントの開催
令和6年11月	横浜総合高校学祭「横総祭」でクッキーを無料配布（生徒への活動告知）
令和6年11月	関東学園大学関内キャンパスで能登地震復興バザーの企画実演
令和6年11月	機関紙はまかぜ新聞にて活動内容が掲載される

（今後の予定）

令和6年12月	戸塚にある子ども食堂でのクッキー無料配布開始（予定）
令和6年12月	弘明寺商店街観音橋で「横総大感謝祭」で地域活性化イベントを開催
令和7年1月	2次コンテスト

2次コンテスト事前質問集

【提案名グループ名】 弘明寺 チーム NECTA COLLECT	
事前質問	回答欄
朝比奈委員	
① 部屋の設備はわかりましたが、使い方を具体的に示してください。メンバー、日常的な利用者、またイベントの来所者などにどのように過ごしてほしいと考えていますか。	<p>まずはクッキーの製作体験から始めます。その後、ラスクやチーズケーキ、プリン、シュークリームなどいろいろなものを作る体験の場として整備場所を使用して参ります。</p> <p>監督者(指導員は)当面弘明寺チーム NECTA COLLECT、もしくは YEBISU DINING のスタッフが担当します。</p> <p>まずは横浜総合高校在校生、その後近隣に住まう課題を抱える青少年を迎え入れます。お菓子の製造体験を通じてコミュニケーション力や課題探求、課題解決の力を養って、将来的な就業や自立に繋がっていく活動を致します。</p>
② この場所の一押し(セールスポイント)を教えてください。	<p>今までに実施してきた体験活動やクッキーの製造活動を通じて、すでに今回のまち普請事業での提案は大勢の方に認知をされております。</p> <p>また人と場所に問題は全くないので、「設備」があればいつでも本格的な活動が行える準備が出来ているところです。</p>
③ 活動の収支計画を教えてください。開設当初と活動が軌道にのった後では異なると思いますのでその点をふまえてください。	<p>まち普請事業で設置する機材を共存する就労支援事業所に有償で貸し出すことで当面の活動資金を確保します。</p> <p>また、その後は NPO 法人を設立し、寄付や助成金を活用しながらこの活動をサステイナブルなものにしてまいります。</p>
植松委員	

<p>① 課題を抱える青少年の力になりたい、とのお気持ちはとてもありがたいものですが、彼らはお菓子やスイーツの製造体験を通じて就労や自立に向けて一歩が踏み出せるのか、という疑問を感じますがどのように考えていらっしゃいますか？</p>	<p>確かにお菓子作り＝自立にはならないと思います。ですが、皆で共同してお菓子を作ったりすることによるコミュニティへの参加や実際にみんなで協力して作ったものを食べるという行為自体は必ず彼らに好影響を与えるものであると考えます。大切なのは、課題を抱える青少年がまずその場所に来ることであり、皆で協力して何かをするということなのです。お菓子作りには特別のスキルは必要ありませんし、参加しやすさを考えたときにとっても良いと言えるのではないかと考えます。</p>
<p>② 町に青少年がくつろげる場所がない、とのことですが、お菓子作りのためにコンベクションオープン他、厨房機器をそろえることが中心で、課題を抱える青少年はそこへ来てどのように地域と関わっていきこうとするのかがよく見えないのですが、その辺りの見通しを教えてください。</p>	<p>自分たちで作ったものを実際に食べるということ。わかりやすく言えばキャンプで作るカレーです。楽しくワイワイと笑いながら同じものを作る時間は楽しいと同時に協調性も養われるはずです。また就労支援施設では実際にクッキーを製造し販売すると同時に、地域の子ども食堂や学校等で無償提供しています。将来的に子供たちが開発したお菓子が地域の子ども食堂や学校で提供される販路がすでにあるのです。子供たちには人から「ありがとう」と言われる人になるよう指導するつもりです。食と福祉と教育の融合に期待してください。</p>
<p>川原委員</p>	
<p>質問なし</p>	
<p>後藤委員</p>	
<p>① 現時点での予定で構いませんので1週間の活動スケジュールを教えてください。</p>	<p>今活動に全面的に協力してくれる横浜総合高校の企画部の生徒さんたちと相談のうえで決めたいと思いますが、平日の夕方週一回から始めたいと思っています</p>
<p>② 居場所の運営体制を具体的に教えてください。NPO フラターとはどのような組織</p>	<p>施設は当面弘明寺チーム NECTA COLLECT のスタッフや YEBISU DINING のスタッフが管</p>

<p>になりそうでしょうか？</p>	<p>理者となって運営します。</p> <p>他に元教師や元市職員の方がボランティアでの協力を申し出てくれているので協力を仰ぎます。</p> <p>NPO は横浜総合高校卒業生や就労支援施設 ACE の卒業生、YEBISU DINING のスタッフを中心に設立します。</p> <p>他に元教師、税理士、社会保険労務士、弁護士の士業の方にも加わっていただきます。</p> <p>法人の活動内容は課題を抱える青少年への相談支援、その他職業体験や無料人材紹介です。</p> <p>課題を抱える青少年が安心して働くことが出来る会社と一緒にみつけるお手伝いをします。</p> <p>そのスタッフは主に課題を克服して職に就いた横浜総合高校の卒業生が担当します。</p> <p>横浜総合高校卒業生の離職率を少しでも下げることが目的として運営を始めますが、横浜総合高校だけでなく他校や近隣に住む青少年の支援も行って参ります。</p>
<p>杉崎委員</p>	
<p>① 営業時間外に運営する居場所は誰が運営するのか（居場所開催時に誰がその場所にいるのか）を教えてください。</p>	<p>当面は ACE の職員、もしくは YEBISU DINING のスタッフがそれを担当します。</p> <p>他に元市役所職員の方や元教職員の方がボランティアでの協力を申し出てくれています。</p> <p>子供たちだけで場所を使用する事はありません。</p>
<p>② 居場所として活用するための行う具体的な整備内容を教えてください。</p>	<p>お菓子作りを行うための設備一式です。</p> <p>確かにお菓子作り＝居場所というのは理解され辛いかもかもしれません。</p> <p>ですが、お菓子作りは人を集めるツールに十分なり得るのです。</p>
<p>③ 運営を担う NPO 法人のメンバー（理事）</p>	<p>チーム NECTA COLLECT の代表と副代表、</p>

<p>の構成を教えてください。</p>	<p>他に横浜総合高校の元教職員、横浜総合高校卒業生及び在校生、就労支援施設 ACE の卒業生がメンバーとなります。</p>
<p>鳥海委員</p>	
<p>① 学校と家以外に自分の居場所があり、親と先生以外にも地域で見守る頼れる大人がいることを子どもたちに知ってほしいですね。青少年の居場所の有用性はとても理解します。今回整備予定の菓子製造のための什器やキッチン環境を揃える他に、子どもの居場所作りのために必要だと思っていること、大切にしたいと思っていることを教えてください。</p>	<p>ご指摘の通り場所があればよいというものではありません。 大切なのは信頼関係であり、その信頼を築くことは短期間ではできません。 私はコロナ禍の時期から横浜総合高校の生徒さんたちと交流することで信頼関係を構築してきました。 また、その交流を通じて精神面を理由に課題を抱えている生徒が多いであろうことにも気が付きました。 重要なのは彼らの言うことを聞くことです。 目線を合わせて話を聞くこと。 それに尽きるのではないかと思います。</p>
<p>② 従業者用手洗い設備等、菓子製造業許可をとるために必要な条件をクリアしていますか？提出にあたって保健所に相談はされていますか？</p>	<p>就労支援施設で実際に菓子を販売提供しています。 保健所にも相談し、食品衛生責任者も登録しておりますし、保健所からの指導や法令を遵守しております。</p>
<p>③ 新規設置のカーテンは何の目的で設置されますか？</p>	<p>イベントで対抗戦を行ったり、調理に興味を持ってない参加者がいた場合に使用します。</p>
<p>肥後委員</p>	
<p>質問なし</p>	
<p>松村委員</p>	
<p>① 設備を就労支援施設に貸し出す予定とありますが、それは ACE のことですか？整備された設備は誰の所有物になるのですか？</p>	<p>はい。ACE になります。 整備された設備は弘明寺チーム NECTA COLLECT の所有となります。 将来的には NPO の所有にしたいと考えております。</p>
<p>② 生きづらさを抱えている青少年にとって、クッキーやクッキー製作のもたら</p>	<p>まず食は人の心を豊かにします。 今活動の取り組みは、「食」「福祉」「教育」</p>

<p>す意味や効果とはどのようなものでしょうか？</p>	<p>の融合です。福祉事業所で製造されたクッキーを子ども食堂や学校などで無料配布している取り組みに青少年も参加し、その経験を通じて学びに繋げていくというものなのです。</p> <p>分かりやすく言うと、人から「ありがとう」と言ってもらう取り組みなのです。</p> <p>ありがとうと言ってもらうことでやりがい生まれ、やりがいが自身の成長となり、成長が新たな挑戦へつながっていきます。</p> <p>手前味噌ですが、本当に良い取り組みであると自負をしております。</p>
<p>③ 青少年支援の実践者や専門家とは、どのようなつながりを持っていますか？</p>	<p>横浜市立高校の元及び現役の教職員、横浜市の外郭団体である横浜ユース、横浜市立横浜総合高校、横浜市立みなと総合高校、NPO 法人横浜開港場など、青少年支援の専門家であるこれらの施設や団体と協力しながら実際に青少年支援を行っています。</p> <p>具体的には体験活動やイベントの企画実行です。</p> <p>他に信頼関係の下、青少年の個人的な相談に乗ったりしています。</p> <p>弘明寺チーム NECTA COLLECT 代表の私は、経営者の団体である、神奈川県中小企業家同友会 理事 飲食物販業部会長を拝命し、国際ロータリー横浜南ロータリークラブに所属しております。</p> <p>私の経営者としての人脈を生かし、上記団体以外にも様々な関係者や団体の支援を受け、本活動を運営して参ります。</p>

ヨコハマ市民まち普請事業

第2次提案書

注1) 2号様式はページを増やさず、必ず3ページ以内でまとめてください。

注2) 2号様式は市民に公開しますので、個人が特定できる情報は記入しないでください。

注3) 添付資料は計画図(位置図・平面図・完成予想図各A3判1ページ、その他必要に応じて配置図・断面図・立面図等)、想定整備費用内訳書(第3号様式)、協議・説明状況報告書(第4-1～3号様式)、1次コンテスト以降の活動内容(任意様式A4判1ページ)、その他資料(必要に応じてA3判2ページまで)

提案グループ名 (25字以内)	熊野の森, 子どもの居場所プロジェクト実行委員会
整備場所 (町名又は丁目まで記入)	港北区 樽町 一丁目
提案名 (25字以内)	熊野の森, 子どもの居場所プロジェクト
助成金申請予定額	500万円
整備する施設 (具体的な整備内容※ ¹ を工夫した点※ ² にも触れて記入してください) ※ ¹ 施設の全体像とともに整備助成金の対象箇所を明記してください ※ ² 住民等が持つ発想、方法などを生かしたアイデアやユニークさ及びデザインへの配慮	公園や公民館といった公共空間がない大倉山自治会エリア内にあって、地域最小の公園・公民館となるコミュニティスペースの整備を目指し、下記のような外構整備を実施します。また外構整備を通じ、通学路となっている前面道路・交差点の安全性向上に寄与します。 ① パーゴラ：内と外を繋ぐ半屋外空間 ② 既存塀の撤去：屋内外のコミュニケーションの活発化，見通しの確保による事故防止 ③ 舗装の撤去と芝生：子どもや地域の人が寛げる小さな広場 ④ 固定ベンチ：坂の上に立地するため，歩行者が一休みできる空間 ⑤ 植栽：エディブルな種類を中心に，メンバーや地域住民で施工 ⑥ 室外機移設と雨水タンク・雨庭設置：地域の自然環境啓発の一助 ⑦ 掲示板・街灯・コーナガード：施設および地域の情報発信と夜間の防犯性向上，前面交差点での夜間の事故防止 ⑧ ブックスタンド：地域最小の図書館として，様々な本を貸出 ⑨ コンポストの設置：地域での資源循環
施設の活用・活動内容 (具体的な活動内容を工夫した点にも触れて記入してください) ※第1次提案書より具体的に記入してください	本提案の施設は，住宅でありながら，一階リビングと外構を合わせて「子どもの可能性を広げる」コミュニティスペースとして開かれ，地域のパブリックな場や交流のハブとして利用されることを目指しています。屋内では駄菓子屋（毎週）・セミナー・自治会の会議（毎月）などを開催します。屋外は，屋内と一体になって工作や染め物のワークショップといった多彩なイベントを開催するとともに，地域の人が気軽に立ち寄れる場として，芝生・ベンチ・本の貸出（ブックスタンド）・物々交換スポット等を設け，地域の交流を促します。また雨水タンクや雨庭を設けて激甚化する降雨の緩和を図るとともに，コンポストと併せて地域の環境を考える啓発の場としていきます。
提案の背景	私達は，閉鎖的・細分化されている現在の社会や家庭に問題意識を持

<p>(なぜ提案をするのか、地域のニーズや課題、生かしたい地域の魅力等に触れて説明してください)</p> <p>※第1次提案書から変更した点がある場合はその理由も記入してください</p>	<p>ち、家でも学校でもない「子どもの可能性を広げる」場所づくりを目指しており、その拠点となる場所として本施設を計画しています。</p> <p>また、熊野神社市民の森が所在する師岡・樽町地域は豊かな自然や農地が残る一方、都市基盤が整わないまま宅地化が進行しており、公園が少ない、道が狭い、土砂災害警戒区域が多い等の課題があります。本施設が位置する樽町一丁目の高台エリアは「大倉山自治会」として独立していますが、同自治会のエリア内には公園がなく、自治会も単独の公民館を持っていません（コロナ禍前までエリア内の病院の会議室を利用していましたが、現在それが不可）。物理的な空間を持っていないため、活発な地域活動がなかなか起こりにくい状況にあります。同様に子どもが集える場所が無く、一次審査通過後に実施した駄菓子屋では想定以上に多くの子ども、親が集まり、友人と遊んだり宿題をするなど、新たな居場所が生まれました。</p> <p>こうした場の重要性が改めて認識された一方で、屋外空間の課題（塀が高いため閉鎖的で屋内の活動が外から見えない、気軽に立ち寄れない、見通しが悪く事故が懸念される等）も明らかとなったため、本提案の整備を通じて、より多くの人に開かれた場を目指します。外構の整備にあたっては、師岡・樽町の特徴である市民の森や農地といった特徴を後世に伝えていく場としていきます。</p>
<p>整備プロセス（スケジュール、つくるときに連携する仲間の役割や活用する地域資源^{注4}）、費用縮減の工夫に触れて説明してください</p>	<p>塀や舗装の撤去は専門業者、パーゴラの設置は工務店、各種電気工事は設備業者が実施しますが、植栽整備は、造園業を営み専門知識を持つ提案メンバーの指導のもと、他のメンバーや地域の方の参加で実施します。植栽は造園業のメンバーの調達ルートを活用し、可能な限り廉価で調達します。また同様に雨庭の施工も、参加者を募ってDIYで実施し、施工に必要な砕石は塀や舗装撤去時のガラを活用します。その他、ベンチや掲示板等の細かい造作類は、工務店の指導のもと、可能な限りメンバーが自作することとし、段階的に実施します。</p>
<p>維持管理・運営計画及びその実施方法（維持管理・運営するときに連携する仲間の役割や活用する地域資源^{注4}）に触れて説明してください</p>	<p>【施設の維持管理】日常的な維持管理は、施設のオーナーであり住人である提案メンバー夫婦で実施します。植栽などを大がかりに手入れする場合は、他のメンバーや地域の方の協力も得るようにします。</p> <p>【イベント運営・広報】駄菓子屋やワークショップ・セミナーなどはメンバーで企画し、運営します。日常的な情報はインスタグラム等で適宜発信、毎月かわら版である「レモン便り」を発行します。</p> <p>【運営資金】運営に必要な資金は、支出としては日常的な光熱費、植栽・パーゴラ・ベンチの維持費、広報費が想定され、収入としては屋内のレンタル料（自治会・ワークショップ等）、駄菓子屋の販売収入等が想定されます。こうした支出は、収入と相殺しつつ、メンバーの自宅でもあるため、その日常的な維持管理の中でカバーします。</p>

注4)「地域資源」とは、次のようなものを想定しています。

- 「ヒト」の例 ・地域のPTAから協力を受けられそう。 ・地域に設計の専門家がいる。
- 「モノ」の例 ・整備に必要な材料を安く入手できそう。 ・整備に必要な建設機械を安く借りられそう。
- 「カネ」の例 ・自治会町内会から資金的な支援を受けられそう。 ・バザーなどで資金を集められそう。

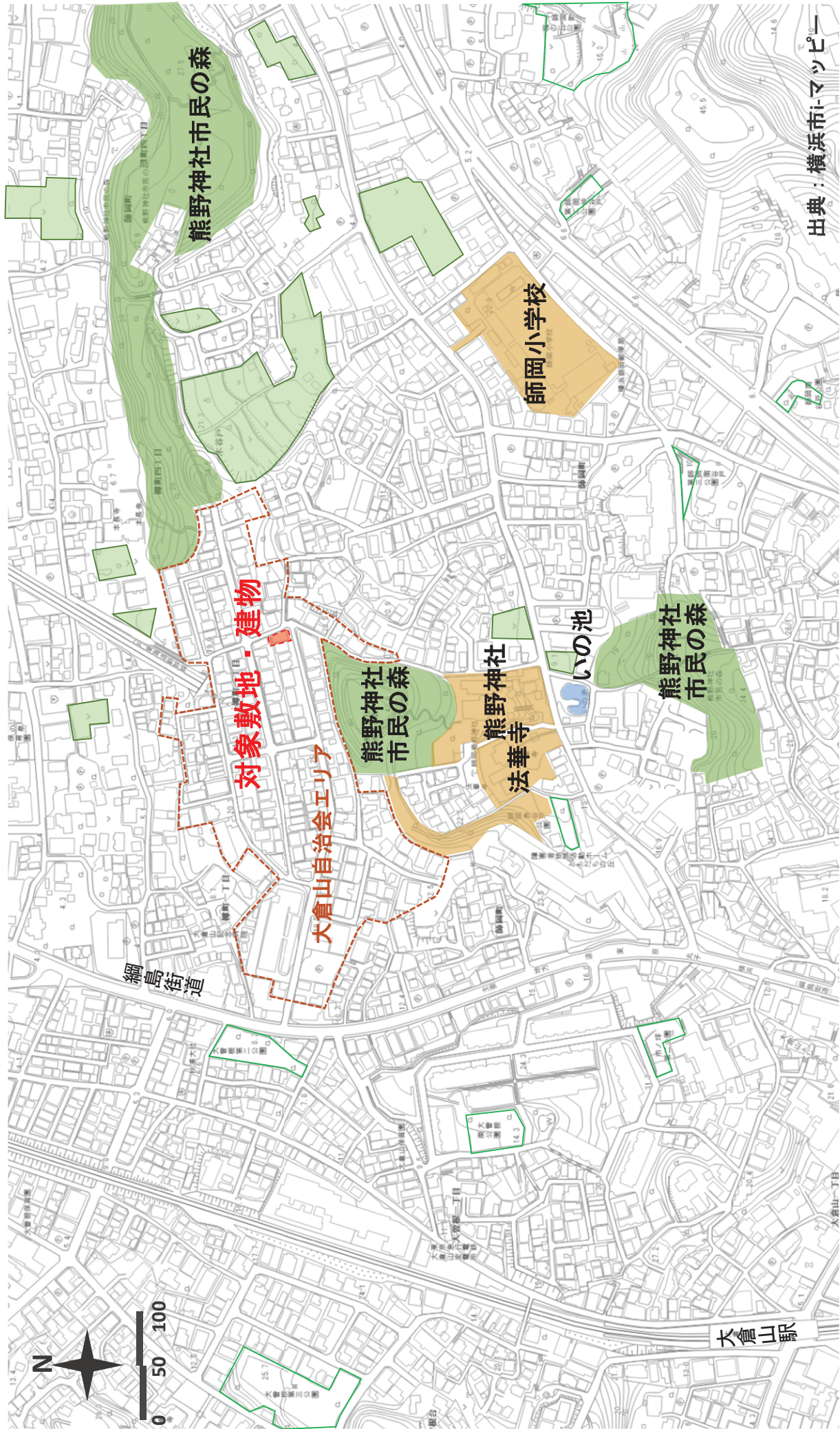
<p>1次コンテスト以降の活動内容 ※詳細については添付資料（任意様）</p>	<p>9月以降、毎火曜日に駄菓子屋を企画、平均して30人程度の親子が訪れました。これを通じて多くの地域の方と知り合い、例えば、近隣で大きな緑地を持っており、そこで定期的にカフェや上映会を開催しているお宅と連携して、12月以降、共同で上映会を実施する予定</p>
---	--

式)に記入してください	です。11月からは一般向けのセミナー・ワークショップを複数回開催、こうした活動を紙媒体の「レモン便り」(9月から毎月発行)として頒布、またインスタグラム「kumanolemon」として発信しています。さらに12月からは、地元大倉山自治会の毎月の定例会の場として、活用を開始する予定です。
関係者の合意・調整状況 (地域《地権者、整備場所の近隣住民、地域住民、自治会町内会等》での合意形成や関係機関との調整結果の概要について説明してください)	地権者・建物所有者は提案者自身です。隣接する住民への説明は内覧会等を通じて順次実施しました。施設が所在する大倉山自治会会長への説明を行い取組に理解をいただいただけでなく、取組への推薦状を認めていただきました。2024年12月以降は、自治会エリア内で中心に位置する本施設を、自治会の月例会議の場として利用することになりました。その他、地元師岡小学校PTA会長、熊野神社市民の森愛護会会長への説明を行い、いずれも取組への理解と歓迎の言葉をいただいています。
その他提案について特にPRしたい点を記入してください	本提案は、個人宅を地域にひらき、子どもの居場所づくりを中心に、地域のコミュニティを活性化する取組です。既に屋内空間の整備を自費で終えており、まち普請を通じて屋外空間の整備を進めたいと考えています。特に既存ブロック塀は、まちから屋内への視線を妨げ、活動の様子が見えにくくしており、これを撤去し、様々な機能を持った屋外空間を整備していきたいです。既に様々な活動を通じて、地域の子どもの居場所として多くの人に愛される場所となっています。道行く人には、メンバーが必ず挨拶をして、この場所を知ってもらうよう努めており、認知も上がっています。また、多くの人から以前、近くで読み聞かせ活動「いちご文庫」が行われていたことを伺い、ブックスタンドとしてこの活動を継承したいと考えています。
目指す地域の将来像 (施設が整備されることにより地域がどのように良くなるのか、地域に及ぼすインパクトについて説明してください)	本提案の施設を中心に、自治会の活動の場として利用されていけば、地域活動が再び活発となる可能性を秘めています(以前は道路封鎖をして、自治会主催で縁日をしていたこともあったそうです)。公共空間に限られる大倉山自治会エリア内において、各家の屋外空間の整備と地域への配慮が、地域を盛り上げる重要な要素になると考えられ、本整備はその先駆けとなるように努めます。住民が少しずつ自らの資源を持ち寄り、住民同士や地域環境への配慮が生まれてくるような地域を目指したいです。具体的には、各家で屋外にベンチを設ける、少しでも植栽を増やし緑の視認性を上げることで、熊野の森を繋ぐ道としての景観を整える、雨水タンクや雨庭を設けて豪雨災害を緩和する、等が考えられます。さらに師岡・樽町地域の農地でブックスタンドを置いたり、市民の森の手入れに多くの人に参加するなど、本施設をハブに、さらに地域に活動の輪を広げたい。これらを通じて、地域の豊かな自然や資源(農地や森、生態系)が将来にも受け継がれ、子ども達が大人になっても住み続けたいと思える地域を目指していきます。

記載内容について次の点を確認後、チェックボックスに✓を入れてください。

- ✓ 記載内容は真実であり、虚偽はありません。
- ✓ 記載内容に個人情報はありません。

位置図



住居表示：港北区樽町一丁目

敷地面積：約177㎡／建物面積：約175㎡

公園

農地

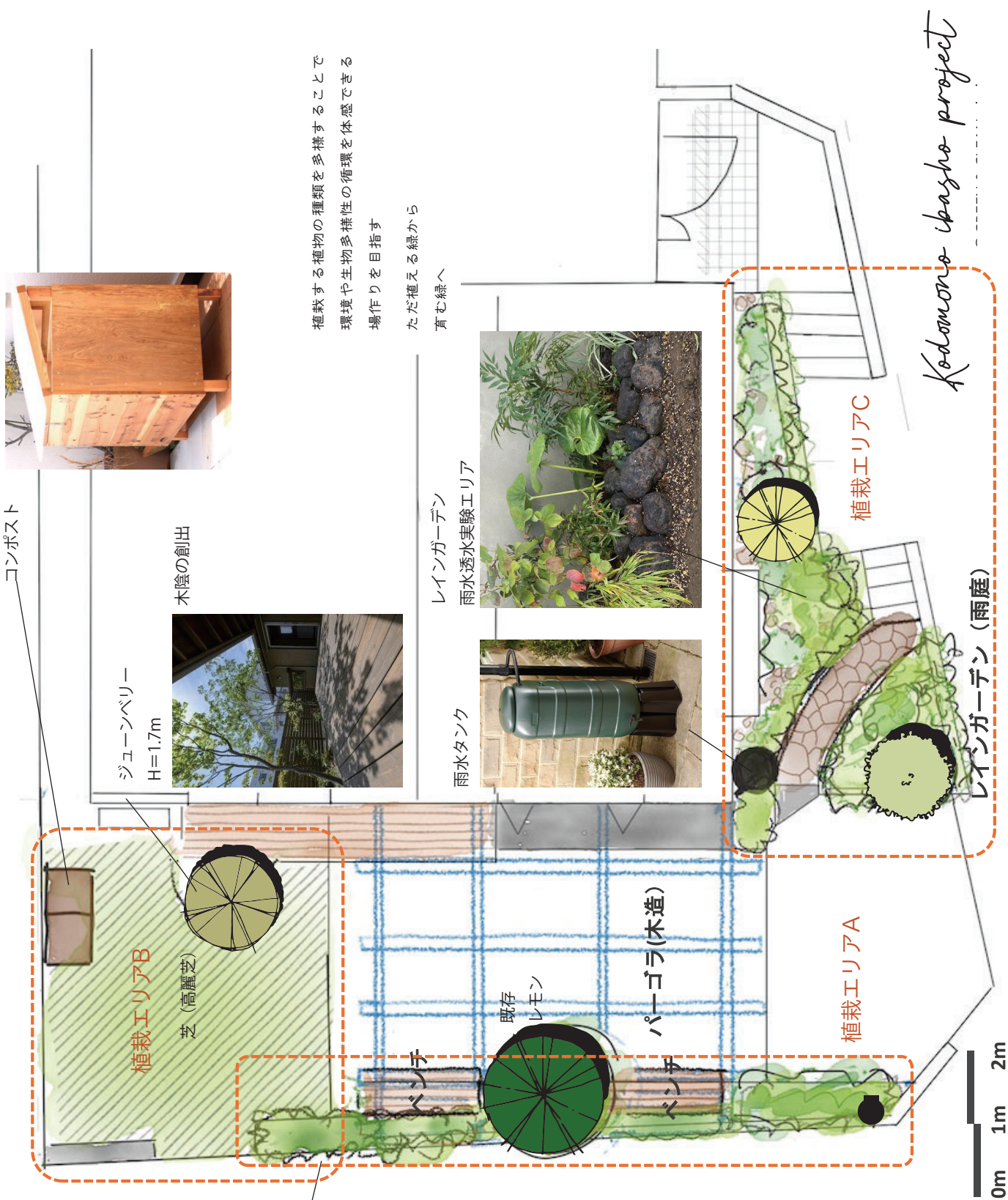
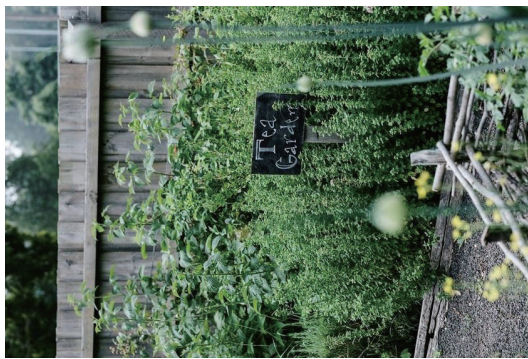
完成予想図



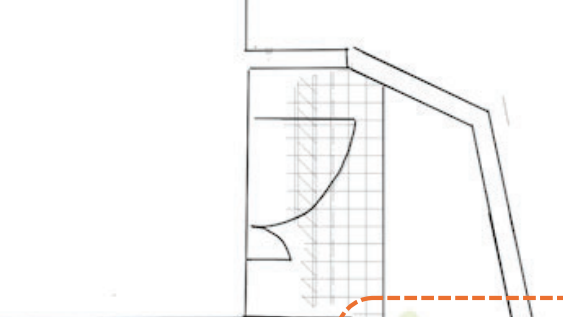
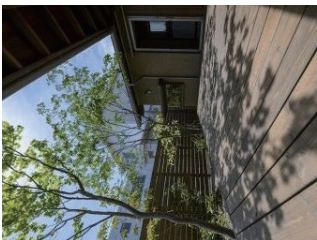
植栽平面図

子供達の記憶に残る
外の場作り

エディブルガーデン



植栽する植物の種類を多様することで
環境や生物多様性の循環を体感できる
場作りを目指す
ただ種える緑から
育む緑へ



Kodomono ibasho project

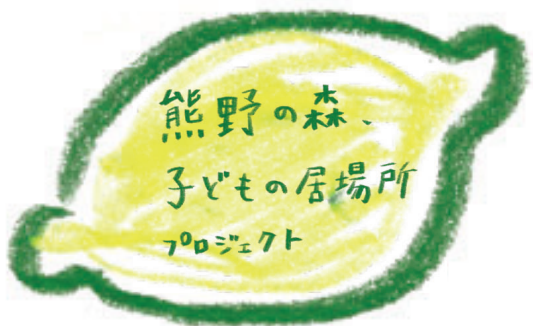
ヨコハマ市民まち普請事業

想定整備費用内訳書

※ 記入上の注意

- 「主な整備項目」「細目」欄の記入にあたっては、事務局と事前に十分調整してください。
- 「数量」欄については、やむを得ない場合を除き、「一式」と記入しないでください。
- 「地域住民等の参加」欄については、例えば地域が労力を負担する場合は、何人くらいが何日間くらい作業を行うかなど、できるかぎり具体的に記入してください。（見込みも含めて記入してください。）また、小中学校や子供会などが参加する場合は、その旨を明記してください。

主な整備項目	細目	数量	単価	計	地域住民等の参加 (費用又は労力の負担等)
エアコン移設工事	移設・配管部材・取付	1式	53,500	53,500	
仮設工事費・廃棄物処理費		1式	200,000	200,000	
塀・舗装撤去費	はつり・解体・運搬・処分	塀12㎡ 舗装12㎡	塀50,000 舗装50,000	1,200,000	
ベンチ製作	防腐処理木材	20本	4,000	80,000	DIYで実施(5人で2日程度)
パーゴラ製作(木造)	材料・製作加工	1基	1,500,000	1,500,000	塗装・飛出し防止柵等はDIYで実施(5人で3日程度)
パーゴラ設計	構造確認	1式	280,000	280,000	設計はメンバーで実施
左官工事	塀撤去跡仕上げ, パーゴラ・タンク基礎	1式	750,000	750,000	仕上げ後の塗装はDIYで実施(5人で1日程度)
電気工事	街灯本体・街灯設置・屋内配線	1式	500,000	500,000	
掲示板・ブックスタンド製作	材料・製作加工	1基	200,000	200,000	可能な限りDIYで実施
コンポスト設置	コンポスト	2基	20,000	40,000	据付けはDIY
雨水タンク設置	雨水タンク	1個	120,000	120,000	DIYで設置
植栽エリアA	植物(低木・下草類)・土等資材	5㎡	8,000	40,000	植付けはDIYで実施(5人で1日程度)
植栽エリアB	高木・高麗芝・土等資材	12㎡	12,000	144,000	植付けはDIYで実施(5人で1日程度)
植栽エリアC	植物・土等資材	5.5㎡	15,000	82,500	植付けはDIYで実施(5人で1日程度)
雨庭造作	資材	1㎡	100,000	100,000	DIYで実施, 塀撤去のガラを活用(5人で7日程度)
合 計				5,290,000	



レモンの家が結ぶ 人、まち、みどり

これまでの活動

※隔週土曜にまち普請メンバー定例打ち合わせ

- 7月15日 壁塗りワークショップ
- 8月22日 師岡小学校PTA会長面会
- 8月31日 オープンハウス
- 9月8日 雨庭整備に関するレクチャー
- 9月10日 駄菓子屋
- 9月14日 オープンハウス
- 9月16日 メンバーでまち歩き
- 9月17日 駄菓子屋
- 9月24日 駄菓子屋
- 9月28日 熊野神社市民の森愛護会会長面会
- 10月1日 駄菓子屋
- 10月5日 大倉山自治会会長面会
- 10月8日 駄菓子屋
- 10月15日 駄菓子屋
- 10月17日 DIYワークショップ
- 10月22日 駄菓子屋
- 10月29日 駄菓子屋
- 11月5日 駄菓子屋
- 11月12日 駄菓子屋
- 11月17日 染色ワークショップ
- 11月19日 駄菓子屋
- 11月24日 「こどものまち」セミナー
- 11月26日 駄菓子屋
- 12月1日 自治会12月定例会（予定）

「レモン便り」毎月発行，インスタ発信



オープンハウス（内覧会）



毎週火曜 駄菓子屋開催



ワークショップ・レクチャー





農地にブ
ックスタ
ンド

市民の森
動への参
加

地域へ
の波及

各家前
にベン
チ



パーゴ
ラ

ベンチ

地域の
広場

芝生

縁側

交差点・通学路
の安全性向上

ブックスタ
ンド

貸し借りボ
ックス

シェア



レモンの家



駄菓子屋さん

レンタルスペース

体験
交流

子どもの
居場所

自治会活動

ワークショップ

地域に広がる、挨拶、
思いやり、緑の輪

コンポスト

資源
循環

雨水タンク・雨庭

掲示板

エディブル植栽

2次コンテスト事前質問集

【提案名グループ名】	
熊野の森, 子どもの居場所プロジェクト実行委員会	
事前質問	回答欄
朝比奈委員	
質問なし	
植松委員	
① 代表者のご夫妻の、子ども達に対する考え方や、住み開きというものに対する認識は素晴らしく、敬意を表します。敢えて申し上げるなら、ご自身のお子さん方が成長されて住み開きの我が家は落ち着かなくて嫌だ、と言い始めた時の対処について教えて下さい。	本提案は我が家（レモンの家）を地域に開くことで、子どもたちに、自宅・学校以外の第三の居場所を作ることを目指しています。同様に、我が子達には、ぜひ自宅（レモンの家）以外に、第三の居場所を見つける力をつけて欲しいと期待しています。また現実的には、祖母の住む実家や叔母宅が至近にあり、そちらに寄ることになるかと思いますので、問題はないと考えます。
川原委員	
質問なし	
後藤委員	
質問なし	
杉崎委員	
① コミュニティスペースとリビングの関係は大丈夫でしょうか（暮らしを開きすぎていないか不安）。	一次審査以降の駄菓子屋やワークショップ等の運用では、ダイニング（左記のリビング）とコミュニティスペースとの間の引き戸を閉めることで、大きな問題はありませんでした。 むしろ、まち普請で屋外空間を整備し、屋外も積極的に使えるようになることで、イベントの性質に応じて、より柔軟にパブリック（敷地内の屋外や縁側）、セミパブリック（コミュニティスペース）、プライベート（ダイニング等）を段階的に使い分けられ

	るようになり、状況に応じてよりメリハリのある運用ができると期待しています。
鳥海委員	
① 住み開きの家があることで地域が繋が り活性化していくことは十分に想像が できます。今は「大森家の自主開放」で すが、まち普請での整備した箇所は開 放が前提になると思います。大森家の 敷地でありながら地域開放のスペース となった場合、困ることはありません か？	屋外空間は基本的に日中は開放し、町会の 活動含め積極的に活用していくつもりで す。また、夜間の立入も拒むものではありません。何か大きなトラブルとならない限 り、屋外は終日開放していきます。念の為、 防犯カメラは設置しようと考えています。 むしろ夜間も、交差点を街灯で照らす、塀 を取り壊すことで見通しを良くする、とい った取組を通じ、地域の交通安全・防犯に 資するため、敷地内にとどまらない地域へ の貢献ができると考えています。
② 自分の家の一部でありながらパブリッ クスペースを兼ねる場所であることに ついて、利用者みんなに知ってもらう ために周知する「禁止事項やルール」に ついて、決まっているものがあれば教 えてください。	今のところ、明確なルールを定めてはいま せんが、持ち込んだゴミは持ち帰ってら う（駄菓子屋で買ったゴミは回収）こと にしています。屋外にもこのルールを適 用する予定です。もちろん、近隣に迷惑 となる行為（騒音等）は禁止したいと思 いますが、それ以外はなるべくルールを 設けずに運用したいと思います。 あとはイベント等の内容に応じて柔軟 にルールを設けたいと考えています。
肥後委員	
質問なし	
松村委員	
質問なし	

メールマガジン「ヨコハマ 人・まち」を読みませんか？

市民が身近なまちづくりに取り組むときに役立つ制度や地域のまちづくり活動の紹介、地域まちづくりに関するイベントや講座等に関するお知らせなどを提供する、無料のメールマガジンを読みませんか？ 配信申し込みは、下記の2次元コードからお願いします。



ヨコハマ 人・まち
メルマガ案

地域まちづくり課 “公認” のFacebook

「ヨコハマ市民まち普請ひろば」



まち普請ひろば

Facebookに登録していなくても誰でも見られます。

既にFacebookに登録されている方は、是非「いいね！」を宜しくお願いします。

(Facebookは協働事務局の横浜市住宅供給公社が運営しています)

自ら主体となって、身近なまちの課題を解決したい、あるいは魅力を高めたいと考えている方や、身近なまちの施設等の整備アイデアをお持ちの方は、年間を通じていつでも相談窓口を開設していますので、どうぞお気軽にご相談ください。

【相談・お問い合わせ先】

横浜市都市整備局地域まちづくり課

(横浜市中区本町6丁目50番地の10 市庁舎29階)

電話 045-671-2679 E-mail : tb-seibiteian@city.yokohama.lg.jp



令和6年度ヨコハマ市民まち普請事業 応援企業のみなさま



まち普請事業は、市民主体のまちづくりの支援を通じてSDGsの目標達成を目指す事業です。SDGs推進に精力的に取り組む以下の企業の皆様からの応援をいただいています。

